



THE NATIONAL
ART CENTER, TOKYO
国立新美術館

NACT REPORT
APRIL 2007-MARCH 2008
平成19年度 活動報告

平成19年度
国立新美術館 活動報告

NACT REPORT
April 2007 - March 2008
The National Art Center, Tokyo

目次 Contents

| | | | |
|-----|----------------|--|-----|
| 1 | 平成19年度主要記事 | Record of Events April 2007 March 2008 | 5 |
| 2 | 展覧会 | Exhibitions | 7 |
| 2 1 | 平成19年度展覧会一覧 | Exhibitions List April 2007 March 2008 | 8 |
| 2 2 | 平成18年度までの展覧会一覧 | Past Exhibitions List to March 2007 | 10 |
| 2 3 | 展覧会記録 | Exhibition Details | 11 |
| 3 | 美術団体等への展覧会会場提供 | Provision of Exhibition Venues to Artist Associations | 31 |
| 4 | 教育普及 | Education and Public Programs | 37 |
| 4 1 | 講演会等 | Lectures, etc. | 38 |
| 4 2 | ワークショップ | Workshops | 43 |
| 4 3 | インターン、ボランティア | Internships and Volunteering | 45 |
| 4 4 | その他の教育普及事業 | Other Education and Public Programs | 45 |
| 5 | 情報資料収集・提供 | Collection and Provision of the Library and Information Services | 47 |
| 5 1 | 美術関連資料の収集と公開 | Collection and Provision of the Library Materials | 48 |
| 5 2 | JACプロジェクト | JAC Project | 50 |
| 5 3 | 展覧会情報の収集と提供 | Collection and Provision of the Information Services | 50 |
| 6 | 広報・出版 | Publicity and Publications | 51 |
| 6 1 | 印刷物 | Publications | 52 |
| 6 2 | ホームページ | Website | 57 |
| 6 3 | 広報活動 | Publicity Activities | 57 |
| 7 | 調査・研究 | Research | 59 |
| 8 | その他の事業 | Facilities and Visitor Services | 63 |
| 9 | 記録 | Records | 67 |
| 9 1 | 入場者数 | Number of Visitors | 68 |
| 9 2 | 予算 | Expenditure | 68 |
| 9 3 | 国際交流 | International Exchanges | 68 |
| 9 4 | 展覧会出品リスト | List of Works | 75 |
| 9 5 | 名簿 | The NACT Council and Staff List | 152 |

本 PDF 版では、刊行された『平成19年度 国立新美術館年報』の誤記等を一部修正、変更しております。
また、「サポート・スタッフ名簿」は掲載しておりません。

事業

平成19(2007)年

- 4月4日 公募展開始(『第66回水彩連盟展』、『第66回創元展』、『60周年記念示現会展』)
- 4月7日 『大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産』開催(～7月2日)
- 4月25日 地下1階「SFT ギャラリー」での展示開始(『FROM TOKYO』)
- 6月6日 『スキンプォーズ—1980年代以降の建築とファッション』開催(～8月13日)
- 7月20日 平成19年度(第1回)国立新美術館評議員会開催
- 7月25日 『日展100年』開催(～9月3日)
- 9月5日 『安齋重男の“パーソナル 私・写・録”1970-2006』開催(～10月22日)
- 9月6日 別館1階展示コーナー開室
- 9月26日 『アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』開催(～12月17日)
- 11月23日 「文化庁 第5回国際文化フォーラム 高階座長座談会「芸術と文化」」共催
- 12月15日 『文化庁芸術家在外研修制度40周年記念 「旅」展—異文化との出会い、そして対話—』開催(～1月28日)

平成20(2008)年

- 1月17日 特別資料閲覧コーナー(別館1階)開設
- 1月23日 『没後50年 横山大観—新たなる伝説へ』開催(～3月3日)
- 2月6日 『平成19年度[第11回]文化庁メディア芸術祭』開催(～2月17日)
- 2月28日 平成19年度(第2回)国立新美術館評議員会開催
- 3月5日 『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』開催(～5月6日)
- 3月26日 『モディリアーニ展』開催(～6月9日)

協力、協賛等

平成19(2007)年

- 10月6日 「'07みなと区民まつり」(～10月7日)協賛(主催：みなと区民まつり実行委員会)

平成20(2008)年

- 2月1日 「アート・ミート・みなと 2008」(～2月29日)への特別協力(主催：港区)
- 3月10日 「第6回『東京発 日本ファッション・ウィーク』」への協力(～3月16日)(主催：ファッション戦略会議)
- 3月16日 「六本木ふれあいまつり」への協賛(主催：六本木ふれあいまつり実行委員会・港区)

トピックス

平成19(2007)年

- 4月6日 高円宮妃殿下「大回顧展 モネ」展開会式御臨席
- 5月11日 開館(1月21日)以来の延べ観覧会入場者数100万人を達成
- 5月25日 「照明普及賞(優秀施設賞)」受賞(主催：社団法人照明学会)
- 6月7日 「第8回日本免震構造協会作品賞」受賞(主催：社団法人日本免震構造協会)
- 6月26日 皇太子同妃両殿下「大回顧展 モネ」展御観覧
- 7月5日 青木文化庁長官「スキンプォーズ」展御視察
- 8月24日 延べ観覧会入場者数200万人を達成
- 9月20日 「優良防火対象物」認定(東京消防庁麻布消防署)
- 10月12日 国立新美術館設計者 黒川紀章氏逝去
- 11月30日 天皇后両陛下「フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展」及び「第39回日展」御観覧
- 12月6日 参議院文教科学委員会視察
- 12月8日 福田内閣総理大臣「第39回日展」御視察

平成20(2008)年

- 12月11日 皇太子殿下「フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展」御観覧
- 12月12日 秋篠宮妃殿下、眞子内親王殿下「フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展」御観覧
- 12月14日 延べ観覧会入場者数300万人を達成
- 2月18日 天皇后両陛下「没後50年 横山大観」展御観覧
- 2月22日 渡海文部科学大臣「没後50年 横山大観」展御視察
- 2月22日 「優良防火対象物」認定(別館)(東京消防庁麻布消防署)



12月14日 観覧会入場者数300万人達成

2

展覧会

Exhibitions

2-1 平成19年度展覧会一覧

Exhibitions List April 2007-March 2008

2-2 平成18年度までの展覧会一覧

Past Exhibitions List to March 2007

2-3 展覧会記録

Exhibition Details

2-1 平成19年度展覧会一覧 Exhibitions List April 2007-March 2008

エトランジェ
異邦人たちのパリ1900-2005 ポンピドー・センター所蔵作品展

Paris du monde entier : Artistes étrangers à Paris 1900-2005.

Exposition organisée par le Centre Pompidou

会期:平成19(2007)年2月7日(水)~5月7日(月)

日数:79日(うち19年度;33日)

入場者数:315,266人(うち19年度;124,933人)(1日平均3,991人)

入場:有料

種別:共催展



大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産

Claude Monet : L'art de Monet et sa postérité

会期:平成19(2007)年4月7日(土)~7月2日(月)

日数:76日

入場者数:704,420人(1日平均9,269人)

入場:有料

種別:共催展



スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション

Skin+Bones : Parallel Practices in Fashion and Architecture

会期:平成19(2007)年6月6日(水)~8月13日(月)

日数:60日

入場者数:60,056人(1日平均1,001人)

入場:有料

種別:自主企画展



日展100年

The 100th Anniversary of NITTEN

会期:平成19(2007)年7月25日(水)~9月3日(月)

日数:36日

入場者数:135,486人(1日平均3,764人)

入場:有料

種別:共催展

パーソナル フォト アーカイブス
安齊重男の“私・写・録”1970-2006

ANZAI : Personal Photo Archives 1970-2006

会期:平成19(2007)年9月5日(水)~10月22日(月)

日数:42日

入場者数:15,895人(1日平均378人)

入場:有料

種別:自主企画展



アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展
Milkmaid by Vermeer and Dutch Genre Painting—Masterworks from the Rijksmuseum
Amsterdam

会期:平成19(2007)年9月26日(水)~12月17日(月)
日数:72日
入場者数:493,886人(1日平均6,860人)
入場:有料
種別:共催展



文化庁芸術家在外研修制度40周年記念 『旅』展—異文化との出会い、そして対話—
The 40th Anniversary of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists
provided by the Agency for Cultural Affairs:
Journey—Encounters and Dialogues with Foreign Cultures

会期:平成19(2007)年12月15日(土)~平成20(2008)年1月28日(月)
日数:27日
入場者数:18,772人(1日平均695人)
入場:有料
種別:共催展



没後50年 横山大観—新たな伝説へ
YOKOYAMA TAIKAN Fifty Years On—A legend in the making

会期:平成20(2008)年1月23日(水)~3月3日(月)
日数:36日
入場者数:223,671人(1日平均6,213人)
入場:有料
種別:共催展



平成19年度[第11回]文化庁メディア芸術祭
11th Japan Media Arts Festival

会期:平成20(2008)年2月6日(水)~2月17日(日)
日数:11日
入場者数:40,553人(1日平均3,687人)
入場:無料
種別:共催展



アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち
Artist File 2008—The NACT Annual Show of Contemporary Art

会期:平成20(2008)年3月5日(水)~5月6日(火)
日数:55日(うち19年度:24日)
入場者数:13,005人(3月31日まで)(1日平均542人)
入場:有料
種別:自主企画展



2-3 展覧会記録 Exhibition Details

エトランジェ

異邦人たちのパリ1900-2005 ポンピドー・センター所蔵作品展

Paris du monde entier : Artistes étrangers à Paris 1900-2005. Exposition organisée par le Centre Pompidou

会期：平成19(2007)年2月7日(水)～5月7日(月)

日数：79日(うち19年度；33日)

※通常の毎週金曜日夜間開館に加え、5月3日(木)、5日(土)に特別夜間開館を実施した。

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：315,266人(うち19年度；124,933人)(1日平均3,991人)

入場：有料

主催：国立新美術館、朝日新聞社、テレビ朝日、ポンピドー・センター

後援：外務省、文化庁、フランス大使館、東京日仏学院

協賛：旭化成ホームズ株式会社、カルビー株式会社、本田技研工業株式会社、大日本印刷株式会社

協力：日本通運、エールフランス航空、J-WAVE

コミッショナー：ジャン＝ポール・アムリン(ポンピドー・センター主任学芸員)

講演会等：

●研究員による解説会

日時：4月1日(日)14時～15時

解説：平井章一(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：70人

※本展の平成18年度開催記録及び出品リストは、
『平成18年度 国立新美術館年報』に記載した。

大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産

Claude Monet : L'art de Monet et sa postérité

印象派を代表する画家であり、日本でも人気の高いクロード・モネ(1840-1926)の画業の全容を、オルセー美術館をはじめとする国内外の主要コレクションから集めた97点の作品によって紹介した。

モネは印象派の画家として知られるが、実は近代と現代をつなぐ画家としても重要である。本展では、初期から晩年に至るモネの主要作品を通してモネの芸術を展覧するだけでなく、作品の変遷、及びモネの作品と現代作家の作品との比較を通して、近代画家として位置づけられるモネがいかに現代的な感覚を持ち、後の時代に影響を与えたかについても検証した。

展覧会は5章14セクション(第1章「近代生活」:近代生活、第2章「印象」:光、階調、色彩、第3章「構図」:簡素、ジャポニスム、平面的構成、反射映像、第4章「連作」:リズム、形態、変化、移ろい、第5章「睡蓮/庭」:筆触、総合)で構成され、各章ごとにモネの影響を受けた現代作家の作品(全26点)を併せて展示した。さらにジヴェルニーのモネを訪ねた日本人を紹介するコーナーを設け、日本の風物に親しみ、日本美術からも影響を受けたモネと日本人との豊かな交流について紹介した。

This exhibition overviewed the artistic career of Claude Monet (1840-1926) through 97 pieces of his work loaned from worldwide collectors, including Musée d'Orsay in Paris.

Known as leading Impressionist painter, Monet is also one of the most important artists linking early modern and contemporary art. The exhibition showcased not only an overview of Monet's art by presenting major works from his earliest to his later period, it also demonstrated his very modern sensibility and the influence he exerted on ensuing artists by tracing the stylistic changes of his art and by comparing his work with those of artists active today.

The exhibition consisted of 14 sections arranged in five chapters - Ch.1: Modernity (Modernity), Ch.2: Impression (Light, Tones, Colors), Ch.3: Composition (Simplicity, Japonisme, Planar Composition, Reflection), Ch.4: Series (Rhythm, Form, Variation, Ephemeral), Ch.5: Water Lilies and Garden (Brushwork, Synthesis). For each chapter, a total of 26 works by later artists who were inspired by Monet's art were also exhibited. In addition, a section portraying Japanese who visited Monet at his home in Giverny was included in the exhibition. This introduced rich cultural exchanges between Japanese and Monet who favored Japanese objects and was influenced by Japanese art.

会期：平成19(2007)年4月7日(土)～7月2日(月)

日数：76日

※通常の毎週金曜日夜間開館に加え、5月3日(木)、5日(土)、6月14日(木)、21日(木)、28日(木)に特別夜間開館を実施した。

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：704,420人(1日平均9,269人)

入場：有料

主催：国立新美術館、読売新聞社

共同企画：オルセー美術館

後援：外務省、フランス大使館、日本テレビ放送網

特別協賛：大和証券グループ

協賛：日本製紙、清水建設、花王、トヨタ自動車、KDDI、大正製薬、東レ、大日本印刷、損保ジャパン、大日本インキ化学工業

協力：日本航空、エールフランス航空、JR東日本

総合監修：セルジュ・ルモワヌ(オルセー美術館館長)、高階秀爾(美術史家)

監修：馬淵明子(日本女子大学教授)、南雄介(学芸課主任研究員)



講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)

●講演会「モネの芸術とその遺産」

日時：4月7日(土)14時～16時

講演：セルジュ・ルモワヌ(オルセー美術館館長)

参加者数：190人

●講演会「モネと日本」

日時：4月21日(土)14時～16時

講演：馬淵明子(日本女子大学教授)

参加者数：133人

●講演会「水の戯れ・光の夢—印象派の巨匠モネ」

日時：5月13日(日)14時～16時

講演：高階秀爾(美術史家)

参加者数：303人

●講演会「名画に隠れた謎を解く—画家が見たモネの真実」

日時：5月26日(土)14時～16時

講演：吉岡正人(画家)

参加者数：231人

●講演会「20世紀美術とモネ」

日時：6月3日(日)14時～16時

講演：南雄介(学芸課主任研究員)

参加者数：136人

関連事業：

●シンポジウム「モネ」

日時：5月12日(土)10時～17時

講演：

- ・「日本における印象主義の受容—クロード・モネを中心として」
松岡智子(倉敷芸術科学大学助教授)
- ・「モネの筆触」 六人部昭典(実践女子大学教授)
- ・「モネと視覚世界の変貌」 馬淵明子(日本女子大学教授)
- ・「モネの遺産—20世紀美術とモネ」 南雄介(学芸課主任研究員)
- ・「モネ その色彩と身体性」 松本陽子(画家)

司会：鈴木杜幾子(明治学院大学教授)、宮崎克己(美術史家)、天野知香(お茶の水女子大学助教授)

パネルディスカッション出演：高階秀爾(司会、美術史家)、松岡智子、六人部昭典、馬淵明子、南雄介、松本陽子

会場：国立新美術館 講堂

共催：日仏美術学会

参加者数：110人(有料参加者数)

●ワークショップ「親子のためのモネ教室」

日時：5月29日(火)16時～18時30分

講師：吉岡正人(画家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

参加者数：20組40人

カタログ：『大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産』

A4変型、280ページ、図版カラー125点・白黒58点、72,000部

出品目録：A3変型、三つ折、800,000部、英語版；45,000部

ポスター：B0判、100部

B1判(6種)、1,400部

B2判、16,000部

B3判(5種)、29,660部

B3変型(2種)、3,940部

チラシ：A4判、445,000部、先行配布；A4判、800,000部

関連記事：

婦人画報／平成19(2007)年4月7日

日経 おとなのOFF 7月号／6月6日

東京美術館案内／6月10日

読売新聞／6月12日／馬淵明子

迷宮美術館(BS-hi)／5月21日

新日曜美術館(NHK教育)／6月10日

他 多数

※出品リスト：pp.75-77



5月12日 シンポジウム

スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション Skin + Bones: Parallel Practices in Fashion and Architecture

従来の絵画や彫刻といった美術作品だけではなく、幅広い芸術表現を積極的に紹介していく館の方針に沿って、本展においては、現代の建築とファッションを併置し、それらに共通する特徴を分析・検証した。ロサンゼルス現代美術館(MOCA)が企画し同館で開催した展覧会を日本向けに充実させ、国内外の作品約250点を大きく4つのカテゴリーに分類し紹介した。

建築とファッションは、人類の誕生以来、人間の身体を守るシェルターとしての本質や、社会的・個人的あるいは文化的なアイデンティティの表出としての役割を共有してきた。このような共通点があるにもかかわらず、建築とファッションは、用途やスケール、素材が異なることから、これまで同じ組上に載せて語られることはほとんどなかった。

しかし、1980年代以降、特にコンピュータをはじめとする様々な技術革新が、より自由な造形を可能とし、表面と構造の関係に変化をもたらした。ファッション・デザイナーは布を用いて構築的で複雑な衣服を作り始め、建築の分野では仕立ての技術に通じる複雑なフォルムを生み出すなど、建築とファッションは急激に接近し、互いを刺激しあっている。本展では、思想、表面、構成、テクニックなどを切り口に、両者の共通点や差異を視覚的に検証することにより、我々にとって身近なテーマであるファッションと建築に関して新たな視点を提示した。

Following the Center's policy to show not only works of conventional art forms such as painting and sculpture but also works in a wide range of other art forms, the exhibition showed parallel practices in contemporary architecture and fashion, and explored their common characteristics. Having originally mounted at the Museum of Contemporary Art (MOCA) in Los Angeles, the NACT developed the exhibition for the Japanese audience. Some 250 works made by fashion designers and architects were shown, arranged in four categories.

Since the birth of humankind, architecture and fashion have shared the fundamental characteristic of protecting the human body as shelter. At the same time both have served as an expression of people's social, personal and cultural identity. Yet although they have these features in common, because of differences in purpose, scale and materials, they have seldom been analyzed from the same point of view.

Since the 1980s, however, computers in particular as well as other technological innovations have enabled greater freedom of form, bringing a change in the relationship between surface and structure. Fashion designers began to create intricate designs that were structural in character, using textile. Architects on the other hand, were beginning to design structures in complex forms that had something in common with tailoring techniques. Thus fashion and architecture drew dramatically closer and began to influence each other. By identifying in visual terms the common characteristics of the two—examining what unites and divides the two fields from the standpoint of ideas, surface, structure, technique and other aspects—this exhibition provided a fresh viewpoint on the theme of fashion and architecture, both of which are part of our everyday lives.

会期：平成19(2007)年6月6日(水)～8月13日(月)

日数：60日

会場：国立新美術館 企画展示室2E

入場者数：60,056人(1日平均1,001人)

入場：有料

主催：国立新美術館、ロサンゼルス現代美術館

協力：日本航空

展示協力：財団法人 京都服飾文化研究財団

巡回展：ロサンゼルス現代美術館(MOCA、アメリカ)

平成18(2006)年11月19日(日)～平成19(2007)年3月5日(月)

サマーセット・ハウス(イギリス)

平成20(2008)年4月24日(木)～8月10日(日)



講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)

●講演会「スキン+ボーンズ—建築とファッションにおける近似性」

日時：6月9日(土)14時～16時

講演：ブルック・ホッジ(ロサンゼルス現代美術館学芸員)

参加者数：175人

●講演会「スキン+ストラクチャー」

日時：7月7日(土)14時～16時

講演：伊東豊雄(建築家、出品者)

参加者数：264人

●講演会「スキン+ボーンズ展をいかに鑑賞するか」

日時：7月16日(月)14時～16時

講演：五十嵐太郎(東北大学准教授)

参加者数：82人

●講演会「身体のシェルター—建築とファッションの相関性を俯瞰する」

日時：7月21日(土)14時～16時

講演：深井晃子(京都服飾文化研究財団理事、チーフ・キュレーター)

参加者数：127人



関連事業：

●アーティスト・ワークショップ

・ボーンズ編ワークショップ「からだを遊ぶ！」

日時：7月29日(日)11時～16時30分

講師：楠原竜也(振付家・ダンサー/APE 主宰)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム、講堂、企画展示室2E他

対象：小学校3年生～6年生

参加者数：11人

・スキン編ワークショップ「3Dな布(スキン)を作る」

日時：8月4日(土)13時30分～16時30分

講師：菱沼良樹(ファッション・デザイナー/テキスタイル・デザイナー、出品者)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：一般

参加者数：22人

カタログ：『スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション』

B4変型、296ページ、図版カラー642点・白黒109点、
7,500部

出品目録：A4判、8ページ、50,000部

ポスター：B1判、1,000部

B3判、4,000部

B3変型、1,450部

チラシ：A4判、100,000部

関連記事：

Pen/平成19(2007)年6月15日

STUDIO VOICE/7月号

新建築/7月号

産経新聞/7月11日

流行通信/8月号

美術手帖/8月号

朝日新聞/8月1日

いけ花龍生/8月号

他 多数

※出品リスト：pp.78-81



6月9日 講演会



8月4日 ワークショップ

日展100年

The 100th Anniversary of NITTEN

文展(文部省美術展覧会)、帝展(帝国美術院美術展覧会)、新文展(文部省美術展覧会)、さらに戦後の日展と続く系譜を、実際の出品作によってたどり、近代日本美術の成果を俯瞰する展覧会。日本画、洋画、彫刻、工芸、書の各部門から代表作を選りすぐり、170作家の174点によって展観した。

明治末以来100年にわたって日本の美術界の中心軸となり、優れた作家を輩出したこの系譜が、近代美術に果たした役割を確認し、官展という舞台が近代美術において重要な活動の場であったことを意義付けることを意図した。

展覧会構成としては、第1章「文展」、第2章「帝展」、第3章「新文展」、第4章「日展」と時代順に章立てし、それぞれの章において日本画、洋画、彫刻などの部門を明確に仕切るのではなく、相互に関連づけるように展示し、それらを通じて時代の傾向が見えるように配慮した。

This exhibition provided an overview of the achievements of Japanese art of the early modern period by showing the actual works that have been exhibited at major exhibitions in Japan. The earliest of these was the *Bunten* [Ministry of Education Fine Arts Exhibition] and it was followed by the *Teiten* [Imperial Academy of Fine Arts Exhibition], the *Shin-Bunten*, and after World War II the *Nitten* [Japan Fine Arts Exhibition]. The exhibition showed 174 representative works by 170 artists and craftsmen in various fields ranging from *Nihonga* [Japanese-style painting] to *Yoga* [Western-style painting], sculpture, crafts, and calligraphy.

The exhibition was designed to highlight the pivotal role of this lineage of outstanding artists in early modern Japanese art over a period of 100 years beginning in the late Meiji era (1868–1912). It also aimed to show that the government-sponsored exhibitions were an important arena of artistic activities during this period.

The exhibition was composed of four chapters in chronological order- 1: *Bunten*; 2: *Teiten*; 3: *Shin-Bunten*; 4: *Nitten*. The different fields -*Nihonga*, *Yoga*, sculpture, crafts, and calligraphy-were not strictly separated but positioned in such a way as to show their mutual relationships and so facilitate understanding of the development of Japanese art through the 100 years.

会期：平成19(2007)年7月25日(水)～9月3日(月)

日数：36日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：135,486人(1日平均3,764人)

入場：有料

主催：国立新美術館、社団法人日展、日本経済新聞社

協賛：旭硝子、クレハ、清水建設、日本興亜損害保険、三菱商事

監修：内山武夫(前京都国立近代美術館長)

巡回展：宮城県美術館

平成19(2007)年9月23日(日)～11月4日(日)

広島県立美術館

平成20(2008)年2月19日(火)～3月30日(日)

富山県立近代美術館

平成20(2008)年4月12日(土)～5月18日(日)



講演会等：

●日展100年記念特別対談

日時：7月28日(土)14時～15時30分

講演：川崎鈴彦(日本画家)、中山忠彦(洋画家)、森野泰明(工芸作家)

司会：福永治(学芸課長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：180人



関連事業：

●～夏休み1日ART体験～「Oneday Art」

会場：国立新美術館 講堂

対象：小中学生

参加者総数：210人

- ・ 8月2日(木) 工芸美術(陶芸コース、染色コース)

陶芸講師：加藤令吉、谷口勇三

染色講師：春日井路子

参加者数：63人

- ・ 8月9日(木) 彫刻

講師：山田朝彦、中村優子、堀内秀雄、山崎茂樹

参加者数：33人

- ・ 8月16日(木) 書

講師：田岡正堂、佐川倩崖

参加者数：36人

- ・ 8月23日(木) 洋画(油彩コース、水彩コース)

油彩講師：田辺知治、湯山俊久

水彩講師：佐藤哲、松井亨

参加者数：49人

- ・ 8月30日(木) 日本画

講師：佐々木曜、橋本弘安、加藤晋、川田恭子

参加者数：29人

●桂歌丸が演じる円朝怪談 in 日展100年

日時：8月10日(金)19時～20時

出演：桂歌丸(落語家)

演目：三遊亭円朝作『真景累ヶ淵』より「深見新五郎」

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：212人

カタログ：『日展100年』

A4変型、380ページ、図版カラー296点、9,000部(初版部数)

出品目録：A4判、二つ折、130,000部

ポスター：B1判、200部

B2判、10,300部

B3判、2,000部

チラシ：A4判、二つ折、400,000部(うち割引券付；240,000部)

関連記事：

美術の窓／平成19(2007)年6月20日

月刊ギャラリー／7月1日

新美術新聞／7月15日／福永治(学芸課長)

月刊美術／7月20日

新日曜美術館(NHK教育)／8月12日

他 多数

※出品リスト：pp.82-86



8月10日 円朝怪談



8月30日 Oneday Art

パーソナル フォト アーカイブス
安齊重男の“私・写・録”1970-2006
ANZAI : Personal Photo Archives 1970-2006

安齊重男は、1939年、神奈川県厚木市に生まれ、1970年から今日まで、東京を中心に現代美術の現場を写真で撮影してきたアート・ドキュメンタリストである。

安齊の写真には二つの側面がある。ひとつは国内外の著名美術家のポートレートに代表される美術作品としての側面であり、いまひとつはアート・ドキュメントとしての側面である。こうした二面性は、さまざまな美術作品を紹介する一方、展覧会カタログを中心にした美術に関する資料の収集公開を掲げる当館の活動方針と重なるものがある。当館が自主企画する最初の日本人美術家の個展として安齊重男を選んだ理由もそこにある。

本展のタイトル、“私・写・録”は、安齊重男が自らの写真の本質を端的に表現するために考え出した言葉であり、そこには「私的な関心から写した現代美術の記録」という意味が込められている。

本展では、会場内にあえてほとんど壁を立てず、広大なホワイトキューブに安齊と美術館で選び出した約3,000枚の写真を床下から天井まで貼り出す展示方法を採用した。展示室を安齊重男の写真アーカイブ(記録庫)と見なし、1970年から2006年までの約40年間、日本の美術の表現が刻々と変化してきた様子を追体験する装置としてとらえた。周囲の壁は1970年から2006年までの記録写真を時系列に展示し、中央部の壁には安齊の代表的ポートレートを引き伸ばして展示することで、安齊重男の写真の特徴である二面性を表現した。また、会場の中心には、大量のネガをアクリルケースに入れてタワーとし、約40年間継続されてきた安齊の仕事、時間の蓄積をシンボリックに示した。

会期中、安齊重男による連続トークや大学生を対象にしたワークショップを実施し、安齊本人が現代美術史の目撃者として語り、自らの体験、芸術観を若い世代に継承する場とした。

Shigeo Anzai, an art-documentarist, who has been active in recording the contemporary art scene photographically in Tokyo and elsewhere since 1970, was born in 1939 in Atsugi City, Kanagawa Prefecture.

One may observe that there are two sides to Anzai's work: One is its artistic aspect, most obvious in series of portrait he has done of celebrated Japanese and foreign artists, and the other is the historical significance of his documentary photographs. The dual nature of his work overlaps with the NACT's activities. On the one hand, exhibiting a wide range of artworks; on the other, collecting and making available to the public exhibition catalogs and other art-related materials. That is why the NACT chose Anzai as the subject for its first solo exhibition by a Japanese artist.

The title of the show was chosen by Shigeo Anzai himself to express the essence of his photographs; it signifies "a record of contemporary art photographed out of personal interest."

In designing the show the NACT deliberately chose to install very few walls inside the exhibition space. The approximately 3,000 photographs chosen by the artist and the Center covered the four walls of what was essentially a vast "white cube." The exhibition gallery treated as Anzai's photographic archive, functioning as a device for visitors to experience vicariously Japanese artistic expression as it developed through nearly four decades. The documentary photographs were arranged chronologically from 1970 to 2006 on the surrounding walls, while a selection of portraits, blown up, were mounted on some walls in the center. This arrangement reflected the two-track approach that characterizes Anzai's work. In the center of the exhibition space was placed a tower consisting of an acrylic case filled with a large number of negatives, symbolizing the accumulation of work completed and time spent by Anzai in the course of nearly four decades of activity.

During the exhibition Anzai gave a series of talks and also held workshops for college students, speaking to a younger generation as an eyewitness of the history of contemporary art, and passing on his experience and views on art.

会期：平成19(2007)年9月5日(水)～10月22日(月)
日数：42日
会場：国立新美術館 企画展示室 2 E
入場者数：15,895人(1日平均378人)
入場：有料
主催：国立新美術館
協力：富士フィルムイメージング株式会社

講演会等：

●連続アーティスト・トーク「で、思い出すままに現代美術」

出演：安齊重男

会場：国立新美術館企画展示室 2 E

・第1回「アーティストからアート・ドキュメンタリストへ」

日時：9月8日(土)14時～15時

参加者数：76人

・第2回「ヨーロッパへ」

日時：9月15日(土)14時～15時

参加者数：72人

・第3回「日本の現代美術と海外」

日時：9月22日(土)14時～15時

参加者数：74人

・第4回「80年代の作家との共同作業」

日時：9月29日(土)14時～15時

参加者数：65人



- ・第5回「ギャラリーから都市へ」
(中止のため担当研究員によるギャラリー・トーク)
日時：10月6日(土)14時～14時30分
講演：長屋光枝(学芸課主任研究員)
参加者数：40人
- ・第6回「そして90年代へ」
日時：10月13日(土)14時～15時
参加者数：83人
- ・最終回「国際展へー横浜トリエンナーレ、越後妻有アート・トリエンナーレなど」
日時：10月20日(土)14時～15時
特別ゲスト：村田真(美術評論家)
参加者数：130人

●担当研究員による解説会

日時：9月17日(月)、10月14日(日)14時～14時30分
解説：平井章一(学芸課主任研究員)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：9月17日 15人、10月14日 35人

関連事業：

●大学生とのワークショップ

「アートまわりのおしゃべりー感じたこと、聞きたいこと」
日時：9月23日(日)、30日(日)14時～16時30分
講師：安齊重男
会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム
対象：大学生、大学院生
参加者数：23日 18人、30日 33人

カタログ：『安齊重男の“^{パーソナル}私・写・録”1970-2006』

A4変型、208ページ、図版カラー76点・白黒195点、
6,000部

出品目録：A4判、37枚(1970～2006年、1年につき1枚)、各10,000部
(全370,000部)

ポスター：B1判、800部
B2判、2,800部
B3判、1,200部
B3変型、1,400部

チラシ：A4判、100,000部

関連記事：

草月／平成19年(2007)年8月6日
北海道新聞／9月10日
毎日新聞／9月13日
読売新聞／9月13日
東京新聞／9月15日
新日曜美術館(NHK教育)／9月16日
日本経済新聞／9月16日
Herald Tribune／9月21日
marie claire／9月22日
art lover(フジテレビ)／9月28日
他 多数

※出品リスト：pp.87-138



9月22日 アーティスト・トーク



アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展
Milkmaid by Vermeer and Dutch Genre Painting : Masterworks from the Rijksmuseum Amsterdam

改修工事中のアムステルダム国立美術館の所蔵品から、風俗画における女性の表象をテーマにしながら、ヨハネス・フェルメールの《牛乳を注ぐ女》を含む油彩40点、素描・水彩9点、版画51点を出品し、17世紀から19世紀までのオランダ風俗画の多様な展開を紹介した。さらに、同館所蔵の華やかな工芸品16点に加えて、学校法人上野学園所蔵の古楽器11点、及び個人蔵の17世紀のテーブルのレプリカ1点を展示し、風俗画を享受していた裕福なオランダ上流市民の暮らしぶりを紹介した。

わずか三十数点しか現存しないフェルメール作品のなかでも最も評価が高い《牛乳を注ぐ女》の日本初公開の機会となるとともに、この名作が生まれた社会的・文化的背景、その表現の特質、後世の風俗画に与えた影響を明らかにする展覧会となった。

This exhibition explored the evolution of Dutch genre painting depicting women from the seventeenth to nineteenth centuries through selected pieces, including Johannes Vermeer's *Milkmaid* as a centerpiece, from the collection of the Rijksmuseum Amsterdam which is closing the major part of the building for refurbishment at the time. The development of Dutch genre painting was introduced with 40 oil paintings, 9 drawings and watercolors, and 51 prints. In addition, 16 beautiful examples of craftwork from the Rijksmuseum were shown, as well as 11 antique musical instruments from the collection of Ueno Gakuen Educational Foundation and a replica of seventeenth-century Dutch table from a private collection. The exhibition illustrated the affluent lifestyle of the upper-class citizens who owned and enjoyed genre paintings.

This was the first occasion in Japan to present *The Milkmaid*, which is recognized as one of the masterpieces from Vermeers's scant extant oeuvre of some 30 works. The exhibition provided visitors with an opportunity to understand the social and cultural background of this painting, its unique features, and the influence it exerted on later genre paintings.

会期：平成19(2007)年9月26日(水)～12月17日(月)
日数：72日
会場：国立新美術館 企画展示室1E
入場者数：493,886人(1日平均6,860人)
入場：有料
主催：国立新美術館、東京新聞、NHK、NHK プロモーション
後援：外務省、文化庁、オランダ王国大使館
協賛：昭和シェル石油、損保ジャパン、大日本印刷
協力：KLM オランダ航空
古楽器協力：学校法人上野学園
監修：ターコ・ディビッツ(アムステルダム国立美術館美術部長)、
中村俊春(京都大学教授)



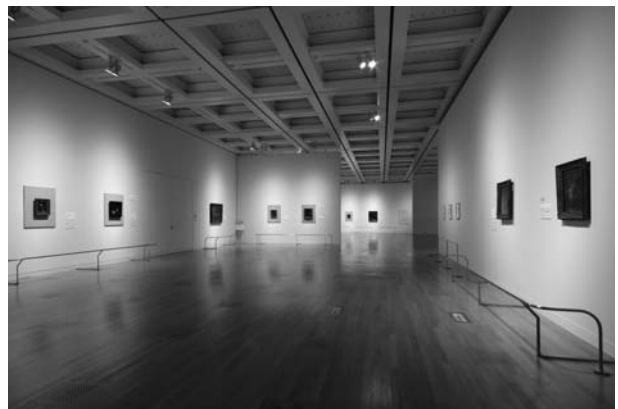
講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)
●講演会「フェルメール《牛乳を注ぐ女》」
日時：9月29日(土)14時～16時
講演：ターコ・ディビッツ(アムステルダム国立美術館美術部長)
参加者数：270人

●講演会「オランダ風俗画に描かれた女性のイメージ」
日時：10月13日(土)14時～16時
講演：中村俊春(京都大学教授)
参加者数：178人

●講演会「フェルメール《牛乳を注ぐ女》からレンブラントまで
オランダの黄金時代をよみとく」
日時：10月31日(水)14時～16時
講演：ピーター・グリーンナウェイ(映画監督)
参加者数：186人

●講演会「フェルメールとオランダ風俗画」
日時：11月24日(土)14時～16時
講演：小林頼子(目白大学社会学部教授)
参加者数：255人

●講演会「フェルメールに恋をして—36作品への旅」
日時：11月27日(水)14時～15時30分
講演：有吉玉青(作家)
参加者数：360人



関連事業：

●ロビー・コンサート

日時：10月19日(金)、11月30日(金)18時～18時30分

演奏：上野学園大学

大田光子(リコーダー、講師)、戸崎廣乃(チェンバロ、講師)、
金子浩(リュート、講師)、櫻井茂(ヴィオラ・ダ・ガンバ、准教授)

会場：国立新美術館 企画展示室1E前

参加者数：10月19日 180人、11月30日 265人

カタログ：『アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』

A4変型、240ページ、図版カラー116点・白黒120点、
30,000部

カタログ英語版：『MILKMAID BY VERMEER AND DUTCH GENRE
PAINTING : Masterworks from the Rijksmuseum Amsterdam』

A4変型、40ページ、図版白黒80点、3,000部

出品目録：A4変型、三つ折、450,000部

ポスター：B1判、750部

B2判、4,850部

B3判、22,500部

チラシ：A4判、270,000部、先行配布；A4判、326,000部

子供用チラシ：A4変型、三つ折、50,000部

関連記事：

クロワッサン／平成19年(2007)年9月25日

東京新聞／9月27日

朝日新聞／10月10日

産経新聞／12月5日／有吉玉青

新日曜美術館(NHK教育)／11月18日

他 多数

※出品リスト：pp.139-141



9月29日 講演会

文化庁芸術家在外研修制度40周年記念 『旅』展—異文化との出会い、そして対話—

The 40th Anniversary of the Japanese Government Overseas Study Program for Artists provided by the Agency for Cultural Affairs:
Journey—Encounters and Dialogues with Foreign Cultures

文化庁では、日本芸術界の将来を担う人材を育てるため、若手芸術家に海外研修の機会を提供する「芸術家在外研修(新進芸術家海外留学制度)」を昭和42年度から実施してきた。本展は、同制度が開始されて40周年を迎えるのを記念して、その成果を紹介するため企画されたものである。

海外への旅を通して多くの芸術家たちが技術を習得し、新知見を獲得してきた。しかし旅は同時に、異文化に出会うことで自らの文化や伝統を見つめなおす機会でもある。本展では旅を「異文化との出会い、そして対話」と位置付け、作品によって各々の芸術家たちの研修、すなわち旅の成果を紹介することとした。美術分野で研修を修了した、洋画・日本画・版画・彫刻部門の102人の芸術家達はその趣旨に賛同し、各々が「旅」をテーマに新作を制作し出品した。

In 1967 Japan's Agency for Cultural Affairs set up a scholarship program for young artists to study abroad, the Japanese Government Overseas Study Program for Artists. The program was aimed at fostering the promising young artists who will lead the next generation in the Japanese art scene. Commemorating the fortieth anniversary of the scholarships, this exhibition was conceived to show visitors the program's achievements.

Many artists acquired new techniques and new knowledge through their overseas journeys. By enabling people to come into contact with other cultures, journey also gives them an opportunity to re-examine their own culture and traditions. The exhibition was organized in the belief that journey represents "Encounters and Dialogue with Foreign Cultures." It was proposed that the works of artists who had participated in the program would be exhibited to show the outcome their overseas studies. The exhibition thus showed works by 102 artists in the fields of Western-style painting, *Nihonga* [Japanese-style painting], print making, and sculpture who endorsed this proposal and produced new works on the theme of "Journey" specifically for the exhibition.

会期：平成19(2007)年12月15日(土)～平成20(2008)年1月28日(月)
日数：27日
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：18,772人(1日平均695人)
入場：有料
主催：文化庁、国立新美術館、文化庁芸術家在外研修員の会美術部門
共催：読売新聞社
後援：文化庁芸術家在外研修員の会、社団法人日本美術家連盟

講演会等：

- 『旅』展トークの会(会場：企画展示室2E)
 - ・第1回：本江邦夫、奥谷博、最上壽之、池田良二、池田宗弘、遠藤彰子、柳澤紀子、福島瑞穂
日時：12月22日(土)13時30分～
参加者数：80人
 - ・第2回：武田厚、今井信吾、大成浩、檀田伸也、谷中武彦、北久美子、星野美智子、相田幸男
日時：12月23日(日)13時30分～
参加者数：70人
 - ・第3回：田中通孝、一色邦彦、絹谷幸二、田村能里子、久野和洋、内田あぐり、石井武夫、畠中光享
日時：1月19日(土)13時30分～
参加者数：120人
 - ・第4回：大谷省吾、馬越陽子、原健、峯田義郎、船坂芳助、相笠昌義、河内成幸、島谷晃
日時：1月20日(日)13時30分～
参加者数：60人



1月19日 トークの会

カタログ：『文化庁芸術家在外研修制度40周年記念 「旅」展—異文化
との出会い、そして対話—』
A4変型、240ページ、図版カラー301点・白黒28点、
2,700部

出品目録：A3判、二つ折、6,000部

ポスター：B1判、200部
B2判、800部
B3変型、450部

チラシ：A4判、120,000部

関連記事：読売新聞／平成19(2007)年12月12日
他 多数

※出品リスト：pp.142-143

没後50年 横山大観—新たなる伝説へ

YOKOYAMA TAIKAN Fifty Years On—A legend in the making

横山大観の没後50年を記念した大規模な回顧展である。本展覧会では、全長40メートルにおよぶ重要文化財《生々流転》(東京国立近代美術館蔵)の全巻を一挙に展示したほか、2002年に約60年ぶりにその存在が確認され、大きな話題になった《山に因む十題・龍躍る》(足立美術館蔵)を含む連作「海山十題」、《紅葉》(足立美術館蔵)と《夜桜》(大倉集古館蔵)の同時展示など、大観の代表的な作品が勢ぞろいした。さらに海外からはボストン美術館からの里帰り作品を展示するなど、半世紀の時の流れを経ても、“国民的画家”と呼ぶにふさわしい人気を集める横山大観の画業を振り返った。また、「新たなる伝説へ」とのタイトルを掲げ、大観芸術と密接な関わりのある古画を比較展示するなど、次代における大観評価の出発点となる記念碑的な展覧会を目指した。

This exhibition was a major retrospective commemorating the fiftieth anniversary of Yokoyama Taikan's death. The show included Taikan's most important works. It showed the hand-scroll *The Wheel of Life*, an Important Cultural Property, opened to its full length of some 40 meters, from the collection of the National Museum of Modern Art, Tokyo. Also shown was the series *Ten Sea Themes and Ten Mountain Themes*, including *Ten Mountain Themes: Dragon and Mt. Fuji* from the Adachi Museum of Art, which had long been lost and whose rediscovery in 2002 after some 60 years received much media attention. Other works included *Autumn Maples* (also from the Adachi Museum of Art), and *Cherry Blossoms at Night* (from the Okura Museum of Arts). In addition, some homecoming works by Taikan from the collection of the Museum of Fine Arts, Boston, were shown. Visitors were able to look back at the oeuvre of this artist, which fully justifies his status as an icon of Japanese art even half a century after his death. The Center intended that the exhibition would be in the nature of a monument and would serve as a point of departure for future studies of Taikan. To this end, under the title "A Legend in the Making" the exhibition included a separate section of antique paintings with strong connections to Taikan's art, for comparison.

会期：平成20(2008)年1月23日(水)～3月3日(月)

日数：36日

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：223,671人(1日平均6,213人)

入場：有料

主催：国立新美術館、朝日新聞社、没後50年横山大観展組織委員会

後援：日本美術院

協賛：株式会社新生銀行、大日本印刷株式会社

協力：財団法人横山大観記念館、ニッセイ同和損害保険株式会社

講演会等：

●講演会「横山大観 芸術と思想」

日時：2月2日(土)14時～15時30分

講演：古田亮(東京藝術大学大学美術館准教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：176人

●講演会「人間・横山大観」

日時：2月3日(日)14時～15時30分

講演：横山隆(財団法人横山大観記念館館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：123人

●展覧会担当者による解説会

日時：1月27日(日)、2月16日(土)14時～15時

解説：福永治(学芸課長)、柏木聖子(学芸課研究補佐員)

会場：国立新美術館 研修室A、B

参加者数：1月27日 74人、2月16日 90人

関連事業：

●東京メトロ主催「没後50年 横山大観」展開催記念

METRO MUSIC OASIS Vol.18 Dozan meets Taikan

藤原道山 伝統十革新→新たなる伝説へ

日時：1月17日(木)、18日(金)

出演：藤原道山(尺八奏者)

会場：東京メトロ銀座駅コンコース「銀座のオアシス」



カタログ：『没後50年 横山大観—新たなる伝説へ』
A4変型、254ページ、図版カラー78点、29,000部

出品目録：A4判、215,000部

ポスター：B0判、89部
B1判、572部
B2判、200部
B3判、11,180部

チラシ：A4判、395,200部

関連記事：

パンプキン／平成20(2008)年1月20日／柏木聖子(学芸課研究補佐員)

めざましテレビ(フジテレビ)／1月25日

新美術新聞／2月1日／福永治(学芸課長)

LOHAS SUNDAY(J-WAVE)／2月10日／ゲスト；福永治(学芸課長)

新日曜美術館アートシーン(NHK教育)／2月17日

他 多数

※出品リスト：pp.144-145



2月2日 講演会

平成19年度[第11回]文化庁メディア芸術祭
2007[11th]Japan Media Arts Festival

文化庁メディア芸術祭は、優れたメディア芸術作品を顕彰し、それらを鑑賞する機会を提供することにより、メディア芸術の創造とその発展を図り、もって日本の文化の向上と振興に資することを目的として、平成9(1997)年度から開催されている。第11回となる本展では、こうした趣旨に基づき、受賞作品展において受賞作品及び審査委員会推薦作品の展示を行うとともに、「アートとエンターテインメントの融合」及び「表現とテクノロジーの進化」を実体験することができる展示環境を構築し、国内外の優秀なメディア芸術作品の展示・紹介を行うための関連事業を併催した。

The Japan Media Arts Festival sponsored by the Agency for Cultural Affairs has been held annually since 1997; it was established in order to encourage the creation and development of media arts. The 2007 Japan Media Arts Festival, the eleventh in the series, showed prize-winning works and works commended by the Adjudicating Committee. In addition, the exhibition area was constructed on the themes of "Fusion of Art and Entertainment" and "Expression and Technological Evolution," where visitors could get hands-on experience of media artworks by both Japanese and foreign artists.

会期：平成20(2008)年2月6日(水)～2月17日(日)
日数：11日
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：40,553人(1日平均3,687人)
入場：無料
主催：文化庁メディア芸術祭実行委員会(文化庁、国立新美術館、CG-ARTS協会)



講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)

●受賞者シンポジウム

・アート部門受賞者シンポジウム

日時：2月8日(金)18時～19時30分

司会：原田大三郎(アート部門主査/多摩美術大学教授)

出演：ソニア・チッラリ(優秀賞『Se Mi Sei Vicino(If you are close to me)』)、エフィー・ウー(奨励賞『Super Smile』)

参加者数：32人

・アニメーション部門受賞者シンポジウム

日時：2月17日(日)13時30分～15時

司会：鈴木伸一(アニメーション部門主査、アニメーション監督)

出演：原恵一(大賞『河童のクゥと夏休み』)、山村浩二(優秀賞『カフカ田舎医者』)、辻真先(功労賞/アニメ脚本家・ミステリ作家)

参加者数：232人

・エンターテインメント部門受賞者シンポジウム1

日時：2月11日(月)16時～17時30分

司会：水口哲也(エンターテインメント部門主査、プロデューサー)

出演：太田敬三(大賞『Wii Sports』)、小島秀夫(優秀賞『METAL GEAR SOLID 4 GUNS OF THE PATRIOTS』)、辻本良三(優秀賞『MONSTER HUNTER PORTABLE 2nd』)

参加者数：242人

・エンターテインメント部門受賞者シンポジウム2

日時：2月16日(土)13時30分～15時

司会：福井信蔵(エンターテインメント部門審査委員、クリエイティブディレクター)、田中秀幸(エンターテインメント部門審査委員、アートディレクター)

出演：田中英生(優秀賞『気づいていますか。』)、勅使河原一雅(優秀賞『DAYDREAM』)

参加者数：71人

・マンガ部門受賞者シンポジウム

日時：2月11日(月)13時30分～15時

司会：モンキー・パンチ(マンガ部門主査、マンガ家)、しりあがり寿(マンガ部門審査委員、マンガ家)

出演：武富健治(優秀賞『鈴木先生』)、白井弓子(奨励賞『天頭祭』)

参加者数：255人

●テーマシンポジウム

・「アジアからの文化力—アジアのアートフェスティバルの可能性と展望—」

日時：2月7日(木)16時～17時30分

司会：長谷川祐子(アート部門審査委員、キュレーター)

出演：パク・イルホ(第5回ソウル国際メディアアートビエンナーレ 総監督)、ザン・ガー(SYNTHETIC TIMES—media art CHINA 2008ディレクター)

参加者数：49人

・「アートとテクノロジーの融合—何を生み出したか？何を生み出すのか？—」

日時：2月14日(木)16時～17時30分

司会：原島博(アート部門審査委員、東京大学大学院教授)

出演：坂根巖夫(情報科学芸術大学院大学名誉学長、多摩美術大学客員教授)、鈴木康広(東京大学先端科学技術研究センター特任助教)、久納鏡子(メディアアーティスト)

参加者数：132人

・「なぜ、日本のマンガは世界を征したのか？」

日時：2月15日(金)18時～19時30分

出演：浜野保樹(メディア芸術祭運営委員、東京大学大学院教授)、里中満智子(マンガ家)、松谷孝征(手塚プロダクション代表取締役社長)

参加者数：102人

関連事業：

●Media Art in the World プレゼンテーション+作品上映会

会場：国立新美術館 講堂

・「OIAF(オタワ国際アニメーションフェスティバル/カナダ)」

日時：2月7日(木)13時30分～15時

出演：ケリー・ニール(OIAF マネージングディレクター)

参加者数：79人

・「SIGGRAPH Electronic Theater(シーグラフ・エレクトロニックシアター/アメリカ)」

日時：2月8日(金)11時～12時(特別講演)、

10日(日)15時45分～17時45分、11日(月)10時30分～12時30分

出演：ポール・デベヴェック(SIGGRAPH 2007 コンピュータアニメーションフェスティバルチェア)

参加者数：8日56人、10日296人、11日206人

・「SICAF(シカフ/韓国)」

日時：2月8日(金)13時～14時30分

出演：ジニー・チュウ(SICAF プログラマー兼マネージャー、SIGGRAPH ASIA 2008 コンピュータアニメーションフェスティバルチェア)

参加者数：47人

・「transmediale(トランスメディアール/ドイツ)」

日時：2月15日(金)15時～16時30分

出演：ステファン・リーケレス(transmedialeプロジェクトマネージャー兼キュレーター)

参加者数：47人

●作品上映

上映日：2月7日(木)、14日(木)、15日(金)、16日(土)、17日(日) 全10回

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：1,128人

●アジア学生アニメコラボレーション発表会

日時：2月8日(金)16時～17時

会場：国立新美術館 講堂

ディレクター：中谷日出(NHK 解説委員)

講師：伊藤有壱(アニメーション作家)、今敏(アニメーション監督)

うた：サンブラザ中野くん(爆風スランプ)

制作期間：2月6日(水)～2月8日(金) 2泊3日合宿形式

参加：アジアからの留学生と日本人学生 13人

参加校：岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー、京都精華大学、女子美術大学、東京藝術大学、東京工芸大学、東京造形大学、武蔵野美術大学



2月8日 受賞者シンポジウム

会期中、下記の特別展示を行った。

●第13回学生 CG コンテスト 受賞作品展

主催：CG-ARTS 協会

協力：キャノンマーケティングジャパン株式会社、日本シーゲイト株式会社

●Media Art in the World 展示

合計50のメディア芸術関連フェスティバル及び10の国際巡回フェスティバル・学会についての紹介展示

●先端技術ショーケース'08—未来のアート表現のために—

主催：文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構

協力：日本バーチャルリアリティ学会 アート&エンタテインメント研究委員会

カタログ：『第11回文化庁メディア芸術祭 受賞作品集』

A4判、112ページ、図版カラー334点・白黒90点

関連記事：

NEWS 23(TBS)／平成20(2008)年2月12日

他 多数

※出品リスト：pp.146-149

アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち
Artist File 2008—The NACT Annual Show of Contemporary Art

「アーティスト・ファイル」展は、現在の美術動向を、国立新美術館が独自の視点で切り取って毎年定期的に紹介していく、新しい展覧会プロジェクトである。特に決まったテーマを設けることなく、学芸スタッフが推薦する作家、紹介したい作家を持ち寄ったなかから、今回は、エリナ・ブロテルス(フィンランド)、市川武史、ポリクセニ・パパペトルー(オーストラリア)、佐伯洋江、さわひらき、白井美穂、祐成政徳、竹村京の8名の作家を選び出し、グループ展を構成した。8名の作家は、写真、映像、インスタレーション、ドローイングなど、それぞれにおもな活動領域が異なっており、また世代や出自、在住する国・地域などもさまざまである。個々の作家に、展示プランに合わせて独立した展示空間を提供し、個展の集合体のような展示を試みた。

準備期間が比較的短かったにもかかわらず、8名の作家は、それぞれ熱意をもって取り組み、新作を中心に、多様な表現メディアによる作品が広い展示空間を生かしながら作家別に展開される、充実した展示となった。カタログについても、個々の作家を分冊としたファイル形式のカタログを制作するとともに、展示写真や展示作業の記録写真を収めた展覧会ドキュメントも、刊行することができた。また、すべての出品作家によるアーティスト・トーク、もしくはワークショップを実施し、観客が作家の人となりや考えに触れる機会を提供するように努めた。総合的に見れば、年次展としての「アーティスト・ファイル」展の初回として、展覧会のさまざまな要素のフォーマットを定め、性格をアピールするとともに、幅広い層の観客に、現代の新しい芸術表現の魅力を伝えることができたものと思われる。

“Artist File” is an annual show of contemporary art, that introduces creative talents from Japan and abroad, who work in a wide range of media. This exhibition intends to portray the profile of art of our time. Without setting any particular themes, we have selected the following eight artists for the first turn of this project: Elina Brotherus (Finland), Takefumi Ichikawa, Polixeni Papapetrou (Australia), Hiroe Saeki, Hiraki Sawa, Mio Shirai, Masanori Sukenari, and Kei Takemura. They take a variety of artistic forms, including photography, drawing, video and installation, presenting a diversity of ages, places of origin, and countries and regions of residence. Each artist was allocated his or her own independent exhibition space within the gallery, and this enabled visitors to appreciate each individual artist's work as if at a solo show.

In spite of the relatively short notice they were given, the eight artists set about putting their respective shows together with great enthusiasm. The exhibits, centered on new works in a range of media, made good use of the ample exhibition space and offered visitors a comprehensive experience. The exhibition catalog similarly took the form of separate booklets contained in a folder. A booklet documenting the exhibition including an installation view at the gallery was also provided. The show also strove to give visitors a chance to get an idea of the exhibiting artists' personalities and thoughts by organizing events for each artist, either a talk or a workshop. Overall, this “Artist File” exhibition, as the first turn of annual project, was able to establish the format of its various elements and to attract the public to its unique character. We believe that it succeeded in transmitting to a wide range of visitors the richness, vitality and potentiality of continuously diversifying artistic expression of today.

会期：平成20(2008)年3月5日(水)～5月6日(火)
日数：55日(うち19年度；24日)
会場：国立新美術館 企画展示室2E
入場者数：13,005人(3月31日まで)(1日平均542人)
入場：有料
主催：国立新美術館
協力：日本航空



講演会等：(会場：国立新美術館 講堂)

●アーティスト・トーク

日時：3月9日(日)14時～17時

講演：ポリクセニ・パバベトルー、エリナ・プロテルス(出品作家)

参加者数：68人

●アーティスト・トーク

日時：3月20日(木)14時～16時

講演：竹村京、佐伯洋江(出品作家)

参加者数：70人

●アーティスト・トーク

日時：3月23日(日)14時～16時

講演：さわひらき(出品作家)

参加者数：98人

関連事業：

●竹村京 パフォーマンス「May I enter?2」

日時：3月7日(金)18時30分～19時30分

出演：竹村京(出品作家)

会場：国立新美術館 企画展示室2E

参加者数：56人

●アーティスト・ワークショップ「ヒューマンサイズ・プロジェクト
～つくろう！自分サイズのバルーン！～」

日時：3月15日(土)、16日(日)13時30分～16時

講師：市川武史(出品作家)

会場：国立新美術館 講堂他

対象：子どもから大人まで

参加者数：15日 19人、16日 27人

カタログ：『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』

A4変型、9分冊、箱付き、作家ファイル各32ページ×8冊・イントロダクション8ページ(計264ページ)、図版カラー432点・白黒46点、4,000部

記録集(『展覧会ドキュメント』)：A4変型、40ページ、図版カラー24点・白黒17点、2,000部

出品目録：A4変型、二つ折、27,000部

ポスター：B1判、1,500部

B3判、4,000部

B3変型、2,000部

チラシ：A4判、100,000部

関連記事：

Weekly ぴあ／平成20(2008)年2月28日

L25／2月29日

STUDIO VOICE／3月1日

ELLE DECO／3月7日

InRed／3月7日

BRUTUS／3月15日

美術手帖／3月17日

GQ JAPAN／3月24日

エスクァイア／3月24日

ENTER MAX(エフエム東京)／3月17日／ゲスト；南雄介(学芸課主任研究員)

他 多数

※出品リスト：pp. 150-151



3月23日 アーティスト・トーク



モディリアーニ展

Modigliani et le Primitivisme

アメデオ・モディリアーニ(1884-1920)の14年に渡る画業を、プリミティヴィスムを切り口にしながら、4章構成で紹介。第1章ではパリ到着直後の初期作品、第2章ではアフリカやオセアニアなどの民族美術の影響を強く反映した(カリアティッド)の作品群、第3章では実際の人物をモデルにした肖像画への転換期の作品、そして第4章で独自の様式を確立した肖像画を展示し、編年的に画風の展開を跡づける構成をとった。

This exhibition traced the fourteen-year artistic development of Amedeo Modigliani (1884-1920), focusing on his engagement with primitivism. It consisted of 4 chapters, following the development of his style in chronological order. Chapter 1 showed his early work dating from immediately after his arrival in Paris in 1906. Chapter 2 featured his paintings and drawings of Caryatids, which reflect the strong influence of African, Oceanic, and other ethnic art. In chapter 3 were exhibited works of Modigliani's transitional period, when he was painting portraits of real people. Finally chapter 4 showed portraits from his mature period, when he established his own distinctive style.

会期：平成20(2008)年3月26日(水)～6月9日(月)

日数：66日(うち19年度；6日)

会場：国立新美術館 企画展示室1E

入場者数：16,736人(3月31日まで)(1日平均2,789人)

入場：有料

主催：国立新美術館、日本経済新聞社

後援：フランス大使館

協賛：NEC、花王、KDDI、損保ジャパン、ダイキン工業、大日本印刷、トヨタ自動車、三井物産

協力：日本航空

監修：マルク・レストリニーニ(パリ・ピナコテーク美術館館長)

巡回展：国立国際美術館(大阪)

平成20(2008)年7月1日(火)～9月15日(月)

講演会等：

●講演会「モディリアーニとプリミティヴィスム」

日時：3月29日(土)14時～15時30分

講演：マルク・レストリニーニ(パリ・ピナコテーク美術館館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：121人

カタログ：『モディリアーニ展』

B5変型、256ページ、図版カラー156点・白黒7点、10,000部(初版部数)

出品目録：A4変型、二つ折、100,000部(初版部数)
フランス語版；1,000部

ポスター：B1判、200部

B2判、10,200部

B3判、1,000部

チラシ：A4判、800,000部(うち割引券付；500,000部)、
先行配布；A4変型、30,000部

関連事業：

●ワークショップ

・「粘土で顔を作ろう！」(小学校高学年対象)

日時：3月28日(金)10時～13時

講師：松田光司(明星大学日本文化学部造形芸術学科兼任講師、
NPO グラン・ルーヴル・オ・ジャポン理事)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

参加者数：13人

・「粘土で顔を作ろう！」(小学校低学年対象)

日時：3月28日(金)14時30分～17時30分

講師：松田光司(明星大学日本文化学部造形芸術学科兼任講師、
NPO グラン・ルーヴル・オ・ジャポン理事)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

参加者数：20人

※本展の平成20年度開催記録及び出品リストは、
『平成20年度 国立新美術館年報』に記載する。

3

美術団体等への展覧会会場提供

Provision of Exhibition Venues to
Artist Associations

平成19(2007)年4月より、全国的な活動を行っている美術団体等が実施する公募展を開始した。平成19年度は、全部で69の展覧会を開催し、入場者数は合計1,317,508人に上った。

また、展覧会開催に関わる各種作業が円滑に進行するよう、運営面ならびに施設・備品面における改善を含めた取り組みを行った。

Since April 2007, artist associations engaged in nationwide activities have been holding exhibitions at the Center. In fiscal 2007, 69 such exhibitions were held, visited by a total of 1,317,508 people. During the year, the Center refined its operating procedures and undertook improvements in its equipment and facilities in order to facilitate the smooth running of its activities.

平成19年度使用団体一覧

| 団体名 | 展覧会名 | 会期/日数 | 展示室 | 入場者数 |
|---------------|----------------------|---------------------------|---|---------|
| 水彩連盟 | 第66回水彩連盟展 | 4月4日(水) ～4月16日(月)/12日 | 3 A, 3 B | 16,122人 |
| 社団法人 創元会 | 第66回創元展 | 4月4日(水) ～4月16日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D | 22,083人 |
| 社団法人 示現会 | 60周年記念示現会展 | 4月4日(水) ～4月16日(月)/12日 | 2 A, 2 B, 2 C, 2 D | 25,055人 |
| 現代日本書家協会 | 第23回全国公募書道展 | 4月18日(水) ～4月30日(月)/12日 | 3 A | 10,491人 |
| 社団法人 光風会 | 第93回光風会展 | 4月18日(水) ～4月30日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D | 23,845人 |
| 社団法人 春陽会 | 第84回春陽展 | 4月18日(水) ～4月30日(月)/12日 | 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 B | 18,178人 |
| 国画会 | 第81回国展 | 5月2日(水) ～5月14日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B, 野外展示場 A, B, C, D | 59,125人 |
| 社団法人 日本新工芸家連盟 | 第29回日本新工芸展 | 5月16日(水) ～5月27日(日)/11日 | 3 A, 3 B | 9,835人 |
| 社団法人 太平洋美術会 | 第103回太平洋展 | 5月16日(水) ～5月28日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D | 14,009人 |
| 三軌会 | 第59回三軌展 | 5月16日(水) ～5月28日(月)/12日 | 2 A, 2 B, 2 C, 2 D | 16,538人 |
| 現代美術家協会 | 第63回現展 | 5月30日(水) ～6月11日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 1 C | 11,573人 |
| 第一美術協会 | 第78回第一美術展 | 5月30日(水) ～6月11日(月)/12日 | 1 D, 2 C, 2 D | 17,263人 |
| 日洋会 | 第21回日洋展 | 5月30日(水) ～6月11日(月)/12日 | 2 A, 2 B, 3 A, 3 B | 9,983人 |
| 日本水墨院 | 公募第22回日本水墨院展 | 6月13日(水) ～6月24日(日)/11日 | 3 A | 14,345人 |
| たぶろう美術協会 | 第42回たぶろう展 | 6月13日(水) ～6月25日(月)/12日 | 3 B | 8,016人 |
| 書象会 | 第46回書象展 | 6月14日(木) ～6月24日(日)/10日 | 2 C, 2 D | 12,846人 |
| 日本自由画壇 | 第33回日本自由画壇展 | 6月13日(水) ～6月25日(月)/12日 | 2 A, 2 B | 20,116人 |
| 財団法人 全国書美術振興会 | 第35回「日本の書展」 東京展 | 6月14日(木) ～6月24日(日)/10日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D | 18,031人 |
| アート未来 | 2007・12th 国際公募アート未来展 | 6月27日(水) ～7月9日(月)/12日 | 1 A | 7,023人 |

| 団体名 | 展覧会名 | 会期/日数 | 展示室 | 入場者数 |
|---|---------------------------------|-----------------------------|---|----------|
| 財団法人 陶芸文化振興財団 | 全国公募2007陶芸財団展 | 6月27日(水) ～7月8日(日)/11日 | 3 B | 17,763人 |
| 秋耕会 | 第32回秋耕展 | 6月27日(水) ～7月9日(月)/12日 | 1 B | 7,814人 |
| 東京イラストレーターズ・ソ サエティ | TOKYO illustration 2007 | 6月27日(水) ～7月9日(月)/12日 | 2 B | 7,313人 |
| 社団法人 日本彫刻会 | 第37回日彫展 | 6月27日(水) ～7月9日(月)/12日 | 3 A | 10,420人 |
| 財団法人 日本余暇文化振興会 楽習フォーラム アートクレイ 倶楽部 | 銀粘土でつくるシルバーアク セサリーコンテスト 2007 | 6月27日(水) ～7月9日(月)/12日 | 2 A | 5,593人 |
| 蒼騎会 | 第47回蒼騎展 | 6月27日(水) ～7月9日(月)/12日 | 1 C, 1 D | 12,378人 |
| 日本教育書道藝術院 | 第27回日本教育書道藝術院 同人書作展 | 6月27日(水) ～7月8日(日)/11日 | 2 C, 2 D | 10,853人 |
| 財団法人 毎日書道会 | 第59回毎日書道展 | 7月11日(水) ～8月5日(日)/23日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B | 66,530人 |
| 貞香会 | 第42回貞香書展 | 8月8日(水) ～8月20日(月)/12日 | 3 A | 7,044人 |
| 全国水墨画協会 | 第14回全国水墨画展 | 8月8日(水) ～8月20日(月)/12日 | 3 B | 13,139人 |
| 財団法人 日本通信美術学園 | 日美展(第12回総合水墨画展 ・第8回日美絵画展) | 8月9日(木) ～8月19日(日)/10日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D | 40,970人 |
| 読売書法会 | 第24回読売書法展 東京展 | 8月24日(金) ～9月2日(日)/9日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B | 25,575人 |
| 社団法人 二科会 | 第92回二科展 | 9月5日(水) ～9月17日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B, 野外展示場 A, B, C, D | 106,721人 |
| 行動美術協会 | 第62回行動展 | 9月19日(水) ～10月1日(月)/12日 | 1 C, 1 D, 2 C, 2 D, 野外展示場 D | 19,954人 |
| 新制作協会 | 第71回新制作展 | 9月19日(水) ～10月1日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 2 A, 2 B, 3 A, 3 B, 野外展示場 A, B | 32,187人 |
| 一期会 | 第42回一期展 | 10月3日(水) ～10月15日(月)/12日 | 3 A, 3 B | 14,383人 |
| 自由美術協会 | 第71回自由美術展 | 10月3日(水) ～10月15日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 2 A, 2 B, 野外展示場 A, B | 12,779人 |
| 一陽会 | 第53回一陽展 | 10月3日(水) ～10月15日(月)/12日 | 1 C, 1 D, 2 C, 2 D, 野外展示場 C, D | 9,820人 |
| 独立美術協会 | 第75回独立展 | 10月17日(水) ～10月29日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 2 A, 2 B, 3 A | 18,643人 |
| 社団法人 二紀会 | 第61回二紀展 | 10月17日(水) ～10月29日(月)/12日 | 1 C, 1 D, 2 C, 2 D, 3 B, 野外展示場 C, D | 29,266人 |
| AJAC | Go ahead! AJAC 第1回 AJAC 野外展 | 11月1日(木) ～11月11日(日)/10日 | 野外展示場 A | 3,064人 |
| 社団法人 日展 | 第39回日展 | 11月2日(金) ～12月9日(日)/33日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 2 E, 3 A, 3 B | 188,112人 |
| 土日会 | 第32回土日会展 | 12月12日(水) ～12月24日(月)/12日 | 3 A | 5,381人 |
| 日本表象美術協会 | 第34回日象展 | 12月12日(水) ～12月24日(月)/12日 | 3 B | 4,698人 |
| 特定非営利活動法人 国際架橋書会 | 第20回記念国際架橋書展 | 12月12日(水) ～12月24日(月)/12日 | 2 A | 3,150人 |

| 団体名 | 展覧会名 | 会期/日数 | 展示室 | 入場者数 |
|-------------------------|---|-----------------------------|--|---------|
| 白峰社 | 第25回記念白峰社書展 | 12月12日(水) ～12月24日(月)/12日 | 1 C, 1 D | 9,080人 |
| 雪舟国際美術協会 | 第14回雪舟国際美術協会展 | 12月12日(水) ～12月23日(日)/11日 | 1 A, 1 B | 13,914人 |
| 有限会社 全日本書芸文化院 | 第36回全書芸展 | 12月12日(水) ～12月24日(月)/12日 | 2 B, 2 C, 2 D | 5,740人 |
| 財団法人 独立書人団 | 第56回独立書展 | 1月9日(水) ～1月20日(日)/11日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 3 A, 3 B | 19,772人 |
| 亜細亜太平洋水墨画会 | アジア創造美術展 | 1月23日(水) ～2月4日(月)/12日 | 2 A | 2,039人 |
| 特定非営利活動法人 平泉会 | 第20回記念平泉展 ～楽しい手作り～ | 1月23日(水) ～2月4日(月)/12日 | 1 A | 16,763人 |
| Heart Art Communication | Heart Art in TOKYO 2008 第11回エイズチャリティー美術展 | 1月24日(木) ～2月4日(月)/11日 | 3 A, 3 B | 6,341人 |
| 国際書画連盟 | 第30回国際書画展 | 1月23日(水) ～2月4日(月)/12日 | 1 B, 1 C, 1 D | 9,510人 |
| 産経国際書会 | 第24回産経国際書展(新春展) | 1月23日(水) ～2月4日(月)/12日 | 2 B, 2 C, 2 D | 5,754人 |
| 立軌会 | 第60回立軌展 | 2月6日(水) ～2月18日(月)/12日 | 1 A | 9,152人 |
| 全日本アートサロン絵画大賞 展実行委員会 | 第17回全日本アートサロン絵 画大賞展 | 2月7日(木) ～2月18日(月)/11日 | 1 B | 3,634人 |
| 社団法人 日本中国水墨交流協会 | 第25回日本中国水墨画合同展 | 2月6日(水) ～2月18日(月)/12日 | 3 B | 3,756人 |
| 美術団体 等迦会 | 第40回記念等迦展 | 2月6日(水) ～2月18日(月)/12日 | 3 A | 4,339人 |
| あきつ会 | 第33回あきつ会書道展 | 2月6日(水) ～2月18日(月)/12日 | 2 A | 5,329人 |
| 新槐樹社 | 第52回新槐樹社展 | 2月6日(水) ～2月18日(月)/12日 | 1 C, 1 D | 10,671人 |
| 日本書作院 | 第48回日本書作院展 | 2月7日(木) ～2月17日(日)/10日 | 2 B, 2 C, 2 D | 18,552人 |
| 学校法人専門学校 東洋美術学校 | 第59回東洋美術学校卒業制作 展 | 2月20日(水) ～3月2日(日)/11日 | 3 A | 8,403人 |
| 現日会 | 第48回現日選抜書展 | 2月20日(水) ～3月3日(月)/12日 | 3 B | 7,009人 |
| 東京五美術大学連合卒業・ 修了制作展 | 平成19年度第31回東京五美術 大学連合卒業・修了制作展 | 2月21日(木) ～3月2日(日)/10日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D, 野外展示場 A, B, C | 63,799人 |
| 汎美術協会 | 2008汎美展 | 3月5日(水) ～3月17日(月)/12日 | 1 A | 5,654人 |
| 全国水墨画美術協会 | 第31回全日本水墨画秀作展 | 3月5日(水) ～3月16日(日)/11日 | 3 A, 3 B | 9,000人 |
| 社団法人 創玄書道会 | 第44回創玄展 | 3月6日(木) ～3月16日(日)/10日 | 1 B, 1 C, 1 D, 2 A, 2 B, 2 C, 2 D | 20,044人 |
| 社団法人 日本南画院 | 公募第48回日本南画院展 | 3月19日(水) ～3月30日(日)/11日 | 3 A, 3 B | 24,663人 |
| 日本美術会 | 第61回日本アンデパンダン展 | 3月19日(水) ～3月31日(月)/12日 | 2 A, 2 B, 2 C, 2 D | 12,998人 |
| 白日会 | 第84回白日会展 | 3月19日(水) ～3月31日(月)/12日 | 1 A, 1 B, 1 C, 1 D | 13,565人 |

入場者数合計 1,317,508人

公募展開催に関わる取り組み

●平成21年度使用団体の決定

決定時期：6月

決定団体：69団体

●会場使用辞退に伴う平成20年度使用団体の追加決定

決定時期：12月

決定団体：1団体

●平成22年度使用団体の募集

募集時期：2月

●使用団体への支援

「展示室等利用の手引き」「絵画及び書等平面作品の陳列に関するガイドライン」「公募展備品カタログ」等展覧会開催のための資料の作成・配付、公募展案内ダイヤルの構築、国立新美術館ホームページから使用団体ホームページへのリンク等、使用団体に対する展覧会開催支援を行った。

●展覧会観覧者への情報提供

定期的な案内チラシの作成・配布、ホームページでの開催案内など、展覧会開催に関する迅速な情報提供を行った。

公募展開催案内：年5回発行(平成19年度；vol. 0～4)、A4判(297×210mm)、各30,000部

●企画展との相互割引の導入及び推進

自主企画展『スキン+ボーンズ』展、『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』展、『アーティスト・ファイル2008』展及び共催展『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』、『旅』展、『没後50年 横山大観』展、『モディリアーニ展』において、公募展の観覧券持参者が割引料金にて観覧できるよう、また公募展において、上記自主企画展及び共催展の観覧券持参者が割引料金又は無料にて観覧できるよう、相互割引制度を導入した。



10月11日 一陽展

4

教育普及

Education and Public Programs

4-1 講演会等

Lectures, etc.

4-2 ワークショップ

Workshops

4-3 インターン、ボランティア

Internships and Volunteering

4-4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

来館者の作品鑑賞の充実とサポートを目的に、展覧会に合わせた講演会などを開催し、無料の鑑賞ガイドブックを作成・配布した。また、美術に触れ、美術に親しむ機会を提供するために、幅広い層を対象に普及関連イベントやワークショップを実施した。さらに、美術館活動への理解の促進や人材育成のために、インターンや学生ボランティアの受け入れを行った。

The Center implemented various initiatives to support and enhance visitors' appreciation of art, including lectures on relevant topics during exhibitions and the production and provision of free art guides. Through workshops and other cultural events, the Center provided diverse audience with opportunities to enjoy and learn about art. In addition, the Center's program to promote understanding of its activities and cultivate human resources gave interns and student volunteers an opportunity to gain work experience within the NACT's organization.

4-1 講演会等 Lectures, etc.

展覧会関連企画

『^{エトランジェ}異邦人たちのパリ1900-2005 ポンピドー・センター所蔵作品展』

●研究員による解説会

日時：4月1日(日)14時～15時

解説：平井章一(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：70人

『大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産』

(会場：国立新美術館 講堂)

●講演会「モネの芸術とその遺産」

日時：4月7日(土)14時～16時

講演：セルジュ・ルモワヌ(オルセー美術館館長)

参加者数：190人

●講演会「モネと日本」

日時：4月21日(土)14時～16時

講演：馬淵明子(日本女子大学教授)

参加者数：133人

●講演会「水の戯れ・光の夢—印象派の巨匠モネ」

日時：5月13日(日)14時～16時

講演：高階秀爾(美術史家)

参加者数：303人

●講演会「名画に隠れた謎を解く—画家が見たモネの真実」

日時：5月26日(土)14時～16時

講演：吉岡正人(画家)

参加者数：231人

●講演会「20世紀美術とモネ」

日時：6月3日(日)14時～16時

講演：南雄介(学芸課主任研究員)

参加者数：136人

●シンポジウム「モネ」

主催：日仏美術学会、国立新美術館

日時：5月12日(土)10時～17時

講演：

- ・「日本における印象主義の受容—クロード・モネを中心として」
松岡智子(倉敷芸術科学大学助教授)
- ・「モネの筆触」 六人部昭典(実践女子大学教授)
- ・「モネと視覚世界の変貌」 馬淵明子(日本女子大学教授)
- ・「モネの遺産—20世紀美術とモネ」 南雄介(学芸課主任研究員)
- ・「モネ その色彩と身体性」 松本陽子(画家)

司会：鈴木杜幾子(明治学院大学教授)、宮崎克己(美術史家)、天野知香(お茶の水女子大学助教授)

パネルディスカッション出演：高階秀爾(司会、美術史家)、松岡智子、六人部昭典、馬淵明子、南雄介、松本陽子

参加者数：110人(有料参加者数)

『スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション』
(会場：国立新美術館 講堂)

●講演会「スキン+ボーンズ—建築とファッションにおける近似性」
日時：6月9日(土)14時~16時
講演：ブルック・ホッジ(ロサンゼルス現代美術館学芸員)
参加者数：175人

●講演会「スキン+ストラクチャー」
日時：7月7日(土)14時~16時
講演：伊東豊雄(建築家、出品者)
参加者数：264人

●講演会「スキン+ボーンズ展をいかに鑑賞するか」
日時：7月16日(月)14時~16時
講演：五十嵐太郎(東北大学准教授)
参加者数：82人

●講演会「身体のシェルター—建築とファッションの相関性を俯瞰する」
日時：7月21日(土)14時~16時
講演：深井晃子(京都服飾文化研究財団チーフ・キュレーター)
参加者数：127人

『日展100年』

●日展100年記念特別対談
日時：7月28日(土)14時~15時30分
出演：川崎鈴彦(日本画家)、中山忠彦(洋画家)、森野泰明(工芸作家)
司会：福永治(学芸課長)
会場：国立新美術館 講堂
参加者数：180人

『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』

●連続アーティスト・トーク「で、思い出すままに現代美術」
出演：安齊重男(アート・ドキュメンタリスト)
会場：国立新美術館 企画展示室2E

・第1回「アーティストからアート・ドキュメンタリストへ」
日時：9月8日(土)14時~15時
参加者数：76人

・第2回「ヨーロッパへ」
日時：9月15日(土)14時~15時
参加者数：72人

・第3回「日本の現代美術と海外」
日時：9月22日(土)14時~15時
参加者数：74人

・第4回「80年代の作家との共同作業」
日時：9月29日(土)14時~15時
参加者数：65人

・第5回「ギャラリーから都市へ」
(中止のため担当研究員によるギャラリー・トーク)
日時：10月6日(土)14時~14時30分
講演：長屋光枝(学芸課主任研究員)
参加者数：40人

・第6回「そして90年代へ」
日時：10月13日(土)14時~15時
参加者数：83人

・最終回「国際展へ—横浜トリエンナーレ、越後妻有アート・トリエンナーレなど」
日時：10月20日(土)14時~15時
特別ゲスト：村田真(美術評論家)
参加者数：130人



7月7日



10月13日

●担当研究員による解説会

日時：9月17日(月)、10月14日(日)14時～14時30分

解説：平井章一(学芸課主任研究員)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：9月17日 15人、10月14日 35人

『アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』

(会場：国立新美術館 講堂)

●講演会「フェルメール《牛乳を注ぐ女》」

日時：9月29日(土)14時～16時

講演：ターコ・ディビッツ(アムステルダム国立美術館美術部長)

参加者数：270人

●講演会「オランダ風俗画に描かれた女性のイメージ」

日時：10月13日(土)14時～16時

講演：中村俊春(京都大学教授)

参加者数：178人

●講演会「フェルメール《牛乳を注ぐ女》からレンブラントまで
オランダの黄金時代をよみとく」

日時：10月31日(水)14時～16時

講演：ピーター・グリーンウェイ(映画監督)

参加者数：186人

●講演会「フェルメールとオランダ風俗画」

日時：11月24日(土)14時～16時

講演：小林頼子(目白大学社会学部教授)

参加者数：255人

●講演会「フェルメールに恋をして—36作品への旅」

日時：11月27日(水)14時～15時30分

講演：有吉玉青(作家)

参加者数：360人



11月24日

『没後50年 横山大観—新たなる伝説へ』

●講演会「横山大観 芸術と思想」

日時：2月2日(土)14時～15時30分

講演：古田亮(東京藝術大学大学美術館准教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：176人

●講演会「人間・横山大観」

日時：2月3日(日)14時～15時30分

講演：横山隆(財団法人横山大観記念館館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：123人

●展覧会担当者による解説会

日時：1月27日(日)、2月16日(土)14時～15時

解説：福永治(学芸課長)、柏木聖子(学芸課研究補佐員)

会場：国立新美術館 研修室 A, B

参加者数：1月27日 74人、2月16日 90人

『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』

(会場：国立新美術館 講堂)

●アーティスト・トーク

日時：3月9日(日)14時～17時

講演：ポリクセニ・ババベトルー、エリナ・プロテルス(出品作家)

参加者数：68人

●アーティスト・トーク

日時：3月20日(木)14時～16時

講演：竹村京、佐伯洋江(出品作家)

参加者数：70人

●アーティスト・トーク

日時：3月23日(日)14時～16時

講演：さわひらき(出品作家)

参加者数：98人



3月9日

『モディリアアーニ展』

●講演会「モディリアアーニとプリミティヴィスム」

日時：3月29日(土)14時～15時30分

講演：マルク・レステリーニ(パリ・ピナコテーク美術館館長)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：121人

共催企画等

●講演会「ドイツ・ロマン主義と現代美術」

日時：9月24日(月)14時～16時

講演：

・「ドイツ美術におけるロマン主義とは—フリードリヒ、リヒター、キーファー—」

ハンス・ディッケル教授(エアランゲン-ニュルンベルク大学、ドイツ)

・「ドイツ美術におけるロマン主義の“現在”」

仲間裕子教授(立命館大学)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：100人



11月8日

●講演会「クリスト・アンド・ジャンヌ＝クロード

現在進行中の2つのプロジェクト—“オーバー・ザ・リバー、コロラド州、アーカンサス川のプロジェクト”と“ザ・マスタバ、アラブ首長国連邦のプロジェクト”」

主催：国立新美術館

協力：財団法人三宅一生デザイン文化財団

日時：11月8日(木)15時～17時

講演：クリスト・アンド・ジャンヌ＝クロード(美術家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：265人

●講演会「ドクメンタ12を振り返って」

主催：国立新美術館

協力：GOETHE-INSTITUT ドイツ文化センター

日時：12月5日(水)15時～17時

講演：ルート・ノアック(「ドクメンタ12」キュレーター)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：135人



12月5日

●ADC 大学 トークセッション「アートディレクションの可能性」

主催：東京アートディレクターズクラブ、国立新美術館

日時：10月27日(土)、28日(日)

27日(土)

セッション A 10時～12時30分 永井一史、葛西薫、宮田識

セッション B 13時～15時30分 中島信也、大貫卓也、佐々木宏

セッション C 15時45分～18時 工藤青石、川口清勝、松永真

28日(日)

セッション D 10時～12時30分 服部一成、平野敬子、タナカノリユキ

セッション E 13時～15時30分 佐藤可士和、原研哉、佐藤卓

セッション F 15時45分～18時 佐野研二郎、副田高行、浅葉克己

会場：国立新美術館 講堂

延べ入場者数：1500人

●『第39回日展』関連イベント

主催：社団法人日展、国立新美術館

・講演会

開催日：11月3日(土)、17日(土)、12月1日(土)

会場：国立新美術館 講堂

参加人数：820人(全6回)

・映像による作品解説

開催日：11月3日(土)、4日(日)、17日(土)、12月1日(土)、2日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加人数：1,500人(全10回)

・親子鑑賞教室

開催日：11月11日(日)、18日(日)、25日(日)

会場：国立新美術館 講堂

参加人数：126組336人(全15教室)

・らくらく鑑賞会

開催日：11月5日(月)、12日(月)、19日(月)、12月3日(月)

会場：国立新美術館 研修室他

参加人数：41人(全4回)

●開館1周年記念特別講演「日本と西洋・近代美術の100年」

日時：1月19日(土)15時15分～17時

講演：

・「日本と西洋・近代美術の100年」 高階秀爾(美術史家)

・「トークセッション」 高階秀爾(美術史家)、内田あぐり(日本画家)、
畠中光享(日本画家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：175人

●日本色彩学会 第38回全国大会

主催：日本色彩学会、国立新美術館

日時：5月18日(金)10時30分～16時30分、19日(土)10時～18時、

20日(日)10時～17時20分

会場：国立新美術館 講堂、研修室

参加者数：475人

●アート・ドキュメンテーション学会 2007年度年次大会

主催：アート・ドキュメンテーション学会、国立新美術館

日時：6月23日(土)13時30分～17時30分、24日(日)10時～15時30分

会場：国立新美術館 講堂、研修室

参加者数：229人

●公開学術講演会「脳のなかのマチエール～質感の絵画技法と視覚のメカニズム～」

主催：日本色彩学会関東支部、画像色彩研究会、国立新美術館

日時：10月21日(日)15時～17時

講演：本吉勇(NTT コミュニケーション科学基礎研究所研究主任、
東京工業大学大学院准教授)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：90人

4-2 ワークショップ Workshops

●『大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産』 ワークショップ 「親子のためのモネ教室」

日時：5月29日(火)16時～18時30分

講師：吉岡正人(画家)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

参加者数：20組40人



5月29日

●『スキントボーンズ—1980年代以降の建築とファッション』 アーティスト・ワークショップ ボーンズ編「からだを遊ぶ！」

日時：7月29日(日)11時～16時30分

講師：楠原竜也(振付家・ダンサー/APE 主宰)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム、講堂、企画展示室2E他

対象：小学校3年生～6年生

参加者数：11人

ワークショップ記録写真スライドショーを、館内地下1階のディスプレイで約2ヶ月間上映。

●『スキントボーンズ—1980年代以降の建築とファッション』 アーティスト・ワークショップ スキン編「3Dな布(スキン)を作る」

日時：8月4日(土)13時30分～16時30分

講師：菱沼良樹(ファッション・デザイナー/テキスタイル・デザイナー)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：一般

参加者数：22人

ワークショップ記録写真スライドショーを、館内地下1階のディスプレイで約2ヶ月間上映。



7月29日

●『日展100年』～夏休み1日ART体験～「Oneday Art」

会場：国立新美術館 講堂

対象：小中学生

参加者総数：210人

・8月2日(木) 工芸美術(陶芸コース、染色コース)

陶芸講師：加藤令吉、谷口勇三

染色講師：春日井路子

参加者数：63人

・8月9日(木) 彫刻

講師：山田朝彦、中村優子、堀内秀雄、山崎茂樹

参加者数：33人

・8月16日(木) 書

講師：田岡正堂、佐川倩崖

参加者数：36人

・8月23日(木) 洋画(油彩コース、水彩コース)

油彩講師：田辺知治、湯山俊久

水彩講師：佐藤哲、松井亨

参加者数：49人

・8月30日(木) 日本画

講師：佐々木曜、橋本弘安、加藤晋、川田恭子

参加者数：29人

●『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』展関連企画 大学生とのワークショップ

「アートまわりのおしゃべり—感じたこと、聞きたいこと」

日時：9月23日(日)、30日(日)14時～16時30分

講師：安齊重男(アート・ドキュメンタリスト)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：大学生、大学院生

参加者数：23日 18人、30日 33人

●ADC 大学同時開催プログラム

「高校生のためのデザインワークショップ」

主催：東京アートディレクターズクラブ、国立新美術館

日時：10月20日(土)、21日(日)13時30分～17時30分

20日 「学校のシンボルマークを作ろう」

講師：松永真、中島祥文

21日 「自分のシンボルマークを作ろう」

講師：浅葉克己、永井一史、中島祥文

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：高校生

参加者数：20日 36人、21日 38人

●「わたしの家、わたしの服 ～着られるお家をつくろう～」

日時：12月1日(土)10時30分～16時30分

講師：山縣良和(ファッション・デザイナー)

mafuyu(ニットアーティスト)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

対象：小学校3年生～6年生

参加者数：23人

ワークショップ記録写真スライドショーを、館内地下1階のディスプレイで約1ヶ月間上映。

●「今日はちょっぴり画伯な気分～奥谷博先生と描く美術館～」

日時：1月27日(日)13時～16時30分

講師：奥谷博(『旅』展出品作家、文化功労者、日本芸術院会員)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：小学校4年生～中学校3年生

参加者数：12人

ワークショップ記録写真スライドショーを、館内地下1階のディスプレイで約2ヶ月間上映。

●「くんくんウォーク～美術館のにおいを探せ!～」

日時：2月16日(土)13時～17時30分

講師：井上尚子(アーティスト)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム他

対象：4歳以上

参加者数：29人

ワークショップ記録写真スライドショーを、館内地下1階のディスプレイで約2ヶ月間上映。

●『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』

アーティスト・ワークショップ「ヒューマンサイズ・プロジェクト ～つくろう!自分サイズのバルーン!～」

日時：3月15日(土)、16日(日)13時30分～16時

講師：市川武史(『アーティスト・ファイル2008』展出品作家)

会場：国立新美術館 講堂、研修室他

対象：子どもから大人まで

参加人数：15日 19人、16日 27人

●『モディリアーニ展』 ワークショップ

・「粘土で顔を作ろう!」

日時：3月28日(金)10時～13時

講師：松田光司(明星大学日本文化学部造形芸術学科兼任講師、NPO グラン・ルーヴル・オ・ジャポン理事)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：小学校高学年

参加者数：13人

・「粘土で顔を作ろう!」

日時：3月28日(金)14時30分～17時30分

講師：松田光司(明星大学日本文化学部造形芸術学科兼任講師、NPO グラン・ルーヴル・オ・ジャポン理事)

会場：国立新美術館 別館3階多目的ルーム

対象：小学校低学年

参加者数：20人



12月1日



3月16日

4 3 インターン、ボランティア

Internships and Volunteering

インターン

美術館事業に関心のある若手研究者や大学院生に、実践的な研究や活動の場を提供し、人材育成を図るためのインターンシップを引き続き行った。平成19年度は8人を受け入れた。

遠藤綾子 / 北川知美 / 篠田怜美 / 杉田このみ / 高橋麻衣子
沼下桂子 / アリーネ・ララ・ヘゼンデ / 渡辺あゆみ

サポート・スタッフ

美術館の活動に関心を持つ学生にボランティアによる活動支援を呼びかけ、実務体験の機会を提供するサポート・スタッフ制度を引き続き実施し、ボランティアの受け入れを行った。

平成19年度サポート・スタッフ 76人

4 4 その他の教育普及事業

Other Education and Public Programs

国立新美術館ガイドブック『アートのとびら Vol.2』

作品鑑賞の充実を図るため、『安齋重男の^{パーソナル ライト アーカイブ}私・写・録 1970-2006』の開催に合わせて、中学生以上を対象とした鑑賞ガイドブック『アートのとびら』を作成し、展覧会来場者に無料配布した。

平成19(2007)年9月5日発行、A5判、16ページ、図版白黒6点、21,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘

デザイン：桑畑吉伸



『ちいさなアーティスト・ファイル2008』

作品鑑賞の充実とサポートを目的に、『アーティスト・ファイル2008 現代の作家たち』の開催に合わせて、小学校高学年以上を対象とした鑑賞用ツールを作成し、展覧会来場者に無料配布した。

平成20(2008)年3月5日発行、A5判、四つ折、図版カラー8点、27,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘

デザイン：下田理恵



国立新美術館 施設ガイドブック『てくてくマップ』

美術館への理解を深めてもらうことを目的に、国立新美術館の建築や施設などの機能をわかりやすく紹介した、小学校高学年以上対象の無料の施設ガイドブックを作成した。

平成20(2008)年3月21日発行、A5判、四つ折、図版カラー13点、50,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：北川知美、篠田怜美(教育普及室インターン)

デザイン：斉藤紀久美



●「たてものたんけん2007夏」

日時：8月2日(木)、3日(金)、9日(木)、10日(金)、15日(水)、
17日(金)、22日(水)、24日(金)、29日(水)、30日(木)
15時～17時

対象：小学校3年生～6年生

参加者数：123人(全10回)

●学芸スタッフによる鑑賞ガイダンス及び施設見学ガイダンス

学校等、団体での来館者に対し、展覧会についての鑑賞ガイダンスを行った。また、子どもを対象に、国立新美術館の建築や施設などを紹介する施設見学ガイダンスを行った。

参加：74団体 3116人

●美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

全国の小・中学校等の教員と美術館の学芸員等を対象に、美術館を活用した鑑賞教育の充実と学校と美術館との連携を図ることを目的とした指導者研修を行った。

主催：独立行政法人国立美術館

日時：8月6日(月)～8日(水)

会場：東京国立近代美術館(6日)、国立新美術館(7日、8日)

参加者数：139人

●平成19年度独立行政法人国立美術館キュレーター研修

受入：1人(1月7日～26日)



8月10日

5

情報資料収集・提供

Collection and Provision of the Library
and Information Services

5-1 美術関連資料の収集と公開

Collection and Provision of the
Library Materials

5-2 JACプロジェクト

JAC Project

5-3 展覧会情報の収集と提供

Collection and Provision of the
Information Services

ホームページを通じて国立新美術館に関する基本情報を国内外に発信するとともに、全国の展覧会情報を収集し、ホームページ内に設けた検索システム「アート commons」や館内で提供した。

美術資料については、日本の展覧会カタログの網羅的収集に努めるとともに、美術に関する図書、特に近現代美術、デザイン、建築を中心とした図書を収集した。また、国際交流基金、オーストラリア大使館をはじめとする関係機関、全国の美術館、博物館、個人から、展覧会カタログ、図書、雑誌等の寄贈を受けた。これらの資料はアートライブラリーを通じて一般の利用に供するとともに、平成19年度から1969年以前の古い展覧会カタログ、紀要・年報、貴重資料についても、「特別資料閲覧」の制度を新設し、事前予約により、別館1階特別資料閲覧コーナーで利用に供することとした。一方、当館が開館以来刊行した企画展カタログ等の印刷物を、全国約350ヶ所、海外約50ヶ所の美術館、博物館、大学図書館等関係機関に送付した。

また、(財)国際文化交流推進協会から引き継いだ「JACプロジェクト」(全国から寄贈された日本の美術に関する展覧会カタログを、海外の美術研究機関4ヶ所に送付する事業)については、海外の研究者に対し、日本での展覧会活動と日本美術研究の成果を紹介するだけでなく、先方からも、「JAC IIプロジェクト」として海外での日本の美術に関する展覧会カタログの寄贈を受けた。

During fiscal 2007, the NACT website (<http://www.nact.jp/>) not only provided general information on the Center's activities to the public both domestically and internationally, but also offered gateway to "Art Commons", an online database of information related to art exhibitions throughout Japan.

In terms of collection development, the NACT continually engaged in building a comprehensive collection of exhibition catalogs produced in Japan, as well as other publications in the field of art, with particular emphasis on modern and contemporary visual art, design, and architecture. The Center received donations of materials such as exhibition catalogs, monographs, and periodicals from pertinent institutions and individuals nationwide, including the Japan Foundation and the Australian Embassy, to name a notable few. All of the aforementioned resources are accessible to the general public at the Center's Art Library. Rare, fragile, or vulnerable materials such as pre-1970 Japanese exhibition-related publications, academic journal, annual bulletins, may now be consulted by appointment at the staff-supervised reading room set up on the ground floor of the Annex building. Meanwhile, NACT publications since its opening were distributed to about 350 domestic and 50 international museums, university libraries, and other relevant organizations.

With regard to the Japan Art Catalog Project (JAC Project), taken over from the Japan Association for Cultural Exchange (ACE Japan), NACT kept collecting exhibition catalogs from domestic art institutions and sending them to the designated depository libraries in 4 international locations. The original intention of the project was to provide international art communities with the accessibility to research activities in Japan through exhibition-related publications, but it generated "JAC II Project", through which the Center receives donations of foreign published catalogs of Japanese art exhibitions.

5-1 美術関連資料の収集と公開

Collection and Provision of the Library

Materials

美術関連資料の収集

●収集方針

日本で開催された展覧会のカタログの網羅的収集を目指す。また、図書については、都内の既存国立美術館のライブラリー蔵書との重複を避け、特に近現代美術、デザイン、建築に関するものを積極的に収集する。

●所蔵資料数

図書・カタログ登録冊数

| | | 図書 | | カタログ | | 合計冊数 | |
|----|--------|---------|---------|----------|---------|----------|----------|
| 和書 | 購入 | 8,077 | (1,133) | 309 | (58) | 8,386 | (1,191) |
| | 受贈 | 7,998 | (2,269) | 43,027 | (9,065) | 51,025 | (11,334) |
| | 小計 | 16,075 | (3,402) | 43,336 | (9,123) | 59,411 | (12,525) |
| 洋書 | 購入 | 2,629 | (492) | 1,384 | (219) | 4,013 | (711) |
| | 受贈 | 1,305 | (435) | 2,274 | (704) | 3,579 | (1,139) |
| | 小計 | 3,934 | (927) | 3,658 | (923) | 7,592 | (1,850) |
| 計 | 20,009 | (4,329) | 46,994 | (10,046) | 67,003 | (14,375) | |

※()内は平成19年度増加冊数

逐次刊行物登録タイトル数

| 和雑誌 | 洋雑誌 | 年報・紀要類 |
|-----|-----|--------|
| 310 | 98 | 538 |

アートライブラリー(3階)

●利用統計

| | 開室日数 | 入室者数 | 閉架書庫出納冊数 | コピー枚数 |
|---------------|------|---------|----------|--------|
| 平成19(2007)年4月 | 26 | 17,387 | 352 | 1,469 |
| 5月 | 27 | 17,639 | 273 | 1,131 |
| 6月 | 26 | 13,850 | 286 | 1,249 |
| 7月 | 26 | 7,732 | 279 | 1,023 |
| 8月 | 27 | 11,969 | 401 | 1,815 |
| 9月 | 26 | 8,504 | 303 | 1,800 |
| 10月 | 26 | 9,253 | 314 | 1,794 |
| 11月 | 26 | 8,878 | 491 | 1,862 |
| 12月 | 21 | 6,790 | 294 | 1,227 |
| 平成20(2008)年1月 | 20 | 4,369 | 278 | 1,233 |
| 2月 | 25 | 6,731 | 347 | 1,251 |
| 3月 | 27 | 5,388 | 250 | 831 |
| 合計 | 303 | 118,490 | 3,988 | 17,115 |

●利用時間

開室時間：11時～18時

休室日：毎週火曜日(祝日の場合は開室し、翌日休室)、年末年始、特別整理期間

特別資料閲覧コーナー(別館1階)

●利用統計

開室日数：23日(1月10日よりサービス開始)

利用者数：8人

●特別資料閲覧の対象となっている資料

1969年以前の展覧会カタログ：2,006冊

貴重書：19冊

紀要・年報：503タイトル

閲覧室内参考図書：313冊

●利用時間

事前予約制

開室時間：毎週木曜日・金曜日、13時～17時

(木曜日・金曜日が祝日または休日にあたる場合、及び年末年始は休室)



5-2 JACプロジェクト

JAC Project

●送付先

フリーア美術館／アーサー・M・サックラー美術館図書室(スミソニアン協会)
 コロンビア大学エイヴリー建築美術図書館
 ハイデルベルク大学東洋美術史研究所図書室
 シドニー大学フィッシャー図書館

●送付資料数：1,955冊

| 内訳(冊) | 送付先 | 送付資料数 |
|-------|---------|-------|
| | フリーア | 720 |
| | コロンビア | 515 |
| | ハイデルベルク | 300 |
| | シドニー | 420 |

●「JACII プロジェクト」による受入資料数：130冊

| 内訳(冊) | 送付先 | 送付資料数 |
|-------|---------------|-------|
| | 北米日本研究資料調整協議会 | 50 |
| | フリーア | 27 |
| | コロンビア | 20 |
| | ハイデルベルク | 10 |
| | シドニー | 23 |

5-3 展覧会情報の収集と提供

Collection and Provision of the Information Services

アートコモンズ(展覧会情報検索システム)

平成 19 年度には全国の美術館、博物館、美術団体、画廊など 643 施設の展覧会情報 2,668 件を収集、平成 13(2001)年1月から平成 20(2008)年2月までの展覧会情報 12,207 件をインターネット上で提供した。



展覧会チラシ、ポスターの収集と展覧会情報提供

全国の美術館や博物館、美術団体、画廊などから送付される広報物、展覧会チラシやポスターの一部を、館内複数箇所にて掲示、配付し、来館者への情報提供を行った。



6

広報・出版

Publicity and Publications

6-1 印刷物

Publications

6-2 ホームページ

Website

6-3 広報活動

Publicity Activities

6-1 印刷物 Publications

カタログ Catalogue

●『大回顧展モネ 印象派の巨匠、その遺産』展覧会カタログ

平成19(2007)年4月7日発行、A4変型(280×225mm)、280ページ、
 図版カラー125点・白黒58点、72,000部

編集：セルジュ・ルモアンヌ(オルセー美術館館長)、高階秀爾(美術
 史家)、馬淵明子(日本女子大学教授)、南雄介、国立新美術館、
 読売新聞東京本社文化事業部

編集協力：インターパブリカ、三上豊

デザイン：祖父江慎十安藤智良(コズフィッシュ)

発行：読売新聞東京本社

●『スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション』展覧会
 日本語版カタログ

平成19(2007)年6月6日発行、B4変型(325×216mm)、296ページ、
 図版カラー642点・白黒109点、7,500部

日本語版監修：五十嵐太郎(東北大学大学院准教授)、深井晃子(京都
 服飾文化研究財団チーフ・キュレーター)

日本語版編集：国立新美術館 福永治、本橋弥生、加藤絢

英語オリジナル版デザイン：Tracey Shiffman with Jenny Yee and Ari
 Young (日本語版制作；印象社)

発行：国立新美術館



『日展100年』展覧会カタログ

平成19(2007)年7月25日発行、A4変型(275×200mm)、380ページ、
 図版カラー296点、9,000部(初版部数)

編集：国立新美術館、宮城県美術館、広島県立美術館、富山県立近
 代美術館、日本経済新聞社

翻訳：小川紀久子

デザイン：亀井伸二(W.O.DESIGN)

発行：日本経済新聞社



●『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』展覧会カタログ

平成19(2007)年9月5日発行、A4変型(280×225mm)、208ページ、
 図版カラー76点・白黒195点、6,000部

編集：国立新美術館

テキスト執筆：安齊重男、平井章一

撮影データ調査：長屋光枝、宮田有香

略歴・展覧会歴・文献目録作成：浅野智子

翻訳：クリストファー・スティヴンズ[あいさつ、テキスト]、白鳥
 真理子[凡例、略歴、展覧会歴]

調査補助：久保田恭子、大塚梓、尾崎由紀子、小野英二、小野寛子、
 風間泰子、栗原真未、佐藤秀介、津田久美恵、友田真理、松垣
 暁子、平野雅也、堀真子、高橋麻衣子、沼下桂子、渡辺あゆみ

デザイン：桑畑吉伸

発行：国立新美術館



●『アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』展覧会カタログ
 平成19(2007)年9月26日発行、A4変型(290×225mm)、240ページ、
 図版カラー116点・白黒120点、30,000部
 監修：中村俊春(京都大学教授)
 編集：国立新美術館、東京新聞
 執筆：青野純子(アムステルダム大学専任助手)、ヤン・ダーン・ファン・ダム(アムステルダム国立美術館)、ターコ・ディビッツ(アムステルダム国立美術館絵画部長)、エステー・ディールチェス(美術史家)、中村俊春、平川佳世(近畿大学准教授)、深谷訓子(尾道大学講師)、宮島綾子
 翻訳：[オランダ語文英訳]ベヴェリー・ジャクソン、ミハエル・ホイル、[邦文英訳]マーサ・マクリントク、[オランダ語文和訳]中村俊春、深谷訓子、[英文和訳]南雄介、宮島綾子、長谷川珠緒
 デザイン：梯耕治編集デザイン室
 発行：東京新聞、NHK、NHKプロモーション



●『没後50年 横山大観—新たなる伝説へ』展覧会カタログ
 平成20(2008)年1月22日発行、A4変型(297×247mm)、254ページ、
 図版カラー78点、29,000部
 編集：国立新美術館、横山大観記念館、朝日新聞社、古田亮(東京藝術大学大学美術館准教授)
 デザイン：亀井伸二(W.O.DESIGN)
 発行：朝日新聞社



●『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』展覧会カタログ
 ※本カタログは8冊の作家ファイルとイントロダクションによって構成されている「イントロダクション」
 「ファイル001 エリナ・プロテルス」 「ファイル005 さわひらき」
 「ファイル002 市川武史」 「ファイル006 白井美穂」
 「ファイル003 ポルクセニ・パパベトルー」 「ファイル007 祐成政徳」
 「ファイル004 佐伯洋江」 「ファイル008 竹村京」
 平成20(2008)年3月5日発行、9分冊、A4変型(280×210mm)、箱付(295×218×40mm)、4,000部
 作家ファイル各32ページ・イントロダクション8ページ(計264ページ)、
 図版カラー432点・白黒46点
 編集：国立新美術館 南雄介、本橋弥生、長谷川珠緒
 執筆：南雄介、長屋光枝、本橋弥生
 翻訳：クリストファー・スティヴンズ、スタンリー・N. アンダソン
 デザイン：下田理恵
 発行：国立新美術館



●『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』記録集
 「展覧会ドキュメント」
 平成20(2008)年3月31日発行、A4変型(280×210mm)、40ページ、
 図版カラー24点・白黒17点、2,000部

編集：国立新美術館 南雄介、本橋弥生、長谷川珠緒
 写真：安齊重男、大谷一郎
 デザイン：下田理恵
 発行：国立新美術館

●『モディリアーニ展』展覧会カタログ
 平成20(2008)年3月26日発行、B5変型(261×186mm)、256ページ、
 図版カラー156点・白黒7点、10,000部(初版部数)
 編集：国立新美術館 宮島綾子、久保田恭子、米田尚輝、国立国際美術館 安来正博、橋本梓、日本経済新聞社文化事業部
 論文執筆：マルク・レステリーニ(パリ・ピナコテーク美術館館長)、ジャクリヌ・ムンク(パリ市立近代美術館主任学芸員)、メリル・シークレスト(伝記作家)、安来正博
 作品解説執筆：マリー＝クリスティーヌ・ドクローク(ウィルデンスタイン研究所、パリ)
 制作/デザイン：美術出版デザインセンター 石塚肇、川添英昭
 発行：日本経済新聞社



●『大回顧展モネ 印象派の巨匠、その遺産』

ポスター



チラシ



A 4判(297×210mm)、445,000部
他 先行配布；A 4判、800,000部

B 1判(1030×728 mm) (6種)、
1,400部

他 B 0判；100部

B 2判；16,000部

B 3判(5種)；29,660部

B 3変型(2種)；3,940部

デザイン：平林奈緒美

(Plug-in Graphic)

●『スキン+ボーンズ—1980年代以降の建築とファッション』

ポスター



チラシ



A 4判(297×210mm)、100,000部

B 1判(1030×728 mm)、1,000部

他 B 3判；4,000部

B 3変型；1,450部

デザイン：梯耕治

●『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』

ポスター



チラシ



A 4判(297×210mm)、100,000部

B 1判(1030×728 mm)、800部

他 B 2判；2,800部

B 3判；1,200部

B 3変型；1,400部

デザイン：桑畑吉伸

●『アムステルダム国立美術館所蔵
フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』

ポスター



チラシ



A 4判(297×210mm)、270,000部

他 先行配布；A 4判、326,000部

B 1判(1030×728 mm)、750部

他 B 2判；4,850部

B 3判；22,500部

デザイン：梯耕治

●『日展100年』

ポスター



チラシ



A 4判(297×210 mm)、二つ折、
400,000部

(うち割引券付；240,000部)

B 1判(1030×728 mm)、200部

他 B 2判；10,300部

B 3判；2,000部

デザイン：大溝裕(Glanz)

●『没後50年 横山大観—新たなる伝説へ』

ポスター



チラシ



A 4判(297×210mm)、395,200部

B 1判(1030×728 mm)、572部

他 B 0判；89部

B 2判；200部

B 3判；11,180部

デザイン：梯耕治

●『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』
ポスター



チラシ



B 3 判 ; 4,000部

B 3 変型 ; 2,000部

A 4 判 (297×210mm)、100,000部

B 1 判 (1030×728 mm)、1,500部 デザイン：下田理恵

●『モディリアアーニ展』
ポスター



チラシ



A 4 判 (297×210mm)、800,000部
(うち割引券付 ; 500,000部)
他 先行配布 ; A 4 判、30,000部

B 1 判 (1030×728 mm)、200部
他 B 2 判 ; 10,200部
B 3 判 ; 1,000部

デザイン：左合ひとみ

フロアガイド、スケジュール類 Floor Guide, Exhibition Schedule, etc.

●国立新美術館利用案内
220×107 mm、二つ折、242,000部
表紙デザイン：佐藤可士和



外国語版：
英語版 150,000部
中国語版 60,000部
韓国語版 60,000部
フランス語版 60,000部
スペイン語版 60,000部
ドイツ語版 60,000部

●国立新美術館別館案内
220×107 mm、二つ折、40,000部
表紙デザイン：佐藤可士和



●国立新美術館展覧会スケジュール 2007. 4-9
210×100 mm、三つ折、230,000部



●国立新美術館展覧会スケジュール 2007.10-2008. 3
210×100 mm、三つ折、150,000部(表紙2種)



●国立新美術館施設概要

A4判(297×210 mm)、12ページ、12,000部、英語版；12,000部
表紙デザイン：佐藤可士和

●国立新美術館事業概要

A4判(297×210 mm)、16ページ、10,000部

美術館ニュース Newsletter

●国立新美術館 美術館ニュース No. 3

平成19(2007)年7月30日発行、A4判(297×210 mm)、8ページ、5,000部

表紙デザイン：佐藤可士和

●国立新美術館 美術館ニュース No. 4

平成19(2007)年10月31日発行、A4判(297×210 mm)、8ページ、5,000部

表紙デザイン：佐藤可士和

●国立新美術館 美術館ニュース No. 5

平成20(2008)年1月31日発行、A4判(297×210 mm)、8ページ、5,000部

表紙デザイン：佐藤可士和



年報 Annual Report

●平成18年度 国立新美術館 年報

平成19(2007)年5月31日発行、A4判(297×210 mm)、80ページ、800部

表紙デザイン：佐藤可士和



ガイドブックその他 Guide Book, etc.

●国立新美術館ガイドブック『アートのとびら Vol. 2』

平成19(2007)年9月5日発行、A5判(210×148mm)、16ページ、図版
白黒6点、21,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘

デザイン：桑畑吉伸



●『ちいさなアーティスト・ファイル2008』

平成20(2008)年3月5日発行、A5判(210×148 mm)、四つ折、図版
カラー8点、27,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：吉澤菜摘

デザイン：下田理恵



●国立新美術館 施設ガイド『てくてくマップ』

平成20(2008)年3月21日発行、A5判(210×148 mm)、四つ折、図版
カラー13点、50,000部

編集：学芸課教育普及室

執筆：北川知美、篠田怜美(教育普及室インターン)

デザイン：斉藤紀久美



6-2 ホームページ Website

利用者に対して国立新美術館の活動をより魅力的に伝えることを目指して、開館1周年となる平成20(2008)年1月21日に「国立新美術館ホームページ」(<http://www.nact.jp/>)をリニューアルした。同時に、これまでの英語版ページに加えて中国語、韓国語、フランス語、スペイン語、ドイツ語の館内案内ページを開設し、多言語による情報提供の拡充を図った。

The NACT website (<http://www.nact.jp/>) was redesigned and relaunched on January 21, 2008, the Center's first anniversary. The Center is now providing the general information on its website in five language of Chinese, Korean, French, Spanish, and German pages in addition to English.

総アクセス数(閲覧されたページ数)：12,076,861件
 うち、英語ページ：177,028件
 ドイツ語ページ：1,222件
 スペイン語ページ：901件
 フランス語ページ：1,048件
 韓国語ページ：1,539件
 中国語ページ：1,538件
 ※英語以外のページは平成20(2008)年1月21日
 開設から3月31日までの件数



6-3 広報活動 Publicity Activities

メディア各社に対し、国立新美術館を周知するための活動として、展覧会やイベント等の情報、また休館日に関する情報を発信した。取材対応、展覧会プレスリリースの配信、記者発表会に加え、今年度は美術館の広報を目的としたラジオ局との共同イベント、書店での展覧会プロモーション活動、日本ファッション・ウィークへの協力を行い、美術愛好家のみならず、幅広い層への普及を図った。

The NACT kept the media informed about its scheduled exhibitions, events, and other activities, as well as information on opening hours.

During fiscal 2007 we publicized our activities to a broader public in various ways. In addition to dealing with requests from journalists, sending out press releases, and holding press conferences, the Center participated in the event in collaboration with radio network, promoted exhibitions in bookshops, and collaborated with "Japan Fashion Week in TOKYO".

平成19年度掲載記事、放映 Media Publicity April 2007 - March 2008

新聞

| No. | 紙名 | 発行 | 発行日 | 内容 |
|-----|----------------|----------|--------|---|
| 1 | 新美術新聞 | 美術年鑑社 | 4月21日 | 美術館紹介、館長インタビュー |
| 2 | 日本経済新聞 | 日本経済新聞社 | 5月8日 | ゴールデンウィーク入場者数 |
| 3 | 中国新聞 | 中国新聞社 | 5月9日 | 学芸課長インタビュー |
| 4 | 読売新聞 | 読売新聞社 | 7月26日 | 美術館紹介 |
| 5 | 朝日新聞 | 朝日新聞社 | 7月31日 | アトライブラリー紹介 |
| 6 | 朝日新聞 | 朝日新聞社 | 11月28日 | クリスト・アンド・ジャンヌ＝クロード講演会 |
| 7 | 新美術新聞 | 美術年鑑社 | 1月11日 | 運営課長、企画室長インタビュー |
| 8 | 毎日新聞 | 毎日新聞社 | 1月21日 | 美術館紹介 |
| 9 | 日経流通新聞 | 日本経済新聞社 | 1月30日 | 館長インタビュー |
| 10 | 東京新聞 | 中日新聞東京本社 | 2月22日 | 美術館紹介 |
| 11 | 毎日小学生新聞 | 毎日新聞社 | 2月28日 | 研究員インタビュー「学芸員の仕事について」 |
| 12 | Herald Tribune | 朝日新聞社 | 3月21日 | 『アーティスト・ファイル2008』研究員インタビュー、 『エミリー・ウングワレー展』 |

他 130件(当館把握件数)

雑誌

| No. 誌名 | 発行 | 発行日 | 内容 |
|---------------------|---|--------|--|
| 1 美術手帖 | 美術出版社 | 5月18日 | 美術館紹介、『スキントポーンズ』 |
| 2 流行通信 | INFAS パブリケーションズ | 8月12日 | 美術館、ミュージアムショップ紹介 |
| 3 東京の美術館を楽しむ | ソフトバンククリエイティブ | 10月上旬 | 研究員インタビュー、美術館紹介 |
| 4 芸術新潮 | 新潮社 | 11月24日 | 美術館紹介(館内家具)、『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』 |
| 5 日経ビジネス | 日経BP社 | 12月10日 | 館長インタビュー |
| 6 ARTiT | アートイット | 1月17日 | 『アーティスト・ファイル2008』さわひらき氏インタビュー |
| 7 美術の窓 | 生活の友社 | 1月20日 | 美術館紹介、運営室長インタビュー、『没後50年 横山大観』、『日展100年』、『モディリアーニ展』、『エミリー・ウングワレー展』 |
| 8 BRUTUS | マガジンハウス | 2月1日 | 美術館紹介、『スキントポーンズ』、『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』、『アーティスト・ファイル2008』 |
| 9 Weekly ぴあ | ぴあ | 2月7日 | 開館1周年(館長コメント)、『没後50年 横山大観』、『文化庁メディア芸術祭』 |
| 10 行遍天下 | 宏碩文化事業股份有限公司(台湾) | 8月7日 | 美術館紹介 |
| 11 藝術新聞 | 華藝文化事業有限公司(中国) | 9月1日 | 館長インタビュー、美術館紹介、『スキントポーンズ』 |
| 12 KULTUR AUSTAUSCH | Journal of International Perspectives (ドイツ) | 1月1日 | “The Future of Art Museum”(館長寄稿) |

他 350件(当館把握件数)

テレビ

| No. 放映番組名 | 放送局 | 放映日 | 内容 |
|-----------------|-----------|--------|-------------------------|
| 1 ちい散歩 | テレビ朝日 | 4月16日 | 美術館紹介 |
| 2 プレシャス&コンシャス | BS朝日 | 4月20日 | 六本木アート・トライアングル |
| 3 ズームイン!! SUPER | 日本テレビ | 5月8日 | 美術館紹介 |
| 4 知っとこ! | 毎日放送(TBS) | 5月12日 | 美術館、館内家具紹介 |
| 5 ファッション通信 | BSジャパン | 7月7日 | 『スキントポーンズ』 |
| 6 art lover | フジテレビ | 9月28日 | 『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』 |
| 7 いつみても波瀾万丈 | 日本テレビ | 10月21日 | 黒川紀章氏特集 |
| 8 はなまるマーケット | TBS | 12月11日 | ゲスト:佐藤可士和氏 |
| 9 科学大好き 土よう塾 | NHK(教育) | 2月16日 | 美術館紹介 |

他 30件(当館把握件数)

ラジオ

| No. 放送番組名 | 放送局 | 放送日 | 内容 |
|-------------------|--------|--------|------------------------------|
| 1 Tapestry | エフエム東京 | 6月26日 | 『スキントポーンズ』 |
| 2 COLOR YOUR DAYS | J-WAVE | 10月10日 | 『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』 |
| 3 トヨタハッピータウンサーキット | ニッポン放送 | 12月3日 | 美術館紹介 |
| 4 LOHAS SUNDAY | J-WAVE | 2月10日 | 『没後50年 横山大観』学芸課長インタビュー |
| 5 ENTERMAX | エフエム東京 | 3月17日 | 『アーティスト・ファイル2008』主任研究員インタビュー |

他 1件(当館把握件数)

その他、フリーペーパー、WEB等の掲載 262件(当館把握件数)

六本木アート・トライアングル

六本木に三角形を描くように位置する、国立新美術館、サントリー美術館、森美術館の3館は、芸術・文化の発展と地域の活性化を目指し、「六本木アート・トライアングル」としてさまざまな連携を図っている。平成19年度は「展覧会入場料の相互割引「あところ割」や、「六本木アート・トライアングル Map」の配布を行った。

●六本木アート・トライアングル Map 2007.4-9
国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
平成19(2007)年4月発行、257×106mm、四つ折

●六本木アート・トライアングル Map 2007.10-2008.3
国立新美術館、サントリー美術館、森美術館
平成19(2007)年10月発行、297×117mm、四つ折



三木哲夫 Tetsuo Miki

【講演等】・「版画展の今日—Prints Tokyo 2007と第75回版画展から見えてくるもの—」／『Prints Tokyo 2007』記念シンポジウム／4月8日／東京都美術館
 ・「関西現代版画史をめぐって」／『版という距離』シンポジウム／10月14日／京都芸術センター
 ・「国立新美術館の開館と今後の展望」／高知県立美術館連続講演シリーズ「ハードエッジ」「ミュージアム・コレクションを考える」／2月2日／高知県立美術館
 ・「創作版画の展開をたどって」／『日本の版画1941-1950 「日本の版画」とは何か』スペシャル講演会「近代日本の版画を考える」／2月9日／千葉市美術館

福永治 Osamu Fukunaga

【執筆】・『「日展工芸」スタイルの誕生」、[作品解説]沼田一雅／『日展100年』展覧会カタログ／7月／日本経済新聞社
 ・『「日展100年」官展系譜の役割と近代美術の成果』／『新美術新聞』7月21日／美術年鑑社
 ・「日展の100年」／『美術年鑑平成20年版』／1月／美術年鑑社
 ・「開館1周年を機に」／『国立新美術館ニュース』No.5(2月)／国立新美術館
 ・「没後50年 横山大観—新たなる伝説へ—」／『新美術新聞』2月1日／美術年鑑社
 【講演等】・「日展100年の歴史について」／日展100年記念特別対談(司会)／7月28日／国立新美術館
 ・「没後50年 横山大観」展覧会担当者による解説会／1月27日、2月16日／国立新美術館
 ・「美術の広がり」と表現／東北芸術工科大学卒業・終了展レセプション／3月26日／東京都美術館
 【海外出張】イタリア、ドイツ／8月22日～31日／国際美術展(第52回ヴェネツィア・ビエンナーレ、ミュンスター彫刻プロジェクト2007、ドクメンタ12)の調査のため

南雄介 Yusuke Minami

【執筆】・『「モネの遺産」についてのノート」、[章解説]「モネの遺産」(第II部)、[作品解説]9点／『大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産』展覧会カタログ／4月／読売新聞東京本社
 ・「大回顧展モネ」／『新美術新聞』4月11日／美術年鑑社
 ・「印象派の巨匠とその遺産—「大回顧展 モネ」から』／『聖教新聞』4月18日／聖教新聞社
 ・[作品解説]20点／『松本陽子作品集』／6月／ヒノギャラリー
 ・「幾何学的抽象彫刻」、「現代の具象彫刻」／多木浩二・藤枝晃雄監修『日本近現代美術史事典』／9月／東京書籍
 ・「福田尚代の作品について」／『福田尚代展 「無の語の詩」あるいは「雪の中の僧院』』展覧会カタログ／11月／T&S gallery
 ・「市川武史」、「ポリクセニ・ババベトルー」、「佐伯洋江」、「白井美穂の「芸術についての三部作」について」、「祐成政徳」／『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』展覧会カタログ／3月／国立新美術館
 【翻訳】・エステル・ディールチェス「台所の情景と台所をめぐる情景—フェルメールの影響としてのオランダ風俗画」、[作品解説]13点／『アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』展覧会カタログ／9月／東京新聞、NHK、NHK プロモーション
 【講演等】・「20世紀美術とモネ」／『大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産』講演会／6月3日／国立新美術館
 ・「モネの遺産—20世紀美術とモネ」／シンポジウム「モネ」／5月12日／国立新美術館
 ・「学芸員は何を考えているのか」／BankART スクール／3月18日、25日／BankART NYK

平井章一 Shoichi Hirai

【執筆】・「本展について」／『日本近代画家の絶筆』展覧会カタログ／5月／兵庫県立美術館、松本市美術館、富山県水墨美術館
 ・「安齊重男とその写真」／『安齊重男の“私・写・録”1970-2006』展覧会カタログ／9月／国立新美術館
 ・「ウェブ上の展覧会情報検索サイト—アートコモンズについて」／『国立新美術館ニュース』No.4(10月)／国立新美術館
 【講演等】・「異邦人たちのバリ1900-2005」展研究員による解説会／4月1日／国立新美術館
 ・「『絶筆』という名の神話」／『見果てぬ夢—日本近代画家の絶筆』展記念講演会／6月10日／兵庫県立美術館
 ・「安齊重男の“私・写・録”1970-2006」展担当研究員による解説会／9月17日、10月14日／国立新美術館
 【海外出張】・中華人民共和国／9月20日～28日、11月2日～9日／平成20年度企画展「アヴァンギャルド・チャイナ」に向けた調査のため

長屋光枝 Mitsue Nagaya

【執筆】・「転換期のドクメンタ」／『国立新美術館ニュース』No.3(7月)／国立新美術館
 ・「《Hako》をめぐって」／『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』展覧会カタログ／3月／国立新美術館

宮島綾子 Ayako Miyajima

【執筆】・「フランスの美術事情 コンセルヴァトゥール Coservateur と キュラトール Curateur」／『国立新美術館ニュース』No.2／国立新美術館
 ・「オランダ風俗画に描かれたレリーフをめぐって—ウィレム・ファン・ミリスの「窓枠絵」とフランソワ・デュケノワのレリーフ」／『アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』展覧会カタログ／9月／東京新聞、NHK、NHK プロモーション
 【翻訳】・[作品解説]9点／『アムステルダム国立美術館所蔵 フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』展覧会カタログ／9月／出版社；東京新聞、NHK、NHK プロモーション
 ・[章解説]「プリミティヴィズムの発見：バリ到着、ポール・アレクサンドルとの出会い」(第1章)、「実験的段階への移行：キャリアティッドの人物像—前衛画家への道」(第2章)、[作品解説]3点／『モディリアーニ展』展覧会カタログ／3月／日本経済新聞社

西野華子 Hanako Nishino

【執筆】・[作品解説]20点／『大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産』展覧会カタログ／4月／読売新聞社
 ・「産業化の象徴「駅」に詩情を見いだした巨匠のまなざし」／『読売ウィークリー』4月29日／読売新聞社
 ・「藤」クロード・モネ (『美術館・博物館情報』)／『読売新聞』4月29日(夕刊)／読売新聞社
 ・「描かれた夢と大地」／『エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家』展覧会カタログ／2月／読売新聞社
 ・「拡大する美術館—ニューミュージアムのリニューアル」／『国立新美術館ニュース』No.5(2月)／国立新美術館
 ・「エミリー・ウングワレー展—絡み合う白い線が象徴する生命力」／『読売ウィークリー』3月9日／読売新聞社
 【翻訳】・[作品解説]4点、[用語解説]、「ユートピア」(資料編)／『エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家』展覧会カタログ／2月／読売新聞社
 【海外出張】・オーストラリア／4月14日～28日／『エミリー・ウングワレー展—アポリジニが生んだ天才画家』出品作品の調査のため

本橋 弥生 Yayoi Motohashi Mäki Mantila

【執筆】・「触覚の構築」/『スキン+ボーンズ 1980年代以降の建築とファッション』展覧会カタログ/6月/国立新美術館
・「プレタポルテ(既製服)と皮膚」/『国立新美術館ニュース』No.3(7月)/国立新美術館
・「小さな青いアールト・パヴィリオン」/『国立新美術館ニュース』No.4(10月)/国立新美術館
・「白い静寂を映す鏡」,「記憶するための装置」,[巻末資料(略歴、展覧会歴、主要文献)]エリナ・プロテルス、ポリクセニ・パバペトルー、さわひらき、竹村京/『アーティスト・ファイル2008 現代の作家たち』展覧会カタログ/3月/国立新美術館
【講演等】・「国立新美術館の教育普及事業」/『アート・ミート・みなと2008』シンポジウム「みなとく de 子どもとアート・ミート」/2月24日/国立新美術館

室屋 泰三 Taizo Muroya

【執筆】・「美術館におけるデジタルアーカイブの現状と課題～独立行政法人国立美術館の事例～」(水谷長志、室屋泰三、丸川雄三)/『画像情報メディア学会誌』(Vol.61 No.11)/11月/画像情報メディア学会
・「独立行政法人国立美術館における情報連携の試み 美術館情報資源の利活用試案ならびに他関連機構との連携について」/『東京国立近代美術館研究紀要』(第12号)/3月/東京国立近代美術館
【講演等】・「ハール・ウェーブレット変換とテクスチャ解析」/『アート・アンド・サイエンス研究会』/4月21日/同志社大学東京キャンパス
【研究発表】・「絵画画像の色変化の計量の試み」/日本色彩学会第38回全国大会/5月19、20日/国立新美術館
・「絵画画像におけるテクスチャの色彩的特長の計量」/カラーフォーラム JAPAN 2007/11月27日～29日/工学院大学

小林 光夫(客員研究員) Mitsuo Kobayash(Visiting Fellow)

【執筆】・「Analyse Scientifique d'Arcane Couleur d'Albert Vanel」/『Couleur』(No.170)/été, 2007/CIQ(Centre d'Information de la Couleur)
【研究発表】・「Chevreulの色彩対比論再考 英語版図版にもとづいて」(小林光夫、高橋みのり)/日本色彩学会第38回全国大会/5月19、20日/国立新美術館
・「Chevreulの色彩調和論再考 仏語版図版にもとづいて」(小林光夫、宮崎敬子)/日本色彩学会第38回全国大会/5月19、20日/国立新美術館
・「絵画画像における配色の複雑さの計量 フラクタル次元と情報エントロピー」(小林光夫、吉識香代子)/カラーフォーラム JAPAN 2007/11月27日～29日/工学院大学
他 講演・発表等4件

中島 理壽(客員研究員) Masatoshi Nakajima(Visiting Fellow)

【執筆】・[日展100年年表]/『日展100年』展覧会カタログ/7月/日本経済新聞社
・『美術家書誌の書誌 雪舟から東芋、ヴァン・エイクからイ・ブルまで』/12月/勉誠出版

8

その他の事業

Facilities and Visitor Services

●付属施設

- ・レストラン：ブラスリー ポール・ボキューズ ミュゼ(3階)
- ・カフェ：サロン・ド・テ ロンド(2階)
カフェ コキユ(1階)
カフェテリア カレ(地下1階)
- ・ミュージアムショップ：スーベニア フロム トーキョー(SFT)
SFT ギャラリー(地下1階)

SFT ギャラリー展示一覧：

- ・FROM TOKYO フロムトーキョー
4月25日(水)～6月29日(金)
- ・XS—extra small エクストラスモール
マルティ・ギゼ、プレス、マノン・ファン・コースウェイク、
フローリアン・ラッチェーター
6月30日(土)～8月27日(月)
- ・POESY ceramic or book?
ON ZA LINE
9月5日(水)～10月15日(月)
- ・MY TOWN IN MY HOME yoshikazu yamagata to mafuyu
山縣良和、mafuyu
10月17日(水)～12月24日(月)
- ・ON THE TABLE 食卓の輪島漆器と酒展
WAJIMA×Kakitsubata
1月9日(水)～2月25日(月)
- ・PUORESUMAN—プロレスマン—Tomoyuki Shinki
新木友行
2月27日(水)～4月21日(月)
- ・別館1階展示コーナー
国立新美術館建設に伴い解体された、旧陸軍近衛兵第三聯隊兵舎は、昭和3(1928)年に建てられた旧陸軍初の鉄筋コンクリート建築であり、ビルディングタイプのモダンな外観を有した建物であった。その建築史的価値に鑑み、一部が国立新美術館別館として保存されている。
9月6日にオープンした別館1階の展示コーナーでは、兵舎時代の建物の写真や図面、模型、解体前の調査報告書などを公開している。
開室日：毎週木、金曜日
(木、金曜日が祝日または休日にあたる場合、及び年末年始は休室)
開室時間：13時～17時
開室日数：54日(9月6日より公開開始)
利用者数：1,818人(9月6日開室以降の利用者数合計)

●観覧環境の整備

- ・多目的トイレ(10箇所)
- ・車椅子対応エレベーター(4基)
- ・貸出用車椅子(12台)
- ・貸出用ベビーカー(9台)
- ・オストメイト(人工肛門・人口膀胱)対応トイレ
- ・身障者用駐車場
- ・授乳室(地下1階)
- ・休憩室(各展示室内)
- ・磁気ループシステム(講堂)、磁気ループ専用受信機(10台)
- ・館内サインにユニバーサルピクトサインを採用
- ・館内ディスプレイに展覧会や講演会などの情報を表示
- ・海外6ヶ国語版の利用案内(220×107mm、二つ折)を配布

●託児サービス

- 実施日：1月20日(日)、26日(土)、2月9日(土)、29日(金)、
3月13日(木)、30日(日)
- 使用施設：国立新美術館 研修室C
(2月29日、3月13日は別館3階多目的ルーム)
- 利用者数：29人(全6回)

●独立行政法人国立美術館キャンパスメンバーズ

- 会員法人数：35法人(うち国立新美術館利用法人数：28法人)
- 国立新美術館利用者数：17,729人

●高校生等の観覧料無料化

- ・高校生、または18歳未満観覧無料の展覧会：
『アーティスト・ファイル2008—現代の作家たち』
- ・高校生特別無料招待日を設けた展覧会：
『モディリアアーニ展』(会期中3日間)



託児サービス

●開館1周年記念事業

- ・展覧会総入場者数予想プレゼントキャンペーン

募集期間：11月30日(金)～12月25日(火)

応募総数：265通

- ・ロビーコンサート

「フルート&ハーブ・クリスマスコンサート2007」

日時：12月21日(金)17時45分～18時30分

会場：国立新美術館 1階エントランスロビー

出演：吉岡アカリ(フルート)、松井久子(ハーブ)

参加者数：150人

- ・ロビーコンサート「開館1周年フルート&ハーブ・コンサート」

日時：1月11日(金)、18日(金)17時45分～18時30分

会場：国立新美術館 1階エントランスロビー

出演：一戸敦(フルート)、井上美江子(ハーブ)

参加者数：11日 120人、18日 170人

- ・特別講演「日本と西洋・近代美術の100年」

日時：1月19日(土)15時15分～17時

講演：「日本と西洋・近代美術の100年」 高階秀爾(美術史家)

「トークセッション」 高階秀爾(美術史家)、内田あぐり(日本画家)、
島中光享(日本画家)

会場：国立新美術館 講堂

参加者数：175人



12月21日 ロビーコンサート



1月19日 記念講演トークセッション

9

記録

Records

9-1 入場者数

Number of Visitors

9-2 予算

Expenditure

9-3 国際交流

International Exchanges

9-4 展覧会出品リスト

List of Works

9-5 名簿

The NACT Council and Staff List

9-1 入場者数 Number of Visitors

国立新美術館展覧会入場者数

| 年度 | 企画展 | | | 公募展 | | | 入場者数合計(人) | 入場者数累計(人) |
|------|------|---------|-----------|------|---------|-----------|-----------|-----------|
| | 展覧会数 | 開催日数(日) | 入場者数(人) | 展覧会数 | 開催日数(日) | 入場者数(人) | | |
| 平成18 | 4 | 162 | 498,694 | - | - | - | 498,694 | 498,694 |
| 平成19 | 11 | 423 | 1,847,413 | 69 | 832 | 1,317,508 | 3,164,921 | 3,663,615 |

※平成18年度は開館(平成19年1月21日)から年度末(3月31日)までの統計である
 ※開催日数には、年度内に開催された全ての展覧会の開催日数合計を記した

9-2 予算 Expenditure

平成19年度当初支出予算

| 事項 | (単位：千円) |
|---------|-----------|
| 一般管理費 | 1,042,124 |
| 展示事業費 | 718,513 |
| 教育普及事業費 | 277,138 |
| 調査研究事業費 | 10,000 |
| 計 | 2,047,775 |

※人件費は除く

9-3 国際交流 International Exchanges

氏名 Name
 肩書
 国・地域
 滞在期間・来館日
 来館目的

平成19年度招聘者 Guests April 2007 - March 2008

カトリーヌ・デュリュエル Catherine Duruel
 ポンピドー・センター 作品管理部部長
 フランス
 5月4日～5月12日
 『異邦人たちのパリ 1900-2005』展作品輸送・展示指導

ダニエル・リュシア Daniel Lucia
 ポンピドー・センター 所蔵品管理部
 フランス
 5月10日～5月16日
 『異邦人たちのパリ 1900-2005』展作品輸送・展示指導

ダレル・ディ＝フィオーレ Darrell Di Fiore
 ポンピドー・センター 所蔵品管理部
 フランス
 5月4日～5月14日
 『異邦人たちのパリ 1900-2005』展作品輸送・展示指導

ポール＝マルク・ジエッタ Paul Marc Gilletta
 ポンピドー・センター 所蔵品管理部
 フランス
 5月10日～5月17日
 『異邦人たちのパリ 1900-2005』展作品輸送・展示指導

クレール・デュケ Claire Duqué
 ポンピドー・センター 所蔵品管理部
 フランス
 5月6日～5月12日
 『異邦人たちのパリ 1900-2005』展作品輸送・展示指導

マリー＝ピエール・サル Marie-Pierre Sale
 オルセー美術館
 フランス
 3月28日～4月5日
 『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

アンドレ・トゥシェフ André Toucheff
 ポンピドー・センター 所蔵品管理部
 フランス
 5月4日～5月14日
 『異邦人たちのパリ 1900-2005』展作品輸送・展示指導

エドワール・パペ Edouard Papet
 オルセー美術館
 フランス
 3月28日～4月5日
 『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

エリザベット・ドゥ・ジョンケール Elisabeth De Jonckherre
リール美術館 アシスタント・コンサヴァター(18—19世紀絵画)
フランス
3月28日～4月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

オルガ・チャリシン Olga Chryshyn
サンフランシスコ近代美術館 展示部門記録／管理係
アメリカ
3月29日～4月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

オディール・ミシェル Odile Michel
オルセー美術館 修復課チーフレジストラ
フランス
3月29日～4月5日、7月3日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

ジェニファー・ヤエツ Jennifer Yates
ロサンゼルス美術館レジストラーズオフィス シニア・アシスタ
ント・レジストラ
アメリカ
3月29日～4月7日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

アネット・オディケ Annette Haudiquet
マルロー美術館
フランス
3月30日～4月2日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

シャノン・N・シュラー Shannon N. Schuler
フィラデルフィア美術館 海外貸出部門アソシエイト・レジストラ
アメリカ
3月30日～4月4日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

デルフィヌ・ペシャル Delphine Peschard
オルセー美術館
フランス
3月30日～4月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

フロランス・マリー・ポルタレグリ Florence Marie Portallegri
ナンシー美術館
フランス
3月30日～4月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

クリスチャン・オリヴロー Christian Olivereau
ヴァル・ドワーズ県議会
フランス
3月30日～4月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

カオリン・オスタッシュ Caroline Hostache
マルセル・ドッサル美術館
フランス
3月30日～4月5日、7月3日～7月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

岩松智義 Tomoyoshi Iwamatsu
州立美術館、シュトゥットガルト 絵画修復部門実習生
ドイツ
3月30日～4月5日、7月2日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

キンバリー・スー・シェンク Kimberly Sue Schenk
ワシントン・ナショナル・ギャラリー 紙修復部門部長
アメリカ
3月30日～4月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

コルタ・アイヴス Colta Ives
メトロポリタン美術館 素描・絵画課キュレーター
アメリカ
3月30日～4月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

ブルックス・リッチ Brooks Rich
ボストン美術館 西欧美術 エグゼクティブ・アシスタント
アメリカ
3月30日～4月8日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

エドワール・マラング Edouard Malingue
ダニエル・マラング画廊
フランス
3月30日～4月8日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

コトニー・ブレビア Courtney Brebia
ホノルル美術館 西洋美術学芸助手
アメリカ
3月31日～4月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

キャサリン・オレイリー Catherine O'Reilly
ボストン美術館 学芸部研究助手
アメリカ
3月31日～4月8日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

マルティン・ヘンシェル Martin Hentschel
カイゼル・ヴェルヘルム美術館
ドイツ
4月1日～4月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

セルジュ・ルモワヌ Serge Lemoine
オルセー美術館 館長
フランス
4月1日～4月7日
『大回顧展 モネ』展監修、開会式出席

ニコル・リシー Nicole Richy
オルセー美術館 広報部長
フランス
4月1日～4月8日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

ギイ・ブロック＝シャンフォール Guy Bloch-Champfort
『大回顧展 モネ』出品作品所蔵者
フランス
4月5日～4月8日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

マリー・ズバー Mary Zuber
メトロポリタン美術館
アメリカ
6月23日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

ソウコ・フルハタ Soko Furuhata
ロサンゼルス美術館 アソシエイト・ペーパー・コンサヴァター
アメリカ
6月23日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

フロランス・ゴンベール Florence Gombert
リアル美術館 古美術部門(中世・ルネサンス)コンサヴァター
フランス
6月23日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

アレクサンドラ・ハフ Alexandra Huff
ボストン美術館
アメリカ
6月26日～7月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

ディアナ・グリフィン Deanna Griffin
ボストン美術館 西歐美術 キュレートルリアル・プランニング&ブ
ロジェクト・マネージャー
アメリカ
6月29日～7月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

アリソン・カミングス Allison Cummings
サンフランシスコ近代美術館 常設コレクション アシスタント・
レジストラ
アメリカ
6月29日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

イザベル・デュ・ボワ Isabelle Du Bois
リヨン美術館 絵画・古代彫刻コンサヴァター
フランス
6月29日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

アン・プシュロン Anne Pouchelon
オルセー美術館
フランス
6月30日～7月4日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

マヌ・デュフル Manou Dufour
オルセー美術館
フランス
6月30日～7月5日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

杉野ポーリン Pauline M. Sugino
ホノルル美術館 アシスタント・レジストラ
アメリカ
6月30日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

サラ・ケンネル Sarah Kennel
ワシントン・ナショナル・ギャラリー
アメリカ
7月1日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

マリー＝フランス・コシュトウ Marie-France Cochetoux
オルセー美術館
フランス
7月2日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

エレーヌ・トマ Hélène Thomas
ルーアン美術館
フランス
7月3日～7月6日
『大回顧展 モネ』展作品輸送・展示指導

ロザンナ・ヘメリック Rosanna Hemerick
ロサンゼルス現代美術館 シニア・アソシエイト・レジストラ
アメリカ
5月10日～6月6日、8月11日～8月28日
『スキンプォーズ』展作品輸送・展示指導

ソフィア・ガン Sophia Gan
ロサンゼルス現代美術館 服飾展示アシスタント
アメリカ
5月13日～6月6日、8月11日～8月28日
『スキンプォーズ』展展示指導

ジェイソン・ピュー Jason Pugh
ロサンゼルス現代美術館 テクニシャン
アメリカ
5月20日～6月6日、8月11日～8月28日
『スキンプォーズ』展展示指導

マリーケ・テセジア・ファン・ローエンハウト
Marieke Thesia van Loenhout
フローニンガー美術館 レジストラ
オランダ
5月27日～6月2日
『スキンプォーズ』展展示指導

マーティン・ファン・デュッセルドープ Martin van Dusseldorp
ヴィクター&ロルフ
オランダ
5月27日～6月2日
『スキンプォーズ』展展示指導

ウィム・デ・カンター Wim de Kanter
ヴィクター&ロルフ
オランダ
5月27日～6月2日
『スキンプォーズ』展展示指導

シャノン・ベル・プライス Shannon Bell Price
メトロポリタン美術館 服飾部門
アメリカ
5月28日～5月30日
『スキンプォーズ』展展示指導

ピーター・ザスパン Peter Zuspan
ディラー・スコフィディオ・レンフロ建築事務所 建築家
アメリカ
5月30日～6月3日
『スキンプォーズ』展展示指導

ブルック・ホッジ Brooke Hodge
ロサンゼルス現代美術館 建築・デザイン部門キュレーター
アメリカ
6月6日～6月10日
『スキンプォーズ』展展示指導、及び講演

マーク・ウィルソン Mark Wilson
フローニンガー美術館 ヴィジュアル・アーツ部門キュレーター
オランダ
8月14日～8月20日
『スキンプォーズ』展作品輸送・展示指導

エリザベス・ブライアン Elisabeth Bryan
メトロポリタン美術館 コレクション・マネージャー
アメリカ
8月15日～8月20日
『スキン+ボーンズ』展作品輸送・展示指導

マリア・パスヴァンティス Maria Pasvantis
ポンピドー・センター
フランス
8月15日～8月22日
『スキン+ボーンズ』展作品輸送・展示指導

ダヴィド・ブログノン David Brognon
ルクセンブルク近代美術館
ルクセンブルク
8月16日
『スキン+ボーンズ』展作品輸送・展示指導

マルゴット・ファン・シンケル Margot van Schinkel
アムステルダム国立美術館 修復部/シニア・コンサヴァター(陶器・ガラス・石)
オランダ
9月18日～9月23日
『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』作品輸送・展示指導

ローレント・ソッツァーニ Laurent Sozzani
アムステルダム国立美術館 修復部/シニア・コンサヴァター(絵画)
オランダ
9月19日～10月2日
『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』作品輸送・展示指導

ウェンデラ・ブラウウェル Wendela Brouwer
アムステルダム国立美術館 レジストラ部長
オランダ
9月19日～9月24日、12月16日～12月22日
『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』作品輸送・展示指導

ロナルト・デ・レーウ Ronald de Leeuw
アムステルダム国立美術館 館長
オランダ
9月25日～9月29日
『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』開会式出席

ターコ・ディビット Taco Dibbits
アムステルダム国立美術館 美術部長
オランダ
9月25日～10月1日
『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』開会式出席、講演

ローベルト・ファン・ラング Robert van Langh
アムステルダム国立美術館 修復部長
オランダ
12月12日～12月21日
『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』作品輸送・展示指導

ウィレム・デ・リデル Willem de Ridder
アムステルダム国立美術館 修復部/シニア・コンサヴァター(絵画)
オランダ
12月17日～12月22日
『フェルメール「牛乳を注ぐ女」とオランダ風俗画展』作品輸送・展示指導

ジャッキー・エルガー Jacki Elgar
ボストン美術館 アジア絵画修復室室長
アメリカ
1月15日～1月18日
『没後50年 横山大観』展作品輸送・展示指導

ジョン・ロビー Jhon Robbe
ボストン美術館 東洋部修復室美術品保護専門家
アメリカ
3月3日～3月7日
『没後50年 横山大観』展作品輸送・展示指導

さわひらき Hiraki Sawa
現代美術家
イギリス
10月3日～10月4日、2月26日～3月5日、3月23日
『アーティスト・ファイル2008』展展示、講演

竹村京 Kei Takemura
現代美術家
ドイツ
2月26日～3月7日、3月20日
『アーティスト・ファイル2008』展展示、パフォーマンス上演、講演

ポリクセニ・パパペトルー Polixeni Papapetrou
現代美術家
オーストラリア
2月29日～3月9日
『アーティスト・ファイル2008』展展示、講演

エリナ・ブロテルス Elina Brotherus
現代美術家
フィンランド
3月1日～3月9日
『アーティスト・ファイル2008』展展示、講演

マルク・レステリーニ Marc Restellini
バリ・ピナコテーク美術館 館長
フランス
10月14日、2月1日、3月19日～3月22日、3月24日～3月25日
『モディリアアーニ展』監修、展示指導、開会式出席、講演

キャスリン・クレメント Catherine Clement
テート シニア・ローン・レジストラ
イギリス
3月20日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

シルヴァーナ・ジェヌッソ Silvana Gennuso
トリノ市美術館財団 レジストラ
イタリア
3月20日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

ジュディス・ライアン Judith Ryan
ヴィクトリア・ナショナル・ギャラリー オーストラリア先住民
アート担当/シニア・キュレーター
オーストラリア
3月20日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

ジョファン・ファン Jo-Fan Huang
フィラデルフィア美術館 紙修復研究所研究員
アメリカ
3月20日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

ジョフリー・デア Geoffrey Dare
ヒューストン美術館 アシスタント・レジストラ
アメリカ
3月20日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

ジョゼフ・ヒューストン Joseph Houston
コロンバス美術館 現代美術担当アソシエイト・キュレーター
アメリカ
3月20日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

サルヴァートル・サロット＝ボンズ Salvator Salot-Pons
デトロイト美術館 ヨーロッパ美術担当キュレーター
アメリカ
3月20日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

ニコラ・ボワッソナ Nicolas Boissonnas
マッソン・ピクテット・ボワッソナ社 絵画修復家
スイス
3月20～3月21日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

オフラ・ライモン Ofra Rimon
ハイファ大学付属ヘイト博物館 館長
イスラエル
3月21日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

ヤープ・ファン・デル・バルク Jaap van der Barg
ヘリコン保存修復株式会社 絵画修復家
オランダ
3月24日
『モディリアアーニ展』作品輸送・展示指導

平成19年度来館者 Visitors April 2007 - March 2008

マルゲリータ・コーゴ Margherita Cogo
トレント市副知事
イタリア
4月4日
林田館長との面会、視察

フラヴィア・フランゾーニ・ブローディ Flavia Franzoni Prodi
イタリア 首相夫人
イタリア
4月16日
視察

マルコム・ロジャース Malcolm Rogers
ボストン美術館 館長
アメリカ
4月23日
林田館長表敬訪問、『大回顧展 モネ』展鑑賞

ロージー・ビンディ Rosy Bindi
イタリア 家族政策担当大臣
イタリア
4月28日
視察

デヴィッド・ドゥ・クレツァー David de Kretser
ヴィクトリア州総督
オーストラリア
5月13日
視察

バゼル山本登紀子 Tokiko Y. Bazzell
北米日本研究資料調整協議会 会長、ハワイ大学マノア校 日本研究
専門司書
アメリカ
5月25日
JAC プロジェクトに関する意見交換

ヨーリー・テン Yeohlee Teng
ファッション・デザイナー
アメリカ
6月5日
『スキンプーンス』展開会式出席

ナタリオ・グルエッソ Natalio Gueso
オスカル・ニーマイヤー国際文化センター 館長
スペイン
6月27日
林田館長との面会

アンヌ・バルダッサリ Anne Baldassari
パリ・国立ピカソ美術館 館長
フランス
7月2日
視察

ジェレミー・ストリック Jeremy Strick
ロサンゼルス現代美術館 館長
アメリカ
7月4日
『スキンプーンス』展鑑賞、林田館長との面談

クレア・キャテラル Claire Catterall
サマーセット・ハウス 学芸員
イギリス
7月19日
『スキンプーンス』展鑑賞

イヴ・サン＝ジュール Yves Saint-Geours
シャン＝ゼリゼ グラン・バレ理事長
フランス
8月9日
林田館長との面会、視察

キム・ジョウンミン Kim Jong Min
韓国 文化観光部長官
韓国
9月22日
視察

ヴィルフリート・サイベル Wilfried Seipel
ウィーン美術史美術館 総館長
オーストリア
11月8日
視察

ヨアヒム・ブローム Joachim Brohm
ライブツィヒ グラフィック・書籍美術大学 学長
ドイツ
11月21日
視察

ベアトリーチェ・フォン・ビスマルク Beatrice von Bismarck
ライブツィヒ グラフィック・書籍美術大学 副学長
ドイツ
11月21日
視察

ヨアヒム・ブランク Joachim Blank
ライブツィヒ グラフィック・書籍美術大学 教授
ドイツ
11月21日
視察

インゴ・メラー Ingo Meller
ライブツィヒ グラフィック・書籍美術大学 教授
ドイツ
11月21日
視察

ユリア・ブルーメ Julia Blume
ライブツィヒ グラフィック・書籍美術大学 書籍美術研究長
ドイツ
11月21日
視察

マティアス・フレーナー Matthias Frehner
ベルン美術館 館長
スイス
12月3日
林田館長との面会

イ・ビョンフン Lee, Byung-Hoon
韓国 文化観光部アジア文化センター都市推進団 団長
韓国
12月5日
林田館長との面会、視察

イ・オンヨン Lee, Eon-Yong
韓国 文化観光部事務官
韓国
12月5日
林田館長との面会、視察

パク・ボンソ Bonsoo Park
韓国 文化観光部事務官
韓国
12月5日
林田館長との面会、視察

林 志明 Lin, Chi-Ming
国立台北教育大学芸術学系 副教授
台湾
12月19日
林田館長との面会、視察

王 俊傑 Wang, Jun-Jieh
国立彰化師範大学美術学系 助理教授
台湾
12月19日
林田館長との面会、視察

袁 廣鳴 Yuan, Goang-Ming
国立台北芸術大学科技芸術研究所 研究助理
台湾
12月19日
林田館長との面会、視察

蔡 昭儀 Tsai, Chao-Yi
国立台湾美術館 助理研究員
台湾
12月19日
林田館長との面会、視察

唐 英年 Henry Tang Ying-yen
中華人民共和国 香港特別行政区政府 政務長官
香港
1月23日
視察

沈 鳳君 Vivian Sum Fong-kwang
中華人民共和国 香港特別行政区政府 政務長官付補佐官
香港
1月23日
視察

陳 維民 Darryl Chan Wai-man
中華人民共和国 香港特別行政区政府 政務長官付補佐官
香港
1月23日
視察

林 玉婷 Gillian Lam
中華人民共和国 香港特別行政区政府 政務長官付補佐官
香港
1月23日
視察

アンリ・ロワレット Henri Loyrette
ルーブル美術館 館長
フランス
1月25日
視察

ギュメット・アンドルー＝ラノエ Guillemette Andreu-Lanoë
ルーブル美術館 古代エジプト美術部長 主任学芸員
フランス
1月25日
視察

ハンス＝ゲルト・ペテリング Hans-Gert Pöttering
欧州議会議長
ドイツ
2月4日
『没後50年横山大観』展鑑賞

ゲオルク・ヤルツェンボウスキー Georg Jarzembowski
欧州議会議員
ドイツ
2月4日
『没後50年横山大観』展鑑賞

ニコル・クーリジ・ルーマニエール
Nicole Coolidge Rousmaniere, Ph. D.
セインズベリー日本藝術研究所 所長
イギリス
2月5日
JAC プロジェクトに関する意見交換

グサビエ・グレフ Xavier Greffe
パリ第1大学・バンテオン・ソルボンヌ 教授
フランス
2月6日
林田館長との面会、視察

ナタリー・ベルトラン Nathalie Bertrand
CEMAGREFF 研究員
フランス
2月6日
林田館長との面会、視察

セギョン・ウム Uhm, Seung-Yong

韓国 文化財庁 局長

韓国

2月6日

林田館長との面会、視察

マーゴ・ニール Margo Neale

オーストラリア国立博物館 シニアキュレーター

オーストラリア

2月27日

視察

バーバラ・ウィア Barbara Weir

作家

オーストラリア

2月27日

視察

グロリア・ペチャーレ Gloria Petyarre

作家

オーストラリア

2月27日

視察

ブルクハルト・ユング Burkhard Jung

ライプツィヒ市長

ドイツ

3月3日

林田館長との面会、視察

ガブリエレ・ゴルトフース Gabriele Goldfuß

ライプツィヒ市 欧州・国際関係室長

ドイツ

3月3日

林田館長との面会、視察

デトロフ・シュヴェルトフェーガー Dettloff Schwerdtfeger

ライプツィヒ バッハ・アルフィーフ マネージャー

ドイツ

3月3日

林田館長との面会、視察

タカノ アキオ Akio Takano

ライプツィヒ バッハ・アルフィーフ 広報担当

ドイツ

3月3日

林田館長との面会、視察

ロバート・ネルソン Robert Nelson

モナッシュ大学 助教授

オーストラリア

3月4日

『アーティスト・ファイル2008』展開会式出席

他 多数

9-4 展覧会出品リスト List of Works

大回顧展 モネ 印象派の巨匠、その遺産 出品リスト

| 作家名 | 作品名 | 制作年 | 材質 | サイズ | 所蔵 |
|--------------------------------|-------------------|-----------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-------------------|
| 1部 モネ Monet | 1章 近代生活 Modernité | | | | |
| | 近代生活 Modernité | | | | |
| | 1 | クロード・モネ | 道(サン=シメオン農園の前) | 1864年 油彩/板 37×22 cm | 日本テレビ放送網(株) |
| | 2 | クロード・モネ | サン=シメオン農場への道 | 1864年 油彩/カンヴァス 52.5×72.5 cm | 泉屋博古館分館 |
| | 3 | クロード・モネ | 揺りかごの中のジャン・モネ | 1867年 油彩/カンヴァス 116.2×88.8 cm | ワシントン、ナショナル・ギャラリー |
| | 4 | クロード・モネ | ゴードイバール夫人 | 1868年 油彩/カンヴァス 217×138.5 cm | オルセー美術館 |
| | 5 | クロード・モネ | カミーユ、ジャン、乳母 | 1873年 油彩/カンヴァス 59×79.5 cm | 個人蔵、スイス |
| | 6 | クロード・モネ | モンソー公園 | 1876年 油彩/カンヴァス 56×69.5 cm | 泉屋博古館分館 |
| | 7 | クロード・モネ | 石炭の積み下ろし | 1875年 油彩/カンヴァス 55×66 cm | オルセー美術館 |
| | 8 | クロード・モネ | 蓮の花束を持つカミーユ・モネ | 1876-77年 油彩/カンヴァス 116×88 cm | 個人蔵 |
| 9 | クロード・モネ | 日傘の女性 | 1886年 油彩/カンヴァス 131×88 cm | オルセー美術館 | |
| 10 | クロード・モネ | 日傘の女性(デッサン) | 1890-91年 黒鉛筆/紙 30.5×23.5 cm | 吉野石膏株式会社(山形美術館に寄託) | |
| 11 | クロード・モネ | 読書をするシュザンヌと描くブランシュ | 1887年 油彩/カンヴァス 91.5×98 cm | ロサンゼルス美術館 | |
| 2章 印象 Impression | | | | | |
| 光 Lumière | | | | | |
| 12 | クロード・モネ | サン=タドレスの海岸 | 1864年 油彩/カンヴァス 30×69 cm | 栃木県立美術館 | |
| 13 | クロード・モネ | 雲の習作 | | | |
| 制作年不詳 | バステル/紙 21×32 cm | 個人蔵 | | | |
| 14 | クロード・モネ | アルジャントウイユのセヌ川 | 1873年 油彩/カンヴァス 50.5×61 cm | オルセー美術館 | |
| 15 | クロード・モネ | コロンプの平原、霜 | 1873年 油彩/カンヴァス 52.5×72 cm | 新潟県立近代美術館・万代島美術館 | |
| 16 | クロード・モネ | アルジャントウイユの小舟 | 1872年 油彩/カンヴァス 50×65 cm | オルセー美術館 | |
| 17 | クロード・モネ | ヴェトウイユ | 1879年 油彩/カンヴァス 65×92.5 cm | トリトン財団、オランダ | |
| 18 | クロード・モネ | ジュフォス、夕方の印象 | 1884年 油彩/カンヴァス 59.5×81 cm | 群馬県立近代美術館(群馬県企業局寄託作品) | |
| 階調 Valeurs | | | | | |
| 19 | クロード・モネ | かささぎ | 1868-69年 油彩/カンヴァス 89×130 cm | オルセー美術館 | |
| 20 | クロード・モネ | ヴェトウイユの教会 | 1879年 油彩/カンヴァス 65.5×50.5 cm | オルセー美術館 | |
| 21 | クロード・モネ | ヴェトウイユの教会、雪 | 1878-79年冬 油彩/カンヴァス 52×71cm | オルセー美術館 | |
| 22 | クロード・モネ | 雪中の家とコルサース山 | 1895年 油彩/カンヴァス 64.2×91.2 cm | 財団法人上原近代美術館 | |
| 色彩 Couleurs | | | | | |
| 23 | クロード・モネ | アルジャントウイユのモネの庭 | 1873年 油彩/カンヴァス 61×82.5 cm | ワシントン・ナショナル・ギャラリー | |
| 24 | クロード・モネ | 庭のカミーユ・モネと子供 | 1875年 油彩/カンヴァス 55.3×64.7 cm | ボストン美術館 | |
| 25 | クロード・モネ | モントルグイユ街、1878年バリ万博の祝祭 | 1878年 油彩/カンヴァス 81×50.5 cm | オルセー美術館 | |
| 26 | クロード・モネ | ボルディゲラの別荘 | 1884年 油彩/カンヴァス 115×130 cm | オルセー美術館 | |
| 27 | クロード・モネ | ジュヴェルニーのモネの庭 | 1895年 油彩/カンヴァス 81.5×92 cm | ビュルレ・コレクション、スイス | |
| 28 | クロード・モネ | ジュヴェルニーのモネの庭、アイリス | 1900年 油彩/カンヴァス 81×92 cm | オルセー美術館 | |
| 3章 構図 Composition | | | | | |
| 簡素 Vide | | | | | |
| 29 | クロード・モネ | マルタン岬から見たマントンの町 | 1884年 油彩/カンヴァス 67.2×81.6 cm | ボストン美術館 | |
| 30 | クロード・モネ | 地中海の岸辺、曇り日 | 1888年 油彩/カンヴァス 73×92 cm | 青山ユニマット美術館 | |
| 31 | クロード・モネ | ラ・ロシュ=ブロン村の夕暮れ | 1889年 油彩/カンヴァス 73.9×92.8 cm | 三重県立美術館 | |
| ジャポニスム Japonisme | | | | | |
| 32 | クロード・モネ | ブルヴィルの税関吏の小屋、波立つ海(ヴァランジュヴィルの漁師小屋) | 1882年 油彩/カンヴァス 58×81 cm | 日本テレビ放送網(株) | |
| 33 | クロード・モネ | ヴァランジュヴィルの漁師小屋 | 1882年 油彩/カンヴァス 60.6×81.6 cm | ボストン美術館 | |
| 34 | クロード・モネ | エトルタの日没 | 1883年 油彩/カンヴァス 60×73 cm | ナンシー美術館 | |
| 35 | クロード・モネ | ボルト・ダヴァルと針岩 | 1886年 油彩/カンヴァス 65×81 cm | 島根県立美術館 | |
| 36 | クロード・モネ | ポール=ドモワの洞窟 | 1886年 油彩/カンヴァス 65×83 cm | 茨城県近代美術館 | |
| 37 | クロード・モネ | アンティープ岬 | 1888年 油彩/カンヴァス 65×92 cm | 愛媛県美術館 | |
| 平面的構成 Composition en registres | | | | | |
| 38 | クロード・モネ | ルエルの眺め | 1858年 油彩/カンヴァス 46×65 cm | 丸沼芸術の森所蔵(登録美術品として埼玉県立近代美術館に寄託) | |
| 39 | クロード・モネ | ボルディゲラのやしの木 | | | |

[凡例]
作家名
作品名
制作年 材質 サイズ
所蔵

| | | | |
|--|--|--|--|
| 1884年 油彩/カンヴァス 64.8×81.3 cm メトロポリタン美術館 | メトロポリタン美術館 | ポーラ美術館(ポーラ・コレクション) | の眺め 1881年 油彩/カンヴァス 14.4×22.3 cm ルーアン美術館 |
| 40 クロード・モネ ヴァランジュヴィルの風景 1882年 油彩/カンヴァス 64.9×81 cm ポーラ美術館(ポーラ・コレクション) | 54 クロード・モネ 大運河、ヴェネツィア 1908年 油彩/カンヴァス 73.7×92.4 cm ボストン美術館 | 67 クロード・モネ アルジャントウイユ駅 1872年 油彩/カンヴァス 47.5×71 cm ヴァル・ドワーズ県議会 | 81 クロード・モネ 睡蓮の池 1900年 油彩/カンヴァス 90.2×92.7 cm ボストン美術館 |
| 41 クロード・モネ エプト川の釣り人 1889年 油彩/カンヴァス 81×100 cm 個人蔵、国立西洋美術館寄託 | 55 クロード・モネ 黄昏、ヴェネツィア 1908年 油彩/カンヴァス 73×92 cm 石橋財団ブリヂストン美術館 | 68 クロード・モネ サン＝ラザール駅 1877年 油彩/カンヴァス 75.5×104 cm オルセー美術館 | 82 クロード・モネ 黄色いアイリス 1914-17年 油彩/カンヴァス 200×101cm 国立西洋美術館 |
| 42 クロード・モネ ジヴェルニーの草原 1890年 油彩/カンヴァス 65.1×92.4 cm 福島県立美術館 | 4章 連作 Série リズム Rythme | 69 クロード・モネ サン＝ラザール駅の線路 1877年 油彩/カンヴァス 60.5×81.1 cm ポーラ美術館(ポーラ・コレクション) | 83 クロード・モネ ジヴェルニーの池の片隅 1917年 油彩/カンヴァス 117×83 cm グルノーブル美術館 |
| 反射映像 Reflets | 56 クロード・モネ ポプラ並木の下で、晴天 1887年 油彩/カンヴァス 74.3×93 cm 州立美術館、シュトゥットガルト | 70 クロード・モネ 花咲くプラムの木 1879年 油彩/カンヴァス 65×54 cm 個人蔵 | 84 クロード・モネ 藤 1917-20年 油彩/カンヴァス 100×200cm マルセル・ドッサル美術館、ドルー |
| 43 クロード・モネ アルジャントウイユのレガッタ 1872年頃 油彩/カンヴァス 48×75 cm オルセー美術館 | 57 クロード・モネ エプト川のポプラ並木、風の日 1891年 油彩/カンヴァス 100×73 cm オルセー美術館 | 71 クロード・モネ 国会議事堂、日没 1904年 油彩/カンヴァス 80×91 cm カイゼル・ヴィルヘルム美術館、クレフェルト | 85 クロード・モネ 日本風太鼓橋 1918-24年 油彩/カンヴァス 89×93 cm アサヒビール株式会社 |
| 44 クロード・モネ アムステルダム港の港 1874年 油彩/カンヴァス 60×81 cm ヤマザキマザック株式会社 | 58 クロード・モネ ポプラ並木、秋 1891年 油彩/カンヴァス 93×74.1 cm フィラデルフィア美術館 | 72 クロード・モネ ロンドン、国会議事堂 1903年 油彩/カンヴァス 81×92 cm マルロー美術館、ル・アーヴル | 87 クロード・モネ ばらの小径 1918-24年 油彩/カンヴァス 90×92 cm マルモッタン美術館 |
| 45 クロード・モネ 橋からみたアルジャントウイユの船着き場 1874年 油彩/カンヴァス 62×81 cm 三重県立美術館 | 59 クロード・モネ エプト川のポプラ並木 1891年 油彩/カンヴァス 91.5×81.5 cm イセ文化基金 | 73 クロード・モネ ウォータールー橋、曇り日 1901年 油彩/カンヴァス 65×100.5 cm サントリーミュージアム[天保山] | 87 クロード・モネ ばらの小径 1918-24年 油彩/カンヴァス 90×92 cm マルモッタン美術館 |
| 46 クロード・モネ 舟遊び 1887年 油彩/カンヴァス 145.5×133.5cm 国立西洋美術館 | 形態 Forme | 74 クロード・モネ ウォータールー橋、ロンドン 1902年 油彩/カンヴァス 65.7×100.5cm 国立西洋美術館 | 88 クロード・モネ モネの家 1922-24年 油彩/カンヴァス 89×92 cm マルモッタン美術館 |
| 47 クロード・モネ ヴェルノン教会の眺め 1883年 油彩/カンヴァス 64.8×80 cm 吉野石膏株式会社(山形美術館に寄託) | 60 クロード・モネ 積みわら 1885年 油彩/カンヴァス 64.5×80.4 cm 大原美術館 | 75 クロード・モネ 曇天のウォータールー橋 1904年 油彩/カンヴァス 65×100 cm 個人蔵 | 89 クロード・モネ しだれ柳 1920-22年 油彩/カンヴァス 110×100cm オルセー美術館寄託 |
| 48 クロード・モネ ジヴェルニー付近のセヌ川 1894年 油彩/カンヴァス 53×80.5 cm 財団法人上原近代美術館 | 61 クロード・モネ 積みわらの積みわら、夕日 1888-89年 油彩/カンヴァス 65×92 cm 埼玉県立近代美術館 | 76 クロード・モネ チャリング・クロス橋 1899年 油彩/カンヴァス 65×81 cm メナード美術館 | 総合 Synthèse |
| 49 クロード・モネ セヌ川の朝、霧 1897年 油彩/カンヴァス 65×92 cm 個人蔵 | 62 クロード・モネ 積みわら、雪の朝 1891年 油彩/カンヴァス 65.4×92.4 cm ボストン美術館 | 77 クロード・モネ テムズ川のチャリング・クロス橋 1903年 油彩/カンヴァス 73×100 cm 吉野石膏株式会社(山形美術館に寄託) | 90 クロード・モネ 睡蓮 1897-99年 油彩/カンヴァス 89×130 cm 鹿児島市立美術館 |
| 50 クロード・モネ セヌ川の朝(ジヴェルニーのセヌ川支流) 1897年 油彩/カンヴァス 82×93.5 cm 財団法人ひろしま美術館 | 63 クロード・モネ 積みわら、夏の終わり、朝 1891年 油彩/カンヴァス 60.5×100.5cm オルセー美術館 | 78 クロード・モネ テムズ川のチャリング・クロス橋 1903年 油彩/カンヴァス 73×100 cm リヨン美術館 | 91 クロード・モネ 睡蓮 1907年 油彩/カンヴァス 93.3×89.2 cm ポーラ美術館(ポーラ・コレクション) |
| 51 クロード・モネ ヴェトウイユ、曇り日 1901年 油彩/カンヴァス 90×93 cm リール美術館 | 変奏 Variations | 5章 睡蓮/庭 Nymphéas-Jardin | 92 クロード・モネ 睡蓮 1907年 油彩/カンヴァス 100×81 cm 和泉市久保惣記念美術館 |
| 52 クロード・モネ コンタリーニ宮 1908年 油彩/カンヴァス 92×81 cm ザンクト＝ガレン美術館、スイス | 64 クロード・モネ ルーアン大聖堂、正面とサン＝ロマン塔 1893年 油彩/カンヴァス 106×73 cm オルセー美術館 | 筆触 Facture | 93 クロード・モネ 睡蓮 1908年 油彩/カンヴァス 101×90 cm 東京富士美術館 |
| 53 クロード・モネ サン・ジョルジョ・マッジョーレ教会から見たドウカレ宮 1908年 油彩/カンヴァス 65.4×92.7 cm | 65 クロード・モネ 霧のルーアン大聖堂 1893-94年 油彩/カンヴァス 106×73 cm 青山ユニマット美術館 | 79 クロード・モネ ヴェトウイユの村 1881年 油彩/カンヴァス 14.4×22.6 cm ルーアン美術館 | 94 クロード・モネ 睡蓮 1914-17年 油彩/カンヴァス 200×200cm アサヒビール株式会社 |
| | 移ろい Ephemère | 80 クロード・モネ セヌ川、シャントウメッスルの高台から | |

95
クロード・モネ
睡蓮
1914-17年 油彩/カンヴァス 131×95 cm
群馬県立近代美術館(群馬県企業局寄託
作品)

96
クロード・モネ
睡蓮
1917-19年 油彩/カンヴァス 99.7×201cm
ホノルル美術館

97
クロード・モネ
睡蓮、柳の反影
1916-19年 油彩/カンヴァス 130×197.7cm
北九州市立美術館

II部 モネの遺産 Legacy

II-1
ジョルジュ・スーラ
グランカンの干潮
1885年 油彩/カンヴァス 66×82 cm
ボアラ美術館(ボアラ・コレクション)

II-2
アンドレ・ドラク
ロンドン、ウェストミンスター橋とテム
ズ川
1905-06年頃 油彩/カンヴァス 65×75cm
個人蔵

II-3
ピエール・ボナール
地中海風景、ル・カネ
1929-30年 油彩/カンヴァス 56×47.5cm
オルセー美術館

II-4
モーリス・ルイス
ワイン
1958年 アクリリック/カンヴァス
235.9×376.8 cm
広島市現代美術館

II-5
ゴットハルト・グラウブナー
神秘の契約
1986年 色彩空間体(アクリリック、油彩
/カンヴァス、合成繊維の中綿)
300×250×20 cm
作家蔵

II-6
サイ・トゥオンブリー
マグダでの10日の待機
1963年 鉛筆、クレヨン、油彩/カンヴァス
100×104 cm
国立国際美術館

II-7
李禹煥
風と共に
1990年 油彩/カンヴァス 291×218 cm
東京国立近代美術館

II-8
松本陽子
光は荒野の中に輝いている
1993年 アクリリック/カンヴァス
250×200 cm
東京国立近代美術館

II-9
マーク・ロスコ
赤の上の黄褐色と黒
1957年 油彩/カンヴァス 176.5×136.6cm
和歌山県立近代美術館

II-10
ダン・フレイヴィン
無題(レオ、君のために、長年の敬意と
愛をこめて)2
1977年 ピンク、緑、黄、青の蛍光灯
244×244 cm
バルバラ・ベルトツィ・カステリ所蔵

II-11
ロバート・ライマン
君主
1975年 油彩、ポリヴィニール・アセテ
ート・エマルジョン/カンヴァス
208.5×208.5 cm
東京都現代美術館

II-12
フランソワ・モルレ
風景—海景：高潮
1987年 グリブタル樹脂塗料、アクリリ
ック/カンヴァス 146×195 cm
作家蔵

II-13
フランソワ・モルレ
風景—海景：満潮
1987年 グリブタル樹脂塗料、アクリリ
ック/カンヴァス 114×195 cm
作家蔵

II-14
ブリジット・ライリー
リフレクション1
1994年 油彩/麻布 165×228.4 cm
個人蔵、ドイツ

II-15
ジョゼフ・アルバース
正方形へのオマージュ：保持
1959年 油彩/メゾナイト 100×100 cm
東京国立近代美術館

II-16
ジョゼフ・アルバース
正方形へのオマージュ：秋のフィナーレ
1962年 油彩/メゾナイト 101×101 cm
ジョゼフ・アルバース美術館、ボトロップ

II-17
ジョゼフ・アルバース
正方形へのオマージュ
1971年 油彩/メゾナイト 101.6×101.6cm
富山県立近代美術館

II-18
ロイ・リキテンスタイン
ルーアン大聖堂V
1969年 油彩、マグナ/カンヴァス
160.3×320.7 cm
サンフランシスコ近代美術館

II-19
ジャクソン・ポロック
コンポジション No.16
1948年 油彩/カンヴァス 56.5×39.4 cm
フリーダー・ブルダ美術館、バーデン・
バーデン

II-20
ウィレム・デ・クーニング
水
1970年 油彩/紙、カンヴァス 107×80cm
国立国際美術館

II-21
ジャン＝ポール・リオヘル
ナンバー 6
1954年 油彩/カンヴァス 96.5×129.5cm
財団法人セゾン現代美術館

II-22
ジョアン・ミッチェル
コード IV
1986年 油彩/カンヴァス 162×130 cm
個人蔵

II-23
エルズワース・ケリー
緑のタブロー
1952年 油彩/板 74.3×99.7×2.5 cm
個人蔵

II-24
サム・フランシス
無題
1957年 油彩/カンヴァス 178.0×190.8cm
出光美術館

II-25
ゲルハルト・リヒター
抽象絵画(648-1)
1987年 油彩/カンヴァス 225×200 cm
国立国際美術館

II-26
堂本尚郎
蓮池 無意識と意識の間
2005年 油彩/カンヴァス 162×227 cm
作家蔵

参考出品

久我田鶴子
モネの肖像
1921-23年 油彩/カンヴァス 32×18 cm
マルモッタン美術館

久我田鶴子
モネと久我太郎
1926年 水彩/紙 17.5×13.5 cm
個人蔵

スキントポーンズ
—1980年代以降の建築と
ファッション
出品リスト

I. 共通の概念 Fundamental Parallels

●アイデンティティ Identity

1
フセイン・チャラヤン
《ビトウィーン》コレクション 1998年春夏
写真
フセイン・チャラヤン

2
フセイン・チャラヤン
《ビトウィーン》コレクション 1998年春夏
映像
フセイン・チャラヤン

3
フセイン・チャラヤン
《アフターワーズ》2000-01年秋冬
織物、マホガニー、金属、ガラス
ルクセンブルグ近代美術館

4
マーカス・トムリンソン
フセイン・チャラヤン《アフターワーズ》
コレクション 2000-01年秋冬
映像

5
アレキサンダー・マックイーン
ドレス《カローデンの未亡人たち》コレク
ション 2006-07年秋冬
タフタ
アレキサンダー・マックイーン

6
アレキサンダー・マックイーン
ドレス《カローデンの未亡人たち》コレク
ション 2006-07年秋冬
ウール
アレキサンダー・マックイーン

7
アレキサンダー・マックイーン
《カローデンの未亡人たち》コレクション
映像
アレキサンダー・マックイーン

8
アトリエ ジャン・ヌーヴェル
アラブ世界研究所、パリ1981-87年
写真

9
アトリエ ジャン・ヌーヴェル
アラブ世界研究所、パリ1981-87年
写真

●シェルター Shelter
1
坂茂建築設計
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) の
ための《紙の緊急シェルター》、ルワンダ、
ビュンバ難民キャンプ 1995年
映像

2-4
坂茂建築設計
国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) の
ための《紙の緊急シェルター》、ルワンダ、
ビュンバ難民キャンプ 1995年
写真

5
ディラー・スコフィディオ+レンフロ
《パッド・プレスー異なる家事シリーズ》
1993-98年
シャツ、映像
ディラー・スコフィディオ+レンフロ

6
テス・ギバーソン
《構造1》コレクション 2003-04年秋冬
合板
テス・ギバーソン

7
テス・ギバーソン
緑の鉤針編みのベスト、黒の接ぎ合わせ

のスカート、黒のトップ 2003-04年秋冬
ウール、綿、コットン・ジャージー
テス・ギバーソン

8
テス・ギバーソン
黒のケープ、黒のパンツ、茶色の接ぎ合
わせトップ 2003-04年秋冬
ウール、コットン・ジャージー
テス・ギバーソン

9
テス・ギバーソン
オリーブ色の鉤針編みセーター、鉤針編
み装飾を施した白のスカート、グレーの
接ぎ合わせブラウス 2003-04年秋冬
ウール、綿
テス・ギバーソン

10
テス・ギバーソン
《構造1》コレクション(映像) 2003-04年
秋冬
映像
テス・ギバーソン、カレイドスコープ・
コンサルティング

11
ヨーリー・テン
ドスキンでふち取りした《フード付きケ
ープ》1982-83年秋冬
ウール
メトロポリタン美術館

12
ヴィクター&ロルフ
《ロシアン・ドール》オートクチュール・
コレクション 1999-2000年秋冬
ジュート、絹
フローニンガー美術館

13
ヴィクター&ロルフ
《ロシアン・ドール》オートクチュール・
コレクション(映像) 1999-2000年秋冬
映像
ヴィクター&ロルフ

14, 15
ジュンヤ ワタナベ・コム デ ギャルソン
ドレス《クラシック》コレクション
2004-05年秋冬
綿、ポリエステル、ダウン
株式会社コム デ ギャルソン

16
山本耀司
《シークレット・ドレス》《ウェディング》
コレクション 1999年春夏
絹
株式会社 ヨウジヤマモト

17
山本耀司
《ウェディング》コレクション(映像)
1999年春夏
映像
株式会社 ヨウジヤマモト

●創造的なプロセス Creative Process

1-3
フランク・ゲーリー
《ウォルト・ディズニー・コンサートホ
ール》、ロサンゼルス(数地のスタディ模
型) 1987-2003年
ミクスト・メディア
ゲーリー・パートナーズ、LLP

4
フランク・ゲーリー
《ウォルト・ディズニー・コンサートホ
ール》、ロサンゼルス(コンサートホール
内部のスタディ模型) 1987-2003年
フォームコア、段ボール、木
ゲーリー・パートナーズ、LLP

5-14
フランク・ゲーリー
《ウォルト・ディズニー・コンサートホ

ール》、ロサンゼルス(スタディ模型)
1987-2003年
フォームコア、段ボール、木
ゲーリー・パートナーズ、LLP

15
フランク・ゲーリー
制作過程 2003年
映像
ロサンゼルス現代美術館

16-23
ジャッキー・マーシャル
制作風景—ナルシソ・ロドリゲス 2004年
写真
ジャッキー・マーシャル

24-27
ナルシソ・ロドリゲス
スケッチ・ブック 2006年
紙にインク
ナルシソ・ロドリゲス

28
ナルシソ・ロドリゲス
コンピューター・プログラムによるドレ
スの裁断図 2006年
紙
ナルシソ・ロドリゲス

29
イザベル・トレド
《キャタピラー・ドレス》1998年春夏
ジャージー
イザベル・トレド

30
イザベル・トレド
《キャタピラー・ドレス》の裁断図 1998年
春夏
アクリル塗料
イザベル・トレド

II. 形態の生成 Creating Form

●幾何学 Geometry

1
プレストン・スコット・コーエン
《コーナード・ハウス》(模型) 1991年
シナ材
プレストン・スコット・コーエン・アー
キテクト

2
プレストン・スコット・コーエン
《スピリキュレイト》1998年
紙
ロサンゼルス現代美術館

3
プレストン・スコット・コーエン
《テル・アヴィヴ美術館》テル・アヴィヴ
2006年
スチレン、プレキシガラス
プレストン・スコット・コーエン・アー
キテクト

4
プレストン・スコット・コーエン
ライトフォール《テル・アヴィヴ美術館》
2004年
CGによるドロウイング
プレストン・スコット・コーエン・アー
キテクト

5
プレストン・スコット・コーエン
図面《テル・アヴィヴ美術館》2004-08年
デジタル・プリント
ロサンゼルス現代美術館

6
プレストン・スコット・コーエン
《テル・アヴィヴ美術館》テル・アヴィヴ
2004-08年
CGによるドロウイング
プレストン・スコット・コーエン・アー
キテクト

[凡例]
No.
作家名
作品タイトル
素材・材質
所蔵

| | | | |
|--|--|--|--|
| 7 プレストン・スコット・コーエン 幾何学的ドローイングのメイキング アニメーション プレストン・スコット・コーエン・アー キテクト | 編 メトロポリタン美術館 | ボンビドゥー・センター | 21 オリヴィエ・ティスケンス(ロジャス) イブニング・ドレス、トップ 2004-05年 秋冬 ワイヤー・ネット、コットン ロジャス |
| 8 アイゼンマン・アーキテクツ 《マックス・ラインハルト・ハウス》(計 画案)、ベルリン 1992-93年 発泡、アクリル アイゼンマン・アーキテクツ | 編 メトロポリタン美術館 | 7 伊東豊雄建築設計事務所+アンドレア・ ブランジ・アルキテット 《ゲント市文化フォーラム》(計画案)、 ベルギー、ゲント 2004年 CGによるドローイング | 22 オリヴィエ・ティスケンス(ロジャス) ウォーター・ドレス、アンダースカート 2004-05年秋冬 シルク・ヴォイル ロジャス |
| 9 妹島和世+西沢立衛/SANAA 《金沢21世紀美術館》、金沢 2002年 アクリル 妹島和世+西沢立衛/SANAA | 28 ヨーリー・テン 《インファンタ[女王]・スカートとボディ スーツ》2005-06年秋冬 シルク・オーガンザ、ジャージー ヨーリー社 | 8 伊東豊雄建築設計事務所 《台中メトロポリタン・オペラハウス》 2005年- アクリル、プラスチック 台中市 | 23,24 ジュンヤ ワタナベ・コム デ ギャルソン ドレス(ソワレ)または(テクノ・クチュ ール)コレクション 2000-01年秋冬 ポリエステル 株式会社コム デ ギャルソン |
| 10 妹島和世+西沢立衛/SANAA 《金沢21世紀美術館》、金沢 2002年 デジタル・プリント | 29 イザベル・トレド 《パッキング・ドレス》1988年春夏 シルク イザベル・トレド | 9 伊東豊雄建築設計事務所 《台中メトロポリタン・オペラハウス》 2005年- デジタル・プリント | 25 ジュンヤ ワタナベ・コム デ ギャルソン ドレス(ソワレ)または(テクノ・クチュ ール)コレクション 2000-01年秋冬 映像 株式会社コム デ ギャルソン |
| 11 妹島和世+西沢立衛/SANAA 《金沢21世紀美術館》、金沢 2002年 CGによるドローイング | 30 イザベル・トレド 《パッキング・ドレス》1988年春夏 シルク・タフタ イザベル・トレド | 10 グレッグ・リン・フォーム 《スレイヴィン・ハウス》、カリフォルニ ア州ヴェニス 2004-08年 アクリル グレッグ・リン・フォーム | 26,27 吉岡徳仁 《ハニーポップ・チェア》2001年 紙 吉岡徳仁デザイン事務所 |
| 12-14 妹島和世+西沢立衛/SANAA 《トレド美術館、ガラス・バビリオン》、 オハイオ州、トレド 2001-06年 CGによるドローイング | 31 イザベル・トレド 《パイ・コート》1995年春夏 ウール・フェルト イザベル・トレド | 11 グレッグ・リン・フォーム 《スレイヴィン・ハウス》、カリフォルニ ア州ヴェニス 2004-08年 CGによるドローイング | III. 構成の技法 Techniques of Construction |
| 15 J・ミジン・ユン 《メビウス・ドレス》2005年 フェルト MY スタジオ/J・ミジン・ユン | 32 ジュンヤ ワタナベ・コム デ ギャルソン ワイヤー入りサークル・スカートのアン サンプル 1998-99年秋冬 綿、金属のワイヤー 株式会社コム デ ギャルソン | 12 フセイン・チャラヤン チュール・ドレス《今でも以前でもない》 コレクション 2000年春夏 ナイロン・チュール フセイン・チャラヤン | ●スキンの構造化 Structural Skin 1-3 トッド・エベレル ヘルツォーク&ド・ムーロン《ブラダブ ティック青山店(エビセンター)》、東京 写真 |
| 16 J・ミジン・ユン 《メビウス・ドレス》2005年 デジタル・プリント | 33 ジュンヤ ワタナベ・コム デ ギャルソン ワイヤー入りドレス 1998-99年秋冬 綿、金属のワイヤー 株式会社コム デ ギャルソン | 13 アルベール・エルバス(ランバン) ドレス 2005年春夏 シルク・ファイユ ランバン | 4 伊東豊雄設計事務所十大成建設本部 《MIKIMOTO Ginza 2》、東京 2004年 アクリル樹脂、アルミニウム 伊東豊雄設計事務所 |
| 17-19 コム デ ギャルソン スカート《エクセレント・アブストラク ト》コレクション 2004年春夏 綿、ポリエステル 株式会社コム デ ギャルソン | 34 山本耀司 ボーン付きトップ、スカート《ウェディ ング》コレクション 1999年春夏 レーヨン、ボーン 株式会社 ヨウジヤマモト | 14,15 菱沼良樹 ドレス 《キュービズム・ドレス》コレクション 2001-02年秋冬 ポリエステル、ポリウレタン 株式会社 ヨシキヒシヌマ | 5 伊東豊雄設計事務所 《TOD'S 表参道ビル》、東京 2002-04年 アクリル 伊東豊雄設計事務所 |
| 20 ナルシソ・ロドリゲス ドレス 2003年春夏 麻 ナルシソ・ロドリゲス | ●ヴォリュームの構築 Constructing Volume 1 フォーリン・オフィス・アーキテクツ (FOA) 横浜港国際旅客船ターミナル 1995-2002年 粉碎プラスチック カーネギー美術館 | 16 メゾン・マルタン・マルジェラ サイズ78のジャケット、サイズ78のドレ ス 2000-01年秋冬 スエード、ウール、アセテート メゾン・マルタン・マルジェラ | 6 伊東豊雄設計事務所 TOD'S 表参道ビルのためのファサード・ スタディ デジタル・プリント |
| 21 ナルシソ・ロドリゲス ドレス 2003年春夏 絹 ナルシソ・ロドリゲス | 2 フォーリン・オフィス・アーキテクツ (FOA) 横浜港国際旅客船ターミナル 1995-2002年 映像 | 17 アレキサンダー・マックイーン ドレス《イツ・オンリー・ア・ゲーム》 コレクション 2005年春夏 絹/綿混紡素材、人工皮革 アレキサンダー・マックイーン | 7 鈴木久雄 伊東豊雄設計事務所 《TOD'S 表参道ビル》 写真 |
| 22 ナルシソ・ロドリゲス ドレス 2003年春夏 綿 ナルシソ・ロドリゲス | 3 フォーリン・オフィス・アーキテクツ (FOA) 横浜港国際旅客船ターミナル 1995-2002年 デジタル・プリント | 18 ラルフ・ルッチ カーゴ・シャツ、リボン・スカート 2003年春夏 サテン、オーガンザ チャドール・ラルフ・ルッチ | 8 伊東豊雄設計事務所 《サーベントイン・ギャラリー・バビリ オン》、イギリス、ロンドン 2002年 写真 |
| 23 ナルシソ・ロドリゲス ドレス 2004-05年秋冬 絹、クリスタル・ビーズ刺繍 ナルシソ・ロドリゲス | 4,5 リチャード・デイヴィス フェーチャーシステムズ《セルフリッジ ス百貨店》、イギリス、バーミンガム 2003年 デジタル・プリント リチャード・デイヴィス | 19 オリヴィエ・ティスケンス コート 2000-01年秋冬 麻 オリヴィエ・ティスケンス | 9,10 トッド・エベレル オフィス・フォー・メトロポリタン・ア ーキテクトチャー(OMA)/レム・コールハ ース、《シアトル中央図書館》2004年 写真 |
| 24 ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ 幾何学的なコート《スポーツマックス》 コレクション 1971-72年秋冬 ウール ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ | 6 伊東豊雄建築設計事務所+アンドレア・ ブランジ・アルキテット 《ゲント市文化フォーラム》(計画案)、 ベルギー、ゲント 2004年 アクリル | 20 オリヴィエ・ティスケンス スカート、“コルセット”風トップ 2002年春夏 革 オリヴィエ・ティスケンス | 11 アレキサンダー・マックイーン ドレス《スカナーズ》コレクション 2003-04年秋冬 皮革、ポリエステル アレキサンダー・マックイーン |
| 25,26 ヨーリー・テン ドレス 《イブニング》1992年春夏 | | | |

12
三宅一生十藤原大
A-POC(キング&クィーン) 1999年春夏
コットン、ナイロン、ポリウレタン
三宅デザイン事務所

13
三宅一生十藤原大
A-POC(トランポリン) 2006年
ナイロン
三宅デザイン事務所

14
ロン・アラド
モローゾ《リップル・チェア》2005年
ポリプロピレン、スチール

15
マーカス・トムリンソン
三宅一生十藤原大A-POC(トランポリン)
2006年
デジタル・プリント

16
三宅一生十藤原大
A-POC(ジュピター) 2006年
コットン
三宅デザイン事務所

17
バスカル・ルーラン
A-POC(ジュピター) 2006年
アニメーション

18
ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ
(バンティソル・ドレス)《マントと皮膚》
コレクション 1973年
ポリエステル
ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ

19
ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ
映像作品《マントと皮膚》のオリジナル・
ポスター 1973年
紙
ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ

20
ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ
(バンティソル・ドレス)《マントと皮膚》
コレクション 1973年
デジタル・プリント
ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ

●構築/脱構築/再構築 Construction/
Deconstruction/ Reconstruction

1
アイゼンマン・アーキテクツ
《コーラル・ワークス—庭園のためのプ
ロジェクト》(計画案)、ラ・ヴィレット
公園、パリ、アクソメの分解図 1986年
金の塗装と粘着性の箔が付いた透明な粘
着フィルム
カナダ建築センター

2
アイゼンマン・アーキテクツ
《コーラル・ワークス—庭園のためのプ
ロジェクト》(計画案)、ラ・ヴィレット
公園、パリ、第1計画案の模型 1986年
シナ材
カナダ建築センター

3
アイゼンマン・アーキテクツ
《コーラル・ワークス—庭園のためのプ
ロジェクト》(計画案)、ラ・ヴィレット
公園、パリ、第2計画案の模型 1986年
シナ材
カナダ建築センター

4
ベルナルド・チュミ
フォリーのグリッド：庭園のためのプロ
ジェクト、ラ・ヴィレット公園
紙
カナダ建築センター

5
ベルナルド・チュミ
フォリー：P 7、ラ・ヴィレット公園、
パリ 1983-92年
塗装金属、アクリル
FRACサントル・コレクション

6
ベルナルド・チュミ
フォリー：潜水艦、ラ・ヴィレット公園、
パリ 1983-92年
塗装金属、アクリル
FRACサントル・コレクション

7-9
コム デ ギャルソン
ドレス《アダルト・バンク(解体と再構
築)》コレクション 1997-98年秋冬
綿、ウール、ポリエステル
株式会社コム デ ギャルソン

10-12
コム デ ギャルソン
アンサンブル《フュージョン》コレクシ
ョン 1998-99年秋冬
綿、ウール、ウール・ジャージー
株式会社コム デ ギャルソン

13-15
コム デ ギャルソン
ドレス《ニュー・エッセンシャル》コレク
ション 1999年春
夏綿、ポリエステル
株式会社コム デ ギャルソン

16
メゾン・マルタン・マルジェラ
スカート 2003年春夏
ウール、アクリル
メゾン・マルタン・マルジェラ

17
メゾン・マルタン・マルジェラ
ベージュのドレス 2003年春夏
ウール、アクリル
メゾン・マルタン・マルジェラ

18
メゾン・マルタン・マルジェラ
ドレス 2005年春夏
ポリエステル
メゾン・マルタン・マルジェラ

19
アレキサンダー・マックイーン
ドレス《スーパーカリフラグ》コレクシ
ョン 2002-03年秋冬
シルク・シフォン、皮革
アレキサンダー・マックイーン

20
ラルフ・ルッチ
ガウン(タピエス・スワン) 2002年春夏
シルク・ガザール
チャドー・ラルフ・ルッチ

21
ラルフ・ルッチ
手描きと刺繍のインナー・パネルの《イ
ンファンタ[王女]・ガウン》2003-04年
秋冬
デュシェス・サテン
エリカ・マックグロウ

22
ラルフ・ルッチ
《脊柱のインファンタ[王女]・ガウン》
2004-05年秋冬
デュシェス・サテン
チャドー・ラルフ・ルッチ

23,24
ジュンヤ ワタナベ・コム デ ギャルソン
ドレス 2002年春夏
コットン・デニム
株式会社コム デ ギャルソン

25
ヴィヴィアン・ウエストウッド

ミニ・キルト付きボンデージ・パンツ、
エリザベス女王のシルクスクリーン・プ
リントを施した“バンク”ブラウス 1976-
78年頃
綿、ウール
リザレクション・ヴィンテージ・クロウ
ジング

26
ヴィヴィアン・ウエストウッド
《ミニ・クリニ》スカート、《おっぱいT
シャツ》1980-85年頃
コットン・ジャージー、プラスチック
リザレクション・ヴィンテージ・クロウ
ジング

27
山本耀司
ドレス 2000年春夏
綿
株式会社 ヨウジヤマモト

●ドレープをつくる Draping

1
坂茂建築設計
《カーテンウォールの家》、東京 1993-95年
木、ボール紙、布
ボンピドゥー・センター

2, 3
菱沼良樹
《バルーン・タイダイ・ドレス》1996-97
年秋冬
ポリエステル
株式会社 ヨシキヒシヌマ

4
山本耀司
ドレス 2006年春夏
綿
株式会社 ヨウジヤマモト

●畳む Folding

1, 2
ニール・M・ディナーリ・アーキテクツ
《ハイ・ライン・23・コンドミニアム》、
ニューヨーク 2006年
CGによるドロローイング

3
ウィンカ・ドゥベルダム/アーキ・テク
トニクス
《グレニッチ・ストリート・プロジェク
ト》、ニューヨーク 2002-03年
映像

4
ウィンカ・ドゥベルダム/アーキ・テク
トニクス
《グレニッチ・ストリート・プロジェク
ト》、ニューヨーク 2002-03年
CGによるドロローイング

5
アルベール・エルバス(ランバン)
ドレス 2004年春夏
絹
ランバン

6
フォーリン・オフィス・アーキテクツ
(FOA)
《ヴァーチャル・ハウス》(計画案) 1997年
塗装フォーム、アクリル
フォーリン・オフィス・アーキテクツ
(FOA)

7, 8
フォーリン・オフィス・アーキテクツ
(FOA)
《ヴァーチャル・ハウス》(計画案) 1997年
CGによるドロローイング
フォーリン・オフィス・アーキテクツ
(FOA)

9
ジャコブ+マックファーレン
《バズル・ハウス》(計画案) 1996年
ボール紙、紙、木

ボンピドゥー・センター

10
ジャコブ+マックファーレン
《バズル・ハウス》(計画案) 1996年
コンピュータによるアニメーション
ジャコブ+マックファーレン

11
ジャコブ+マックファーレン
《ハウスH》(計画案)、フランス、コル
シカ島 2002年
コンピュータによるアニメーション
ジャコブ+マックファーレン

12
ジャコブ+マックファーレン
《ハウスH》(計画案)、フランス、コル
シカ島 2002年
グラスファイバー、鋼鉄
FRACサントル

13
ウィルキンソン・エア・アーキテクツ
《ブリッジ・オブ・アスピレーション》、
ロイヤル・バレエ・スクール、ロンドン
2001-03年
アクリル
ウィルキンソン・エア・アーキテクツ

14
ニック・ウッド
ウィルキンソン・エア・アーキテクツ
《ブリッジ・オブ・アスピレーション》、
ロイヤル・バレエ・スクール、ロンドン
2001-03年
デジタル・プリント

15-17
コム デ ギャルソン
ドレス《クラスタリング・ビューティー》
コレクション 1998年春夏
コットン・ローン
株式会社コム デ ギャルソン

18
アルベール・エルバス(ランバン)
ドレス 2006-07年秋冬
絹
ランバン

19,20
菱沼良樹
ドレス《蛇腹》コレクション 2000年春夏
ポリエステル
株式会社 ヨシキヒシヌマ

21,22
ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ
(トーション)ドレス、旅行用服 1986年春夏
しわ加工の麻
ナンニ・ストラータ・デザイン・スタジオ

●吊る Suspension

1
ラルフ・ルッチ
《サスペンション・スーツ》2005-06年秋冬
絹、カシミア
チャドー・ラルフ・ルッチ

2
ヨーリー・テン
《コットン・ホイスト・ドレス》2006年春夏
綿
ヨーリー社

3, 4
ヨーリー・テン
《懸垂曲線を描く皮帯ドレス》2006-07年
秋冬
シルク・ファィユ、サテン
ヨーリー社

5
イザベル・トレド
《マッシュルーム・ドレス》とボレロ
2005-06年秋冬
絹
イザベル・トレド

| | | | |
|---|--|---|---|
| ●はりだす Cantilever | ●ブリーツをつける Pleating | 5 | 《ストランド・タワー》2006年 デジタル・プリント |
| 1 ディラー・スコフィディオ+レンフロ 《現代美術研究所(ICA)》、ボストン 2006年 スライドショー | 1 ヘルツォーク&ド・ムーロン 《セントラル・シグナル・ボックス》、スイス、バーゼル 1994-98年(模型) 銅、木 ボンビドゥー・センター | ミラー・リエスタグリアブエ(EMBT アルキテクテス) インタヴュー《サンタ・カテリーナ市場》 映像 | 5 テスタ&ワイザー 《ストランド・タワー》アニメーション 2006年 アニメーション |
| 2 ヴィクター&ロルフ アイス・ブルーのコート・ドレス 2003年 シルク・サテン ヴィクター&ロルフ | 2, 3 トッド・エベレル ヘルツォーク&ド・ムーロン《セントラル・シグナル・ボックス》、スイス、バーゼル 写真 | 6 ドゥッチオ・マラガンバ ミラー・リエスタグリアブエ(EMBT アルキテクテス)《サンタ・カテリーナ市場》、バルセロナ 1997-2005年 デジタル・プリント | 6 テスタ&ワイザー 《カーボン・ビーチ・ハウス》(計画案) 2006年 デジタル・プリント |
| 3 山本耀司 ドレス(フェルト)コレクション 1996-97 年秋冬 ウール 株式会社 ヨウジヤマモト | 4 アルベール・エルバス(ランバン) ドレス 2003-04年秋冬 絹 ランバン | 7 ノイトリング・リーダイク・アーキテク テン 《フェーマン印刷会社》、オランダ、エー デ市 1995-97年 リトグラフ ノイトリング・リーダイク・アーキテク テン | 7, 8 菱沼良樹 《インサイド・アウト・ツー・ウェイ・ ドレス》2004年春夏 ポリエステル 株式会社 ヨシキヒシヌマ |
| ●包む Wrapping | 5 三宅一生 《リズム・ブリーツ》1990年春夏 ポリエステル、麻 三宅一生デザイン文化財団 | 8 ノイトリング・リーダイク・アーキテク テン 《コンサート・ホール》、ブリュージュ、 ベルギー 1998年 木、プラスチック オランダ建築研究所 | 9 ナンニ・ストラダ・デザイン・スタジオ レーザーカットしたカズラ 2005年 ポリエステル ナンニ・ストラダ・デザイン・スタジオ |
| 1 ディラー・スコフィディオ+レンフロ 《アリス・タリー・ホールのリノベーシ ョン》、ニューヨーク、リンカーン・セ ンター 2005-/08年(完成予定) デジタル・プリント ディラー・スコフィディオ+レンフロ | 6 三宅一生 《リズム・ブリーツ》(ドレス4点入)ペー パーパネル 1990年春夏 ポリエステル、麻 三宅一生デザイン文化財団 | 9-11 フセイン・チャラヤン 《アーキテクチュラル・プリント・ドレ ス》《今でも以前でもない》コレクション 2000年春夏 綿 フセイン・チャラヤン | 10 ヴィクター&ロルフ 《非物質性ばんざい》、または《ブルース クリーン》コレクション 2002-03年秋冬 映像 |
| 2, 3 トッド・エベレル フランク・ゲーリー《ウォルト・ディズ ニー・コンサートホール》、ロサンゼル ス 1987-2003年 写真 | 7 三宅一生 《ミュタント・ブリーツ》1989年 ポリエステル 三宅一生デザイン文化財団 | 12 メゾン・マルタン・マルジェラ “シート用の布”をプリントしたタンク・ トップ、“シート用ダマスク織の布”をプ リントした赤いスカート 2006-07年秋冬 綿、レーヨン、ポリエステル メゾン・マルタン・マルジェラ | |
| 4 ジャコブ+マックファーレン 《デザインとファッションの都市》、パリ 2005-/08年(完成予定) 木、光造形法 FRACサントル | 8, 9 ナンニ・ストラダ・デザイン・スタジオ 《フィアマ・ドレス》《ブリ・ブラ》ライン 1993年 麻 ナンニ・ストラダ・デザイン・スタジオ | 13 ドリス・ヴァン・ノッテン 金色のジャケット、赤と金色のプリント ・スカート 1997-98年秋冬 絹、アセテート、レーヨン ドリス・ヴァン・ノッテン | |
| 5, 6 ジャコブ+マックファーレン 《デザインとファッションの都市》、パリ 2005-/08年(完成予定) CGによるドローイング | 10 ナンニ・ストラダ・デザイン・スタジオ 《マトリックス》ブリーツ・スカーフ 1995年 シルク・ガーゼ ナンニ・ストラダ・デザイン・スタジオ | 14 ドリス・ヴァン・ノッテン トップ、スカート 1997-98年秋冬 ウール、カシミア、絹 ドリス・ヴァン・ノッテン | |
| 7 オフィス dA 《ニューイングランドの家》、ボストン 2002-03年 ゴム、銅、木、ボール紙、金属 オフィス dA | 11 イザベル・トレド 《ブリーツ・ドレス》2005-06年秋冬 シルク・ジャージー イザベル・トレド | 15 ドリス・ヴァン・ノッテン コート 1997-98年秋冬 ウール ドリス・ヴァン・ノッテン | |
| 8 ジョン・ホーナー オフィス dA 《ニューイングランドの家》、 ボストン 2003年 デジタル・プリント | ●プリントする Printing | ●織る Weaving | |
| 9 ジョン・ホーナー オフィス dA 《ニューイングランドの家》、 ボストン 2003年 写真 | 1 マルゲリータ・スピルッティエーニ ヘルツォーク&ド・ムーロン《リコラ・ ヨーロッパ社工場・倉庫》、フランス 1993年 デジタル・プリント | 1 坂茂建築設計 ハノーバー国際博覧会日本館 1997-2000年 カートン板、紙、プラスチック 坂茂建築設計 | |
| 10-12 コム デ ギャルソン 《ボディ・ミーツ・ドレス、ドレス・ミ ーツ・ボディ》コレクション 1997年春夏 ナイロン・ウレタン、ダウン 株式会社コム デ ギャルソン | 2 ミラー・リエスタグリアブエ(EMBT アル キテクテス) セラミック製屋根瓦《サンタ・カテリー ナ市場》、バルセロナ 1997-2005年 木、セラミック EMBT アルキテクテス | 2 坂茂建築設計 ハノーバー国際博覧会日本館 1997-2000年 紙、スティールワイヤー 坂茂建築設計 | |
| 13 コム デ ギャルソン 《ボディ・ミーツ・ドレス、ドレス・ミ ーツ・ボディ》コレクション 1997年春夏 映像 株式会社コム デ ギャルソン | 3 ミラー・リエスタグリアブエ(EMBT アル キテクテス) 《サンタ・カテリーナ市場》の屋根の模型 1997年 張子材料 EMBT アルキテクテス | IV. 両者の融合 Synthesis | |
| 14 山本耀司 ドレス 2006年春夏 絹 株式会社 ヨウジヤマモト | 4 ミラー・リエスタグリアブエ(EMBT アル キテクテス) 《サンタ・カテリーナ市場》のための屋根 のスタディーズ 1997-2005年 コラーージュ EMBT アルキテクテス | 1 エレナ・マンフェルディーニ 《カスタム・ドレス》2006年 レーザー・カットした布地 エレナ・マンフェルディーニ | |
| | | 2-4 テスタ&ワイザー | |

日展100年
出品リスト

第1章 文展

2
竹内栖鳳
飼われたる猿と兎
1908年(明治41)
絹本着色、二曲一双
各163.5×183.0
東京国立近代美術館

3
竹内栖鳳
アレタ立に
1909年(明治42)
絹本着色、一幅
165.0×84.0
高島屋史料館

4
下村観山
木の間の秋
1907年(明治40)
紙本着色、二曲一双
各169.5×170.0
東京国立近代美術館

6
菱田春草
◎賢首菩薩
1907年(明治40)
絹本着色、一幅
185.7×99.5
東京国立近代美術館

10
上村松園
花がたみ
1915年(大正4)
絹本着色、一面
208.0×127.0
松伯美術館

12
土田麦僊
髪
1911年(明治44)
絹本着色、一幅
80.0×85.5
京都市立芸術大学芸術資料館

14
村上華岳
二月乃頃
1911年(明治44)
絹本着色、一幅
113.5×132.0
京都市立芸術大学芸術資料館

15
今村紫紅
護花鈴
1911年(明治44)
絹本着色、六曲一双
各170.2×364.4
霊友会妙一記念館

19
寺崎廣業
高山清秋
1914年(大正3)
絹本着色、六曲一双
各168.2×364.2
秋田県立近代美術館

21
富田溪仙
沈壺・容膝
1913年(大正2)
紙本墨画淡彩、二幅
各211.0×88.8
福岡県立美術館

23
平福百穂
七面鳥
1914年(大正3)
紙本墨画淡彩、六曲一双
各166.0×357.0

24
平福百穂
豫讓
1917年(大正6)
絹本着色、六曲一双
各173.0×373.0
永青文庫

29
川合玉堂
暮るる山家
1918年(大正7)
絹本着色、一幅
217.0×100.5
大倉集古館

30
中村不折
白頭翁
1907年(明治40)
油彩、カンヴァス
202.0×136.6

31
大下藤次郎
穂高山の麓
1907年(明治40)
水彩、紙
47.5×67.5
東京国立近代美術館

34
中沢弘光
夏
1907年(明治40)
油彩、カンヴァス
81.2×60.7
東京国立近代美術館

36
坂本繁二郎
北茂安村の一部
1907年(明治40)
油彩、カンヴァス
143.9×136.5
株式会社西日本シティ銀行

37
和田三造
南風
1907年(明治40)
油彩、カンヴァス
151.5×182.4
東京国立近代美術館

38
岡田三郎助
萩
1908年(明治41)
油彩、カンヴァス
119.8×78.8
兵庫県立美術館

40
満谷国四郎
車夫の家族
1908年(明治41)
油彩、カンヴァス
150.7×120.3
東京藝術大学大学美術館

41
石橋和訓
美人読詩
1906年(明治39)
油彩、カンヴァス
99.5×88.3
鳥根県立美術館

43
山下新太郎
読書の後
1908年(明治41)
油彩、カンヴァス
89.6×62.3
泉屋博古館分館

45
南薫造
坐せる女
1908年(明治41)
油彩、カンヴァス
112.1×83.3
広島県立美術館

46
黒田清輝
夏草
1911年(明治44)
油彩、カンヴァス
79.5×73.5
財団法人長島美術館

49
白瀧幾之助
老母像
1911年(明治44)
油彩、カンヴァス
121.5×91.0
兵庫県立美術館

52
石井柏亭
滯船
1913年(大正2)
グワッシュ、紙
52.5×73.0

53
辻永
初秋
1914年(大正3)
油彩、カンヴァス
115.5×89.5

54
中村彝
小女
1914年(大正3)
油彩、カンヴァス
69.5×65.5
株式会社中村屋

55
金山平三
夏の内海
1916年(大正5)
油彩、カンヴァス
87.0×114.0
東京国立近代美術館

58
新海竹太郎
ゆあみ
1907年(明治40)
ブロンズ
高189.0
山口県立美術館

59
白井雨山
箭調べ
1908年(明治41)
ブロンズ
高171.0
東京国立近代美術館

62
朝倉文夫
墓守
1910年(明治43)
ブロンズ
高178.5
台東区立朝倉彫塑館

65
荻原守衛
女
1910年(明治43)
ブロンズ
高99.0
長野県信濃美術館

[凡例]
No.
作家名
作品名(◎重要文化財)
制作年
材質形状、員数
寸法(縦×横 cm)
所蔵

| | | | |
|---|---|---|---|
| 66 平櫛田中 落葉 1913年(大正2) 木 高74.5 広島県立美術館 | 15 山元春挙 しぐれ来る瀟峽 1931年(昭和6) 絹本着色、一幅 185.0×100.0 滋賀県立近代美術館 | 32 岸田劉生 童女像 1921年(大正10) 油彩、カンヴァス 53.4×45.8 | 51 中村研一 弟妹集う 1930年(昭和5) 油彩、カンヴァス 187.0×273.0 住友クラブ |
| 67 藤井浩佑 トロを待つ坑婦 1914年(大正3) ブロンズ 高113.0 東京国立近代美術館 | 17 鑄木清方 ◎三遊亭円朝像 1930年(昭和5) 絹本着色、一幅 138.5×76.0 東京国立近代美術館 | 33 藤島武二 東洋振り 1924年(大正13) 油彩、カンヴァス 63.7×44.0 | 52 大久保作次郎 舟遊園 1931年(昭和6) 油彩、カンヴァス 181.0×215.0 京都国立近代美術館 |
| 第2章 帝展 | | | |
| 1 石崎光瑤 燦雨 1919年(大正8) 絹本着色、六曲一双 各181.4×379.4 南砺市立福光美術館 | 18 小野竹喬 風浪 1930年(昭和5) 紙本着色、二曲一隻 157.6×172.8 笠岡市立竹喬美術館 | 35 佐分真 静物 1924年(大正13) 油彩、カンヴァス 91.2×116.6 名古屋市美術館 | 55 前川千帆 花見 1934年(昭和9) 木版、紙 44.2×52.7 千葉市美術館 |
| 2 川崎小虎 春の訪れ 1924年(大正13) 絹本着色、六曲一双 各169.0×363.0 山種美術館 | 20 児玉希望 山とよむ 1932年(昭和7) 絹本着色、一面 257.0×175.0 広島県立美術館 | 37 小林萬吾 銀屏の前 1925年(大正14) 油彩、カンヴァス 91.0×73.0 福富太郎コレクション | 56 中西利雄 優駿出場 1934年(昭和9) グワッシュ、水彩用カンヴァス 91.0×117.0 日本中央競馬会 |
| 4 菊池契月 立女 1924年(大正13) 絹本着色、一面 154.5×170.5 長野県信濃美術館 | 22 松岡映丘 右大臣実朝 1932年(昭和7) 紙本着色、一面 124.0×157.0 日本芸術院 | 39 前田寛治 少女と子供 1927年(昭和2) 油彩、カンヴァス 145.5×112.0 鳥取県立博物館 | 57 北村四海 凡てを委ねる 1919年(大正8) 大理石 高87.0 長野県信濃美術館 |
| 5 石井林響 総南の旅から 1921年(大正10) 絹本着色、三幅 各116.0×117.8 山種美術館 (右)仁右衛門島の朝 (中)隧道口 (左)砂丘の夕 | 23 荒木十畝 笏冥 1934年(昭和9) 紙本墨画、一面 144.0×165.0 日本芸術院 | 41 吉田博 瀬戸内海集より 1926年(大正15) 多色木版、紙 各約50.8×36.0 福岡市美術館 帆船 朝/帆船 午前 帆船 霧/帆船 夜 | 58 山崎朝雲 雪舟像 1925年(大正14) 木(雁皮桜)、彩色 高63.0 札幌芸術の森美術館 |
| 6 堂本印象 訶梨帝母 1922年(大正11) 絹本着色、三面 中央218.0×166.0 左右各225.0×61.5 京都国立近代美術館 | 25 結城素明 炭窯 1934年(昭和9) 紙本着色、一面 147.7×101.2 日本芸術院 | 44 永瀬義郎 髪 1927年(昭和2) 木版、紙 33.0×24.0 菰池佐千夫 | 59 北村西望 アダム 1929年(昭和4) ブロンズ 高173.5 東京都現代美術館 |
| 7 中村大三郎 燈籠大臣 1922年(大正11) 絹本着色、一幅 241.5×146.6 耕三寺博物館 | 26 西山翠嶂 牛賈ひ 1934年(昭和9) 絹本着色、一面 109.0×144.0 日本芸術院 | 46 中野和高 風景を配せる我家庭 1928年(昭和3) 油彩、カンヴァス 145.0×216.5 愛媛県美術館 | 60 澤田政廣 白鳳 1929年(昭和4) 木、彩色 高263.0 佐野美術館 |
| 11 金島桂華 蓮池 1926年(大正15) 絹本着色、四曲一隻 200.0×352.0 華鶴大塚美術館 | 27 和田英作 読み了りたる物語 1919年(大正8) 油彩、カンヴァス 80.5×65.6 財団法人松下美術館 | 47 織田一磨 新潟唐人池 1929年(昭和4) 石版、紙 43.5×58.5 宮城県美術館 | 61 建島大夢 感に打たれた女 1932年(昭和7) ブロンズ 高161.0 和歌山県立近代美術館 |
| 13 宇田荻椰 梁 1933年(昭和8) 絹本着色、一面 186.0×180.8 松阪市立第一小学校 | 29 三宅克己 羅馬コンスタンチン凱旋門 1920年(大正9) 水彩、紙 49.0×65.0 東京国立近代美術館 | 49 恩地孝四郎 岩間 1929年(昭和4) 木版、紙 53.0×38.8 千葉市美術館 | 62 富永朝堂 五比賣命 1932年(昭和7) 木 高187.0 福岡市美術館 |
| | 31 牧野虎雄 中庭(庭の少女) 1921年(大正10) 油彩、カンヴァス 94.8×111.0 東京都現代美術館 | 50 伊原宇三郎 二人 1930年(昭和5) 油彩、カンヴァス 161.0×143.0 徳島県立近代美術館 | 63 板谷波山 紫金磁珍果文花瓶 1927年(昭和2) 磁器 高43.8 口径19.4 出光美術館 |

65
内藤春治
壁面花挿
1929年(昭和4)
青銅、鑄造
縦38.5 横35.0 奥行18.0
東京国立近代美術館

66
海野清
鸚鵡小禽葡萄紋筥
1928年(昭和3)
銀・赤銅・銅、鍍金
高7.8 径13.6
東京国立博物館

68
北原千鹿
置物兜
1929年(昭和4)
龐銀、彫金
高18.0
京都国立近代美術館

70
六角紫水
大空と洋海の驚異手箱
1934年(昭和9)
漆・アルマイト
高15.3 縦30.2 横23.3
広島県立美術館

71
山鹿清華
「魚閣」壁掛
1930年(昭和5)
手織錦、壁掛
208.0×167.0

73
番浦省吾
秋之夜蒔絵棚
1930年(昭和5)
漆・金
高63.3 横幅106.3 奥行36.9

74
清水南山
赤童子図色紙箱
1931年(昭和6)
銅、彫金
高5.3 縦23.0 横20.0
京都国立近代美術館

75
皆川月華
群禽三山
1931年(昭和6)
染、三曲一隻
186.0×179.0

第3章 新文展

3
橋本閑雪
唐犬
1936年(昭和11)
絹本着色、二曲一隻
164.0×366.0
大阪市立美術館

6
西村五雲
麥秋
1937年(昭和12)
絹本着色、一面
166.0×204.0
日本芸術院

7
横山大観
皇大神宮図
1938年(昭和13)
紙本墨画、一幅
92.4×115.4
神宮徴古館

8
安田靉彦
孫子勲姫兵
1938年(昭和13)
紙本着色、一幅
64.2×136.5
豊友会妙一記念館

16
平塚運一
斑鳩寺初秋
1942年(昭和17)
木版、紙
76.0×59.0
島根県立美術館

18
棟方志功
勝鬘譜 善知鳥版画曼荼羅
1938年(昭和13)
木版、紙 九点組
各24.0×28.0
青森県立美術館

20
野口謙蔵
朝
1940年(昭和15)
油彩、カンヴァス
130.5×162.0
滋賀県立近代美術館

22
朝井閑右衛門
春
1943年(昭和18)
油彩、カンヴァス
78.0×52.5
京都市美術館

23
石井鶴三
相撲(三)
1939年(昭和14)
ブロンズ
高22.0
上田市立博物館

24
武井直也
髪
1939年(昭和14)
ブロンズ
高116.0
東京国立近代美術館

25
吉田三郎
山羊を飼う老人
1943年(昭和18)
ブロンズ
高149.5
石川県立美術館

26
大須賀喬
仙人掌文香盆
1936年(昭和11)
銅、彫金
高3.1 縦30.0 横30.0
京都国立近代美術館

28
沼田一雅
胡砂の旅
1937年(昭和12)
陶器
高19.5 幅41.0 奥行14.0
京都国立近代美術館

29
二十世堆朱楊成
彫漆亀甲型平卓春秋紋
1937年(昭和12)
漆、彫漆
高8.4 長径39.5 短径35.2
敦井美術館

30
山鹿清華
「熱河」壁掛
1937年(昭和12)
手織錦、壁掛
283.0×205.5
東京藝術大学大学美術館

32
豊田勝秋
鑄銅大口花瓶
1937年(昭和12)
銅、鍍金
高40.0 口径35.0
京都国立近代美術館

33
松田権六
鶯蒔絵棚
1938年(昭和13)
漆、蒔絵
高69.5 幅90.2 奥行39.3
広島県立美術館

34
吉田醇一郎
薄雪鳩文漆絵飾筥
1938年(昭和13)
色漆、漆絵
高22.0 縦40.4 横29.9
東京藝術大学大学美術館

35
清水六和(五代清水六兵衛)
色絵秋草手焙
1940年(昭和15)
陶器、色絵
高17.4 径20.5
京都国立近代美術館

36
佐々木象堂
鑄銅色絵鸚哥置物
1940年(昭和15)
銅、鑄造
高32.2 幅11.0
新潟県立近代美術館・万代島美術館

37
各務鏞三
硝子鉢
1940年(昭和15)
クリスタルガラス
高14.2 径31.8
京都国立近代美術館

39
津田信夫
戦意充盈
1944年(昭和19)
鍍金
高21.0 横幅47.0 奥行11.5
東京都現代美術館

4章 日展

4
伊東深水
聞香
1950年(昭和25)
絹本着色、一面
143.5×171.5
東京国立近代美術館

5
松林桂月
秋壑暮雲(松泉)
1947年(昭和22)
紙本墨画、一幅
206.0×104.0
東京都現代美術館

7
三谷十糸子
蓮
1947年(昭和22)
紙本着色、一面
223.3×127.5
京都国立近代美術館

10
中村岳陵
残照
1961年(昭和36)
紙本着色、一面
94.5×120.0
静岡県立美術館

13
寺島紫明
舞妓
1964年(昭和39)
紙本着色、一面
148.5×108.0
大関株式会社

14
山口蓬春
夏の印象
1950年(昭和25)
紙本着色、一面
90.0×90.0

16
徳岡神泉
枯葉
1958年(昭和33)
紙本着色、一面
145.0×114.5
京都国立近代美術館

17
山口華楊
白い馬
1952年(昭和27)
紙本着色、一面
177.0×128.0
日本芸術院

18
郷倉千靱
庭と仔犬
1953年(昭和28)
紙本着色、一面
168.5×123.0
富山県立近代美術館

19
福田平八郎
雨
1953年(昭和28)
紙本着色、一面
108.7×86.5
東京国立近代美術館

23
東山魁夷
秋霧
1958年(昭和33)
紙本着色、一面
160.0×167.6
東京国立近代美術館

26
堅山南風
日午
1956年(昭和31)
紙本着色、一面
170.0×148.5

27
堅山南風
画室にて
1957年(昭和32)
紙本着色、一面
121.7×78.8
ウッドワン美術館

| | | | |
|--|--|---|--|
| 28 猪原大華 月 1956年(昭和31) 紙本着色、一面 180.0×140.7 広島県立美術館 | 50 井手宣通 吉野山(桜) 1961年(昭和36) 油彩、カンヴァス 112.0×145.5 熊本市現代美術館 | 62 飯塚琅环斎 華籃富貴 1946年(昭和21) 竹 高38.1 径32.8 | 79 楠部彌弼 碧玉釉「萼」花瓶 1969年(昭和44) 陶器 高42.0 径33.0 敦井美術館 |
| 31 杉山寧 穹 1964年(昭和39) 麻本着色、一面 227.3×173.0 東京国立近代美術館 | 52 田崎廣助 朝やけの大山 1966年(昭和41) 油彩、カンヴァス 112.5×145.1 福岡市美術館 | 63 山脇洋二 蜥蜴文硯箱 1947年(昭和22) 銀、彫金 高7.0 縦23.0 横16.5 京都国立近代美術館 | 80 二代浅蔵五十吉 孔雀譜飾皿 1968年(昭和43) 磁器 高10.0 口径63.0 底径39.0 小松市立博物館 |
| 33 橋本明治 鏡 1966年(昭和41) 紙本着色、一面 194.0×135.2 島根県立美術館 | 53 小堀進 初秋 1969年(昭和44) 水彩、紙 87.0×123.0 日本芸術院 | 64 佐藤潤四郎 クリスタル花器 1947年(昭和22) クリスタルガラス 高16.2 幅31.2 京都国立近代美術館 | 81 越智健三 植物の印象 1969年(昭和44) 鉄、鍛金 高102.5 幅42.0 奥行40.0 京都国立近代美術館 |
| 35 梶原緋佐子 夕立 1967年(昭和42) 紙本着色、一面 184.0×109.0 東京都現代美術館 | 54 高田誠 残雪暮色 1971年(昭和46) 油彩、カンヴァス 101.0×144.0 日本芸術院 | 65 山崎覚太郎 漆器 空 小屏風 1950年(昭和25) 漆、木パネル、二曲一隻 55.0×175.0 富山県水墨美術館 | 82 六代清水六兵衛 秋叢花瓶 1970年(昭和45) 陶器 高32.0 胴径36.5 東京国立近代美術館 |
| 37 奥田元宋 嵬 1979年(昭和54) 紙本着色、一面 216.0×156.0 日本芸術院 | 55 小山敬三 浅間山夕月 1972年(昭和47) 油彩、カンヴァス 98.0×79.0 小諸市立小山敬三美術館 | 66 山形駒太郎 海の想い出 1951年(昭和26) 蠟染、木綿 125.2×163.2 宮城県美術館 | 83 高木敏子 綴織壁掛水紋 1970年(昭和45) 絹、織 縦166.0 横150.0 奥行8.0 |
| 38 加藤東一 弓す 1978年(昭和53) 紙本着色、一面 216.0×197.0 富山県立近代美術館 | 56 鈴木千久馬 花束を持つ裸少女 1976年(昭和51) 油彩、カンヴァス 91.0×65.2 福井県立美術館 | 69 宮之原謙 陶製花瓶「空」 1956年(昭和31) 陶器 高39.0 胴径32.0 日本芸術院 | 85 横山白汀 化石の譜 1972年(昭和47) 漆、木パネル 90.0×90.0 富山県水墨美術館 |
| 39 池田遙邨 稲掛け 1981年(昭和56) 紙本着色、一面 162.1×112.1 愛知県美術館 | 57 伊藤清永 曙光 1976年(昭和51) 油彩、カンヴァス 162.0×109.0 日本芸術院 | 71 生野祥雲斎 虎圍 1959年(昭和34) 竹 高50.0 長径110.0 短径64.0 東京国立近代美術館 | 86 安原喜明 棚器花生 1972年(昭和47) 磁器 高50.0 東京都現代美術館 |
| 42 寺内高治郎 裸婦 1949年(昭和24) 油彩、カンヴァス 72.7×60.6 埼玉県立近代美術館 | 58 國領経郎 跡 1978年(昭和53) 油彩、カンヴァス 131.0×194.0 東京都現代美術館 | 72 佐治賢使 都会 1960年(昭和35) 色漆・青貝、二曲一隻 185.0×181.0 | 87 佐野猛夫 噴煙の島屏風 1972年(昭和47) 蠟染、二曲一隻 170.0×175.0 日本芸術院 |
| 44 鬼頭鍋三郎 バレリーナ 1951年(昭和26) 油彩、カンヴァス 79.0×99.0 日本芸術院 | 59 清水多嘉示 すこやか(裸婦) 1952年(昭和27) ブロンズ 高171.0 原村立ハヶ岳美術館 | 73 小合友之助 晴 1961年(昭和36) 蠟繡染、二曲一隻 172.0×184.0 京都国立近代美術館 | 88 岩田久利 花器「聖華」 1981年(昭和56) ガラス 高53.0 径33.0 日本芸術院 |
| 47 中村琢二 赤いブラウス 1955年(昭和30) 油彩、カンヴァス 90.0×60.0 日本芸術院 | 60 圓鏗勝三 星羅 1960年(昭和35) 木 高223.0 広島県立美術館 | 76 北出塔次郎 胡砂の旅 陶製額面 1967年(昭和42) 磁器 68.0×77.0 日本芸術院 | 92 西川寧 韓非子語 1966年(昭和41) 紙本墨書、一面 88.0×95.0 東京国立博物館 |
| 49 耳野卯三郎 静物 1961年(昭和36) 油彩、カンヴァス 97.2×145.4 呉市立美術館 | 61 安田周三郎 異形B 1976年(昭和51) セメント 高36.5 東京国立近代美術館 | 77 森野嘉光 緑釉窠窠赤黒花瓶 1967年(昭和42) 陶器 高34.2 長径18.4 短径17.4 京都国立近代美術館 | 93 川村驥山 醉古堂剣掃語 1950年(昭和25) 紙本墨書、六曲一隻 122.0×204.0 財団法人驥山館 |

- 94
鈴木翠軒
禪牀夢美人
1956年(昭和31)
紙本墨書、一面
34.0×140.0
日本芸術院
- 95
津金雀仙
いろは歌
1956年(昭和31)
紙本墨書、二曲一隻
176.0×41.0
- 96
豊道春海
国字調和体 三大字 良し久
1957年(昭和32)
紙本墨書、一幅
180.0×44.0
- 98
上條信山
谷神不死
1962年(昭和37)
紙本墨書、一面
202.3×68.2
松本市美術館
- 99
熊谷恒子
箭にもる
1963年(昭和38)
紙本墨書、一面
24.5×37.5
- 100
赤羽雲庭
暮山巍峨
1963年(昭和38)
絹本墨書、二曲一隻
169.0×168.0
財団法人驥山館
- 101
安東聖空
なでしこ
1967年(昭和42)
紙本墨書、一面
173.0×49.0
神戸市立博物館
- 104
廣津雲仙
禪語
1972年(昭和47)
絹本墨書、一面
45.0×163.0
東京都現代美術館
- 106
手島右卿
神
1974年(昭和49)
紙本墨書、一幅
123.0×66.0
- 110
村上三島
李延昱詩
1979年(昭和54)
紙本墨書、一面
230.0×58.0
愛媛県美術館
- 111
青山杉雨
竹傳春
1980年(昭和55)
紙本墨書、一面
75.0×152.5
学校法人晴川学舎 青山杉雨記念室

パーソナルフォトアーカイブス
安齊重男の“私・写・録”
 1970-2006
 出品リスト

| | | |
|---|---|---|
| 0001 1970年 1月21日 李禹煥 田村画廊 東京 | 東京都美術館 東京 | クリスト 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0002 1970年 2月11日 本田眞吾 田村画廊 東京 | 0014 1970年 5月 野村仁、ヤニス・クネリス 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0028 1970年 5月 クリスト 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0003 1970年 2月15日 吉田克朗 〔第5回神奈川県美術展〕 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 0015 1970年 5月 ハンス・ハーケ、藤枝晃雄 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0029 1970年 5月 クリスト 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0004 1970年 3月30日 野村仁 現代美術野外フェスティバル こどもの国 神奈川 | 0016 1970年 5月 〔岡田夫妻〕、クリスト 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0030 1970年 5月 クリスト 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0005 1970年 4月 5日 寺田武弘、吉田克朗 現代美術野外フェスティバル こどもの国 神奈川 | 0017 1970年 5月 カール・アンドレ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0031 1970年 5月 ルチアーノ・ファブロ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0006 1970年 4月 9日 木下宏 現代美術野外フェスティバル こどもの国 神奈川 | 0018 1970年 5月 カール・アンドレ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0032 1970年 5月 ルチアーノ・ファブロ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0007 1970年 4月 原口典之 〔現代美術野外フェスティバル〕 〔こどもの国〕 神奈川 | 0019 1970年 5月 ダニエル・ビュラン 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0033 1970年 5月 バリー・フラナガン 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0008 1970年 4月 李禹煥 ビナール画廊 東京 | 0020 1970年 5月 ダニエル・ビュラン 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0034 1970年 5月 ハンス・ハーケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0009 1970年 5月 吉田克朗 東京画廊 東京 | 0021 1970年 5月 ダニエル・ビュラン 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0035 1970年 5月 ハンス・ハーケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0010 1970年 5月 ダニエル・ビュラン、カール・アンドレ、 野村仁、ヤニス・クネリス、マリオ・ メルツ、堀川紀夫、羽永光利、庄司達、 松澤宥、クラウス・リンケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0022 1970年 5月 ダニエル・ビュラン 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0036 1970年 5月 ヤニス・クネリス 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0011 1970年 5月 小清水漸、河口龍夫、成田克彦、中原佑介、 峯村敏明 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0023 1970年 5月 ダニエル・ビュラン 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0037 1970年 5月 ヤニス・クネリス 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0012 1970年 5月 カール・アンドレ、ハンス・ハーケ、 高松次郎 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0024 1970年 5月 ダニエル・ビュラン 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0038 1970年 5月 マリオ・メルツ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| 0013 1970年 5月 ダニエル・ビュラン、カール・アンドレ 第10回日本国際美術展—人間と物質 | 0025 1970年 5月 ダニエル・ビュラン 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0039 1970年 5月 マリオ・メルツ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 |
| | 0026 1970年 5月 クリスト 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | |
| | 0027 1970年 5月 | |

〔凡例〕
 通番
 撮影年月日
 人名
 展覧会名など
 (美術館で開催された展覧会については、
 写真の書込みを元にカタログを調査し、
 そこに記載された展覧会名を採用した)
 会場名
 地名
 ※カタログなどで正式名称を確認できな
 かったデータについては〔 〕を付け示した

| | | | |
|--|--|---|---|
| 0040 1970年5月 ジュゼッペ・ペノーネ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0053 1970年5月 リチャード・セラ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 東京 0066 1970年6月 李禹煥 ピナール画廊 東京 | 0078 1970年7月 吉田克朗 現代美術の動向 京都国立近代美術館 京都 |
| 0041 1970年5月 ジュゼッペ・ペノーネ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0054 1970年5月 リチャード・セラ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0067 1970年6月 吉田克朗 〔第5回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)〕 〔都立産業会館〕 東京 | 0079 1970年7月 吉田克朗 現代美術の動向 京都国立近代美術館 京都 |
| 0042 1970年5月 ジュゼッペ・ペノーネ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0055 1970年5月 リチャード・セラ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0068 1970年7月6日 トウハンシ 現代美術の動向 京都国立近代美術館 東京 | 0080 1970年7月 菅木志雄 現代美術の動向 京都国立近代美術館 京都 |
| 0043 1970年5月 クラウス・リンケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0056 1970年5月 リチャード・セラ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0069 1970年7月6日 寺田武弘 現代美術の動向 京都国立近代美術館 東京 | 0081 1970年8月 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0044 1970年5月 クラウス・リンケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0057 1970年5月 リチャード・セラ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0070 1970年7月6日 榎倉康二 現代美術の動向 京都国立近代美術館 東京 | 0082 1970年8月 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0045 1970年5月 クラウス・リンケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0058 1970年5月 リチャード・セラ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0071 1970年7月6日 菅木志雄 現代美術の動向 京都国立近代美術館 東京 | 0083 1970年8月 小清水漸 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0046 1970年5月 クラウス・リンケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0059 1970年5月 リチャード・セラ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0072 1970年7月13日 菅木志雄 〔第5回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)〕 京都国立近代美術館 東京 | 0084 1970年8月 小清水漸 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0047 1970年5月 クラウス・リンケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0060 1970年5月 小清水漸 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0073 1970年7月13日 菅木志雄 〔第5回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)〕 京都国立近代美術館 東京 | 0085 1970年8月 菅木志雄 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0048 1970年5月 クラウス・リンケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0061 1970年5月 庄司達 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0074 1970年7月13日 本田眞吾 〔第5回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)〕 京都国立近代美術館 東京 | 0086 1970年8月 菅木志雄 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0049 1970年5月 クラウス・リンケ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0062 1970年5月 高松次郎 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0075 1970年7月13日 渡辺英夫 〔第5回ジャパン・アート・フェスティバル(日本芸術祭)〕 京都国立近代美術館 東京 | 0087 1970年8月 高松次郎 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0050 1970年5月 ライナー・ルッテンベック 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0063 1970年5月 高松次郎 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0076 1970年7月18日 吉田克朗 シロタ画廊 東京 | 0088 1970年8月 田中信太郎 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0051 1970年5月 ライナー・ルッテンベック 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0064 1970年5月 堀川紀夫 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0077 1970年7月18日 吉田克朗 シロタ画廊 東京 | 0089 1970年8月 成田克彦 1970年8月—現代美術の一断面 京都国立近代美術館 東京 |
| 0052 1970年5月 リチャード・セラ 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | 0065 1970年5月 成田克彦 第10回日本国際美術展—人間と物質 東京都美術館 東京 | | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 0091 1970年8月 李禹煥 1970年8月—現代美術の一断面 東京国立近代美術館 東京 | 0105 1971年5月3日 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 小清水漸 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 鷺見和紀郎 〔Bゼミ展〕 横浜市民ギャラリー 神奈川 |
| 0092 1970年8月 李禹煥 1970年8月—現代美術の一断面 東京国立近代美術館 東京 | 0106 1971年5月3日 狗巻賢二 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0119 1971年5月 高松次郎 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0133 1972年6月 原口典之 サトウ画廊 東京 |
| 0093 1970年8月 李禹煥 1970年8月—現代美術の一断面 東京国立近代美術館 東京 | 0107 1971年5月10日 魚田元生 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0120 1971年5月 高山登 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0134 1972年8月7日 清水誠一 田村画廊 東京 |
| 0094 1970年10月 吉田克朗 〔第7回今日の作家展〕 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0108 1971年5月10日 前山忠 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0121 1971年5月 吉村益信 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0135 1972年8月29日 関根伸夫 作家スタジオ 東京 |
| 0095 1971年1月10日 吉田克朗 シロタ画廊 東京 | 0109 1971年5月10日 菅木志雄 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0122 1971年5月 李禹煥 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0136 1972年9月19日 松本曼 ピナール画廊 東京 |
| 0096 1971年1月11日 李禹煥 ピナール画廊 東京 | 0110 1971年5月18日 吉田克朗 ピナール画廊 東京 | 0123 1971年11月15日 倉重光則 サトウ画廊 東京 | 0137 1972年9月29日 関根伸夫 東京 |
| 0097 1971年1月14日 小清水漸 田村画廊 東京 | 0111 1971年5月23日 原口典之 ギャラリー—射手座 京都 | 0124 1971年12月21日 岩野弘之 日本大学 東京 | 0138 1972年9月30日 藤田昭子 神奈川 |
| 0098 1971年1月24日 星野初美 田村画廊 東京 | 0112 1971年5月27日 眞板雅文 村松画廊 東京 | 0125 1972年1月13日 菅木志雄 田村画廊 東京 | 0139 1972年10月2日 高山登 田村画廊 東京 |
| 0099 1971年3月11日 榎倉康二 ウォーカー画廊 東京 | 0113 1971年5月29日 寺田武弘 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0126 1972年4月6日 河口龍夫 ピナール画廊 東京 | 0140 1972年10月15日 土谷武 〔第3回神戸須磨離宮公園現代彫刻展〕 神戸市立須磨離宮公園 兵庫 |
| 0100 1971年3月18日 水本修二 シロタ画廊 東京 | 0114 1971年5月29日 寺田武弘 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0127 1972年5月25日 関根伸夫 〔不明〕 | 0141 1972年11月16日 菅木志雄 東京 |
| 0101 1971年4月5日 原口典之 ピナール画廊 東京 | 0115 1971年5月 榎倉康二 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0128 1972年6月11日 刀根康尚 ルナミ画廊 東京 | 0142 1972年11月20日 三木富雄 南画廊 東京 |
| 0102 1971年4月7日 高松次郎 ピナール画廊 東京 | 0116 1971年5月 倉重光則 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0129 1972年6月11日 風倉匠 ルナミ画廊 東京 | 0143 1972年11月20日 三木富雄 南画廊 東京 |
| 0103 1971年4月11日 斉藤智 シロタ画廊 東京 | 0117 1971年5月 ザ・プレイ(池水慶一) 第10回現代日本美術展—人間と自然 東京都美術館 東京 | 0130 1972年6月12日 関根伸夫 志木市庁舎前 埼玉 | 0144 1972年11月25日 三木富雄 南画廊 東京 |
| 0104 1971年4月19日 菅沼緑 ときわ画廊 東京 | 0118 1971年5月 | 0131 1972年6月13日 中上清 〔Bゼミ展〕 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0145 1972年11月26日 藤井博 東京駅 東京 |
| | | 0132 1972年6月13日 | 0147 1973年1月9日 島州一 |

| | | | |
|--|--|---|---|
| ピナール画廊 東京 | 0162 1973年 5 月31日 堀内正和 ギン画廊 東京 | 東京 0175 1973年 7 月10日 菅沼緑 ときわ画廊 東京 | グループ361° ピナール画廊 東京 |
| 0148 1973年 1 月19日 島州一 作家スタジオ | 0163 1973年 6 月 2 日 篠田守男 第 1 回彫刻の森美術館大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0176 1973年 7 月19日 田中信太郎、厚木凡人ダンス・カンパニー 草月会館 東京 | 0190 1973年 9 月 グループ361° 東京 |
| 0149 1973年 2 月 1 日 柏原えつとむ 上野動物園 東京 | 0164 1973年 6 月 2 日 鈴木実 第 1 回彫刻の森美術館大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0177 1973年 7 月24日 宮脇愛子 作家スタジオ | 0191 1973年10月 1 日 小清水漸 第 5 回現代日本彫刻展一形と色 宇部市野外彫刻美術館 山口 |
| 0150 1973年 2 月26日 植松奎二 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0165 1973年 6 月 2 日 田中米吉 第 1 回彫刻の森美術館大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0178 1973年 7 月25日 関根美夫 ギン画廊 東京 | 0192 1973年10月 2 日 土谷武 第 5 回現代日本彫刻展一形と色 宇部市野外彫刻美術館 山口 |
| 0151 1973年 5 月 1 日 彦坂尚嘉 田村画廊 東京 | 0166 1973年 6 月 2 日 速水史朗 第 1 回彫刻の森美術館大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0179 1973年 7 月31日 グループ361° 井の頭公園 東京 | 0193 1973年10月 2 日 山本衛士 第 5 回現代日本彫刻展一形と色 宇部市野外彫刻美術館 山口 |
| 0152 1973年 5 月 5 日 斉藤義重 作家スタジオ 神奈川 | 0167 1973年 6 月 3 日 飯田善國夫妻、篠田守男、井上武吉、 保田春彦、堀内正和夫妻 第 1 回彫刻の森美術館大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0180 1973年 7 月31日 グループ361° 井の頭公園 東京 | 0194 1973年10月 3 日 村岡三郎 第 5 回現代日本彫刻展一形と色 宇部市野外彫刻美術館 山口 |
| 0153 1973年 5 月 5 日 斉藤義重 作家スタジオ 神奈川 | 0168 1973年 6 月 3 日 池田宗弘 第 1 回彫刻の森美術館大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0181 1973年 8 月 2 日 高松次郎 作家スタジオ 東京 | 0195 1973年10月18日 合田佐和子 作家スタジオ 東京 |
| 0154 1973年 5 月14日 イサム・ノグチ、武満徹 南画廊 東京 | 0169 1973年 6 月 3 日 村岡三郎 第 1 回彫刻の森美術館大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0182 1973年 8 月10日 野村仁 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0196 1973年10月18日 三木富雄 作家スタジオ 東京 |
| 0155 1973年 5 月14日 イサム・ノグチ、武満徹 南画廊 東京 | 0170 1973年 6 月 3 日 山本衛士 第 1 回彫刻の森美術館大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0183 1973年 8 月10日 ザ・プレイ 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0197 1973年11月 2 日 菅木志雄 サトウ画廊 東京 |
| 0156 1973年 5 月15日 篠田守男 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0171 1973年 6 月 9 日 檀倉康二 点展 作家自庭 東京 | 0184 1973年 8 月11日 速水史朗 香川 | 0198 1973年12月 1 日 高松次郎 〔Window Itself Yamagiwa Series〕 ヤマギワ 東京 |
| 0157 1973年 5 月15日 関根伸夫 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0172 1973年 6 月 9 日 八田淳 点展 作家スタジオ 東京 | 0185 1973年 8 月15日 泉茂 作家スタジオ 大阪 | 0199 1974年 1 月 7 日 魚田元生 ルナミ画廊 東京 |
| 0158 1973年 5 月15日 三沢憲司 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0173 1973年 7 月 1 日 篠田守男 〔Window Itself Yamagiwa Series〕 ヤマギワ 東京 | 0186 1973年 8 月23日 篠田守男 作家スタジオ 東京 | 0200 1974年 1 月 8 日 眞板雅文 ギン画廊 東京 |
| 0159 1973年 5 月22日 戸村浩 〔Window Itself Yamagiwa Series〕 ヤマギワ 東京 | 0174 1973年 7 月 1 日 篠田守男 〔Window Itself Yamagiwa Series〕 ヤマギワ 東京 | 0187 1973年 9 月 2 日 グループ361° 東京駅 東京 | 0201 1974年 1 月21日 舘嘸 作家スタジオ 東京 |
| 0160 1973年 5 月31日 菅木志雄 東京セントラル美術館 東京 | 0175 1973年 7 月 1 日 篠田守男 〔Window Itself Yamagiwa Series〕 ヤマギワ 東京 | 0188 1973年 9 月 2 日 島州一 〔Window Itself Yamagiwa Series〕 ヤマギワ 東京 | 0202 1974年 1 月 菅木志雄 常盤公園 東京 |
| 0161 1973年 5 月31日 堀内正和 ギン画廊 東京 | 0176 1973年 7 月 1 日 篠田守男 〔Window Itself Yamagiwa Series〕 ヤマギワ 東京 | 0189 1973年 9 月17日 | 0203 1974年 2 月12日 矢田アキ |

| | | | |
|---|--|--|--|
| 楡の木画廊 東京 | 0218 1974年 6 月23日 伊藤公象 山崎画廊 東京 | 0233 1974年 9 月 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | デンマーク |
| 0204 1974年 2 月26日 三島喜美代 南画廊 東京 | 0219 1974年 6 月24日 飯村悦男 ときわ画廊 東京 | 0234 1974年 9 月 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0247 1974年 9 月 李禹煥 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク |
| 0205 1974年 3 月30日 速水史朗 香川 | 0220 1974年 6 月24日 太田三吉 〔楡の木画廊〕 東京 | 0235 1974年 9 月 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0248 1974年 9 月 〔サム・フランスのパーティー〕 デンマーク |
| 0206 1974年 3 月30日 速水史朗 香川 | 0221 1974年 7 月 6 日 小野木学 山崎画廊 東京 | 0236 1974年 9 月 クヌート・イエンセン、篠田守男 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0249 1974年10月 1 日 菅井汲 自宅前 フランス |
| 0207 1974年 4 月 6 日 最上壽之 東京 | 0222 1974年 7 月14日 菅木志雄 ギャラリー16 京都 | 0237 1974年 9 月 工藤哲巳 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0250 1974年10月31日 アンディ・ウォーホル 大丸デパート 東京 |
| 0208 1974年 4 月13日 高木修 村松画廊 東京 | 0223 1974年 7 月14日 菅木志雄 ギャラリー16 京都 | 0238 1974年 9 月 山中信夫 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0251 1974年10月 長澤英俊 イタリア |
| 0209 1974年 4 月15日 東野芳明、李禹煥 村松画廊 東京 | 0224 1974年 7 月14日 菅木志雄 ギャラリー16 京都 | 0239 1974年 9 月 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0252 1974年10月 長澤英俊 イタリア |
| 0210 1974年 4 月 若江漢字 ギャラリー・グラフィカ 東京 | 0225 1974年 7 月20日 翁譲 紀伊國屋画廊 東京 | 0240 1974年 9 月 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0253 1974年10月 長澤英俊 イタリア |
| 0211 1974年 5 月11日 リ・ラン、瀧口修造 南天子画廊 東京 | 0226 1974年 7 月22日 李禹煥 田村画廊 東京 | 0241 1974年 9 月 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0254 1974年11月10日 池田満寿夫 セントラル美術館 東京 |
| 0212 1974年 5 月11日 西脇順三郎、瀧口修造 南天子画廊 東京 | 0227 1974年 8 月 5 日 倉重光則 田村画廊 東京 | 0242 1974年 9 月 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0255 1974年11月18日 篠田守男 南天子画廊 東京 |
| 0213 1974年 5 月29日 小林はくどう 第11回日本国際美術展 東京都美術館 東京 | 0228 1974年 8 月 5 日 倉重光則 田村画廊 東京 | 0243 1974年 9 月 関根伸夫、篠田守男、志水楠男 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0256 1974年11月28日 藤田八重子 東京画廊 東京 |
| 0214 1974年 5 月29日 七彩工芸グループ 第11回日本国際美術展 東京都美術館 東京 | 0229 1974年 8 月19日 高山登 楡の木画廊 東京 | 0244 1974年 9 月 志水楠男、青木治男 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0257 1974年12月14日 土谷武 作家スタジオ 東京 |
| 0215 1974年 5 月29日 七彩工芸グループ 第11回日本国際美術展 東京都美術館 東京 | 0230 1974年 8 月 田中信太郎 ギャラリー・グラフィカ 東京 | 0245 1974年 9 月 録嘸 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0258 1974年12月 島州一 ギャラリー・プラネット 東京 |
| 0216 1974年 5 月29日 山口勝弘 第11回日本国際美術展 東京都美術館 東京 | 0231 1974年 9 月 7 日 東野芳明、クヌート・イエンセン ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 デンマーク | 0246 1974年 9 月 河原温 ルイジアナの日本展 ルイジアナ近代美術館 | 0259 1975年 1 月 7 日 菅木志雄 ときわ画廊 東京 |
| 0217 1974年 6 月14日 若江漢字 村松画廊 東京 | 0232 1974年 9 月21日 東野芳明、バリー・フラナガン イギリス | | 0260 1975年 1 月11日 菅木志雄 常盤公園 東京 |
| | | | 0261 1975年 2 月10日 山口勝弘 東京 |

| | | | |
|---|--|--|--|
| 0262 1975年2月10日 山口勝弘 東京 | 彦坂尚嘉 第9回バリ青年ビエンナーレ パリ市近代美術館 フランス | 0291 1976年2月24日 宮崎豊治 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0306 1976年9月9日 鵜嘯 パフォーマンス：「言葉と鳥と鵜嘯と 小杉武久とエメット・ウィリアムス」 アメリカン・センター 東京 |
| 0263 1975年2月10日 山口勝弘 東京 | 0278 1975年12月6日 山中信夫 C. C. C. 渋谷 東京 | 0292 1976年4月11日 リチャード・セラ 上野公園 東京 | 0307 1976年9月9日 小杉武久、鵜嘯、エメット・ウィリアムス パフォーマンス：「言葉と鳥と鵜嘯と 小杉武久とエメット・ウィリアムス」 アメリカン・センター 東京 |
| 0264 1975年2月10日 山口勝弘 東京 | 0279 1975年12月8日 小清水漸 真木画廊 東京 | 0293 1976年4月19日 山本孝、双六 東京画廊 東京 | 0308 1976年9月11日 榎倉康二 〔EXHIBISM '76—〈分析〉と〈分節〉〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 0265 1975年2月10日 山口勝弘 東京 | 0280 1975年12月13日 堀浩哉 C. C. C. 渋谷 東京 | 0294 1976年4月26日 真木画廊 東京 | 0309 1976年9月13日 田窪恭治 楡の木画廊 東京 |
| 0266 1975年2月12日 若林奮 西村画廊 東京 | 0281 1975年12月13日 堀浩哉 C. C. C. 渋谷 東京 | 0295 1976年5月16日 ステラーク 真木画廊 東京 | 0310 1976年9月14日 田中信太郎 東京画廊 東京 |
| 0267 1975年2月17日 翁謙 村松画廊 東京 | 0282 1976年1月17日 堀浩哉 真木画廊 東京 | 0296 1976年5月16日 ステラーク 真木画廊 東京 | 0311 1976年9月16日 田窪恭治 楡の木画廊 東京 |
| 0268 1975年2月24日 植松奎二 真木画廊 東京 | 0283 1976年1月18日 山中信夫 楡の木画廊 東京 | 0297 1976年6月4日 山口勝弘、植草基一 青画廊 東京 | 0312 1976年9月30日 森口宏一 ときわ画廊 東京 |
| 0269 1975年2月24日 植松奎二 真木画廊 東京 | 0284 1976年2月20日 剣持和夫 ときわ画廊 東京 | 0298 1976年6月5日 菅木志雄 真木画廊 東京 | 0313 1976年10月1日 山口牧生夫妻、最上壽之 山口自宅 兵庫 |
| 0270 1975年3月7日 宮川淳 南画廊 東京 | 0285 1976年2月21日 菅木志雄 東京画廊 東京 | 0299 1976年6月15日 島州一 紀伊國屋画廊 東京 | 0314 1976年10月1日 山口牧生 第5回神戸須磨離宮公園現代彫刻展 —都市公園への提案 神戸市立須磨離宮公園 兵庫 |
| 0271 1975年6月10日 東野芳明、田中信太郎 南画廊 東京 | 0286 1976年2月24日 河原温 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0300 1976年6月15日 原口典之、若江漢字、島州一、眞板雅文 紀伊國屋画廊 東京 | 0315 1976年10月8日 榎倉康二 〔EXHIBISM '76—〈分析〉と〈分節〉〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 0272 1975年7月27日 田窪恭治 真木画廊 東京 | 0287 1976年2月24日 田代幸俊 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0301 1976年6月21日 菅木志雄 村松画廊 東京 | 0316 1976年10月8日 山崎博 〔EXHIBISM '76—〈分析〉と〈分節〉〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 0273 1975年8月16日 原口典之 楡の木画廊 東京 | 0288 1976年2月24日 原口典之 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0302 1976年7月27日 速水史朗 村松画廊 東京 | 0317 1976年10月10日 高木修 〔EXHIBISM '76—〈分析〉と〈分節〉〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 0274 1975年9月 柏原えつとむ フランス | 0289 1976年2月24日 堀尾貞治 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0303 1976年8月10日 草間彌生 大阪フォルム画廊・東京店 東京 | 0318 1976年10月22日 東野芳明 ミルとミルクは同じかな 多摩美術大学学長室 東京 |
| 0275 1975年10月 柏原えつとむ 第9回バリ青年ビエンナーレ パリ市近代美術館 フランス | 0290 1976年2月24日 眞板雅文 京都ビエンナーレ 京都市美術館 京都 | 0304 1976年9月2日 山岸信郎 田村画廊 東京 | |
| 0276 1975年10月 彦坂尚嘉 第9回バリ青年ビエンナーレ パリ市近代美術館 フランス | | 0305 1976年9月6日 郭徳俊 白樺画廊 東京 | |
| 0277 1975年10月 | | | |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 0319 1976年10月22日 東野芳明 ミルとミルクは同じかな 多摩美術大学学長室 東京 | イタリア文化会館 東京 | 0345 1977年2月7日 秋山祐徳太子 銀座絵画館 東京 | T. ドゥーボーセ宅 東京 |
| 0320 1976年10月25日 郭仁植 大阪フォーラム画廊・東京店 東京 | 0332 1976年11月23日 藤原和通 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 イタリア文化会館 東京 | 0346 1977年2月21日 野田裕示 南画廊 東京 | 0361 1977年6月6日 菅木志雄 T. ドゥーボーセ宅 東京 |
| 0321 1976年10月25日 郭仁植 大阪フォーラム画廊・東京店 東京 | 0333 1976年11月23日 藤原和通 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 イタリア文化会館 東京 | 0347 1977年2月28日 鈴木慶則、上田雄三、郭仁植 東京画廊 | 0362 1977年6月13日 高橋雅之 村松画廊 東京 |
| 0322 1976年10月 西木実 〔EXHIBISM '76—(分析)と(分節)〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 0334 1976年11月23日 松澤春 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 イタリア文化会館 東京 | 0348 1977年3月7日 東野芳明、靉嘸 南画廊 東京 | 0363 1977年6月18日 菅木志雄 神田 東京 |
| 0323 1976年11月1日 宮脇愛子 東京 | 0335 1976年11月 村上友晴 作家スタジオ 東京 | 0349 1977年3月12日 建畠覚造 第七画廊 東京 | 0364 1977年6月18日 菅木志雄 神田 東京 |
| 0324 1976年11月5日 若江漢字 第12回今日の作家展—今日の空間 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0336 1976年12月13日 吉田克朗 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0350 1977年3月18日 河原温 〔アート・エージェンシー〕 東京 | 0365 1977年6月29日 眞板雅文 紀伊國屋画廊 東京 |
| 0325 1976年11月15日 菅沼緑 ときわ画廊 東京 | 0337 1977年1月13日 李禹煥 東京画廊 東京 | 0351 1977年3月31日 東野芳明、リチャード・ハミルトン 南画廊 東京 | 0366 1977年7月4日 剣持和夫 ときわ画廊 東京 |
| 0326 1976年11月23日 池田龍雄 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 イタリア文化会館 東京 | 0338 1977年1月20日 高見沢文雄 ときわ画廊 東京 | 0352 1977年4月3日 河原温 〔岡崎コレクション〕 岡崎和郎宅 東京 | 0367 1977年7月16日 Art Today '77—見えることの構造 6人の目 西武美術館 東京 |
| 0327 1976年11月23日 小本章 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 イタリア文化会館 東京 | 0339 1977年1月24日 伊藤知香 青画廊 東京 | 0353 1977年5月16日 三木富雄 グリーンコレクションズ 東京 | 0368 1977年7月16日 倉俣志朗 Art Today '77—見えることの構造 6人の目 西武美術館 東京 |
| 0328 1976年11月23日 菅木志雄 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 イタリア文化会館 東京 | 0340 1977年1月24日 合田佐和子 作家スタジオ 東京 | 0354 1977年5月20日 東野芳明、一柳慧 アメリカンセンター 東京 | 0369 1977年7月16日 島州一 Art Today '77—見えることの構造 6人の目 西武美術館 東京 |
| 0329 1976年11月23日 高松次郎 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 イタリア文化会館 東京 | 0341 1977年1月27日 最上壽之、斎藤義重 現代作家シリーズ展 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 0355 1977年5月22日 島州一 神奈川 | 0370 1977年7月16日 Art Today '77—見えることの構造 6人の目 西武美術館 東京 |
| 0330 1976年11月23日 高松次郎 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 イタリア文化会館 東京 | 0342 1977年1月27日 斎藤義重 現代作家シリーズ展 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 0356 1977年5月22日 島州一 神奈川 | 0371 1977年8月13日 吉岡実、土方巽、澁澤龍彦夫妻 〔池田満寿夫のパーティー〕 岡崎和郎邸 東京 |
| 0331 1976年11月23日 長澤英俊 七人のイタリア作家と七人の日本作家 —新しい認識への方法美術への今日展 | 0343 1977年1月31日 田窪恭治、彦坂尚嘉 村松画廊 東京 | 0357 1977年5月22日 島州一 神奈川 | 0372 1977年8月20日 菅木志雄 常盤公園 東京 |
| | 0344 1977年2月6日 ステラーク ときわ画廊 東京 | 0358 1977年5月24日 西村画廊 東京 | 0373 1977年9月1日 柏原えつとむ 作家スタジオ 東京 |
| | | 0359 1977年6月6日 東野芳明、篠山紀信 T. ドゥーボーセ宅 東京 | |
| | | 0360 1977年6月6日 菅木志雄 | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 0374 1977年9月1日 柏原えつとむ 作家スタジオ 東京 | 第7回現代日本彫刻展—現代彫刻の抽象 と具象と 宇部市野外彫刻美術館 山口 | 西木実 新田村画廊 東京 | マルセル・デュシャン 自由が丘画廊 東京 |
| 0375 1977年9月2日 関根伸夫 東京画廊 東京 | 0388 1977年10月15日 関正司 第7回現代日本彫刻展—現代彫刻の抽象 と具象と 宇部市野外彫刻美術館 山口 | 0401 1977年 菅木志雄 第13回今日の作家展—絵画の豊かさ 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0415 1978年1月26日 伊藤知香 青画廊 東京 |
| 0376 1977年9月10日 鈴木昭夫、吉村弘 明大前宇宙館 東京 | 0389 1977年10月15日 若林奮 第7回現代日本彫刻展—現代彫刻の抽象 と具象と 宇部市野外彫刻美術館 山口 | 0402 1977年 榎倉康二 第13回今日の作家展—絵画の豊かさ 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0416 1978年1月28日 東京 |
| 0377 1977年9月10日 鈴木昭夫、吉村弘 明大前宇宙館 東京 | 0390 1977年10月15日 土谷武 第7回現代日本彫刻展—現代彫刻の抽象 と具象と 宇部市野外彫刻美術館 山口 | 0403 1977年 柴田雅子 第13回今日の作家展—絵画の豊かさ 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0417 1978年1月30日 池田徹 新田村画廊 東京 |
| 0378 1977年9月10日 沖啓介 明大前宇宙館 東京 | 0391 1977年10月21日 山中信夫 新田村画廊 東京 | 0404 1977年 李禹煥 第13回今日の作家展—絵画の豊かさ 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0418 1978年1月30日 池田徹 新田村画廊 東京 |
| 0379 1977年9月13日 菅木志雄 新田村画廊 東京 | 0392 1977年10月27日 速水史朗 第1回丸亀野外彫刻展 香川 | 0405 1977年 清水誠一 第13回今日の作家展—絵画の豊かさ 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0419 1978年1月 伊藤知香 青画廊 東京 |
| 0380 1977年9月26日 東野芳明、クリスト 南画廊 東京 | 0393 1977年11月3日 角永和夫 〔日米現代美術交換展〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 0406 1978年1月9日 李禹煥 新田村画廊 東京 | 0420 1978年1月 片山利弘、朝倉摂、朝倉響子 〔不明〕 |
| 0381 1977年9月27日 辰野登恵子 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0394 1977年11月3日 榎倉康二 〔日米現代美術交換展〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 0407 1978年1月9日 李禹煥 新田村画廊 東京 | 0421 1978年2月4日 秋山祐徳太子 銀座絵画館 東京 |
| 0382 1977年10月4日 吉田克朗 青画廊 東京 | 0395 1977年11月3日 ステラーク 〔日米現代美術交換展〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 0408 1978年1月10日 東野芳明、堀浩哉 とぎわ画廊 東京 | 0422 1978年2月4日 榎倉康二 東京画廊 東京 |
| 0383 1977年10月15日 多田美波 第7回現代日本彫刻展—現代彫刻の抽象 と具象と 宇部市野外彫刻美術館 山口 | 0396 1977年11月3日 菅木志雄 〔日米現代美術交換展〕 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 0409 1978年1月11日 瀧口修造 自由が丘画廊 東京 | 0423 1978年2月11日 瀧口修造 作家スタジオ 東京 |
| 0384 1977年10月15日 清水九兵衛 第7回現代日本彫刻展—現代彫刻の抽象 と具象と 宇部市野外彫刻美術館 山口 | 0397 1977年11月10日 若林奮 雅陶堂ギャラリー 東京 | 0410 1978年1月15日 東野芳明、瀧口修造 自由ヶ丘画廊 東京 | 0424 1978年2月19日 シュウゾウ・アヅチ・ガリバー 東京 |
| 0385 1977年10月15日 最上壽之 第7回現代日本彫刻展—現代彫刻の抽象 と具象と 宇部市野外彫刻美術館 山口 | 0398 1977年11月10日 若林奮 雅陶堂ギャラリー 東京 | 0411 1978年1月15日 瀧口修造 自由が丘画廊 東京 | 0425 1978年2月19日 シュウゾウ・アヅチ・ガリバー 東京 |
| 0386 1977年10月15日 田中米吉 第7回現代日本彫刻展—現代彫刻の抽象 と具象と 宇部市野外彫刻美術館 山口 | 0399 1977年11月11日 若林奮 雅陶堂ギャラリー 東京 | 0412 1978年1月15日 瀧口修造 自由が丘画廊 東京 | 0426 1978年3月10日 東野芳明と家族 〔東野芳明宅〕 東京 |
| 0387 1977年10月15日 山本正道 | 0400 1977年12月2日 | 0413 1978年1月26日 マルセル・デュシャン 自由が丘画廊 東京 | 0427 1978年3月18日 折元立身 真木画廊 東京 |
| | | 0414 1978年1月26日 | 0428 1978年3月20日 菅木志雄 村松画廊 東京 |
| | | | 0429 1978年3月 建畠覚造 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |

| | | | |
|--|--|--|---|
| 0430 1978年4月1日 ギルバート&ジョージ 〔アート・エージェンシー〕 東京 | 草月会館 東京 | 0460 1978年8月20日 東野芳明、ジャスパー・ジョーンズ 〔パーティー〕 東野芳明宅 東京 | 0475 1979年2月16-17日 鏝嘸 アメリカ |
| 0431 1978年4月3日 ギルバート&ジョージ 〔アート・エージェンシー〕 東京 | 0446 1978年5月28日 福田繁雄 作家スタジオ 東京 | 0461 1978年8月20日 磯崎新、ジャスパー・ジョーンズ 〔パーティー〕 東野芳明宅 東京 | 0476 1979年7月 河原温 作家スタジオ アメリカ |
| 0432 1978年4月7日 栗田玲子、山本容子、吉田克朗 青画廊 東京 | 0447 1978年5月 ナム・ジュン・バイク 草月会館 東京 | 0462 1978年8月20日 磯崎新、ジャスパー・ジョーンズ 〔パーティー〕 東野芳明宅 東京 | 0477 1979年7月 河原温 作家スタジオ アメリカ |
| 0433 1978年4月7日 山本容子 青画廊 東京 | 0448 1978年5月 レベッカ・ホルン 草月会館 東京 | 0463 1978年8月20日 磯崎新、ジャスパー・ジョーンズ 〔パーティー〕 東野芳明宅 東京 | 0478 1979年7月 河原温 作家スタジオ アメリカ |
| 0434 1978年4月22日 石原悦郎 ツァイトフォトサロン 東京 | 0449 1978年5月 レベッカ・ホルン 草月会館 東京 | 0464 1978年8月20日 ジャスパー・ジョーンズ 〔パーティー〕 東野芳明宅 東京 | 0479 1979年8月11日 河原温 作家スタジオ アメリカ |
| 0435 1978年4月23日 原口典之 東京 | 0450 1978年5月 草月会館 東京 | 0465 1978年8月 速水史朗 作家スタジオ 香川 | 0480 1979年10月6日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 |
| 0436 1978年4月27日 山本進、ケネス・アーミティジ フジテレビギャラリー 東京 | 0451 1978年6月2日 斎藤義重、斎藤知子 東京国立近代美術館 東京 | 0466 1978年9月15日 松澤宥 長野 | 0481 1979年10月8日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 |
| 0437 1978年4月 金子潤 ギャラリーたかぎ 東京 | 0452 1978年6月6日 菅沼緑 ときわ画廊 東京 | 0467 1978年9月15日 松澤宥 作家スタジオ 長野 | 0482 1979年10月8日 山口勝弘、紀国憲一、堂本真美、堂本右美 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 |
| 0438 1978年4月 東野芳明、金子國義 | 0453 1978年6月19日 岡崎和郎 サプリメントギャラリー 東京 | 0468 1978年11月8日 篠原有司男と息子 アメリカ | 0483 1979年10月8日 堂本真美、宇佐美爽子、堂本右美 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 |
| 0439 1978年5月16日 辰野登恵子、山田桃子 康画廊 東京 | 0454 1978年6月19日 岡崎和郎 サプリメントギャラリー 東京 | 0469 1978年11月25日 田中浜 P. S. 1 アメリカ | 0484 1979年10月8日 堀内正和、小島信明、戸村浩 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 |
| 0440 1978年5月22日 ビル・ヴィオラ 草月会館 東京 | 0455 1978年6月20日 紀伊國屋画廊 東京 | 0470 1979年1月13日 マルセル・デュシャン フィラデルフィア美術館 アメリカ | 0485 1979年10月8日 三島喜美代、海藤日出男、中谷芙二子 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 |
| 0441 1978年5月25日 中谷芙二子 草月会館 東京 | 0456 1978年7月3日 堀内正和 山中湖 山梨 | 0471 1979年1月13日 マルセル・デュシャン フィラデルフィア美術館 アメリカ | 0487 1979年10月8日 ジョセフ・ラブ、松岡和子 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 |
| 0442 1978年5月26日 ナム・ジュン・バイク 草月会館 東京 | 0457 1978年7月17日 篠田守男 I. B. M. 東京 | 0472 1979年2月16-17日 鏝嘸 アメリカ | 0488 1979年10月8日 飯田善國、清水九兵衛 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 |
| 0443 1978年5月26日 ナム・ジュン・バイク 東京 | 0458 1978年8月20日 東野芳明、レオ・カステリ、志水楠男 〔パーティー〕 東野芳明宅 東京 | 0473 1979年2月16-17日 鏝嘸 アメリカ | 0489 1979年10月8日 大岡信、堂本尚郎 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 |
| 0444 1978年5月27日 勅使河原蒼風、勅使河原葉満、山口勝弘 草月会館 東京 | 0459 1978年8月20日 磯崎新、ジャスパー・ジョーンズ、 東野芳明 〔パーティー〕 東野芳明宅 東京 | 0474 1979年2月16-17日 鏝嘸 アメリカ | |
| 0445 1978年5月27日 勅使河原蒼風、山口勝弘 | | | |

| | | | |
|--|---|--|--|
| 0490 1979年10月8日 勝井三雄、戸村浩 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 東京 0502 1979年10月8日 野田裕示夫妻 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 東京大学 東京 0516 1979年12月4日 櫻倉康二 第15回今日の作家展—横浜 '79 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0529 1980年4月22日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 |
| 0491 1979年10月8日 小島信明、山口勝弘 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0503 1979年10月8日 横文彦 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0517 1979年12月4日 倉重光則 第15回今日の作家展—横浜 '79 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0530 1980年4月27日 翁讓 作家スタジオ |
| 0492 1979年10月8日 中西夏之、宮沢壮佳 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0504 1979年10月8日 李禹煥 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0518 1979年12月4日 村岡三郎 第15回今日の作家展—横浜 '79 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0532 1980年5月10日 菅木志雄 白樺画廊 東京 |
| 0493 1979年10月8日 福島秀子、中川幸夫 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0505 1979年10月27日 東野芳明、大岡信、青木治男 南天子画廊 東京 | 0519 1979年12月4日 眞板雅文 第15回今日の作家展—横浜 '79 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0533 1980年5月12日 東野芳明、米倉守 東野芳明宅 東京 |
| 0494 1979年10月8日 宮沢壮佳、ジョセフ・ラブ 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0506 1979年10月27日 瀧口綾子 南天子画廊 東京 | 0520 1979年12月4日 和田守弘 第15回今日の作家展—横浜 '79 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0534 1980年5月12日 長重之 サトウ画廊 東京 |
| 0495 1979年10月8日 山本陽一、堂本尚郎 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0507 1979年11月3日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 | 0521 1980年1月7日 田中浜 ときわ画廊 東京 | 0535 1980年5月 宮脇愛子 ギャラリーたかぎ 愛知 |
| 0486 1979年10月8日 山本陽一、中原佑介 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0508 1979年11月10日 小野二郎、横山正 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 | 0522 1980年1月19日 川俣正 UENO '80 東京藝術大学 東京 | 0536 1980年6月1日 川俣正 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 0496 1979年10月8日 池田龍雄 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0509 1979年11月10日 小野二郎 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 | 0523 1980年1月26日 菅木志雄 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0537 1980年6月9日 堂本尚郎 ツァイト・フォト・サロン 東京 |
| 0497 1979年10月8日 清水九兵衛 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0510 1979年11月12日 菅木志雄 東京画廊 東京 | 0524 1980年1月26日 菅木志雄 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0538 1980年6月12日 堂本尚郎 作家スタジオ 東京 |
| 0498 1979年10月8日 工藤幸雄 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0511 1979年11月12日 堀川紀夫 サトウ画廊 東京 | 0525 1980年1月28日 中西夏之 現代彫刻の歩み展—41人の作家による 戦後彫刻の足跡 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 0539 1980年6月27日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 |
| 0499 1979年10月8日 鈴木昭夫 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0512 1979年11月16日 建島朔弥 ときわ画廊 東京 | 0526 1980年2月27日 宇佐美圭司 厚生年金会館 東京 | 0540 1980年6月27日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 |
| 0500 1979年10月8日 戸村浩 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 東京 | 0513 1979年11月16日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 | 0527 1980年3月1日 野田哲也 野田哲也の世界展 池田20世紀美術館 神奈川 | 0541 1980年6月27日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 |
| 0501 1979年10月8日 堂本尚郎 〔南画廊ラストパーティー〕 南画廊 | 0514 1979年11月 小野二郎、横山正、東野芳明 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 | 0528 1980年4月10日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 | 0542 1980年6月27日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 |
| | 0515 1979年11月 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト | | 0543 1980年6月28日 大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト 東京大学 東京 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 0544 1980年7月4日 東野芳明、岡田隆彦 フジテレビギャラリー 東京 | 愛知 0559 1980年9月1日 ナム・ジュン・バイク アメリカン・センター 東京 | 日辰画廊 東京 0574 1981年3月5日 ドミニク・エザール 日辰画廊 東京 0575 1981年4月6日 西木みのる 藍画廊 東京 0576 1981年4月6日 菅創吉 ギャラリーせいほう 東京 0577 1981年4月16日 田中泯 〔不明〕 0578 1981年4月17日 田中泯 檜画廊 東京 0579 1981年4月17日 田中泯 檜画廊 東京 0580 1981年4月17日 田中泯 檜画廊 東京 0581 1981年4月18日 保科豊巳 G. アートギャラリー 東京 0582 1981年4月18日 川俣正 G. アートギャラリー 東京 0583 1981年4月23日 アンソニー・グリーン 西村画廊 東京 0584 1981年5月13日 川俣正 A. S. G. 名古屋 愛知 0585 1981年5月24日 矢野美智子 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 0586 1981年6月1日 彦坂尚嘉 0587 1981年6月13日 金子潤 ギャラリーたかぎ 愛知 0588 1981年6月14日 榎倉康二 西村画廊 東京 | 0589 1981年6月21日 ジャン＝ピエール・レイノー 原美術館 東京 0590 1981年6月24日 保科豊巳 田村画廊 東京 0591 1981年7月1日 杉浦康益 かねこ・あーとギャラリー 東京 0592 1981年7月4日 井上武吉、堀内正和 箱根彫刻の森美術館 神奈川 0593 1981年7月13日 長澤英俊 東京画廊 東京 0594 1981年7月31日 アン・ダノンコート、ティニー・デュシャン マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 0595 1981年7月31日 ジョン・ケージ マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 0596 1981年7月31日 ジョン・ケージ マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 0597 1981年7月31日 マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 0598 1981年8月1日 ジョン・ケージ、秋山邦晴、高橋アキ マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 0599 1981年8月1日 ティニー・デュシャン、久保田成子、 ナム・ジュン・バイク マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 0600 1981年8月1日 ティニー・デュシャン、久保田成子、 ナム・ジュン・バイク マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 0601 1981年8月1日 |
| 0545 1980年7月4日 〔大ガラス東京ヴァージョン制作プロジェクト〕 東京大学 東京 | 0560 1980年9月16日 原口典之 昭和大学病院 東京 0561 1980年10月25日 柏原えつとむ コバヤシ画廊 東京 0562 1980年11月8日 オノサトシノブ 自由が丘画廊 東京 0563 1980年11月15日 川俣正 第16回今日の作家展—感情と構成 横浜市民ギャラリー 神奈川 0564 1980年11月18日 斎藤義重 東京画廊 東京 0565 1980年12月21日 川俣正 真木画廊 東京 0566 1980年12月21日 阿部守 東京 0567 1980年12月 松谷武判夫妻 かねこ・あーとギャラリー 東京 0568 1980年12月 菅沼緑 ときわ画廊 東京 0569 1981年2月4日 森田秀 コバヤシ画廊 東京 0570 1981年2月5日 宮脇愛子 ミキモトホール 東京 0571 1981年2月9日 菅木志雄 東京画廊 東京 0572 1981年2月20日 倉重光則 画廊パレルゴン 東京 0573 1981年3月5日 ドミニク・エザール | | |
| 0546 1980年7月7日 岡本武次郎 第七画廊 東京 0547 1980年7月7日 草間彌生 ギャラリーートーシン 東京 0548 1980年7月12日 遠水史朗 ギャラリーせいほう 東京 0549 1980年7月12日 遠水史朗 ギャラリーせいほう 東京 0550 1980年7月21日 関根伸夫 東京画廊 東京 0551 1980年7月23日 遠水史朗 神奈川 0552 1980年8月8日 ナム・ジュン・バイク、かわなかのぶひろ、 松本俊夫、ビル・ヴィオラ 〔ナム・ジュン・バイクのパーティー〕 東京 0553 1980年8月8日 三木多聞、紀国憲一、武満徹、 ナム・ジュン・バイク 〔ナム・ジュン・バイクのパーティー〕 東京 0554 1980年8月8日 久保田成子、ビル・ヴィオラ、キラ 〔ナム・ジュン・バイクのパーティー〕 東京 0555 1980年8月8日 武満徹、紀国憲一 〔ナム・ジュン・バイクのパーティー〕 東京 0556 1980年8月8日 東野芳明、ナム・ジュン・バイク 〔ナム・ジュン・バイクのパーティー〕 東京 0557 1980年8月8日 秋山邦晴 〔ナム・ジュン・バイクのパーティー〕 東京 0558 1980年8月14日 小島信明 ギャラリーU | | | |

| | | | |
|---|--|---|---|
| ティニー・デュシャン、ジョン・ケージ マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0614 1981年 8 月12日 鈴木実 茨城 | 東京 | 遠藤利克 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 0602 1981年 8 月 1 日 ナム・ジュン・バイク、ジョン・ケージ マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0615 1981年 8 月15日 ナム・ジュン・バイク 〔ビデオ・パフォーマンス〕 ソニービル 東京 | 0628 1981年10月 5 日 菅木志雄 村松画廊 東京 | 0643 1981年11月25日 逢坂卓郎 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 0603 1981年 8 月 1 日 澁澤龍彦夫妻、高橋睦郎 マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0616 1981年 8 月17日 菅木志雄、田中信太郎、鷲見和紀郎 銀座絵画館 東京 | 0629 1981年10月30日 高木修 ときわ画廊 東京 | 0644 1981年12月 1 日 川俣正 ギャラリー K 東京 |
| 0604 1981年 8 月 1 日 ジョン・ケージ マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0617 1981年 8 月20日 工藤哲巳 草月美術館 東京 | 0630 1981年11月 4 日 MMD 計画(デレク・ベイリー、 ミルフォード・グレイブス、田中浜) 渋谷エビキュラス 東京 | 0645 1981年12月 3 日 河口龍夫 アートフロントギャラリー 東京 |
| 0605 1981年 8 月 1 日 ティニー・デュシャン マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0618 1981年 8 月26日 マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0631 1981年11月 4 日 MMD 計画(ミルフォード・グレイブス、 田中浜) 渋谷エビキュラス 東京 | 0646 1981年12月 6 日 中谷芙二子 開館記念特別展第 1 部一現代日本の美術 宮城県美術館 宮城 |
| 0606 1981年 8 月 1 日 マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0619 1981年 8 月26日 マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0632 1981年11月 4 日 MMD 計画(田中浜、デレク・ベイリー) 渋谷エビキュラス 東京 | 0647 1981年12月 8 日 嶋剛 西村画廊 東京 |
| 0607 1981年 8 月 1 日 マルセル・デュシャン展一反芸術「ダダ」 の巨匠 見る人が芸術をつくる 高輪美術館 長野 | 0620 1981年 8 月28日 リチャード・ロング 富山国際現代美術展 富山県立近代美術館 富山 | 0633 1981年11月 4 日 MMD 計画(デレク・ベイリー) 渋谷エビキュラス 東京 | 0648 1981年12月14日 矢野美智子 ギャラリー・ホワイトアート 東京 |
| 0608 1981年 8 月 5 日 剣持和夫 インデペンデント・ギャラリー 東京 | 0621 1981年 8 月28日 ジャン＝ピエール・レイノー 富山国際現代美術展 富山県立近代美術館 富山 | 0634 1981年11月 4 日 MMD 計画(田中浜) 渋谷エビキュラス 東京 | 0649 1981年12月 川俣正 第17回今日の作家展(壁) 横浜市民ギャラリー 神奈川 |
| 0609 1981年 8 月 5 日 剣持和夫 インデペンデント・ギャラリー 東京 | 0622 1981年 8 月28日 高松次郎 富山国際現代美術展 富山県立近代美術館 富山 | 0635 1981年11月 4 日 MMD 計画(田中浜) 渋谷エビキュラス 東京 | 0650 1981年 アルベルト・ジャコメッティ、宇佐見英治 東京 |
| 0610 1981年 8 月 8 日 矢柳剛 〔矢柳剛展〕 池田20世紀美術館 神奈川 | 0623 1981年 8 月 川俣正 第 1 回平行芸術展 小原流会館 東京 | 0636 1981年11月 7 日 田中睦治 A. S. G. 名古屋 愛知 | 0651 1982年 1 月 8 日 野村仁 ギャラリー・ホワイトアート 東京 |
| 0611 1981年 8 月11日 ナム・ジュン・バイク、ビル・ヴィオラ ギャラリーワタリ 東京 | 0624 1981年 9 月13日 遠藤利克 画廊パレルゴン 東京 | 0637 1981年11月 8 日 原口典之 アキラ・イケダ・ギャラリー 愛知 | 0652 1982年 1 月14日 田中睦治 真木画廊 東京 |
| 0612 1981年 8 月11日 ナム・ジュン・バイク ギャラリーワタリ 東京 | 0625 1981年 9 月16日 宮脇愛子 第 2 回ヘンリー・ムア大賞展 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 0638 1981年11月15日 ステラーク 駒井画廊 東京 | 0653 1982年 2 月 1 日 草間彌生 作家スタジオ 東京 |
| 0613 1981年 8 月11日 保科豊巳 第 1 回平行芸術展 小原流会館 東京 | 0626 1981年10月 5 日 山中信夫、坂口登 ギャラリー手 東京 | 0639 1981年11月15日 多和圭三 真木画廊 東京 | 0654 1982年 2 月 4 日 森田秀 コバヤシ画廊 東京 |
| | 0627 1981年10月 5 日 小清水漸 村松画廊 | 0640 1981年11月15日 多和圭三 真木画廊 東京 | 0655 1982年 2 月23日 保科豊巳 神奈川 |
| | | 0641 1981年11月19日 ナム・ジュン・バイク 東京 | 0656 1982年 3 月29日 諏訪直樹 銀座絵画館 東京 |
| | | 0642 1981年11月25日 | |

| | | | |
|---|--|---|---|
| 0657 1982年3月29日 諏訪直樹 銀座絵画館 東京 | ときわ画廊 東京 | 東京 | 0699 1982年9月18日 重田良一 東京セントラル美術館 東京 |
| 0658 1982年3月 安齊重男 G. アートギャラリー 東京 | 0672 1982年5月22日 松村要二 ギャラリー・ホワイトアート 東京 | 0686 1982年7月25日 瀧口修造 第1回現代芸術祭—瀧口修造と戦後美術展 (オブジェ・ショップ) 富山県立近代美術館 富山 | 0700 1982年9月30日 原口典之 アキラ・イケダ・ギャラリー 東京 |
| 0659 1982年4月2日 川俣正 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0673 1982年6月6日 福岡道雄 東京画廊 東京 | 0687 1982年7月26日 根岸英子 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0701 1982年10月2日 ブルース・マクレーン ラフォーレ・ミュージアム 東京 |
| 0660 1982年4月11日 山倉研志、荒瀬景敏、前本彰子、松井永樹 村松画廊 東京 | 0674 1982年6月6日 福岡道雄 東京画廊 東京 | 0688 1982年7月27日 池ヶ谷肇 第2回平行芸術展 小原流会館 東京 | 0702 1982年10月3日 ダニエル・ビュラン ラフォーレ原宿 東京 |
| 0661 1982年4月12日 大村益三 画廊パレルゴン 東京 | 0675 1982年6月7日 川村直子 コバヤシ画廊 東京 | 0689 1982年7月27日 大村益三 第2回平行芸術展 小原流会館 東京 | 0703 1982年10月3日 ダニエル・ビュラン ラフォーレ原宿 東京 |
| 0662 1982年4月15日 倉重光則 インデペンデント・ギャラリー 東京 | 0676 1982年6月8日 東野芳明、ジョージ・シーガル ジョージ・シーガル展 西武美術館 東京 | 0690 1982年7月27日 黒川弘毅 第2回平行芸術展 小原流会館 東京 | 0704 1982年10月3日 ダニエル・ビュラン ラフォーレ原宿 東京 |
| 0663 1982年4月19日 松谷武判 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0677 1982年6月 ジョージ・シーガル ジョージ・シーガル展 西武美術館 東京 | 0691 1982年7月27日 多和圭三 第2回平行芸術展 小原流会館 東京 | 0705 1982年10月4日 菅木志雄 かねこ・あーとギャラリー 東京 |
| 0664 1982年4月30日 東野芳明、横尾忠則 〔三宅一生のパーティー〕 国際文化会館 東京 | 0678 1982年7月8日 吉田洋子 ギャラリー手 東京 | 0692 1982年8月2日 山倉研志 村松画廊 東京 | 0706 1982年10月4日 高松次郎 東京画廊 東京 |
| 0665 1982年5月10日 篠田守男、池田満寿夫、秋山佑徳太子 南天子画廊 東京 | 0679 1982年7月3日 画廊パレルゴン 東京 | 0693 1982年8月4日 タデウシュ・カントル 死の教室 渋谷バルコ 東京 | 0707 1982年10月10日 ダニエル・ビュラン、大谷芳久 かんらん舎 東京 |
| 0666 1982年5月10日 眞板雅文 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0680 1982年7月9日 奥野寛明 UENO '82 東京藝術大学 東京 | 0694 1982年8月8日 タデウシュ・カントル 死の教室 渋谷バルコ 東京 | 0708 1982年10月16日 ダン・グレハム 東京 |
| 0667 1982年5月12日 吉本義人 ときわ画廊 東京 | 0681 1982年7月9日 関口敦仁 UENO '82 東京藝術大学 東京 | 0695 1982年8月8日 タデウシュ・カントル 死の教室 渋谷バルコ 東京 | 0709 1982年10月17日 ダン・グレハム プラン B 東京 |
| 0668 1982年5月17日 篠田守男 南天子画廊 東京 | 0682 1982年7月9日 吉原悠博 UENO '82 東京藝術大学 東京 | 0696 1982年8月8日 タデウシュ・カントル 死の教室 渋谷バルコ 東京 | 0710 1982年10月17日 ジュリオ・パオリーニ ラフォーレ・ミュージアム 東京 |
| 0669 1982年5月17日 矢野美智子 ギャラリー手 東京 | 0683 1982年7月13日 吉村芳生 藍画廊 東京 | 0697 1982年8月8日 タデウシュ・カントル 死の教室 渋谷バルコ 東京 | 0711 1982年10月22日 速水史朗 尼崎駅前 兵庫 |
| 0670 1982年5月19日 工藤哲巳、飯村隆彦、三島喜美代、井上道子 ギャラリー16 京都 | 0684 1982年7月14日 三輪美奈子 田村画廊 東京 | 0698 1982年9月6日 大村益三 TAO(空き地) | 0712 1982年10月23日 山口牧生 第8回神戸須磨離宮公園現代彫刻展 神戸市立須磨離宮公園 兵庫 |
| 0671 1982年5月21日 松波路美 | 0685 1982年7月19日 小林良介 画廊パレルゴン | | 0713 1982年10月23日 原口典之 第8回神戸須磨離宮公園現代彫刻展 |

| | | | |
|---|--|--|---|
| 神戸市立須磨離宮公園 兵庫 | 0728 1982年11月16日 沖啓介 第18回今日の作家展—November Steps展 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0742 1983年1月14日 荻野優政 画廊バレルゴン 東京 | 0757 1983年2月10日 井口大輔 画廊バレルゴン 東京 |
| 0714 1982年10月28日 ルイーズ・ネヴェルソン ウイルデンスタイン東京 東京 | 0729 1982年11月16日 草間彌生 第18回今日の作家展—November Steps展 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0743 1983年1月14日 関口敦仁 画廊バレルゴン 東京 | 0758 1983年2月10日 佐々木悦弘 画廊バレルゴン 東京 |
| 0715 1982年10月28日 有元利夫、松岡和子、金関寿夫 東京 | 0730 1982年11月16日 前本彰子 第18回今日の作家展—November Steps展 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0744 1983年1月14日 戸谷成雄 藍画廊 東京 | 0759 1983年2月10日 舟越保武、佐藤忠良 作家スタジオ 東京 |
| 0716 1982年11月1日 若林薫 雅陶堂ギャラリー 東京 | 0731 1982年11月16日 矢野美智子 第18回今日の作家展—November Steps展 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0745 1983年1月17日 倉重光則 ギャラリー檜 東京 | 0760 1983年2月14日 デイヴィッド・ホックニー 東京 |
| 0717 1982年11月2日 菅木志雄 〔昭和57年度多摩美術大学芸術祭特別展〕 多摩美術大学 東京 | 0732 1982年11月16日 吉澤美香 第18回今日の作家展—November Steps展 横浜市民ギャラリー 神奈川 | 0746 1983年1月25日 磯崎新 プランB 東京 | 0761 1983年2月20日 川俣正 アパートメント・プロジェクト —大手門 和田荘 福岡 |
| 0718 1982年11月2日 戸谷成雄 〔昭和57年度多摩美術大学芸術祭特別展〕 多摩美術大学 東京 | 0733 1982年11月22日 竹田康宏 東京藝術大学 東京 | 0747 1983年1月25日 田中浜 プランB 東京 | 0762 1983年2月22日 川俣正 素材と空間展 福岡市美術館 福岡 |
| 0719 1982年11月3日 浅野久義 表現の現場展 多摩美術大学 東京 | 0734 1982年11月22日 竹田康宏 ルナミ画廊 東京 | 0748 1983年1月25日 土方巽、宮協愛子、磯崎新 プランB 東京 | 0763 1983年2月22日 戸谷成雄 素材と空間展 福岡市美術館 福岡 |
| 0720 1982年11月4日 舘嘸と父 フジテレビギャラリー 東京 | 0735 1982年12月15日 古郷秀一 ギャラリー山口 東京 | 0749 1983年1月25日 土方巽 プランB 東京 | 0764 1983年2月22日 保科豊巳 素材と空間展 福岡市美術館 福岡 |
| 0721 1982年11月9日 熊谷優子 画廊バレルゴン 東京 | 0736 1982年12月31日 川俣正 アパートメント・プロジェクト —宝ハウス 205号室 東京 | 0750 1983年1月27日 稲妻一郎 ときわ画廊 東京 | 0765 1983年2月23日 佐藤忠良、舟越保武 作家スタジオ 東京 |
| 0722 1982年11月9日 鷺見和紀郎 ギャラリー・ホワイトアート 東京 | 0737 1982年12月31日 川俣正 アパートメント・プロジェクト —宝ハウス 205号室 東京 | 0751 1983年1月27日 木下宏 ギャラリー山口 東京 | 0766 1983年2月26日 草間彌生 ジャルダン・ド・ルセヌ 東京 |
| 0723 1982年11月9日 鳥飼京子 藍画廊 東京 | 0738 1983年1月7日 草間彌生 ジャルダン・ド・ルセヌ 東京 | 0752 1983年1月27日 山倉研志 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0767 1983年2月 川俣正 アパートメント・プロジェクト —大手門 和田荘 福岡 |
| 0724 1982年11月11日 佐藤時啓 G.アートギャラリー 東京 | 0739 1983年1月11日 剣持和夫 ときわ画廊 東京 | 0753 1983年1月28日 池ヶ谷肇 画廊バレルゴン 東京 | 0768 1983年2月 川俣正 アパートメント・プロジェクト —大手門 和田荘 福岡 |
| 0725 1982年11月12日 出光真子 東京 | 0740 1983年1月14日 川俣正 東京 | 0754 1983年1月28日 丸山常生 田村画廊 東京 | 0769 1983年2月 川俣正 アパートメント・プロジェクト —大手門 和田荘 福岡 |
| 0726 1982年11月15日 平林薫 画廊バレルゴン 東京 | 0741 1983年1月14日 大村益三 画廊バレルゴン 東京 | 0755 1983年1月 千崎千恵夫 東京 | 0770 1983年2月 川俣正 〔アパートメント・プロジェクト —大手門 和田荘パーティー〕 |
| 0727 1982年11月16日 遠藤利克 第18回今日の作家展—November Steps展 横浜市民ギャラリー 神奈川 | | 0756 1983年2月4日 森田秀 コバヤシ画廊 東京 | |

| | | | |
|--|---|--|--|
| 福岡 | 0785 1983年5月20日 北山善夫 草月会館 東京 | 0800 1983年6月28日 サム・フランシス 作家スタジオ 東京 | 北海道 0815 1983年9月19日 麻生三郎 作家スタジオ 東京 |
| 0771 1983年2月 川俣正 Ten Gallery 福岡 | 0786 1983年5月21日 関口敦仁 真木画廊 東京 | 0801 1983年6月29日 東野芳明、大岡信 〔サム・フランシスのパーティー〕 南天子画廊 東京 | 0816 1983年9月23日 長澤英俊 つくばセンタービル 茨城 |
| 0772 1983年2月 草間彌生 ジャルダン・ド・ルセーヌ 東京 | 0787 1983年5月 川俣正、奥野寛明 + PH STUDIO SLIP IN 所沢 埼玉 | 0802 1983年6月29日 東野芳明、堂本右美 〔サム・フランシスのパーティー〕 南天子画廊 東京 | 0817 1983年9月 川俣正 アパートメント・プロジェクト ーテトラハウスN3 W26 北海道 |
| 0773 1983年3月9日 鈴木了二 東京 | 0788 1983年5月 川俣正、奥野寛明 + PH STUDIO SLIP IN 所沢 埼玉 | 0803 1983年7月4日 秋山祐徳太子 ギンザアートクラブ 東京 | 0818 1983年9月 川俣正 アパートメント・プロジェクト ーテトラハウスN3 W26 北海道 |
| 0774 1983年3月13日 堂本尚郎 作家スタジオ 東京 | 0789 1983年5月 川俣正、奥野寛明 + PH STUDIO SLIP IN 所沢 埼玉 | 0804 1983年7月26日 平林薫 画廊バレルゴン 東京 | 0819 1983年10月11日 田中敦子 ギャラリーたかぎ 愛知 |
| 0775 1983年3月26日 キース・ヘリング ギャルリーワタリ 東京 | 0790 1983年6月4日 リチャード・セラ アキラ・イケダ・ギャラリー 東京 | 0805 1983年8月1日 戸谷成雄 鎌倉画廊 東京 | 0820 1983年10月12日 鯉江良二 常滑 愛知 |
| 0776 1983年3月26日 キース・ヘリング ギャルリーワタリ 東京 | 0791 1983年6月6日 リチャード・セラ、東野芳明 アキラ・イケダ・ギャラリー 東京 | 0806 1983年8月2日 小林良介 駒井画廊 東京 | 0821 1983年10月15日 野田哲也と家族 |
| 0777 1983年3月 川俣正 木のかたちとエスプリ 埼玉県立近代美術館 埼玉 | 0792 1983年6月6日 リチャード・セラ アキラ・イケダ・ギャラリー 東京 | 0807 1983年8月10日 関口敦仁 G. アートギャラリー 東京 | 0822 1983年10月22日 赤瀬川原平 1960年代—多様化への出発 東京都美術館 東京 |
| 0778 1983年3月 川俣正 木のかたちとエスプリ 埼玉県立近代美術館 埼玉 | 0793 1983年6月9日 熊谷優子 村松画廊 東京 | 0808 1983年8月22日 ジョン・デイヴィス ルナミ画廊 東京 | 0823 1983年10月22日 中西夏之 1960年代—多様化への出発 東京都美術館 東京 |
| 0779 1983年3月 川俣正 木のかたちとエスプリ 埼玉県立近代美術館 埼玉 | 0794 1983年6月6日 小清水漸 東京画廊 東京 | 0809 1983年8月 前本彰子 村松画廊 東京 | 0824 1983年10月22日 三木富雄 1960年代—多様化への出発 東京都美術館 東京 |
| 0780 1983年4月4日 中西夏之 雅陶堂ギャラリー 東京 | 0795 1983年6月12日 渡辺豊重 ギャラリー505 東京 | 0810 1983年9月5日 菅木志雄 東京画廊 東京 | 0825 1983年10月24日 榎倉康二 東京画廊 東京 |
| 0781 1983年4月12日 マーク・ボイル 今日のイギリス美術 東京都美術館 東京 | 0796 1983年6月20日 堀浩哉、小清水漸、辰野登恵子、中原佑介 ギャラリー手 東京 | 0811 1983年9月7日 吉川陽一郎 スタジオ4 F | 0826 1983年10月27日 河原温 ギャルリーワタリ 東京 |
| 0782 1983年4月20日 辻けい、松村要二 〔Space WA〕 アメリカ | 0797 1983年6月25日 菅沼六 ギャラリー・ホワイトアート 東京 | 0812 1983年9月7日 吉川陽一郎 ルーフ 東京 | 0827 1983年10月28日 宮脇愛子 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 |
| 0783 1983年4月20-22日 辻けい、小杉武久 〔Space WA〕 アメリカ | 0798 1983年6月27日 佐藤忠良、舟越保武 ギャラリーせいほう 東京 | 0813 1983年9月9日 斎藤史門 ギャラリー手 東京 | 0828 1983年10月31日 飯田善國 雅陶堂ギャラリー 東京 |
| 0784 1983年5月20日 北山善夫 草月会館 東京 | 0799 1983年6月27日 吉澤美香 真木画廊 東京 | 0814 1983年9月13日 安齊重男 ギャラリーユリイカ | |

| | | | |
|--|--|--|---|
| 0829 1983年10月 菊畑茂久馬 1960年代—多様化への出発 東京都美術館 東京 | 東京日仏学院 東京 | 0857 1984年4月24日 高柳恵里 かねこ・あーとギャラリー— 東京 | 西武美術館 東京 |
| 0830 1983年10月 ふじい忠一 ギャラリー—上田ウエアハウス 東京 | 0843 1984年3月16日 ギュンター・ユッカー 鎌倉画廊 東京 | 0858 1984年4月28日 遠山香苗 ブランB 東京 | 0872 1984年5月 ヨーゼフ・ボイス ヨーゼフ・ボイス展 西武美術館 東京 |
| 0831 1983年11月1日 浅野久義 表現の現場展 多摩美術大学 東京 | 0844 1984年3月16日 宮脇愛子 〔三人の彫刻家—小清水漸・高松次郎・ 宮脇愛子展 画家アラン・ジュフロワ選 による〕 東京日仏学院 東京 | 0859 1984年5月2日 武満徹、山口昌男 スタジオ200 東京 | 0873 1984年5月 ヨーゼフ・ボイス ヨーゼフ・ボイス展 西武美術館 東京 |
| 0832 1983年11月1日 吉澤美香 表現の現場展 多摩美術大学 東京 | 0845 1984年3月18日 草間彌生 フジテレビギャラリー— 東京 | 0860 1984年5月2日 武満徹、山口昌男 スタジオ200 東京 | 0870 1984年5月 ヨーゼフ・ボイス 東京藝術大学 東京 |
| 0833 1983年11月26日 中原浩大 ギャラリイK 東京 | 0846 1984年3月18日 草間彌生 フジテレビギャラリー— 東京 | 0861 1984年5月13日 田中浜 東京日仏学院 東京 | 0875 1984年6月2日 ナム・ジュン・バイク、ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0834 1983年11月26日 中原浩大 ギャラリイK 東京 | 0847 1984年3月18日 草間彌生 フジテレビギャラリー— 東京 | 0862 1984年5月14日 草間彌生 ビデオギャラリー—SCAN 東京 | 0876 1984年6月2日 ナム・ジュン・バイク、ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0835 1983年11月27日 菅井汲、大岡信 西武美術館 東京 | 0848 1984年3月22日 斎藤義重 斎藤義重展 東京都美術館 東京 | 0863 1984年5月24日 池田龍雄 〔連作“BRAHAM”の10年〕 〔神奈川県民ホール・ギャラリー—〕 神奈川 | 0877 1984年6月2日 ナム・ジュン・バイク、ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0836 1983年12月9日 岡部徳三、井田昭一 ギャラリー—上田 東京 | 0849 1984年3月26日 トニー・クラッグ かんらん舎 東京 | 0864 1984年5月30日 ヨーゼフ・ボイス 朝日講堂 東京 | 0878 1984年6月2日 ナム・ジュン・バイク、ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0837 1983年12月12日 山中信夫 〔闇宙輝—山中信夫—周忌〕 多摩川堤 東京 | 0850 1984年3月26日 宮島達男、大村益三 NEWZ 東京 | 0865 1984年5月30日 ヨーゼフ・ボイス 朝日講堂 東京 | 0879 1984年6月2日 ナム・ジュン・バイク、ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0838 1984年1月10日 杉浦康益、矢野美智子 かねこ・あーとギャラリー— 東京 | 0851 1984年3月26日 曾我孝司 ギャラリー—葉 東京 | 0866 1984年5月30日 ヨーゼフ・ボイス 朝日講堂 東京 | 0880 1984年6月2日 ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0839 1984年2月24日 工藤哲巳、村田真 岡崎球子画廊 東京 | 0852 1984年3月29日 青木野枝 ギャラリー—葉 東京 | 0869 1984年5月30日 ヨーゼフ・ボイス 朝日講堂 東京 | 0881 1984年6月2日 ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0840 1984年2月27日 工藤哲巳 岡崎球子画廊 東京 | 0853 1984年4月2日 関根伸夫、吉田克朗 東京画廊 東京 | 0867 1984年5月30日 ヨーゼフ・ボイス 西武美術館 東京 | 0882 1984年6月2日 ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0841 1984年3月13日 浅野久義 第4回ハラ・アニュアル 原美術館 東京 | 0854 1984年4月5日 イサム・ノグチ 草月会館 東京 | 0868 1984年5月30日 ヨーゼフ・ボイス 西武美術館 東京 | 0883 1984年6月2日 ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 |
| 0842 1984年3月14日 宮脇愛子 〔三人の彫刻家—小清水漸・高松次郎・ 宮脇愛子展 画家アラン・ジュフロワ選 による〕 | 0855 1984年4月5日 イサム・ノグチ 草月会館 東京 | 0874 1984年5月 ヨーゼフ・ボイス 朝日講堂 東京 | 0884 1984年6月2日 ナム・ジュン・バイク 草月会館 東京 |
| | 0856 1984年4月11日 イサム・ノグチ 香川 | 0871 1984年5月 ヨーゼフ・ボイス ヨーゼフ・ボイス展 | 0885 1984年6月3日 長澤英俊 第4回平行芸術展 小原流会館 東京 |

| | | | |
|--|--|--|---|
| 0886 1984年6月5日 逸藤利克 第4回平行芸術展 小原流会館 東京 | 0901 1984年6月 ヨーゼフ・ボイス 西武美術館 東京 | 富山県立近代美術館 富山 | 李禹煥 鎌倉画廊 東京 |
| 0887 1984年6月5日 ヨーゼフ・ボイス 草月会館 東京 | 0902 1984年6月 ヨーゼフ・ボイス 東京 | 0916 1984年8月5日 吉澤美香 第2回富山国際現代美術展 富山県立近代美術館 富山 | 0931 1985年1月22日 ジョナサン・ポロフスキー ギャラリーワタリ 東京 |
| 0888 1984年6月5日 井上武吉 東京 | 0903 1984年6月 ヨーゼフ・ボイス 東京 | 0917 1984年8月8日 勅使河原宏 富山 | 0932 1985年1月22日 ジョナサン・ポロフスキー ギャラリーワタリ 東京 |
| 0889 1984年6月14日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0904 1984年6月 ナム・ジュン・バイク ナム・ジュン・バイク展—ビデオ・アート を中心に 東京都美術館 東京 | 0918 1984年9月1日 坂口正之 びわこ現代彫刻展—環境と彫刻 滋賀 | 0933 1985年1月24日 川村直子 コバヤシ画廊 東京 |
| 0890 1984年6月14日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0905 1984年6月 ナム・ジュン・バイク ナム・ジュン・バイク展—ビデオ・アート を中心に 東京都美術館 東京 | 0919 1984年9月1—2日 西雅秋 びわこ現代彫刻展—環境と彫刻 滋賀 | 0934 1985年1月29日 崖在銀 草月会館 東京 |
| 0891 1984年6月14-15日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0906 1984年6月 ナム・ジュン・バイク 東京都美術館 東京 | 0920 1984年9月1—2日 杉浦康益 びわこ現代彫刻展—環境と彫刻 滋賀 | 0935 1985年2月2日 大野一雄 作家スタジオ 神奈川 |
| 0892 1984年6月14-15日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0907 1984年6月 ナム・ジュン・バイク 東京都美術館 東京 | 0921 1984年9月1—2日 剣持和夫 びわこ現代彫刻展—環境と彫刻 滋賀 | 0936 1985年2月7日 森田秀 コバヤシ画廊 東京 |
| 0893 1984年6月18日 東野芳明、ローリー・アンダーソン 東京 | 0908 1984年6月 ナム・ジュン・バイク 東京都美術館 東京 | 0922 1984年9月 近藤博志 びわこ現代彫刻展—環境と彫刻 滋賀 | 0937 1985年2月8日 イサム・ノグチ 西武アートフォーラム 東京 |
| 0894 1984年6月18-19日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0909 1984年6月 ナム・ジュン・バイク 東京都美術館 東京 | 0923 1984年10月15日 安齊重男 フジテレビギャラリー 東京 | 0938 1985年2月15日 柏原えつとむ 鎌倉画廊 東京 |
| 0895 1984年6月18-19日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0910 1984年6月 ナム・ジュン・バイク 東京都美術館 東京 | 0924 1984年10月18日 白川昌生 東京日仏学院 東京 | 0939 1985年2月18日 黒川弘毅 ときわ画廊 東京 |
| 0896 1984年6月18-19日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0911 1984年6月 ナム・ジュン・バイク 東京都美術館 東京 | 0925 1984年11月18日 柏原えつとむ グラス・アート 東京 | 0940 1985年2月23日 現代彫刻の歩み—木の造形 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 0897 1984年6月18-19日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0912 1984年6月 ナム・ジュン・バイク 東京都美術館 東京 | 0926 1984年11月18日 深井隆 グラス・アート 東京 | 0941 1985年2月25日 大村益三 コバヤシ画廊アネックス 東京 |
| 0898 1984年6月19日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0913 1984年6月 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0927 1984年11月18日 川俣正 ヒルサイドテラス 東京 | 0942 1985年2月 イサム・ノグチ 西武アートフォーラム 東京 |
| 0899 1984年6月19日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0914 1984年7月21日 利根山光人 岐阜 | 0928 1984年11月 戸谷成雄 作家スタジオ 東京 | 0943 1985年3月1日 三島喜美代 ギャラリー—上田ウエアハウス 東京 |
| 0900 1984年6月19日 ローリー・アンダーソン 日本青年館 東京 | 0915 1984年8月5日 矢野美智子 第2回富山国際現代美術展 | 0929 1984年12月17日 舟越桂 ギャラリー—せいほう 東京 | 0944 1985年3月2日 チャック・クロース フジテレビギャラリー 東京 |

| | | | |
|--|--|--|---|
| 0945 1985年3月2日 林英哲 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 | 0960 1985年5月 イサム・ノグチ イサム・ノグチ庭園美術館 アメリカ | 0975 1985年8月28日 中村敬治、工藤哲巳 M. ギャラリー 東京 | 0990 1985年11月17日 柏原えつとむ 第21回今日の作家展—インスタレーション とは何か 横浜市民ギャラリー 神奈川 |
| 0946 1985年3月2日 林英哲 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 | 0961 1985年6月8日 デイヴィッド・ナッシュ デイヴィッド・ナッシュ展 草月会館 東京 | 0976 1985年8月31日 黒川弘毅、戸谷成雄 淡路町画廊 東京 | 0991 1985年11月17日 蔵重範子 第21回今日の作家展—インスタレーション とは何か 横浜市民ギャラリー 神奈川 |
| 0947 1985年3月13日 松谷武判 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0962 1985年6月8日 鈴木了二 〔ギャラリー・トランスホーム〕 | 0977 1985年10月6日 増田感 和歌山 | 0992 1985年11月17日 剣持和夫 第21回今日の作家展—インスタレーション とは何か 横浜市民ギャラリー 神奈川 |
| 0948 1985年3月13日 松谷武判 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0963 1985年7月6日 笠原たけし 村松画廊 東京 | 0978 1985年10月10日 イサム・ノグチ 香川 | 0993 1985年11月17日 菅木志雄 第21回今日の作家展—インスタレーション とは何か 横浜市民ギャラリー 神奈川 |
| 0949 1985年3月29日 藤江民 ギャラリー手 東京 | 0964 1985年7月8日 山倉研志、荒瀬景敏、前本彰子、松井永樹 村松画廊 東京 | 0979 1985年10月22日 さかぎしよしおう かねこ・あーとギャラリー 東京 | 0994 1985年11月17日 平林薫 第21回今日の作家展—インスタレーション とは何か 横浜市民ギャラリー 神奈川 |
| 0950 1985年4月4日 舟越桂 西村画廊 東京 | 0965 1985年7月8日 菅野由美子 村松画廊 東京 | 0980 1985年10月23日 鈴木了二 モリス・ギャラリー 東京 | 0995 1985年11月17日 藤浩志 第21回今日の作家展—インスタレーション とは何か 横浜市民ギャラリー 神奈川 |
| 0951 1985年5月 川俣正 ライムライト・プロジェクト アメリカ | 0966 1985年7月13日 荻野優政 G. アートギャラリー 東京 | 0981 1985年10月23日 鈴木了二 モリス・ギャラリー 東京 | 0996 1985年11月19日 小林明 かねこ・あーとギャラリー 東京 |
| 0952 1985年5月 川俣正 ライムライト・プロジェクト アメリカ | 0967 1985年7月13日 戸谷成雄 佐谷画廊 東京 | 0982 1985年10月23日 鈴木了二 モリス・ギャラリー 東京 | 0997 1985年11月26日 谷内庸生 草月美術館 東京 |
| 0953 1985年5月 イサム・ノグチ イサム・ノグチ庭園美術館 アメリカ | 0968 1985年7月16日 中西学 村松画廊 東京 | 0983 1985年10月28日 高木修 ときわ画廊 東京 | 0998 1985年11月27日 鳥飼京子 コバヤシ画廊 東京 |
| 0954 1985年5月 イサム・ノグチ イサム・ノグチ庭園美術館 アメリカ | 0969 1985年7月16日 三輪美奈子 藍画廊 東京 | 0984 1985年10月 ケニー・シャーフ 東京 | 0999 1985年12月1-2日 小田襄 愛知 |
| 0955 1985年5月 イサム・ノグチ イサム・ノグチ庭園美術館 アメリカ | 0970 1985年7月18日 翁讓 作家スタジオ | 0985 1985年11月1日 平町公 〔表現の現場展〕 多摩美術大学 東京 | 1000 1985年12月8日 谷内庸生 和歌山 |
| 0956 1985年5月 イサム・ノグチ イサム・ノグチ庭園美術館 アメリカ | 0971 1985年8月7日 千崎千恵夫 村松画廊 東京 | 0986 1985年11月2日 松本春崇 〔表現の現場展〕 多摩美術大学 東京 | 1001 1985年 宮脇愛子 アメリカ |
| 0957 1985年5月 イサム・ノグチ イサム・ノグチ庭園美術館 アメリカ | 0972 1985年8月17日 田中浜 プランB 東京 | 0987 1985年11月7日 さかぎしよしおう 玉椿 東京 | 1002 1985年 磯崎新 アメリカ |
| 0958 1985年5月 イサム・ノグチ イサム・ノグチ庭園美術館 アメリカ | 0973 1985年8月17日 田中浜 プランB 東京 | 0988 1985年11月8日 ジャン＝ミシェル・バスキア スパイラル 東京 | 1003 1986年1月25日 西雅秋 |
| 0959 1985年5月 イサム・ノグチ イサム・ノグチ庭園美術館 アメリカ | 0974 1985年8月28日 中村敬治、工藤哲巳 M. ギャラリー 東京 | 0989 1985年11月16日 矢野美智子 かねこ・あーとギャラリー 東京 | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| エスエズギャラリー 東京 | スパイラル 東京 | 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1047 1986年8月6日 山田恵子 かねこ・あーとギャラリー 東京 |
| 1004 1986年1月28日 広田美穂 ギャラリー山口 東京 | 1018 1986年5月10日 高木修 佐谷画廊 東京 | 1033 1986年6月 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1048 1986年8月12日 岩瀬京子 G. アートギャラリー 東京 |
| 1005 1986年1月 山東英起 G. アートギャラリー 東京 | 1019 1986年5月10日 田中浜 砧公園 東京 | 1034 1986年6月 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1049 1986年8月12日 菅野由美子 G. アートギャラリー 東京 |
| 1006 1986年2月10日 青木野枝 ギャラリーQ、ギャラリー+1 東京 | 1020 1986年5月10日 田中浜 砧公園 東京 | 1035 1986年6月 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1050 1986年8月12日 岡部昌生 佐賀町エキジビット・スペース 東京 |
| 1007 1986年3月10日 川島清 空間・素材・表現の新たな展開を求めて 東京日仏学院 東京 | 1021 1986年5月15日 吉本芳人 ときわ画廊 東京 | 1036 1986年6月 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1051 1986年8月22日 米林雄一 東京藝術大学 東京 |
| 1008 1986年3月10日 田窪恭治 空間・素材・表現の新たな展開を求めて 東京日仏学院 東京 | 1022 1986年5月18日 中谷美二子 世田谷美術館 東京 | 1037 1986年6月 若林奮 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1052 1986年10月6日 狗巻賢二 鎌倉画廊 東京 |
| 1009 1986年3月10日 宮崎準之助 INAX ギャラリー 東京 | 1023 1986年5月19日 川俣正 アメリカ | 1038 1986年6月 若林奮 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1053 1986年10月6日 榎倉康二 鎌倉画廊 東京 |
| 1010 1986年3月30日 サトル・タカダ 作家スタジオ | 1024 1986年5月23日 阿部守 ときわ画廊 東京 | 1039 1986年6月 若林奮 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1054 1986年10月6日 小田襄 ギャラリーせいほう 東京 |
| 1011 1986年4月7日 東野芳明、中原佑介 南天子画廊 東京 | 1025 1986年6月1日 吉原悠博 作家スタジオ 東京 | 1040 1986年6月 若林奮 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1055 1986年10月6日 菅木志雄 鎌倉画廊 東京 |
| 1012 1986年4月7日 川村直子 コバヤシ画廊 東京 | 1026 1986年6月2日 戸谷成雄 なびす画廊 東京 | 1041 1986年6月 若林奮 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1056 1986年10月6日 成田克彦 鎌倉画廊 東京 |
| 1013 1986年4月11日 斉藤史門 第2回東京野外現代彫刻展 砧公園 東京 | 1027 1986年6月3日 田中米吉 埼玉県立近代美術館 埼玉 | 1042 1986年7月14日 西村文弘 エスエズギャラリー 東京 | 1057 1986年10月7日 池田一 大倉山記念館 神奈川 |
| 1014 1986年4月11日 菅木志雄 第2回東京野外現代彫刻展 砧公園 東京 | 1028 1986年6月3日 田中米吉 埼玉県立近代美術館 埼玉 | 1043 1986年7月25日 速水史郎 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 | 1058 1986年10月9日 ナム・ジュン・バイク 大倉山記念館 神奈川 |
| 1015 1986年4月11日 西雅秋 第2回東京野外現代彫刻展 砧公園 東京 | 1029 1986年6月4日 戸谷成雄、前本彰子 なびす画廊 東京 | 1044 1986年7月 片瀬和夫 Chambres d'Amis アントワープ現代美術館 ベルギー | 1059 1986年10月9日 ナム・ジュン・バイク 大倉山記念館 神奈川 |
| 1016 1986年4月11日 宮脇愛子 第2回東京野外現代彫刻展 砧公園 東京 | 1030 1986年6月9日 菅沼緑 ギャラリー・ホワイトアート 東京 | 1045 1986年7月 長澤英俊 Chambres d'Amis アントワープ現代美術館 ベルギー | 1060 1986年10月9日 ナム・ジュン・バイク 大倉山記念館 神奈川 |
| 1017 1986年4月16日 前本彰子 | 1031 1986年6月20日 眞板雅文 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1046 1986年7月 長澤英俊 Chambres d'Amis アントワープ現代美術館 ベルギー | 1061 1986年10月9日 ナム・ジュン・バイク 大倉山記念館 神奈川 |

| | | | |
|---|--|--|--|
| 1062 1986年10月15日 中原浩大 ART TODAY '86「ポストモダンの病理学」 高輪美術館 長野 | 秋山祐徳太子 INAX ギャラリー 東京 | 1091 1987年2月18日 宮脇愛子 現代作家シリーズ '87 田中稔之・宮脇愛子 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 |
| 1063 1986年10月19日 草間彌生 大倉山記念館 神奈川 | 1077 1986年12月26日 青木野枝 ギャラリーQ 東京 | 1092 1987年2月22日 江上弘 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1102 1987年2月 藤井博 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 |
| 1064 1986年10月21日 堂本尚郎、イサム・ノグチ ツァイト・フォト・サロン 東京 | 1078 1986年12月26日 加藤真治、上田雄三 ギャラリーQ 東京 | 1093 1987年2月22日 柳幸典 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1103 1987年2月 柳幸典 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 |
| 1065 1986年10月 ナム・ジュン・バイク 〔神奈川「芸術—平和への対話」展〕 大倉山記念館 神奈川 | 1080 1986年 砂澤ビッキ 札幌芸術の森美術館 北海道 | 1094 1987年2月23日 岩瀬京子 G. アートギャラリー 東京 | 1104 1987年3月3日 青木野枝 ギャラリー21 東京 |
| 1066 1986年10月 草間彌生 〔神奈川「芸術—平和への対話」展〕 大倉山記念館 神奈川 | 1081 1986年 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1095 1987年2月28日 大塚由美子 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1105 1987年3月5日 古郡弘 曾根画廊 東京 |
| 1067 1986年11月15日 剣持和夫 佐賀町エギジビットスペース 東京 | 1082 1986年 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1096 1987年2月28日 剣持和夫、國安孝昌、スタン・アンダーソン アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1106 1987年3月5日 松井紫朗 村松画廊 東京 |
| 1068 1986年11月22日 宮島達男 秋山画廊 東京 | 1083 1986年 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1097 1987年2月28日 藤浩志 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1107 1987年3月8日 山東英起 ギャラリー・フェイス 東京 |
| 1069 1986年11月26日 平林薫 サントリーアートボックス 東京 | 1084 1986年 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1098 1987年2月 國安孝昌 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1108 1987年3月9日 ドミニク・エザール ギャラリー上田ウエアハウス 東京 |
| 1070 1986年11月28日 深井隆 ギャラリー山口 東京 | 1085 1986年 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1099 1987年2月 剣持和夫 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1109 1987年3月22日 松村要二 鎌倉画廊 東京 |
| 1071 1986年12月4日 伊東敏光 なびす画廊 東京 | 1086 1986年 イサム・ノグチ 第42回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1100 1987年2月 殿数侃 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1110 1987年3月23日 雇在銀 スパイラル 東京 |
| 1072 1986年12月17日 西雅秋 秋山画廊 東京 | 1087 1987年1月9日 黒川弘毅 ときわ画廊 東京 | 1101 1987年2月 殿数侃 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1111 1987年3月24日 秋山史子 なびす画廊 東京 |
| 1073 1986年12月19日 小林明 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 1088 1987年1月16日 荻野優政 G. アートギャラリー 東京 | 1102 1987年2月 殿数侃 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1112 1987年3月24日 舟越直木 なびす画廊 東京 |
| 1074 1986年12月19日 さかぎしよしおう かねこ・あーとギャラリー 東京 | 1089 1987年2月4日 宮脇愛子 現代作家シリーズ '87 田中稔之・宮脇愛子 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 1103 1987年2月 殿数侃 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1113 1987年3月25日 江上弘 第8回ハラ・アニュアル 原美術館 東京 |
| 1075 1986年12月19日 高柳恵里 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 1090 1987年2月14日 富田有紀子 コバヤシ画廊 東京 | 1104 1987年2月 殿数侃 アートドキュメント '87 —インスタレーション+ビデオ・アート +パフォーミング・アート 栃木県立美術館 栃木 | 1114 1987年3月25日 邊藤利克 第8回ハラ・アニュアル |
| 1076 1986年12月25日 | | | |

| | | | |
|---|---|--|---|
| 原美術館 東京 | 1130 1987年5月31日 牛島達治 ヒルサイド・ギャラリー 東京 | 東京 | そして、アート・サーキット 小布施堂界限 長野 |
| 1115 1987年3月25日 土屋公雄 第8回ハラ・アニュアル 原美術館 東京 | 1131 1987年6月4日 黒沢美香 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 | 1144 1987年7月24日 中原浩大 第6回平行芸術展—彫刻の夢と現実 小原流会館 東京 | 1158 1987年9月19日 仁科茂 小布施系—留蔵、穴蔵、はたん場、 そして、アート・サーキット 小布施堂界限 長野 |
| 1116 1987年4月7日 ジョナサン・ボロフスキー 東京都美術館 東京 | 1132 1987年6月23日 吉原悠博 ギャラリー・フェイス 東京 | 1145 1987年7月 橋本夏夫 第6回平行芸術展—彫刻の夢と現実 小原流会館 東京 | 1159 1987年9月19日 松村要二 小布施系—留蔵、穴蔵、はたん場、 そして、アート・サーキット 小布施堂界限 長野 |
| 1117 1987年4月7日 ジョナサン・ボロフスキー 東京都美術館 東京 | 1133 1987年6月23日 吉原悠博 ギャラリー・フェイス 東京 | 1146 1987年8月4日 翁謙 ギャラリーQ 東京 | 1160 1987年9月20日 戸谷成雄 小布施系—留蔵、穴蔵、はたん場、 そして、アート・サーキット 小布施堂界限 長野 |
| 1118 1987年4月8日 熊谷優子 新宿ボックス 東京 | 1134 1987年6月25日 李禹煥、関根伸夫、菅木志雄、小清水漸、 吉田克朗 もの派とポストもの派の展開 —1969年以降の日本の美術 西武美術館 東京 | 1147 1987年8月11日 小泉俊己 New trends—世田谷の新世代 世田谷美術館 東京 | 1161 1987年9月22日 菅木志雄 佐谷画廊 東京 |
| 1119 1987年4月9日 川村直子 モリス・ギャラリー 東京 | 1135 1987年6月25日 北辻良央 もの派とポストもの派の展開 —1969年以降の日本の美術 西武美術館 東京 | 1148 1987年8月11日 西村博美 New trends—世田谷の新世代 世田谷美術館 東京 | 1162 1987年9月22日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 |
| 1120 1987年4月17日 岩瀬京子 Gallery CAESALON | 1136 1987年6月25日 菅木志雄 もの派とポストもの派の展開 —1969年以降の日本の美術 西武美術館 東京 | 1149 1987年8月31日 古田裕 ギャラリーQ 東京 | 1163 1987年9月22日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 |
| 1121 1987年4月17日 松村要二 ギャラリー・ホワイトアート 東京 | 1137 1987年6月 川俣正 ドクメンタ 8 ドイツ | 1150 1987年8月11日 吉澤美香 New trends—世田谷の新世代 世田谷美術館 東京 | 1164 1987年9月27日 松村要二 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 |
| 1122 1987年4月18日 作佐部潮 ギャラリーQ、ギャラリー+1 東京 | 1138 1987年6月 長澤英俊 ドクメンタ 8 ドイツ | 1151 1987年8月31日 橋田尚之 ギャラリーQ 東京 | 1165 1987年9月28日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 |
| 1123 1987年4月18日 藤村克裕 ギャラリー NW ハウス 東京 | 1139 1987年6月 吉原悠博 ギャラリー・フェイス 東京 | 1152 1987年9月6日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1166 1987年9月28-29日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 |
| 1124 1987年4月18日 玄美和 ときわ画廊 東京 | 1140 1987年6月 吉原悠博 ギャラリー・フェイス 東京 | 1153 1987年9月7日 殿敷侃 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 1167 1987年9月 日比野克彦 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 |
| 1125 1987年4月23日 國安孝昌 ギャラリーなつか 東京 | 1141 1987年7月6日 野村和弘 Space 21 東京 | 1154 1987年9月17日 高見沢文雄 なびす画廊 東京 | 1168 1987年9月 日比野克彦 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 |
| 1126 1987年5月5日 鈴木了二 東京 | 1142 1987年7月17日 滑川五郎 郵貯ホール 東京 | 1155 1987年9月17日 戸谷成雄 佐谷画廊 東京 | 1169 1987年9月 日比野克彦 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 |
| 1127 1987年5月5日 鈴木了二 東京 | 1143 1987年7月17日 滑川五郎 郵貯ホール | 1156 1987年9月17日 吉澤美香 佐賀町エギジビットスペース 東京 | 1170 1987年9月 日比野克彦 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 |
| 1128 1987年5月9日 鈴木了二 東京 | | 1157 1987年9月19日 北澤一伯 小布施系—留蔵、穴蔵、はたん場、 | |

| | | | |
|--|--|--|---|
| 1171 1987年9月 日比野克彦 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 | 1186 1987年10月30日 品川工 〔東京〕 | 1201 1987年12月4日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1216 1988年4月21日 関口敦仁 スパイラル 東京 |
| 1172 1987年10月1日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1187 1987年11月6日 中村一美 島田画廊 東京 | 1202 1987年12月4日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1217 1988年4月21日 仁科茂 スパイラル 東京 |
| 1173 1987年10月1日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1188 1987年11月12日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1203 1987年12月6日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1218 1988年4月23日 庄司達 NCAF 電気文化会館 愛知 |
| 1174 1987年10月3日 関根伸夫 東京画廊 東京 | 1189 1987年11月13日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1204 1987年12月19日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1219 1988年4月28日 アズビー・ブラウン 佐賀町エギジビットスペース 東京 |
| 1175 1987年10月3日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1190 1987年11月13日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1205 1987年12月19日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1220 1988年4月28日 土屋公男 コバヤシ画廊 東京 |
| 1176 1987年10月3日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1191 1987年11月13日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1206 1987年12月19日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1221 1988年5月9日 八田淳 INAX ギャラリー 東京 |
| 1177 1987年10月3日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1192 1987年11月13日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1207 1987年12月 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1222 1988年6月9日 小泉俊己 ギャラリーなつか 東京 |
| 1178 1987年10月13日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1193 1987年11月14日 大竹伸朗 佐賀町エギジビット・スペース 東京 | 1208 1987年 遠藤利克 ギャラリー葉 東京 | 1223 1988年6月9日 小泉俊己 ギャラリーなつか 東京 |
| 1179 1987年10月13日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1194 1987年11月14日 大竹伸朗 佐賀町エギジビット・スペース 東京 | 1209 1988年1月29日 サトル・タカダ スパイラル 東京 | 1224 1988年6月19日 戸谷成雄 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア |
| 1180 1987年10月15日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1195 1987年11月14日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1210 1988年2月11日 國安孝昌 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 1225 1988年6月22日 遠藤利克 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア |
| 1181 1987年10月22日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1196 1987年11月14日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1211 1988年2月22日 鷺見和紀郎 秋山画廊 東京 | 1226 1988年6月29日 菅木志雄 モノ派 〔ローマ大学現代美術館〕 イタリア |
| 1182 1987年10月25日 吉澤美香 N. H. K. スタジオ 東京 | 1197 1987年11月 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1212 1988年3月26日 マリオ・メルツ ICA 名古屋 愛知 | 1227 1988年6月29日 菅木志雄 モノ派 〔ローマ大学現代美術館〕 イタリア |
| 1183 1987年10月27日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1198 1987年12月3日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1213 1988年4月11日 杉山知子 ギャラリー・ホワイトアート 東京 | 1228 1988年6月 戸谷成雄 佐谷画廊 東京 |
| 1184 1987年10月30日 品川工 〔東京〕 | 1199 1987年12月3日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1214 1988年4月15日 鯉江良二 ギャルリー東京ユマニテ 東京 | 1229 1988年6月 成田克彦 モノ派 〔ローマ大学現代美術館〕 イタリア |
| 1185 1987年10月30日 品川工 〔東京〕 | 1200 1987年12月4日 鈴木了二、田窪恭治、安齊重男 絶対現場 1987 東京 | 1215 1988年4月19日 チャールズ・ボーゼン ギャラリーなつか 東京 | |

| | | | |
|--|---|---|---|
| 1230 1988年6月 戸谷成雄、舟越桂 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1245 1988年9月17日 関口敦仁 ハイネケンビレッジバー 東京 | 1260 1988年 石原友明 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1274 1989年4月3日 鈴木実 作家スタジオ 茨城 |
| 1231 1988年6月 石原友明 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1246 1988年9月22日 三宅一生 三宅デザイン事務所 東京 | 1261 1989年1月9日 橘田尚之 ときわ画廊 東京 | 1275 1989年4月14日 ダニエル・ビュラン、安齊重男 ICA 名古屋 愛知 |
| 1232 1988年6月 植松奎二 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1247 1988年10月24日 三宅一生 Issey Miyake : A-ÜN パリ装飾美術館 フランス | 1262 1989年1月14日 荻野優政、岩瀬京子 G. アートギャラリー 東京 | 1276 1989年4月14日 ダニエル・ビュラン ダニエル・ビュラン展 ICA 名古屋 愛知 |
| 1233 1988年6月 植松奎二 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1248 1988年10月24日 三宅一生 Issey Miyake : A-ÜN パリ装飾美術館 フランス | 1263 1989年1月19日 荻野優政 ハイネケンビレッジ 東京 | 1277 1989年4月14日 ダニエル・ビュラン ダニエル・ビュラン展 ICA 名古屋 愛知 |
| 1234 1988年6月 戸谷成雄 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1249 1988年10月 イサム・ノグチ、三宅一生 フランス | 1264 1989年1月19日 松谷武判 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 1278 1989年4月20日 藤村克裕 NW ハウス 東京 |
| 1235 1988年6月 戸谷成雄 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1250 1988年10月 イサム・ノグチ、三宅一生 フランス | 1265 1989年1月20日 エドワード・ルシェ 東高現代美術館 東京 | 1279 1989年4月26日 ダニエル・ビュラン ダニエル・ビュラン展 東高現代美術館 東京 |
| 1236 1988年6月 長澤英俊 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1251 1988年11月7日 吉澤美香 東京電力プラス・マイナスギャラリー 東京 | 1266 1989年2月19日 〔岡崎和郎プロジェクト・スタッフ〕 〔公開制作〕 世田谷美術館 東京 | 1280 1989年4月26日 ダニエル・ビュラン ダニエル・ビュラン展 東高現代美術館 東京 |
| 1237 1988年6月 舟越桂 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1252 1988年11月7日 吉澤美香 東京電力プラス・マイナスギャラリー 東京 | 1267 1989年2月23日 東野芳明、サム・フランシス サム・フランシス展 世田谷美術館 東京 | 1281 1989年4月 ホイットニー美術館展 1950年以降のア メリカ現代美術 東京ステーションギャラリー 東京 |
| 1238 1988年6月 舟越桂 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1253 1988年11月17日 イサム・ノグチ 香川 | 1268 1989年2月 岡崎乾二郎 岡崎乾二郎一時のかたち 世田谷美術館 東京 | 1282 1989年5月3日 吉原悠博 スパイラル 東京 |
| 1239 1988年6月 宮島達男 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1254 1988年11月21日 舟越桂 西村画廊 東京 | 1269 1989年2月 岡崎乾二郎 岡崎乾二郎一時のかたち 世田谷美術館 東京 | 1283 1989年5月3日 吉原悠博 スパイラル 東京 |
| 1240 1988年6月 森村泰昌 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1255 1988年12月10日 殿敷侃 イースト・ミーツ・ウェスト(ART/LA88) アメリカ | 1270 1989年2月 岡崎乾二郎 岡崎乾二郎一時のかたち 世田谷美術館 東京 | 1284 1989年5月9日 三宅一生 ルーシー・リー展 草月会館 東京 |
| 1241 1988年6月 第43回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1256 1988年12月10日 森村泰昌、小池一子 イースト・ミーツ・ウェスト(ART/LA88) アメリカ | 1271 1989年3月10日 榎倉康二、正木基 サバンク・テンポラリー美術館 東京 | 1285 1989年5月23日 東高現代美術館 東京 |
| 1242 1988年7月29日 池ヶ谷肇 ハイネケンビレッジ 東京 | 1257 1988年12月15日 ハイネケンビレッジバー 東京 | 1272 1989年3月11日 西雅秋 秋山画廊 東京 | 1286 1989年5月30-31日 安藤忠雄 水の教会 北海道 |
| 1243 1988年7月 アンジュ・レッチア ヒルサイド・ギャラリー 東京 | 1258 1988年12月15日 ハイネケンビレッジバー 東京 | 1273 1989年3月28日 内藤礼 佐賀町エジビットスペース 東京 | 1287 1989年5月30-31日 安藤忠雄 水の教会 北海道 |

| | | | |
|---|---|---|--|
| 1288 1989年6月7日 安藤忠雄 光の教会 大阪 | 1303 1989年9月7日 萩野優政、岩瀬京子 ハイネケンビレッジ 東京 | 1317 1989年11月 イサム・ノグチ 高松空港 香川 | 1331 1990年2月24日 中原浩大 ハイネケンビレッジ 東京 |
| 1289 1989年6月7日 安藤忠雄 光の教会 大阪 | 1304 1989年9月7日 小泉俊巳 ギャラリーなつか 東京 | 1318 1989年12月4日 米林雄一 ギャラリー東京ユマニテ 東京 | 1332 1990年2月26日 笠原恵美子 コバヤシ画廊 東京 |
| 1290 1989年6月7日 安藤忠雄 光の教会 大阪 | 1305 1989年9月7日 小泉俊巳 ギャラリーなつか 東京 | 1319 1989年12月19日 前本彰子、仁科茂 ハイネケンビレッジ東京 | 1333 1990年3月7日 森田秀 コバヤシ画廊 東京 |
| 1291 1989年6月7日 安藤忠雄 光の教会 大阪 | 1306 1989年9月9日 アニッシュ・カプーア コウジオグラギャラリー 愛知 | 1320 1989年12月 青木野枝 鉄の彫刻展—千葉 '89 都市と人間 鉄との対話 幕張メッセ 東京 | 1334 1990年3月14日 森村泰昌 佐賀町エキジビット・スペース 東京 |
| 1292 1989年6月7日 安藤忠雄 光の教会 大阪 | 1307 1989年9月16日 朝倉摂、白石由子 横田茂ギャラリー 東京 | 1321 1989年12月 坂口正之 鉄の彫刻展—千葉 '89 都市と人間 鉄との対話 幕張メッセ 東京 | 1335 1990年3月14日 大村益三 コバヤシ画廊 東京 |
| 1293 1989年6月7日 安藤忠雄 光の教会 大阪 | 1308 1989年9月27日 後列左から宮脇愛子、磯崎新、黛敏郎、 高橋アキ、秋山邦晴 / 前列左から高橋 悠治、東野芳明、オノ・ヨーコ、ひとり おいて武満徹 〔オノ・ヨーコのパーティ〕 ざくろ 東京 | 1322 1990年1月19日 荒川修作、マドリン・ギンズ 荒川修作—宮川淳へ 東高現代美術館 東京 | 1336 1990年3月21日 青木野枝 作法の遊戯—'90年春・美術の現在 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 |
| 1294 1989年6月7日 安藤忠雄 光の教会 大阪 | 1309 1989年9月27日 オノ・ヨーコ 東京 | 1323 1990年1月19日 宮島達男、秋山祐徳太子 荒川修作—宮川淳へ 東高現代美術館 東京 | 1337 1990年3月21日 関口敦仁 作法の遊戯—'90年春・美術の現在 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 |
| 1295 1989年6月26日 吉野辰海、田中信太郎、谷川晃一 画廊春秋 東京 | 1310 1989年9月29日 福田美蘭 TAMA VIVANT '89—入れ子/反復/ リファレンス 現代美術7つの場面 シブヤ西武シードホール 東京 | 1324 1990年1月19日 坂田栄一郎、光豆 荒川修作—宮川淳へ 東高現代美術館 東京 | 1338 1990年3月21日 小池一子、酒井忠康、磯崎新 作法の遊戯—'90年春・美術の現在 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 |
| 1296 1989年7月8日 速水史郎 ギャラリー上田ウエアハウス 東京 | 1311 1989年9月 小泉俊巳 ギャラリーなつか 東京 | 1325 1990年1月20日 荒川修作 東高現代美術館 東京 | 1339 1990年3月21日 中原浩大 作法の遊戯—'90年春・美術の現在 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 |
| 1297 1989年7月23日 三島喜美代 村松画廊 東京 | 1312 1989年10月4日 牛島達治 ヒルサイド・ギャラリー 東京 | 1326 1990年1月 堀浩哉 村松画廊 東京 | 1340 1990年3月30日 池田満寿夫 作家アトリエ 神奈川 |
| 1298 1989年7月 安藤忠雄 大阪 | 1313 1989年10月13日 國安孝昌 ART EVENT IN SAPPORO '89—界川遊行 北海道 | 1327 1990年1月 ソル・ルウィット ソル・ルウィット 東高現代美術館 東京 | 1341 1990年4月9—12日 三宅一生 エナジーズ展 アムステルダム市立美術館 オランダ |
| 1300 1989年8月17—18日 岡部昌生 同潤会代官山アパート 東京 | 1314 1989年10月13日 戸谷成雄 ART EVENT IN SAPPORO '89—界川遊行 北海道 | 1328 1990年2月13日 鯉江良二 テンボラリースペース001 北海道 | 1342 1990年4月28日 中川幸夫 小原流会館 東京 |
| 1301 1989年9月4日 和田守弘、島田茂 島田画廊 東京 | 1315 1989年11月15日 西村文弘 藍画廊 東京 | 1329 1990年2月22日 譚嘸 フジテレビギャラリー 東京 | 1343 1990年4月28日 中川幸夫 小原流会館 東京 |
| 1302 1989年9月4日 青木野枝 ギャラリー—21十葉 東京 | 1316 1989年11月22日 チャールズ・ボーゼン ヒルサイド・ギャラリー 東京 | 1330 1990年2月23日 黒川弘毅 コバヤシ画廊 東京 | 1344 1990年4月28日 中川幸夫 小原流会館 東京 |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 1345 1990年5月1日 若江漢字 INAX ギャラリー 東京 | 幕張メッセ 千葉 | 1373 1990年9月 ジョージ・シーガル ギャラリー・ところ 東京 | 1387 1991年2月2日 岡部昌生 テンポラリースペース 北海道 |
| 1346 1990年5月21日 遠藤利克 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1360 1990年7月29日 リチャード・セラ ファルマコン '90 幕張メッセ 千葉 | 1374 1990年10月11日 岡崎乾二郎 Ten Gallery 福岡 | 1388 1991年2月2日 岡部昌生 テンポラリースペース 北海道 |
| 1347 1990年5月21日 村岡三郎 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1361 1990年7月 ウォルター・デ・マリア ファルマコン '90 幕張メッセ 千葉 | 1375 1990年10月30日 アンソニー・カロ カサハラ画廊 大阪 | 1389 1991年2月4日 中西學 ギャラリー・ホワイトアート 東京 |
| 1348 1990年5月21日 村岡三郎 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1362 1990年8月30日 三宅一生 三宅一生展—ブリーツ・ブリーズ 東高現代美術館 東京 | 1376 1990年11月8日 菅木志雄 菅木志雄—まなごしの周辺 東高現代美術館 東京 | 1390 1991年2月7日 遠藤利克 遠藤利克—円環 加速する空間 東高現代美術館 東京 |
| 1349 1990年5月23日 石原友明、松井智恵 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1363 1990年8月 三宅一生 三宅一生展—ブリーツ・ブリーズ 東高現代美術館 東京 | 1377 1990年11月8日 土屋公雄、アンソニー・カロ ブリテッシュ・カウンシル 東京 | 1391 1991年2月7日 竹田康宏 ヒルサイド・ギャラリー 東京 |
| 1350 1990年5-6月 コンプレッソ・プラスティコ 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1364 1990年8月 三宅一生 三宅一生展—ブリーツ・ブリーズ 東高現代美術館 東京 | 1378 1990年11月9日 アンソニー・カロ、舟越桂 西村画廊 東京 | 1392 1991年2月12日 堀内正和、大村和子 ときわ画廊 東京 |
| 1351 1990年6月12日 田中信太郎 ブリヂストンビル 東京 | 1365 1990年8月 デイヴィッド・マック イギリス美術は、いま—内なる詩学 世田谷美術館 東京 | 1379 1990年11月 川越悟 コバヤシ画廊 東京 | 1393 1991年3月12日 草間彌生 銀座ソニービル 東京 |
| 1352 1990年6月 村岡三郎、建畠哲、遠藤利克 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1366 1990年8月 デイヴィッド・マック イギリス美術は、いま—内なる詩学 世田谷美術館 東京 | 1380 1991年1月9日 小泉俊己 ギャラリーなつか 東京 | 1394 1991年3月12日 草間彌生 銀座ソニービル 東京 |
| 1353 1990年6月 遠藤利克 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1367 1990年9月3日 戸谷成雄 佐谷画廊 東京 | 1381 1991年1月9日 関口敦仁 コバヤシ画廊 東京 | 1395 1991年3月21日 草間彌生、レオ・カステリ 第2回東京アートエキスポ 1991 晴海 東京 |
| 1354 1990年6月 村岡三郎 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1368 1990年9月10日 堂本右美 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1382 1991年1月11日 デイヴィッド・リンチ デイヴィッド・リンチ—paintings & drawings 東高現代美術館 東京 | 1396 1991年3月25日 建畠朔弥 愛宕山画廊 東京 |
| 1355 1990年6月 松井智恵 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1369 1990年9月10日 吉原悠博 〔東京クリエイティヴ〕 東京 | 1383 1991年1月12日 デイヴィッド・リンチ デイヴィッド・リンチ—paintings & drawings 東高現代美術館 東京 | 1397 1991年3月29日 双ギャラリー〔オーナーと吉澤美香〕 第2回東京アートエキスポ 1991 晴海 東京 |
| 1356 1990年6月 コンプレッソ・プラスティコ 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1370 1990年9月 堂本右美 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1384 1991年1月16日 鈴木隆 ギャラリー現 東京 | 1398 1991年3月29日 ギャラリー手 第2回東京アートエキスポ 1991 晴海 東京 |
| 1357 1990年6月 〔展示風景〕 第44回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1371 1990年9月 吉原悠博 寺田倉庫スペース T 33 東京 | 1385 1991年1月21日 中上清 ヒノギャラリー 東京 | 1399 1991年3月29日 前本彰子 第2回東京アートエキスポ 1991 晴海 東京 |
| 1358 1990年7月29日 中原浩大 ファルマコン '90 幕張メッセ 千葉 | 1372 1990年9月 クリスチャン・ボルタンスキー展 ICA 名古屋 愛知 | 1386 1991年1月26日 植松奎二 第12回神戸須磨離宮公園現代彫刻展 神戸市立須磨離宮公園 兵庫 | 1400 1991年3月29日 西村画廊 第2回東京アートエキスポ 1991 晴海 東京 |
| 1359 1990年7月29日 ジョナサン・ボロフスキー ファルマコン '90 | | | |

| | | | |
|---|---|--|--|
| 1401 1991年3月29日 草間彌生 第2回東京アートエキスポ 1991 晴海 東京 | 東京 1416 1991年9月2日 宇佐美圭司 南天子ギャラリー SOKO 東京 | 1431 1992年2月26日 リチャード・ディーコン 第1回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 柳幸典 都市と現代美術—廃墟としてのわが家 世田谷美術館 東京 |
| 1402 1991年4月2日 鷺見和紀郎 秋山画廊 東京 | 1417 1991年10-11月 谷内庸生 和歌山 | 1432 1992年3月29日 太郎知恵蔵 白石コンテンポラリーアート・プロジェクトルーム 東京 | 1445 1992年6月 チッチョリーナ、生駒芳子 Post Human FAE現代美術館 スイス |
| 1403 1991年4月9日 柏原えつとむ ヒルサイド・ギャラリー 東京 | 1418 1991年10-11月 谷内庸生 和歌山 | 1433 1992年3月29日 福岡道雄 作家スタジオ 大阪 | 1446 1992年7月4日 宮脇愛子 群馬県立近代美術館 群馬 |
| 1404 1991年4月12日 マグダレーナ・アバカノヴィッチ マルボロー・ギャラリー 東京 | 1419 1991年11月18日 イサム・ノグチ 香川 | 1434 1992年3月 中村政人 第1回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1447 1992年7月11日 三宅一生 オープニング企画展 三宅一生展—ツイスト 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1405 1991年4月19日 北山善夫 上田カルチャープロジェクト 東京 | 1420 1991年11月18日 イサム・ノグチ 香川 | 1435 1992年4月2日 戸谷成雄、小池一子 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1448 1992年7月11日 安藤忠雄、三宅一生 オープニング企画展 三宅一生展—ツイスト 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1406 1991年5月7日 宮脇愛子 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1421 1991年11月22日 亀倉雄策、猪熊弦一郎、谷口吉生 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 香川 | 1436 1992年4月2日 クロード・ヴィアラ 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1449 1992年7月11日 三宅一生 オープニング企画展 三宅一生展—ツイスト 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1407 1991年5月10日 平町公 平町公展—赤目四十八竜図 なびす画廊 東京 | 1422 1991年11月 吉澤美香 ギャラリー・ホワイトアート 東京 | 1437 1992年4月18日 橋秀文、原田光、酒井忠康、山本正道、 吉田克朗 今日の作家たち IV—'92 山本正道 ・吉田克朗展 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 1450 1992年7月27日 鈴木了二 ギャラリー・間 東京 |
| 1408 1991年5月15日 宮脇愛子 アメリカ | 1423 1991年12月12日 宮脇愛子 Aiko Miyawaki—Escultura ジョアン・ミロ財団 スペイン | 1438 1992年4月27日 岡崎乾二郎 南天子ギャラリー SOKO 東京 | 1451 1992年7月27日 鈴木了二 ギャラリー・間 東京 |
| 1409 1991年5月15日 宮脇愛子 アメリカ | 1424 1991年12月13日 宮脇愛子 Aiko Miyawaki—Escultura ジョアン・ミロ財団 スペイン | 1439 1992年5月8日 前山忠 ヒルサイド・ギャラリー 東京 | 1452 1992年7月27日 鈴木了二 ギャラリー・間 東京 |
| 1410 1991年5月26日 長澤英俊 長澤英俊展 上田カルチャープロジェクト 東京 | 1425 1991年12月13日 宮脇愛子 Aiko Miyawaki—Escultura ジョアン・ミロ財団 スペイン | 1440 1992年5月29日 大久保英治 児玉画廊 大阪 | 1453 1992年7月 三宅一生 オープニング企画展 三宅一生展—ツイスト 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1411 1991年5月26日 長澤英俊 長澤英俊展 上田カルチャープロジェクト 東京 | 1426 1991年12月24日 内藤晴久、梶山洵子 ギャラリー現 東京 | 1441 1992年6月14日 川俣正 ドクメンタ 9 ドイツ | 1454 1992年7月30日-8月1日 田中浜、セシル・テイラー 白州・夏・フェスティバル '92 山梨 |
| 1412 1991年6月1日 ドン・チェリー 東京 | 1427 1991年12月 宮脇愛子 スペイン | 1442 1992年6月19日 小山登美夫 Post Human FAE 現代美術館 スイス | 1455 1992年8月1日 田中浜、セシル・テイラー 白州・夏・フェスティバル '92 山梨 |
| 1413 1991年6月3日 寺内耀子 かんらん舎 東京 | 1428 1992年1月6日 舟越直木 なびす画廊 東京 | 1443 1992年6月19日 太郎千恵蔵、フェリックス・ゴンザレス＝ トレス、ロバート・ゴーパー Post Human FAE 現代美術館 スイス | 1456 1992年8月1日 セシル・テイラー 白州・夏・フェスティバル '92 山梨 |
| 1414 1991年6月4日 吉原悠博 銀座 東京 | 1429 1992年1月10日 中原浩大 佐谷画廊 東京 | 1444 1992年6月25日 | 1457 1992年8月1日 田中浜 白州・夏・フェスティバル '92 山梨 |
| 1415 1991年6月8日 長澤英俊 上田カルチャープロジェクト | 1430 1992年1月11日 岡部昌生 善光寺 東京 | | |

| | | | |
|--|--|---|---|
| 1458 1992年8月1日 剣持和夫 白州・夏・フェスティバル '92 山梨 | 東京 1473 1992年10月 草間彌生 原美術館 東京 | 1487 1993年1月18日 曾我孝司 曾我孝司—重力質 大阪府立現代美術センター 大阪 | 東京 1502 1993年4月5日 岩井成昭 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1459 1992年8月1日 佐藤時啓 白州・夏・フェスティバル '92 山梨 | 1474 1992年11月 アンソニー・カロ フジテレビギャラリー 東京 | 1488 1993年1月21日 田中信太郎 | 1503 1993年4月5日 宇治野宗輝 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1460 1992年9月21日 鈴木隆 ギャラリー現 東京 | 1475 1992年12月1日 三木富雄 特別展/三木富雄 渋谷区立松濤美術館 東京 | 1489 1993年1月25日 高木修 ヒノギャラリー 東京 | 1504 1993年4月5日 宇治野宗輝 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1461 1992年9月24日 アズビー・ブラウン 細見画廊 東京 | 1476 1992年12月4日 柳幸典 WANDERING POSITION—柳幸典 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 | 1490 1993年1月 田中信太郎 茨城 | 1505 1993年4月5日 小沢剛 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1462 1992年10月1日 〔サントリー・プロジェクト〕 シャトー・ペイシュヴェル フランス | 1477 1992年12月4日 柳幸典 WANDERING POSITION—柳幸典 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 | 1491 1993年1月 田中信太郎 作家スタジオ 茨城 | 1506 1993年4月5日 小沢剛 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1463 1992年10月1日 〔サントリー・プロジェクト〕 シャトー・ペイシュヴェル フランス | 1478 1992年12月4日 柳幸典 WANDERING POSITION—柳幸典 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 | 1492 1993年3月1日 田中信太郎 ギャラリー・ところ 東京 | 1507 1993年4月5日 中村政人 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1464 1992年10月1日 〔サントリー・プロジェクト〕 シャトー・ペイシュヴェル フランス | 1479 1992年12月 柳幸典 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 | 1493 1993年3月14日 平川典俊 ギャラリー HAM 愛知 | 1508 1993年4月5日 豊田ふみ ザ・ギンブラート 東京 |
| 1465 1992年10月6日 谷内庸生 INAX ギャラリー 東京 | 1480 1992年12月 柳幸典 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 | 1494 1993年3月17日 松澤宥 世田谷美術館 東京 | 1509 1993年4月5日 スモール・ビレッジ・センター(小沢剛、 村上隆、中ザワヒデキ) ザ・ギンブラート 東京 |
| 1466 1992年10月16日 草間彌生 原美術館 東京 | 1481 1992年 三木富雄 特別展/三木富雄 渋谷区立松濤美術館 東京 | 1495 1993年3月17日 松澤宥 世田谷美術館 東京 | 1510 1993年4月5日 村上隆 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1467 1992年10月18日 野田哲也と家族 千葉 | 1482 1992年 田中信太郎 東京 | 1496 1993年3月18日 平川典俊 第2回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィック横浜 神奈川 | 1511 1993年4月5日 申明銀 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1468 1992年10月29日 谷内庸生、アンソニー・カロ INAX ギャラリー 東京 | 1483 1992年 ヤン・ファープル 東京 | 1497 1993年3月18日 太郎千恵蔵 第2回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィック横浜 神奈川 | 1512 1993年4月5日 申明銀 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1469 1992年10月 〔サントリー・プロジェクト〕 シャトー・ペイシュヴェル フランス | 1484 1992年 ヤン・ファープル 東京 | 1498 1993年3月18日 所明義 第2回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィック横浜 神奈川 | 1513 1993年4月5日 謝琳 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1470 1992年10月 安齊重男 〔サントリー・プロジェクト〕 シャトー・ペイシュヴェル フランス | 1485 1992年9月22日 柳幸典 フジテレビギャラリー 東京 | 1499 1993年3月23日 小泉俊己 ギャラリーなつか 東京 | 1514 1993年4月5日 ピーター・ペラース ザ・ギンブラート 東京 |
| 1471 1992年10月 安齊重男 〔サントリー・プロジェクト〕 シャトー・ペイシュヴェル フランス | 1486 1992年10月16日 草間彌生 原美術館 東京 | 1500 1993年3月 田中信太郎 ギャラリー・ところ 東京 | 1515 1993年4月5日 小沢剛、松橋睦生 ザ・ギンブラート 東京 |
| 1472 1992年10月 草間彌生 原美術館 | | 1501 1993年3月 田中信太郎 ギャラリー・ところ | 1516 1993年4月10日 |

| | | | |
|--|---|--|---|
| 大谷芳久 かんらん舎ラスト・パーティ 東京 | 1530 1993年 5 月 4 日 〔SCAI THE BATHHOUSE 建設風景 7〕 白石コンテンポラリー・アート 東京 | 草間彌生 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1559 1993年 9 月 6 日 藤井浩志 ギャラリーなつか 東京 |
| 1517 1993年 4 月10日 李禹煥 李禹煥展 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 1531 1993年 5 月10日 青木野枝 永井祥子ギャラリー 東京 | 1545 1993年 6 月 草間彌生 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1560 1993年 9 月 6 日 吉水浩 ギャラリー山口 東京 |
| 1518 1993年 4 月10日 小清水漸、吉田克郎 李禹煥展 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 1532 1993年 6 月 2 日 アンゼラム・キーフアー、小池一子 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1546 1993年 6 月 元永定正 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1561 1993年 9 月14日 勅使河原宏 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1519 1993年 4 月10日 かんらん舎 東京 | 1533 1993年 6 月 2 日 アンゼラム・キーフアー 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1547 1993年 6 月 田中敦子 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1562 1993年 9 月23日 舟越桂 今日の作家たちV—'93 坂倉新平・舟越桂 神奈川県立近代美術館 神奈川 |
| 1520 1993年 4 月16日 山本正道 洞爺湖 北海道 | 1534 1993年 6 月 9 日 草間彌生 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1548 1993年 6 月 オノ・ヨーコ 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1563 1993年 9 月 勅使河原宏 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1521 1993年 4 月16日 〔SCAI THE BATHHOUSE 建設風景 1〕 白石コンテンポラリー・アート 東京 | 1535 1993年 6 月10日 具体グループ(左から山崎つる子、吉田 稔郎、元永定正、村上三郎、白髪富士子、 白髪一雄、金山明、嶋本昭三、田中敦子、 鷺見康夫、吉原道雄) 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1549 1993年 6 月 元永定正 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1564 1993年 9 月 勅使河原宏 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1522 1993年 4 月16日 〔SCAI THE BATHHOUSE 建設風景 2〕 白石コンテンポラリー・アート 東京 | 1536 1993年 6 月11日 長澤英俊 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1550 1993年 6 月 宮脇愛子 フランス | 1565 1993年10月 2 日 曾根裕 19番目の彼女の足 水戸芸術館 茨城 |
| 1523 1993年 4 月16日 〔SCAI THE BATHHOUSE 建設風景 3〕 白石コンテンポラリー・アート 東京 | 1537 1993年 6 月11日 中原浩大 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1551 1993年 6 月 アンゼラム・キーフアー 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1566 1993年10月14日 嶋本昭三、ナイジェル・コーツ ペンローズ・インスティテュート 東京 |
| 1524 1993年 4 月16日 〔SCAI THE BATHHOUSE 建設風景 4〕 白石コンテンポラリー・アート 東京 | 1538 1993年 6 月11日 元永定正 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1552 1993年 7 月17日 太郎千恵蔵 オープニング展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1567 1993年10月14日 村上三郎 ペンローズ・インスティテュート 東京 |
| 1525 1993年 4 月17日 デイヴィッド・マック デイヴィッド・マック マガジンインス タレーション—現実と現実のはざま 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 1539 1993年 6 月 中原浩大 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1553 1993年 7 月17日 〔SCAI THE BATHHOUSE オープニング ・パーティー〕 オープニング展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1568 1993年10月14日 元永定正 ペンローズ・インスティテュート 東京 |
| 1526 1993年 4 月21日 〔SCAI THE BATHHOUSE 建設風景 5〕 白石コンテンポラリー・アート 東京 | 1540 1993年 6 月 久保田成子 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1554 1993年 8 月25日 岡部昌生 新港埠頭赤煉瓦倉庫 神奈川 | 1569 1993年10月14日 元永定正 ペンローズ・インスティテュート 東京 |
| 1527 1993年 4 月21日 〔SCAI THE BATHHOUSE 建設風景 6〕 白石コンテンポラリー・アート 東京 | 1541 1993年 6 月 柳幸典 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1555 1993年 8 月25日 岡部昌生 新港埠頭赤煉瓦倉庫 神奈川 | 1570 1993年10月 勅使河原宏 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1528 1993年 4 月22日 ヤノベケンジ アーテック '93 名古屋市美術館 愛知 | 1542 1993年 6 月 草間彌生 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1556 1993年 8 月25日 岡部昌生 新港埠頭赤煉瓦倉庫 神奈川 | 1571 1993年11月22日 舟越直木 なびす画廊 東京 |
| 1529 1993年 4 月25日 デイヴィッド・マック デイヴィッド・マック マガジンインス タレーション—現実と現実のはざま 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 1543 1993年 6 月 太郎千恵蔵 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1557 1993年 8 月28日 岡部昌生 新港埠頭赤煉瓦倉庫 神奈川 | 1572 1993年11月25日 吉原悠博 埼玉 |
| | 1544 1993年 6 月 | 1558 1993年 8 月 イサム・ノグチ 大通公園 北海道 | 1573 1993年11月26日 植松奎二 第15回現代日本彫刻展一翺(はばたく) |

| | | | |
|--|--|---|---|
| 山口県宇部市野外彫刻美術館 山口 | 1587 1994年4月14日 鈴木実 茨城 | 1602 1994年6月8日 カスヤの森現代美術館 神奈川 | 神奈川 |
| 1574 1993年11月26日 西雅秋 第15回現代日本彫刻展一翫(はばたく) 山口県宇部市野外彫刻美術館 山口 | 1588 1994年4月25日 宮脇愛子 奈義町現代美術館 岡山 | 1603 1994年6月8日 カスヤの森現代美術館 神奈川 | 1617 1994年8月9日 マリナ・アブラモヴィッチ ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1575 1993年12月10日 川俣正 ニュー目黒名く画>座展 目黒区美術館 東京 | 1589 1994年4月25日 荒川修作 奈義町現代美術館 岡山 | 1604 1994年6月12日 勅使河原宏 東京 | 1618 1994年9月9日 森村泰昌 森村泰昌—レンブラントの部屋 原美術館 東京 |
| 1576 1993年12月26日 北山善夫 現代作家シリーズ'93—呼吸する現代美術 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 1590 1994年4月25日 岡崎和郎、宮田まゆみ 奈義町現代美術館 岡山 | 1605 1994年6月18日 村上隆 明日はどっちだ(Fall in Love)展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1619 1994年9月10日 アニッシュ・カプーア ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1577 1993年 椿昇 第45回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 1591 1994年5月12日 草間彌生 フジテレビギャラリー 東京 | 1606 1994年6月18日 村上隆 明日はどっちだ(Fall in Love)展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1620 1994年9月10日 アニッシュ・カプーア ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1578 1994年1月7日 申明銀 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1592 1994年5月12日 草間彌生 フジテレビギャラリー 東京 | 1607 1994年6月23日 曾根裕 東京 | 1621 1994年10月7日 勅使河原宏 香川 |
| 1579 1994年3月19日 中村政人 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1593 1994年5月12日 安斎重男 写真と彫刻の対話—安斎重男、眞板雅文展 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 1608 1994年7月7日 村上隆 明日はどっちだ(Fall in Love)展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1622 1994年10月7日 勅使河原宏 香川 |
| 1580 1994年3月23日 内藤礼 人生の可能態 ギャラリーシマダ 東京 | 1594 1994年5月13日 市川平 西村画廊 東京 | 1609 1994年7月30日 イチハラヒロコ 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1623 1994年10月14日 太郎千恵蔵 太郎千恵蔵—エツジ・オブ・カオス展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 |
| 1581 1994年3月23日 内藤礼 人生の可能態 ギャラリーシマダ 東京 | 1595 1994年5月25日 李禹煥 ハラミュージアムアーク 群馬 | 1610 1994年7月30日 ジェニー・ホルツァー ジェニー・ホルツァー—ことばの森で 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1624 1994年12月15日 ヴィト・アコンチ ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1582 1994年3月23日 内藤礼 人生の可能態 ギャラリーシマダ 東京 | 1596 1994年5月28日 西雅秋 ヒルサイドギャラリー 東京 | 1611 1994年7月30日 ジェニー・ホルツァー ジェニー・ホルツァー—ことばの森で 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1625 1994年12月26日 谷内庸生 ギャラリーたにしま 東京 |
| 1583 1994年3月 中村政人、申明銀 第3回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1597 1994年5月 市川平 西村画廊 東京 | 1612 1994年8月2日 福岡道雄 INAX ギャラリー 東京 | 1626 1994年 草間彌生 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 |
| 1584 1994年3月 菅木志雄 第3回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1598 1994年5月 草間彌生 フジテレビギャラリー 東京 | 1613 1994年8月2日 福岡道雄 INAX ギャラリー 東京 | 1627 1994年 田中信太郎 ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1585 1994年3月 大竹伸朗 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 | 1599 1994年6月5日 小沢剛 なすび画廊、新宿 東京 | 1614 1994年8月4日 斎藤史門 キリンビアービレッジ 神奈川 | 1628 1994年 ホセイン・ヴァラマネシュ ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1586 1994年4月4日 青木野枝 資生堂ギャラリー 東京 | 1600 1994年6月8日 カスヤの森現代美術館 神奈川 | 1615 1994年8月4日 斎藤史門 キリンビアービレッジ 神奈川 | 1629 1994年 サンデー・ジャック・アクバン ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| | 1601 1994年6月8日 若江漢字 カスヤの森現代美術館 神奈川 | 1616 1994年8月4日 斎藤史門 キリンビアービレッジ | 1630 1994年 宮脇愛子 フランス |
| | | | 1631 1994年 田中信太郎 東京 |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 1632 1994年 宮脇愛子 群馬県立近代美術館 群馬 | 1646 1995年3月18日 リチャード・ロング 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1659 1995年3月31日 オノデラユキ ガレリア・キマイラ 東京 | ドテラス) 東京 |
| 1633 1995年1月9日 前田一澄 秋山画廊 東京 | 1647 1995年3月18日 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1660 1995年3月31日 シュウゾウ・アヅチ・ガリバー La Dolce Vita—甘い生活 ミヅマアートギャラリー 東京 | 1673 1995年4月17日 田甫律子 ヒルサイドフォーラム(代官山ヒルサイ ドテラス) 東京 |
| 1634 1995年1月17日 舘嘯 南天子ギャラリー SOKO 東京 | 1648 1995年3月18日 〔アンディ・ウォーホル作品〕 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1661 1995年3月31日 La Dolce Vita—甘い生活 ミヅマアートギャラリー 東京 | 1674 1995年4月18日 松澤宥 戦後文化の軌跡 1945-1995 目黒区美術館 東京 |
| 1635 1995年1月26日 根本寿幸 Gallery 360° 東京 | 1649 1995年3月18日 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1662 1995年4月4日 藤浩志 第4回アジア美術展—時代を見つめる眼 多様な現実の諸相 世田谷美術館 東京 | 1675 1995年4月18日 松澤宥 戦後文化の軌跡 1945-1995 目黒区美術館 東京 |
| 1636 1995年2月3日 レントゲンクンストラウム 東京 | 1650 1995年3月18日 蔡國強 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1663 1995年4月4日 中村政人 第4回アジア美術展—時代を見つめる眼 多様な現実の諸相 世田谷美術館 東京 | 1676 1995年4月18日 村上三郎 戦後文化の軌跡 1945-1995 目黒区美術館 東京 |
| 1637 1995年3月10日 奈良美智、平川典俊 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1651 1995年3月18日 吉澤美香 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1664 1995年4月5日 川俣正 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1677 1995年4月21日 虎尾裕 ギャラリー一現 東京 |
| 1638 1995年3月15日 川村直子 コバヤシ画廊 東京 | 1652 1995年3月18日 辰野登恵子 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1665 1995年4月5日 川俣正 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1678 1995年4月27日 川俣正 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 |
| 1639 1995年3月16日 斎藤義重 第4回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1653 1995年3月18日 中村一美 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1666 1995年4月13日 伊藤誠 東京 | 1679 1995年4月 デイヴィッド・トレムレット SCAI THE BATHHOUSE 東京 |
| 1640 1995年3月17日 奈良美智 第4回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1654 1995年3月18日 中村一美 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1667 1995年4月13日 伊藤誠 東京 | 1680 1995年6月27日 アンソニー・カロ 東京藝術大学 東京 |
| 1641 1995年3月17日 ギャラリー五辻 第4回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1655 1995年3月18日 中村敬治、松井智恵、石原友明 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1668 1995年4月13日 伊藤誠 東京 | 1681 1995年6月27日 アンソニー・カロ 東京藝術大学 東京 |
| 1642 1995年3月17日 中川幸夫、塚本豊子 第4回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1656 1995年3月18日 菊畑茂久馬、工藤哲巳 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1669 1995年4月17日 田甫律子 ヒルサイドフォーラム(代官山ヒルサイ ドテラス) 東京 | 1682 1995年6月29日 アンソニー・カロ、安藤忠雄 アンソニー・カロ展 東京都現代美術館 東京 |
| 1643 1995年3月17日 ギャラリーたかぎ 第4回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1657 1995年3月18日 中村敬治、松井智恵、石原友明 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | 1670 1995年4月17日 谷内庸生、トム・ヘネガン ヒルサイドフォーラム(代官山ヒルサイ ドテラス) 東京 | 1683 1995年6月29日 アンソニー・カロ、安藤忠雄 アンソニー・カロ展 東京都現代美術館 東京 |
| 1644 1995年3月17日 三浦末雄、シュウゾウ・アヅチ・ガリバー 第4回国際コンテンポラリーアートフェア パシフィコ横浜 神奈川 | 1658 1995年3月20日 長澤英俊 新宿アイランド 東京 | 1671 1995年4月17日 宮島達男、竹山聖 ヒルサイドフォーラム(代官山ヒルサイ ドテラス) 東京 | 1684 1995年6月29日 アンソニー・カロ アンソニー・カロ展 東京都現代美術館 東京 |
| 1645 1995年3月18日 舟越桂 日本の現代美術 1985-1995 東京都現代美術館 東京 | | 1672 1995年4月17日 宮島達男、竹山聖 ヒルサイドフォーラム(代官山ヒルサイ | 1685 1995年6月29日 アンソニー・カロ アンソニー・カロ展 東京都現代美術館 東京 |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 1686 1995年6月 アンソニー・カロ アンソニー・カロ展 東京都現代美術館 東京 | 1699 1995年8月29日 龍崎哲郎、杉山優子 和敬塾本館旧細川公爵邸 東京 | 1714 1995年10月7日 森村泰昌 双ギャラリー 東京 | 京都 1729 1995年12月11日 逸藤利克 秋山画廊 東京 |
| 1687 1995年6月 アンソニー・カロ アンソニー・カロ展 東京都現代美術館 東京 | 1700 1995年8月29日 龍崎哲郎、杉山優子 和敬塾本館旧細川公爵邸 東京 | 1715 1995年10月29日 村上隆 村上隆—狂った乙展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1730 1995年12月12日 立木泉 ヒルサイドギャラリー 東京 |
| 1688 1995年6月 アンソニー・カロ アンソニー・カロ展 東京都現代美術館 東京 | 1701 1995年8月29日 龍崎哲郎、杉山優子 和敬塾本館旧細川公爵邸 東京 | 1716 1995年11月4日 ジェームズ・タレル ジェームズ・タレル—未知の光へ 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1731 1995年12月16日 立木泉 ヒルサイドギャラリー 東京 |
| 1689 1995年6月 アンソニー・カロ アンソニー・カロ展 東京都現代美術館 東京 | 1702 1995年8月29日 龍崎哲郎、杉山優子 和敬塾本館旧細川公爵邸 東京 | 1717 1995年11月7日 ジェームズ・タレル ジェームズ・タレル—未知の光へ 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1732 1994-95年 伊藤誠 ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1690 1995年7月14日 鳴海暢平 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1703 1995年8月29日 龍崎哲郎、杉山優子 和敬塾本館旧細川公爵邸 東京 | 1718 1995年11月8日 磯崎道佳 ギャラリーQ 東京 | 1733 1994-95年 IFP ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1691 1995年7月25日 陸根丙 こころの領域—1990年代の韓国美術 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1704 1995年8月29日 龍崎哲郎、杉山優子 和敬塾本館旧細川公爵邸 東京 | 1719 1995年11月14日 小泉俊己 作家スタジオ 不詳 | 1734 1994-95年 宮島達夫 ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1692 1995年7月26日 裴炳雨、洪性都、陸根丙、文洲、崔正化 こころの領域—1990年代の韓国美術 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1705 1995年9月1日 平町公、小泉俊己 なびす画廊 東京 | 1720 1995年11月16日 石井厚生 愛宕山画廊 東京 | 1735 1994-95年 ジャン＝ピエール・レイノー ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1693 1995年7月26日 裴炳雨 こころの領域—1990年代の韓国美術 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1706 1995年9月1日 倉重光則 ギャラリー現 東京 | 1721 1995年11月17日 池内務、サイモン・パターソン レントゲンクンストラウム 東京 | 1736 1994-95年 ジョナサン・ボロフスキー ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1694 1995年7月26日 洪性都 こころの領域—1990年代の韓国美術 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1707 1995年9月2日 宮島達夫 東京 | 1722 1995年11月22-23日 鈴木了二 広島 | 1737 1994-95年 スティヴン・アントナコス ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1695 1995年7月26日 陸根丙 こころの領域—1990年代の韓国美術 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1708 1995年9月7日 安齊重男 ギンザコマツ 東京 | 1723 1995年11月22-23日 鈴木了二 広島 | 1738 1995年 フェリチェ・ヴァリーニ ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1696 1995年7月26日 文洲 こころの領域—1990年代の韓国美術 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1709 1995年9月28日 大岩・オスカル・幸男 神奈川 | 1724 1995年11月29-30日 長澤英俊 京の町家 京都 | 1739 1995年 フェリチェ・ヴァリーニ ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1697 1995年7月26日 崔正化 こころの領域—1990年代の韓国美術 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1710 1995年9月29日 岡田裕子 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1725 1995年11月29-30日 長澤英俊 京の町家 京都 | 1740 1995年 アニッシュ・カプーア ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| 1698 1995年7月26日 崔正化 こころの領域—1990年代の韓国美術 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1711 1995年9月29日 鳥光桃代 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1726 1995年11月29-30日 長澤英俊 京の町家 京都 | 1741 1995年 ヴィト・アコンチ ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| | 1712 1995年9月 中辻悦子 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1727 1995年11月29-30日 長澤英俊 京の町家 京都 | 1742 1995年 タン・ダ・ウ ファーレ立川アートプロジェクト 東京 |
| | 1713 1995年9月 出光真子 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 1728 1995年12月9日 上里義輝、小西明子、長澤英俊 京の町屋 | 1743 1995年 川俣正 |

| | | | |
|---|--|---|---|
| ファーレ立川アートプロジェクト 東京 | 藤原隆洋 ギャラリーQ 東京 | 1773 1996年4月2日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 木村太陽 ギャラリー山口 東京 |
| 1744 1996年1月10日 伊藤福紫 ベイスギャラリー 東京 | 1759 1996年2月29日 遠山華子 ギャラリー現 東京 | 1774 1996年4月2日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 1787 1996年6月1日 曾根裕 Building romance 三鷹市芸術文化センター 東京 |
| 1745 1996年1月12日 平林薫 ギャラリー手 東京 | 1760 1996年2月29日 勝又豊子 勝又豊子一閉じ込められた現在 ときわ画廊 東京 | 1775 1996年4月2日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 1788 1996年6月6日 池内務 レントゲンクストラウム 東京 |
| 1746 1996年1月12日 北辻良央、建畠哲 ギャラリー上田 東京 | 1761 1996年2月 リチャード・ロング リチャード・ロング 山行水行 世田谷美術館 東京 | 1776 1996年4月3日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 1789 1996年6月7日 ニコラ・デ・マリア ヨコハマポートサイドギャラリー 神奈川 |
| 1747 1996年1月18日 松谷武判 かねこ・あーとギャラリー 東京 | 1762 1996年3月2日 篠田太郎 東京 | 1777 1996年4月4日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 1790 1996年6月7日 ニコラ・デ・マリア ヨコハマポートサイドギャラリー 神奈川 |
| 1748 1996年1月22日 チバ・アート・ナウ '95—鉄四つの対話 佐倉市立美術館 千葉 | 1763 1996年3月4日 ダニエル・ビュラン 東京 | 1778 1996年4月4日 ヤニス・クネリスとスタッフ 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 1791 1996年6月11日 市川平 西村画廊 東京 |
| 1749 1996年1月22日 小泉俊己 チバ・アート・ナウ '95—鉄四つの対話 佐倉市立美術館 千葉 | 1764 1996年3月5日 袴田京太郎 ヒルサイドギャラリー 東京 | 1779 1996年4月4日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 1792 1996年6月12日 PH STUDIO 東京 |
| 1750 1996年1月25日 白川昌生 モリスギャラリー 東京 | 1765 1996年3月7日 太郎千恵蔵 ギンザコマツ 東京 | 1780 1996年4月4日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 1793 1996年6月17日 望月良枝、黒田悠子 ギャラリー21十葉 東京 |
| 1751 1996年1月25日 多和圭三 ヒノギャラリー 東京 | 1766 1996年3月9日 O JUN と家族 O JUN 展—図 a Plan 双ギャラリー 東京 | 1781 1996年4月4日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | 1794 1996年6月17日 青木野枝 ギャラリー21十葉 東京 |
| 1752 1996年1月29日 奈良美智 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1767 1996年3月21日 〔集合写真〕 多摩美術大学 東京 | 1782 1996年4月10日 ハンス・ベンダ、O JUN ギャルリー伝十Floor 2 東京 | 1795 1996年6月 堂本右美 ギャラリームカイ 東京 |
| 1753 1996年2月5日 O JUN 双ギャラリー 東京 | 1768 1996年3月25日 谷川晃一 池田美術 東京 | 1783 1996年4月22日 池田龍雄 ギャルリー東京ユマニテ 東京 | 1796 1996年7月8日 木村太陽 ギャラリー山口 東京 |
| 1754 1996年2月15日 宮崎進 作家スタジオ 神奈川 | 1769 1996年3月25日 本間純 ギャラリー現 東京 | 1784 1996年4月 ヤニス・クネリス 直島コンテンポラリーアートミュージアム 香川 | 1797 1996年7月13日 昭和40年会 シナプス画廊 東京 |
| 1755 1996年2月23日 岩尾恵都子 ギャラリー21 東京 | 1770 1996年3月 ダニエル・ビュラン 台場 東京 | 1785 1996年5月18日 吉田克朗 双ギャラリー 東京 | 1798 1996年7月13日 昭和40年会 シナプス画廊 東京 |
| 1756 1996年2月23日 岡田裕子 ミヅアートギャラリー 東京 | 1771 1996年3月 藤浩志 ギャラリーなつか 東京 | 1786 1996年5月23日 | 1799 1996年7月13日 松蔭浩之 シナプス画廊 東京 |
| 1757 1996年2月24日 鳥光桃代 東京 | 1772 1996年4月1日 ヤニス・クネリス 〔アートプロジェクトーベネッセハウス〕 ベネッセアートサイト直島 香川 | | 1800 1996年7月13日 鳥光桃代 ギャラリー美遊 東京 |
| 1758 1996年2月24日 | | | |

| | | | |
|--|--|--|---|
| 1801 1996年7月26日 太郎千恵蔵 ヒニクなファンタジー—現代5人の想像 世界 宮城県美術館 宮城 | 1815 1996年9月16日 桜井孝身、秋山祐徳太子、田中信太郎 画廊春秋 東京 | 茨城 1830 1996年10月 立木泉 立木泉“イズミス・レンタル・スカルプ チャーズ” 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1843 1996-1997年 小谷元彦 東京藝術大学 東京 |
| 1802 1996年8月 須田悦弘 作家スタジオ 東京 | 1816 1996年9月23日 イチハラヒロコ ABC ギャラリー 大阪 | 1831 1996年11月5日 木村太陽 ギャラリー山口 東京 | 1844 1997年1月20日 高木修 ヒノギャラリー 東京 |
| 1803 1996年8月 小沢剛 東京 | 1817 1996年9月26日 植松奎二 ヒルサイドギャラリー 東京 | 1832 1996年11月7日 中村政人 中村政人—トラウマトラウマ展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1845 1997年1月20日 李禹煥、長澤英俊 鎌倉画廊 東京 |
| 1804 1996年8月 白井美穂 代官山同潤会アパート 東京 | 1818 1996年9月 中山ダイスケ ギャラリーQ 東京 | 1833 1996年11月8日 西雅秋 現代作家シリーズ'96—西雅秋展 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 1846 1997年1月20日 李禹煥、長澤英俊 鎌倉画廊 東京 |
| 1805 1996年8月 白井美穂 代官山同潤会アパート 東京 | 1819 1996年10月12日 立木泉 立木泉“イズミス・レンタル・スカルプ チャーズ” 茨城 | 1834 1996年11月9日 多田正美、森村泰昌 双ギャラリー 東京 | 1847 1997年1月21日 吉水浩 作家スタジオ |
| 1806 1996年8月 ダニエル・ビュラン ダニエル・ビュレンヌ—透きとおった光 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1820 1996年10月12日 村上隆 小山登美夫ギャラリー 東京 | 1835 1996年11月15日 笠原出 高井戸アート倉庫 東京 | 1848 1997年1月 奈良美智 ゆめおおおかアートプロジェクト 「ゆめおおおか」ビル 神奈川 |
| 1807 1996年8月 ダニエル・ビュラン ダニエル・ビュレンヌ—透きとおった光 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1821 1996年10月12日 立木泉 茨城 | 1836 1996年11月18日 舟越桂 西村画廊 東京 | 1849 1997年1月 PH STUDIO ゆめおおおかアートプロジェクト 「ゆめおおおか」ビル 神奈川 |
| 1808 1996年8月 ダニエル・ビュラン ダニエル・ビュレンヌ—透きとおった光 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1822 1996年10月30日 森村泰昌 福岡 | 1837 1996年11月23日 ジェームズ・リー・バイヤース 遠山記念館 埼玉 | 1850 1997年2月3日 木村太陽 ギャラリー山口 東京 |
| 1809 1996年8月 ダニエル・ビュラン ダニエル・ビュレンヌ—透きとおった光 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1823 1996年10月30日 藤浩志 福岡 | 1838 1996年11月 須田悦弘 チバ・アート・ナウ '96—人工楽園 佐倉市立美術館 千葉 | 1851 1997年2月5日 磯崎道佳 スーパーボディ展 小山登美夫ギャラリー 東京 |
| 1810 1996年9月6日 中山ダイスケ ギャラリーQ 東京 | 1824 1996年10月30日 市川平 イムズ福岡 福岡 | 1839 1996年11月 中村政人 中村政人—トラウマトラウマ展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1852 1997年2月7日 マシュー・バーニー デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 |
| 1811 1996年9月6日 中山ダイスケ ギャラリーQ 東京 | 1825 1996年10月 小沢剛 ミルク道 高松市美術館 香川 | 1840 1996年12月7日 舟越桂 双ギャラリー 東京 | 1853 1997年2月7日 ジャンヌ・アントーニ デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 |
| 1812 1996年9月9日 林洋子、吉澤美香 ギャラリー小柳 東京 | 1826 1996年10月 会田誠 高松市美術館 香川 | 1841 1996年 立木泉 立木泉“イズミス・レンタル・スカルプ チャーズ” 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1854 1997年2月23日 マリーナ・アブラモヴィッチ デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 |
| 1813 1996年9月9日 平町公 なびす画廊 東京 | 1827 1996年10月 小沢剛 高松市美術館 香川 | 1842 1996年 立木泉 立木泉“イズミス・レンタル・スカルプ チャーズ” 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1855 1997年2月24日 ロバート・ゴーパー デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 |
| 1814 1996年9月15日 スタン・アンダーソン 埼玉 | 1828 1996年10月 小沢剛 高松市美術館 香川 | 1843 1996年 立木泉 立木泉“イズミス・レンタル・スカルプ チャーズ” 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1856 1997年2月24日 西山美なこ デ・ジェンダリズム—回帰する身体 |
| | 1829 1996年10月 立木泉 立木泉“イズミス・レンタル・スカルプ チャーズ” 水戸芸術館現代美術ギャラリー | | |

| | | | |
|---|--|---|--|
| 世田谷美術館 東京 | 1870 1997年3月27日 藤原隆洋 第5回国際コンテンポラリーアートフェア 東京ビッグサイト 東京 | 東京 | 1900 1997年7月 イサム・ノグチ、三宅一生 イサム・ノグチと三宅一生 アリゾナ展 丸亀市猪熊弦一郎美術館 香川 |
| 1857 1997年2月24日 レベッカ・ホルン デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 | 1871 1997年3月 大森裕美子 ギャラリー現 東京 | 1885 1997年6月 川俣正 ミュンスター彫刻プロジェクト ドイツ | 1901 1997年7月 イサム・ノグチ、三宅一生 イサム・ノグチと三宅一生 アリゾナ展 丸亀市猪熊弦一郎美術館 香川 |
| 1858 1997年2月24日 馬六明 デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 | 1872 1997年3月 シュウゾウ・アヅチ・ガリバー ミヅマアートギャラリー 東京 | 1886 1997年6月 川俣正 ミュンスター彫刻プロジェクト ドイツ | 1902 1997年7月 イサム・ノグチ、三宅一生 イサム・ノグチと三宅一生 アリゾナ展 丸亀市猪熊弦一郎美術館 香川 |
| 1859 1997年2月24日 ヴィト・アコンチ デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 | 1873 1997年4月3日 サイモン・バターソン、池内務 レントゲンクンストラウム 東京 | 1887 1997年6月 川俣正 ミュンスター彫刻プロジェクト ドイツ | 1903 1997年8月1日 ジュゼッペ・ペノーネ ジュゼッペ・ペノーネ—石の血管 豊田市美術館 愛知 |
| 1860 1997年2月24日 マリーナ・アブラモヴィッチ デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 | 1874 1997年4月21日 宮本隆司、彦坂尚嘉、石内都、堀浩哉 ギャラリー山口 東京 | 1888 1997年7月1日 遠山華子 | 1904 1997年8月 ジュゼッペ・ペノーネ ジュゼッペ・ペノーネ—石の血管 豊田市美術館 愛知 |
| 1861 1997年2月 マシュー・バーニー デ・ジェンダリズム—回帰する身体 世田谷美術館 東京 | 1875 1997年4月25日 安齊重男、レオ・ファン＝ダー＝グレイ 川俣正—コールマイン田川 田川市美術館 福岡 | 1889 1997年7月8日 会田誠 ミヅマアートギャラリー 東京 | 1905 1997年9月20日 安齊重男 スタジオ食堂 東京 |
| 1862 1997年2月 中村哲也 AKI-EX Gallery 東京 | 1876 1997年4月 前田雅巳 九美洞ギャラリー 東京 | 1890 1997年7月24日 ギルバート&ジョージ 根津美術館 東京 | 1906 1997年9月20日 スタジオ食堂のメンバー スタジオ食堂 東京 |
| 1863 1997年2月 中村哲也 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1877 1997年5月2日 平町公 なびす画廊 東京 | 1891 1997年7月24日 ギルバート&ジョージ 根津美術館 東京 | 1907 1997年9月24日 磯崎道佳 NWハウス 東京 |
| 1864 1997年3月1日 レントゲンクンストラウム 東京 | 1878 1997年5月10日 パット・スティア ギャラリー・ドウ 東京 | 1893 1997年7月24日 ギルバート&ジョージ 根津美術館 東京 | 1908 1997年9月24日 磯崎道佳 NWハウス 東京 |
| 1865 1997年3月27日 会田誠 第5回国際コンテンポラリーアートフェア 東京ビッグサイト 東京 | 1879 1997年5月18日 佐藤勲、篠田太郎 スタジオ食堂 東京 | 1894 1997年7月24日 ギルバート&ジョージ 根津美術館 東京 | 1909 1997年10月2日 赤瀬川原平 赤瀬川源平—今日は猫の日展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 |
| 1866 1997年3月27日 草間彌生、ギャラリー五辻スタッフ 第5回国際コンテンポラリーアートフェア 東京ビッグサイト 東京 | 1880 1997年5月18日 スタジオ食堂 東京 | 1895 1997年7月24日 ギルバート&ジョージ 根津美術館 東京 | 1910 1997年10月4日 リチャード・ディーン 東京都現代美術館 東京 |
| 1867 1997年3月27日 ジュゼッペ・ペノーネ 第5回国際コンテンポラリーアートフェア 東京ビッグサイト 東京 | 1881 1997年6月3日 須田悦弘 ギャラリー小柳 東京 | 1896 1997年7月24日 ギルバート&ジョージ 根津美術館 東京 | 1911 1997年10月7日 ホセイン・バラマネッシュ アートフロントギャラリー 東京 |
| 1868 1997年3月27日 O JUN 第5回国際コンテンポラリーアートフェア 東京ビッグサイト 東京 | 1882 1997年6月3日 須田悦弘 ギャラリー小柳 東京 | 1897 1997年7月24日 ギルバート&ジョージ 根津美術館 東京 | 1912 1997年10月7日 ホセイン・バラマネッシュ アートフロントギャラリー 東京 |
| 1869 1997年3月27日 サイモン・バターソン、レントゲンクン ストラウム・スタッフ NICAF '97 東京 | 1883 1997年6月4日 笠原出 ミヅマアートギャラリー 東京 | 1898 1997年7月25日 多田正美 東京都現代美術館 東京 | 1913 1997年10月8日 赤瀬川原平 赤瀬川源平—今日は猫の日展 SCAI THE BATHHOUSE |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 東京 | 1928 1997年12月15日 遠藤利克 秋山画廊 東京 | 1942 1998年 3月22日 菅木志雄 菅木志雄展 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 現代美術棟開館記念—ヨーロッパからの8人 群馬県立近代美術館 群馬 |
| 1914 1997年10月 8 日 赤瀬川原平 赤瀬川源平—今日は猫の日展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1929 1997年12月15日 峯村敏明 ときわ画廊 東京 | 1943 1998年 3月26日 大岩・オスカル・幸男 現代美術製作所 東京 | 1957 1998年 4月 ブルース・ナウマン 現代美術棟開館記念—ヨーロッパからの8人 群馬県立近代美術館 群馬 |
| 1915 1997年10月 8 日 赤瀬川原平 赤瀬川源平—今日は猫の日展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1930 1997年12月 ピオトル・コヴァルスキー ヒルサイドギャラリー 東京 | 1944 1998年 3月27日 市川武史 多摩美術大学 東京 | 1958 1998年 5月 6日 O JUN、祐成政徳 ギャラリー現 東京 |
| 1916 1997年10月 8 日 赤瀬川原平 赤瀬川源平—今日は猫の日展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 1931 1997年 篠田太郎 caveman 展 レントゲンクンストラウム 東京 | 1945 1998年 3月27日 翁拓史、市川武史 多摩美術大学 東京 | 1959 1998年 5月 8日 O JUN ミヅマアートギャラリー 東京 |
| 1917 1997年10月13日 安齊重男 ベイスギャラリー 大分 | 1932 1997年 曾根裕 ドイツ | 1946 1998年 3月 ジョセフ・コースス 宮城県図書館 宮城 | 1960 1998年 5月29日 遠藤利克 遠藤利克—円環展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 |
| 1918 1997年10月13日 安齊重男 ベイスギャラリー 大分 | 1933 1997年 中ハシクシゲ 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 1947 1998年 3月 川俣正 宮城県図書館 宮城 | 1961 1998年 6月 8日 大橋歩 ギャラリー—21+葉 東京 |
| 1919 1997年10月19日 メレディス・モンク、大野一雄 彩の国さいたま芸術劇場 埼玉 | 1934 1997年 篠田太郎 caveman 展 レントゲンクンストラウム 東京 | 1948 1998年 3月 ジャン・フランソワ・ブラン 宮城県図書館 宮城 | 1962 1998年 6月 9日 古郡弘、西雅秋 佐賀町エキジビット・スペース 東京 |
| 1920 1997年10月25日 B セミ ヒルサイドギャラリー 東京 | 1935 1997年 篠田太郎 caveman 展 レントゲンクンストラウム 東京 | 1949 1998年 4月 6日 三島喜美代 アートフロントギャラリー 東京 | 1963 1998年 6月10日 古郡弘 佐賀町エキジビット・スペース 東京 |
| 1921 1997年10月25日 斎藤義重 ヒルサイドギャラリー 東京 | 1936 1997年 篠田太郎 caveman 展 レントゲンクンストラウム 東京 | 1950 1998年 4月 6日 シュウゾウ・アツチ・ガリバー ミヅマアートギャラリー 東京 | 1964 1998年 6月10日 西雅秋 佐賀町エキジビット・スペース 東京 |
| 1922 1997年10月25日 小林昭夫 ヒルサイドギャラリー 東京 | 1937 1997年 篠田太郎 caveman 展 レントゲンクンストラウム 東京 | 1951 1998年 4月21日 堀浩哉 ギャラリー—山口 東京 | 1965 1998年 6月15日 米原昌郎 米原昌郎—Imitation Void ギャラリー—なつか 東京 |
| 1923 1997年10月 ジョナサン・ポロフスキー 法然院 京都 | 1938 1998年 1月27日 岩井俊雄 ギャラリー・ドウ 東京 | 1952 1998年 4月21日 彦坂尚嘉 ギャラリー—山口 東京 | 1966 1998年 6月15日 米原昌郎 米原昌郎—Imitation Void ギャラリー—なつか 東京 |
| 1924 1997年11月 ルイズ・ブルジョワ 横浜美術館 神奈川 | 1939 1998年 1月 川原温 河原温 全体と部分 1964-1995 東京都現代美術館 東京 | 1953 1998年 4月21日 彦坂尚嘉 ギャラリー—山口 東京 | 1967 1998年 6月16日 青木野枝 VIEWING ROOM/ユミコ チバ アソシエーツ 東京 |
| 1925 1997年11月 荻野優政 東京 | 1940 1998年 3月18日 栗原一成 多摩美術大学 東京 | 1954 1998年 4月21日 吉村益信 ベイスギャラリー 東京 | 1968 1998年 6月16日 原高史 ギャラリー—山口 東京 |
| 1926 1997年12月10日 岡部昌生 小原流会館 東京 | 1941 1998年 3月22日 菅木志雄 菅木志雄展 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 1955 1998年 4月 ベーター・フィッシュリ&ダビッド・ ヴァイス、カタリーナ・フリッチュ 現代美術棟開館記念—ヨーロッパからの8人 群馬県立近代美術館 群馬 | 1969 1998年 6月16日 市川武史 ギャラリーイ K 東京 |
| 1927 1997年12月10日 岡部昌生 小原流会館 東京 | | 1956 1998年 4月 | 1970 1998年 6月25日 ドミニク・エザール |

| | | | |
|--|---|--|--|
| ギャラリー上田 東京 | 栃木 | 1996 1998年9月18日 鈴木隆 佐賀町エキジビット・スペース 東京 | 2010 1998年10月 レイチェル・ホワイトリード リアル/ライフ イギリスの新しい美術 東京都現代美術館 東京 |
| 1971 1998年6月26日 立木泉 ヒルサイドギャラリー 東京 | 1984 1998年7月22日 松井紫朗 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 1997 1998年9月19日 左眼子と慈眼子展 カサヤの森現代美術館 神奈川 | 2011 1998年10月 アーニャ・ガラッチオ リアル/ライフ イギリスの新しい美術 東京都現代美術館 東京 |
| 1972 1998年6月 石原友明 美術館へのパッサージュ—石原友明展 栃木県美術館 栃木 | 1985 1998年7月22日 太田三郎 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 1998 1998年9月21日 小泉俊己 ギャラリーなつか 東京 | 2012 1998年11月13日 ロバート・アシュレイ、吉原悠博 神奈川県立音楽堂 神奈川 |
| 1973 1998年7月1日 滑川公一 ギャラリー新居 東京 | 1986 1998年7月22日 小泉俊己 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 1999 1998年9月23日 真島竜男 ナガミネプロジェクト 東京 | 2013 1998年11月16日 堀浩哉 堀浩哉—Voice 展 東京画廊 東京 |
| 1974 1998年7月3日 木村太陽 ギャラリー山口 東京 | 1987 1998年7月22日 遠藤利克 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 2000 1998年9月28日 宮脇愛子 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 2014 1998年11月16日 ロバート・アシュレイ、吉原悠博 神奈川県立音楽堂 神奈川 |
| 1975 1998年7月8日 前田雅巳 Key ギャラリー 東京 | 1988 1998年7月22日 袴田京太郎 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 2001 1998年10月2日 大岩・オスカル・幸男 上野の森美術館 東京 | 2015 1998年11月 O JUN 双ギャラリー 東京 |
| 1976 1998年7月10日 秋山祐徳太子 真木画廊 東京 | 1989 1998年7月22日 土谷武 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 2002 1998年10月11日 原高史 佐倉市立美術館 千葉 | 2016 1998年12月3日 磯崎道佳 ギャラリー日鉾 東京 |
| 1977 1998年7月11日 須田悦弘 スタジオ食堂 東京 | 1990 1998年7月26日 小本章 〔ワークショップ〕 岐阜県美術館 岐阜 | 2003 1998年10月12日 リチャード・ディーコン リチャード・ディーコン展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2017 1998年12月 川俣正 東京プロジェクト—New Housing Plan ギャラリー・ドゥ 東京 |
| 1978 1998年7月11日 スタジオ食堂 東京 | 1991 1998年7月 遠山華子 かわさき IBM 市民文化ギャラリー 神奈川 | 2004 1998年10月24日 宮脇愛子 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 2018 1998年12月 川俣正 東京プロジェクト—New Housing Plan 東京 |
| 1979 1998年7月22日 高橋靖史 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 1992 1998年8月8日 石原友明 美術館へのパッサージュ—石原友明展 栃木県立美術館 栃木 | 2005 1998年10月26日 会田誠 ミヅマアートギャラリー 東京 | 2019 1998年12月 米原昌郎 小原流会館 東京 |
| 1980 1998年7月22日 伊藤公象 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 1993 1998年8月9日 石原友明 美術館へのパッサージュ—石原友明展 栃木県立美術館 栃木 | 2006 1998年10月 アーニャ・ガラッチオ リアル/ライフ イギリスの新しい美術 東京都現代美術館 東京 | 2020 1998年12月 川俣正 東京プロジェクト—New Housing Plan 東京 |
| 1981 1998年7月22日 菅木志雄 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 1994 1998年9月14日 小泉俊己 ギャラリーなつか 東京 | 2007 1998年10月 レイチェル・ホワイトリード リアル/ライフ イギリスの新しい美術 東京都現代美術館 東京 | 2021 1999年1月 川俣正 ギャラリー・ドゥ 東京 |
| 1982 1998年7月22日 戸谷成雄 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 栃木 | 1995 1998年9月18日 村上隆 小山登美夫ギャラリー 東京 | 2008 1998年10月 アーニャ・ガラッチオ リアル/ライフ イギリスの新しい美術 東京都現代美術館 東京 | 2022 1999年1月 曾根裕 曾根裕—アルベン・アタック展 草月美術館 東京 |
| 1983 1998年7月22日 山口啓介 アート/生態系—美術表現の「自然」と 「制作」 宇都宮美術館 | | 2009 1998年10月 リチャード・ディーコン リチャード・ディーコン展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2023 1999年2月13日 篠原有司男、秋山祐徳太子 アクション 行為がアートになるとき 1949-1979 東京都現代美術館 |

| | | | |
|---|---|--|---|
| 東京 | 2037 1999年4月1日 ジェームズ・タレル、安藤忠雄 南寺 香川 | 藤田昭子 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2064 1999年7月 伊藤公象 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 |
| 2024 1999年2月13日 篠原有司男 アクション 行為がアートになるとき 1949-1979 東京都現代美術館 東京 | 2038 1999年4月2日 前田雅巳 ギャラリー山口 東京 | 2052 1999年7月17日 遠藤利克 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2065 1999年7月 北山善夫 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 |
| 2025 1999年2月13日 篠原有司男 アクション 行為がアートになるとき 1949-1979 東京都現代美術館 東京 | 2039 1999年4月3日 鷺見和紀郎 島田画廊 東京 | 2053 1999年7月22日 遠藤利克 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2066 1999年7月 國安孝昌 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 |
| 2026 1999年2月27日 宮崎豊治 作家スタジオ 滋賀 | 2040 1999年4月17日 アニッシュ・カプーア アニッシュ・カプーア展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2054 1999年7月22日 遠藤利克とスタッフ 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2067 1999年7月 遠藤利克 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 |
| 2027 1999年2月27日 宮崎豊治 作家スタジオ 滋賀 | 2041 1999年4月 アニッシュ・カプーア アニッシュ・カプーア展 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2055 1999年7月29日 伊藤公象 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2068 1999年7月 眞板雅文 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 |
| 2028 1999年3月27日 松蔭浩之 昭和40年会 欧州巡回展―「東京からの声」 凱旋帰国展 現代美術製作所 東京 | 2042 1999年4月 宮島達男 ベネッセアートサイト直島 香川 | 2056 1999年7月 藤浩志 〔ビニールプラスチックコレクション〕 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2069 1999年7月 遠藤利克 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 |
| 2029 1999年3月27日 松蔭浩之 昭和40年会 欧州巡回展―「東京からの声」 凱旋帰国展 現代美術製作所 東京 | 2043 1999年4月 マリーナ・アブラモヴィッチ 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2057 1999年7月 藤浩志 〔ビニールプラスチックコレクション〕 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2070 1999年8月2日 佐々木誠 ギャラリー現 東京 |
| 2030 1999年3月27日 昭和40年会 昭和40年会 欧州巡回展―「東京からの声」 凱旋帰国展 現代美術製作所 東京 | 2044 1999年5月6日 会田誠 ミヅマアートギャラリー 東京 | 2058 1999年7月 藤浩志 〔ビニールプラスチックコレクション〕 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2071 1999年10月8日 小沢剛 Hack the Future! 美術の闖入者たち ―秋山祐徳太子、小沢剛 上野の森美術館 東京 |
| 2031 1999年3月 PH STUDIO ベネッセアートサイト直島 香川 | 2045 1999年6月21日 本間純 ギャラリー現 東京 | 2059 1999年7月 アントニー・ゴームリー 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2072 1999年10月8日 秋山祐徳太子 Hack the Future! 美術の闖入者たち ―秋山祐徳太子、小沢剛 上野の森美術館 東京 |
| 2032 1999年3月 柳幸典 ベネッセアートサイト直島 香川 | 2046 1999年6月26日 戸谷成雄 作家スタジオ 埼玉 | 2060 1999年7月 戸谷成雄 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2073 1999年10月12日 石井厚生 ギャラリーせいほう 東京 |
| 2033 1999年3月 片瀬和夫 ベネッセアートサイト直島 香川 | 2047 1999年6月29日 中村哲也 ギャラリー小柳 東京 | 2061 1999年7月 藤田昭子 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2074 1999年10月12日 石井厚生 ギャラリーせいほう 東京 |
| 2034 1999年3月 PH STUDIO ベネッセアートサイト直島 香川 | 2048 1999年6月 宮島達男 第48回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 2062 1999年7月 土屋公雄 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2075 1999年10月21日 須田悦弘 ハラドキュメンツ6 須田悦弘―泰山木 原美術館 東京 |
| 2035 1999年3月 ベネッセアートサイト直島 香川 | 2049 1999年7月12日 斎藤ちさと 斎藤ちさと―Rice Dot ドローイング展 INAX ギャラリー 東京 | 2063 1999年7月 林武史 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | 2076 1999年10月21日 須田悦弘 ハラドキュメンツ6 須田悦弘―泰山木 原美術館 東京 |
| 2036 1999年3月 安藤忠雄 ベネッセアートサイト直島 香川 | 2050 1999年7月14日 川俣正 〔妻有ワークショップ〕 新潟 | 2064 1999年7月 森に生きるかたち 箱根彫刻の森美術館 神奈川 | |
| | 2051 1999年7月17日 | | |

| | | | |
|--|--|---|---|
| 2077 1999年10月21日 須田悦弘 ハラドキュメンツ6 須田悦弘—泰山木 原美術館 東京 | 東京都現代美術館 東京 | 三宅一生展—Making Things 東京都現代美術館 東京 | 代官山アドレス 東京 |
| 2078 1999年11月1日 吉田克朗 SOKO 東京画廊 東京 | 2091 2000年1月28日 堀浩哉 東京都現代美術館 東京 | 2106 2000年5月30日 三宅一生 三宅一生展—Making Things 東京都現代美術館 東京 | 2119 2000年8月 ジャウマ・ブレンサ 代官山アドレス 東京 |
| 2079 1999年11月4日 遠藤利克 遠藤利克—Trieb 振動Ⅱ・Ⅲ SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2092 2000年2月21日 山下里香、大野裕子、加藤義夫 ギャラリーほそかわ 大阪 | 2107 2000年5月30日 三宅一生 三宅一生展—Making Things 東京都現代美術館 東京 | 2120 2000年10月31日 安齋重男展スタッフ 安齋重男の眼 1970—1999—写真がとらえた現代美術の30年 国立国際美術館 大阪 |
| 2080 1999年11月6日 遠藤利克 遠藤利克—Trieb 振動Ⅱ・Ⅲ SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2093 2000年2月21日 宮崎豊治 ギャラリーほそかわ 大阪 | 2108 2000年5月30日 三宅一生 三宅一生展—Making Things 東京都現代美術館 東京 | 2121 2000年11月8日 小林孝亘 西村画廊 東京 |
| 2081 1999年12月4日 榎忠 ギャラリーほそかわ 大阪 | 2094 2000年2月21日 植松幸二 信濃橋画廊 大阪 | 2109 2000年6月17日 ジェームズ・タレル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2000 新潟 | 2122 2000年11月8日 大橋歩 なびす画廊 東京 |
| 2082 1999年12月13日 青木野枝 ユミコ チバ アソシエイツ 東京 | 2095 2000年2月22日 渡辺信子 池田市 大阪 | 2110 2000年6月18日 ジェームズ・タレル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2000 新潟 | 2123 2000年11月9日 朝倉響子 朝倉響子展—愛の園生朝倉文夫記念公園 開園10周年記念 朝倉文夫記念文化ホール 大分 |
| 2083 1999年12月24日 会田誠 ミヅアートギャラリー 東京 | 2096 2000年2月23日 安齋重男展 大阪ドイツ文化センター 大阪 | 2111 2000年6月18日 ジェームズ・タレル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2000 新潟 | 2124 2000年11月22日 西雅秋 島田画廊 東京 |
| 2084 1999年12月 松井繁朗 ギャラリークラヌキ 大阪 | 2097 2000年2月 ジョナサン・ポロフスキー Q-Front 東京 | 2112 2000年7月4日 松谷武判 かねこあーと・ギャラリー 東京 | 2125 2000年11月22日 西雅秋 島田画廊 東京 |
| 2085 1999年12月 和光清 Wako Works of Art 東京 | 2098 2000年3月21日 栗原一成 栗原一成—ツカム雨 ギャラリー手 東京 | 2113 2000年7月12日 安齋重男 安齋重男の眼 1970—1999—写真がとらえた現代美術の30年 国立国際美術館 大阪 | 2126 2000年12月2日 岡崎乾二郎 南天子画廊 東京 |
| 2086 1999年 中ハシクシゲ 第3回アジア・パシフィック現代美術 トリエンナーレ Queensland Art Gallery オーストラリア | 2099 2000年3月 The Treasures of James Lee Byars 遠山記念館 埼玉 | 2114 2000年7月17日 マリーナ・アヴラモビッチ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2000 新潟 | 2127 2000年12月4日 青木野枝 ギャラリー21十葉 東京 |
| 2087 1999年 中村政人 第3回アジア・パシフィック現代美術 トリエンナーレ Queensland Art Gallery オーストラリア | 2100 2000年3月 The Treasures of James Lee Byars 遠山記念館 埼玉 | 2115 2000年7月17日 マリーナ・アヴラモビッチ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2000 新潟 | 2128 2000年12月7日 翁謙 ちめんかのや 東京 |
| 2088 2000年1月17日 ユニット00(堀浩哉、堀えりぜ、畠中実) ギャラリー手 東京 | 2101 2000年4月5日 鈴木実 作家スタジオ | 2116 2000年8月 ピオトル・コヴァルスキー 代官山アドレス 東京 | 2129 2000年12月28日 長島有里枝 長島有里枝—Pastime Paradise SCAI THE BATHHOUSE 東京 |
| 2089 2000年1月17日 ユニット00(堀浩哉、堀えりぜ、畠中実) ギャラリー手 東京 | 2102 2000年4月15日 鈴木実 作家スタジオ | 2117 2000年8月 ジョゼ・ド・ギマラエシュ 代官山アドレス 東京 | 2130 2000年 ジェームズ・タレル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2000 新潟 |
| 2090 2000年1月28日 中村政人 低温火傷—MOT アニュアル 2000 | 2103 2000年4月15日 米原昌郎 ギャラリー NW ハウス 東京 | 2118 2000年8月 逢坂卓郎 | 2131 2000年 大岩・オスカル・幸男 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2000 新潟 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2132 2000年 イー・ブル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 新潟 2145 2000年 白井美穂 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 2158 2000年 村岡三郎 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2170 2000年 間島嶺一 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 |
| 2133 2000年 イリヤ&エミリヤ・カバコフ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2146 2000年 陸根丙 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2159 2000年 江上計太 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2171 2000年 植松幸二 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 |
| 2134 2000年 西雅秋 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2147 2000年 巖森勲 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2160 2000年 立木泉 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2172 2000年 北山善夫 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 |
| 2135 2000年 田中信太郎 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2148 2000年 タデウス・ミスロウスキー 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2161 2000年 岡部昌生 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2173 2000年 イリヤ&エミリヤ・カバコフ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 |
| 2136 2000年 逢坂卓郎 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2149 2000年 ジミー・ダーハム 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2162 2000年 眞板雅文 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2174 2000年 ジェームズ・タレル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 |
| 2137 2000年 ダニエル・ビュラン 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2150 2000年 マリーナ・アブラモビッチ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2163 2000年 伊藤誠 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2175 2000年 ジェームズ・タレル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 |
| 2138 2000年 本間純 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2151 2000年 ホセイン・バラマネッシュ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2164 2000年 川俣正 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2176 2000年 ジェームズ・タレル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 |
| 2139 2000年 片瀬和夫 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2152 2000年 マダン・ラル 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2165 2000年 LUX(平山俊、小林史郎、渋谷真弘、 難波寛明、大石弘、大塚泰助) 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2177 2000年 ケンデル・ギール 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 |
| 2140 2000年 クリスチャン・ボルタンスキー 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2153 2000年 ジャウマ・ブレンサ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2166 2000年 岩崎永人 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2178 2001年2月3日 イスラエル美術の近代—新世紀への メッセージ 神奈川県立近代美術館 神奈川 |
| 2141 2000年 クー・ジュンガ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2154 2000年 マリーナ・アブラモビッチ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2167 2000年 國安孝昌 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2179 2001年2月3日 メナシェ・カディシュマン イスラエル美術の近代—新世紀への メッセージ 神奈川県立近代美術館 神奈川 |
| 2142 2000年 リチャード・ウィルソン 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2155 2000年 洪性都 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2168 2000年 川俣正 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2180 2001年2月20日 深井隆 垂直の時間彫刻—過去・現在・未来 東京藝術大学大学美術陳列館 東京 |
| 2143 2000年 蔡國強 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2156 2000年 古郡弘 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2169 2000年 吉水浩 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 新潟 | 2181 2001年2月 ダニ・カラヴァン イスラエル美術の近代—新世紀への メッセージ 神奈川県立近代美術館 神奈川 |
| 2144 2000年 磯辺行久 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナール 2000 | 2157 2000年 柳健司 | | 2182 2001年2月 メナシェ・カディシュマン |

| | | | |
|---|--|--|--|
| イスラエル美術の近代—新世紀へのメッセージ 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 2196 2001年4月19日 保科晶子 作家スタジオ | 2211 2001年6月2日 バックミンスター・フラー展 —宇宙空間をデザインした建築家 神奈川県立近代美術館 神奈川 | プサイの部屋 長野 |
| 2183 2001年2月 深井隆 垂直の時間彫刻—過去・現在・未来 東京藝術大学大学美術陳列館 東京 | 2197 2001年4月 ヤン・ファープル、中沢新一 ヤン・ファープル展 丸亀市猪熊弦一郎美術館 香川 | 2212 2001年6月2日 バックミンスター・フラー展 —宇宙空間をデザインした建築家 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 2226 2001年8月10日 奈良美智、小山登美夫 奈良美智展— I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME. 横浜美術館 神奈川 |
| 2184 2001年2月 深井隆 垂直の時間彫刻—過去・現在・未来 東京藝術大学大学美術陳列館 東京 | 2198 2001年5月9日 祐成政徳 ギャラリー現 東京 | 2213 2001年6月2日 バックミンスター・フラー展 —宇宙空間をデザインした建築家 神奈川県立近代美術館 神奈川 | 2227 2001年8月10日 奈良美智 奈良美智展— I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME. 横浜美術館 神奈川 |
| 2185 2001年3月5日 植松奎二 現代彫刻センター 東京 | 2199 2001年5月18日 アンソニー・ゴームリー 現代彫刻センター 東京 | 2214 2001年6月5日 前田雅巳 ギャラリー山口 東京 | 2228 2001年8月21日 松澤宥 セゾン 東京 |
| 2186 2001年3月5日 西雅秋 現代彫刻センター 東京 | 2200 2001年5月18日 アンソニー・ゴームリー 現代彫刻センター 東京 | 2215 2001年6月5日 前田雅巳 東京 | 2229 2001年8月21日 会田誠 ナディッフ 東京 |
| 2187 2001年3月5日 ヤノベケンジ 資生堂ギャラリー 東京 | 2201 2001年5月19日 折元立身 現代グラフィックアートセンター 福島 | 2216 2001年6月 藤本由紀夫 第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 2230 2001年8月26日 小沢剛 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| 2188 2001年3月6日 前田雅巳 ギャラリー風 福岡 | 2202 2001年5月19日 折元立身 現代グラフィックアートセンター 福島 | 2217 2001年6月 折元立身 第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 2231 2001年8月29日 マウリツィオ・カテラン 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| 2189 2001年3月9日 大谷芳久 かんらん舎 東京 | 2203 2001年5月19日 折元立身 現代グラフィックアートセンター 福島 | 2218 2001年6月 中村政人 第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 2232 2001年8月29日 マウリツィオ・カテラン 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| 2190 2001年3月16日 松淵龍雄 なびす画廊 東京 | 2204 2001年5月 田中信太郎 札幌ドーム 北海道 | 2219 2001年6月 畠山直哉 第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ イタリア | 2233 2001年8月29-30日 村岡三郎 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| 2191 2001年3月17日 ジェームス・リー・バイヤーズ、渡多利 浩一 幸福の場所を探して ワタリウム美術館 東京 | 2205 2001年5月 川俣正 札幌ドーム 北海道 | 2220 2001年7月4日 本間純 ギャラリー現 東京 | 2234 2001年8月31日 ベーター・フィッシュリ&ダヴィッド・ ヴァイス 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| 2192 2001年3月29日 池内務 レントゲンクンストラウム 東京 | 2206 2001年5月 PH STUDIO 札幌ドーム 北海道 | 2221 2001年7月7日 松澤宥 作家スタジオ 長野 | 2235 2001年8月31日 マリーナ・アブラモヴィッチ 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| 2193 2001年3月29日 池内務、ヤノベケンジ レントゲンクンストラウム 東京 | 2207 2001年5月 國安孝昌 札幌ドーム 北海道 | 2222 2001年7月7日 松澤宥 プサイの部屋 長野 | 2236 2001年8月31日-9月1日 オラファー・エリアソン 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| 2194 2001年4月10日 松淵龍雄 なびす画廊 東京 | 2208 2001年5月 立木泉 札幌ドーム 北海道 | 2223 2001年7月7日 松澤宥 作家スタジオ 長野 | 2237 2001年8月31日-9月1日 塩田千春 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| 2195 2001年4月14日 ヤン・ファープル、佐谷修吾 ヤン・ファープル展 丸亀市猪熊弦一郎美術館 香川 | 2209 2001年5月 國松明日香 札幌ドーム 北海道 | 2224 2001年7月9日 中川久 ギャラリー KOBE 兵庫 | 2238 2001年8月31日-9月1日 蔡國強、建島哲 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 |
| | 2210 2001年5月 ジャン・フランソワ・ブラン 札幌ドーム 北海道 | 2225 2001年7月 松澤宥 | 2239 2001年8月 オノ・ヨーコ |

| | | | |
|--|--|--|---|
| 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川県 | 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川県 | 2268 2001年10月 須田悦弘 垂直の時間彫刻—過去・現在・未来 東京藝術大学大学美術陳列館 東京 | 2281 2001年11月24日 最上壽之 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2240 2001年8月 会田誠 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川県 | 2254 2001年9月25日 篠田太郎 GALLERY SIDE 2 東京 | 2269 2001年10月 三沢厚彦 垂直の時間彫刻—過去・現在・未来 東京藝術大学大学美術陳列館 東京 | 2282 2001年11月24日 山本双六、近藤幸夫 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2241 2001年9月7日 磯崎道佳 Zoom 東京 | 2255 2001年9月25日 青山光佑、ヨシダヨシエ シロタ画廊 東京 | 2270 2001年10月 大久保英治 メゾンエルメス 東京 | 2283 2001年11月24日 太田三吉、近藤幸夫 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2242 2001年9月7日 谷山恭子 スペースジャック!展 横浜美術館アートギャラリー 神奈川県 | 2256 2001年9月26日 藤城凡子 Sap art-intg tokyo 2001 旧新宿区牛込原町小学校 東京 | 2271 2001年11月11日 岡崎和郎、太田三郎 岡崎和郎—Hisashi 光と陰を割かつもの 奈義町現代美術館 岡山 | 2284 2001年11月24日 篠田孝敏 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2243 2001年9月7日 谷山恭子 スペースジャック!展 横浜美術館アートギャラリー 神奈川県 | 2257 2001年9月26日 小林晴夫 Sap art-intg tokyo 2001 旧新宿区牛込原町小学校 東京 | 2272 2001年11月14日 イー・ブル SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2285 2001年11月24日 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2244 2001年9月7日 エルネスト・ネト スペースジャック!展 横浜美術館アートギャラリー 神奈川県 | 2258 2001年9月26日 謝琳 Sap art-intg tokyo 2001 旧新宿区牛込原町小学校 東京 | 2273 2001年11月24日 山本正道、吉田克郎夫人 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2286 2001年11月24日 舟越桂、若江漢字 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2245 2001年9月7日 マーティン・クリード 横浜美ポートサイドギャラリー 神奈川県 | 2259 2001年10月11日 三沢厚彦 垂直の時間彫刻—過去・現在・未来 東京藝術大学大学美術陳列館 東京 | 2274 2001年11月24日 保田春彦、小田襄 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2287 2001年11月24日 峯村敏明、宮沢壮佳 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2246 2001年9月7日 マーティン・クリード 横浜美ポートサイドギャラリー 神奈川県 | 2260 2001年10月13日 大久保英治 メゾンエルメス 東京 | 2275 2001年11月24日 栗田麗子、木村希八 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2288 2001年11月24日 田中三蔵 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2247 2001年9月7日 須田悦弘 スペースジャック!展 横浜美術館アートギャラリー 神奈川県 | 2261 2001年10月15日 須田悦弘 垂直の時間彫刻—過去・現在・未来 東京藝術大学大学美術陳列館 東京 | 2276 2001年11月24日 谷川晃一、宮沢壮佳 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2289 2001年11月24日 橋秀文 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2248 2001年9月8日 藤本由紀夫 現代グラフィックアートセンター 福島 | 2262 2001年10月17日 中村政人 東京 | 2277 2001年11月24日 松本武、横田茂 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2290 2001年11月24日 朝日晃、保田春彦、西礼子 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2249 2001年9月13日 田中信太郎 田中信太郎 饒舌と沈黙のカノン 国立国際美術館 大阪 | 2263 2001年10月17日 中村政人 東京 | 2278 2001年11月24日 太田三吉 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2291 2001年11月24日 西雅秋、朝日晃 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2250 2001年9月21日 杉戸洋 小山登美夫ギャラリー 東京 | 2264 2001年10月28日 川俣正 デイリーニュース 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 2279 2001年11月24日 江口週 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2292 2001年11月24日 酒井忠康、小川待子 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2251 2001年9月21日 束芋 ライスギャラリー 東京 | 2265 2001年10月28日 川俣正 デイリーニュース 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 2280 2001年11月24日 宮沢壮佳、飯田善國 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2293 2001年11月24日 湯原和夫妻 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2252 2001年9月21日 中村哲也 ライスギャラリー 東京 | 2266 2001年10月29日 川俣正 デイリーニュース 水戸芸術館現代美術ギャラリー 茨城 | 2281 2001年11月24日 宮沢壮佳、飯田善國 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2294 2001年11月24日 湯原和夫妻 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |
| 2253 2001年9月21日 草間彌生 | 2267 2001年10月 眞饜のはざま—デュシャンから遺伝子まで 東京大学総合研究博物館 東京 | 2282 2001年11月24日 宮沢壮佳、飯田善國 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 | 2295 2001年11月24日 湯原和夫妻 〔50周年パーティ〕 神奈川県立近代美術館 神奈川県 |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 2294 2001年11月27日 小泉俊己 ギャラリー山口 東京 | 村岡三郎 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2323 2001年 ステラーク 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | メゾンエルメス 東京 |
| 2295 2001年11月30日-12月2日 戸谷成雄 開館記念展 戸谷成雄—さまよう森 国際芸術センター青森 青森 | 2309 2001年 小沢剛 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2324 2001年 草間彌生 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2338 2002年4月18日 中村哲夫 手の好き間—須田悦弘+中村哲也 メゾンエルメス 東京 |
| 2296 2001年11月30日-12月2日 戸谷成雄、浜田剛爾 開館記念展 戸谷成雄—さまよう森 国際芸術センター青森 青森 | 2310 2001年 秋山祐徳太子 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2325 2001年 オノ・ヨーコ 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2339 2002年4月18日 須田悦弘 手の好き間—須田悦弘+中村哲也 メゾンエルメス 東京 |
| 2297 2001年11月 川俣正 デイリーニュース 水戸芸術館 茨城 | 2311 2001年 イチハラヒロコ 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2326 2002年1月28日 松洲龍雄 なびす画廊 東京 | 2340 2002年4月18日 中村哲也 手の好き間—須田悦弘+中村哲也 メゾンエルメス 東京 |
| 2298 2001年12月1日 戸谷成雄 開館記念展 戸谷成雄—さまよう森 国際芸術センター青森 青森 | 2312 2001年 ヲダ・マサノリ 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2327 2002年1月28日 秋山祐徳太子 工房ギャラリー 東京 | 2341 2002年4月18日 須田悦弘 手の好き間—須田悦弘+中村哲也 メゾンエルメス 東京 |
| 2299 2001年12月10日 渡辺豊重、中川幸夫 銀座 東京 | 2313 2001年 笠原恵実子 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2328 2002年1月28日 秋山祐徳太子 工房ギャラリー 東京 | 2342 2002年4月19日 須田悦弘 手の好き間—須田悦弘+中村哲也 メゾンエルメス 東京 |
| 2300 2001年12月17日 堀浩哉 村松画廊 東京 | 2314 2001年 ジミー・ダーナム 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2329 2002年1月28日 秋山祐徳太子 工房ギャラリー 東京 | 2343 2002年4月19日 須田悦弘 手の好き間—須田悦弘+中村哲也 メゾンエルメス 東京 |
| 2301 2001年12月17日 高橋睦郎 東京画廊 東京 | 2315 2001年 ロール・ティクシエ 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2330 2002年1月 戸谷成雄 ライスギャラリー 東京 | 2344 2002年4月19日 李禹煥 李禹煥—近作(絵画・彫刻) SCAI THE BATHHOUSE 東京 |
| 2302 2001年 マウリツィオ・カテラン 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2316 2001年 ペーター・フィッシュリ&ダヴィッド・ ヴァイス 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2331 2002年1月 小泉俊己 ギャラリー山口 東京 | 2345 2002年4月19日 李禹煥 李禹煥—近作(絵画・彫刻) SCAI THE BATHHOUSE 東京 |
| 2303 2001年 会田誠 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2317 2001年 マリール・ノイデッカー 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2332 2002年2月7日 宮崎進 宮崎進展 よろこびの歌を唄いたい 横浜美術館 神奈川 | 2346 2002年4月23日 宮崎進 宮崎進展 よろこびの歌を唄いたい 横浜美術館 神奈川 |
| 2304 2001年 塩田千春 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2318 2001年 黄永砫 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2333 2002年3月22日 岡部昌生 日仏会館 東京 | 2347 2002年4月 宮崎進 宮崎進展 よろこびの歌を唄いたい 横浜美術館 神奈川 |
| 2305 2001年 蔡國強 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2319 2001年 マリナ・アブラモヴィッチ 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2334 2002年4月1日 青木野枝 ギャラリー21+葉 東京 | 2348 2002年5月8日 祐成政徳、ディーター・クンツ ギャラリー現 東京 |
| 2306 2001年 キャンディ・ファクトリー 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2320 2001年 沖啓介 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2335 2002年4月1日 堂本右美 ギャラリー小柳 東京 | 2349 2002年5月8日 祐成政徳、ディーター・クンツ ギャラリー現 東京 |
| 2307 2001年 都築響一 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2321 2001年 チェ・ジョンファ 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2336 2002年4月11日 保科晶子 デスベラード 東京 | 2350 2002年5月24日 アニアス・ワイルダー 2002年 春のアーティスト・イン・レジ |
| 2308 2001年 | 2322 2001年 椿昇 横浜トリエンナーレ 2001 神奈川 | 2337 2002年4月18日 須田悦弘 手の好き間—須田悦弘+中村哲也 | |

| | | | |
|--|--|--|---|
| デンス(AIR)プログラム 国際芸術センター青森 青森 | 安齊重男 目撃者—安齊重男展 ブンケル・シュトゥーキ現代美術ギャラリー ポーランド | イサム・ノグチ 草月会館 東京 | 2392 2003年2月 イサム・ノグチ 慶應義塾大学新萬來舎 東京 |
| 2351 2002年5月25日 パウル・バンハウゼン 2002年春のアーティスト・イン・レジ デンス(AIR)プログラム 国際芸術センター青森 青森 | 2365 2002年9月5日 安齊重男 目撃者—安齊重男展 ブンケル・シュトゥーキ現代美術ギャラリー ポーランド | 2378 2003年1月6日 祐成政徳 ギャラリー現 東京 | 2393 2003年2月 イサム・ノグチ 慶應義塾大学新萬來舎 東京 |
| 2352 2002年5月25日 林英哲、パウル・バンハウゼン 2002年春のアーティスト・イン・レジ デンス(AIR)プログラム 国際芸術センター青森 青森 | 2366 2002年9月5日 安齊重男 目撃者—安齊重男展 ブンケル・シュトゥーキ現代美術ギャラリー ポーランド | 2379 2003年1月6日 元永定正 INAX 東京 | 2394 2003年2月 イサム・ノグチ 慶應義塾大学新萬來舎 東京 |
| 2353 2002年5月 李禹煥 李禹煥—近作(絵画・彫刻) SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2367 2002年9月5日 大野裕子、加須屋明子、島敦彦 目撃者—安齊重男展 ブンケル・シュトゥーキ現代美術ギャラリー ポーランド | 2380 2003年1月8日 上田雄三 ギャラリーQ 東京 | 2395 2003年2月 イサム・ノグチ 慶應義塾大学新萬來舎 東京 |
| 2354 2002年6月3日 沈文燮 INAX ギャラリー 東京 | 2368 2002年9月 古郡弘 ヒルサイドギャラリー 東京 | 2381 2003年1月16日 マーティン・ブーリエ 六本木ヒルズ 東京 | 2396 2003年2月 イサム・ノグチ 慶應義塾大学新萬來舎 東京 |
| 2355 2002年6月6日 前田雅巳 ギャラリー山口 東京 | 2369 2002年9月 オノデラユキ ツァイト・フォト・サロン 東京 | 2382 2003年1月16日 マーティン・ブーリエ 六本木ヒルズ 東京 | 2397 2003年3月4日 押江千衣子 西村画廊 東京 |
| 2356 2002年6月15日 森田秀樹 ギャラリー現 東京 | 2370 2002年9月 西尾康之 小谷元彦/西尾康之—Cast Cycle(循環鑄造) SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2383 2003年1月17日 マーティン・ブーリエ 立川 東京 | 2398 2003年3月8日 堀浩哉と家族 日比谷公園 東京 |
| 2357 2002年6月21日 鯉江良二 赤坂乾ギャラリー 東京 | 2371 2002年10月15日 保井智貴 ギャラリーせいほう 東京 | 2384 2003年1月18日 屋代敏博 ツァイト・フォト・サロン 東京 | 2399 2003年3月8日 日比谷公園 東京 |
| 2358 2002年6月 伊藤公象 笠間芸術の森公園 茨城 | 2372 2002年10月22日 広田美穂 ジェンダーとグローバリズム—柔らかな 普遍性 国際芸術センター青森 青森 | 2385 2003年1月19日 マーティン・ブーリエ 六本木ヒルズ 東京 | 2400 2003年3月10日 村井進吾、前田穰、野田裕示、建島覚造 ギャラリー東京ユマニテ 東京 |
| 2359 2002年6月 小野里友起 笠間芸術の森公園 茨城 | 2373 2002年10月22日 ニラン・バイブラット ジェンダーとグローバリズム—柔らかな 普遍性 国際芸術センター青森 青森 | 2386 2003年1月20日 前田雅巳 前田雅巳展 ギャラリー山口 東京 | 2401 2003年3月18日 ルーズ・ブルジョワ 六本木ヒルズ 東京 |
| 2360 2002年6月 伊藤知香 笠間芸術の森公園 茨城 | 2374 2002年10月22日 アドリアナ・サ ジェンダーとグローバリズム—柔らかな 普遍性 国際芸術センター青森 青森 | 2387 2003年1月20日 前田雅巳 前田雅巳展 ギャラリー山口 東京 | 2402 2003年3月18日 イザ・ゲンツケン 六本木ヒルズ 東京 |
| 2361 2002年6月 保科晶子 笠間芸術の森公園 茨城 | 2375 2002年11月5日 菅木志雄 東京画廊 東京 | 2388 2003年1月24日 鈴木久雄 シマダ画廊 東京 | 2403 2003年3月18日 ルーズ・ブルジョワ 六本木ヒルズ 東京 |
| 2362 2002年8月 山下工美 ヒルサイドギャラリー 東京 | 2376 2002年11月11日 保田春彦 鎌倉 神奈川 | 2389 2003年1月31日 小山登美夫ギャラリー 東京 | 2404 2003年3月20日 東芋 東京オペラシティアートギャラリー 東京 |
| 2363 2002年8月 海崎三郎 OM プリントハウス 神奈川 | 2377 2002年12月 | 2390 2003年1月31日 シュウゴアーツ 東京 | 2405 2003年3月20日 中西博之、中村敬治夫妻 東京オペラシティアートギャラリー 東京 |
| 2364 2002年9月5日 | | 2391 2003年1月31日 小山登美夫、小池一子 小山登美夫ギャラリー 東京 | 2406 2003年3月21日 イラク反戦デモ 日比谷公園 東京 |

| | | | |
|--|--|---|--|
| 2407 2003年3月 マーティン・ブーリエ テレビ朝日 東京 | 新潟 | 前山忠 コバヤシ画廊 東京 | 2450 2003年10月11日 河口龍雄、太田三吉、田中信太郎 コレクションによるもうひとつの現代 —葉山館開館記念展 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 |
| 2408 2003年3月 倉重光則 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 2422 2003年4月 ダニエル・ビュラン 朱鷺メッセ、新潟コンベンションセンター 新潟 | 2437 2003年9月12日 三宅一生、吉岡徳仁 AXIS ギャラリー 東京 | 2451 2003年10月11日 リーガ、高橋睦郎 コレクションによるもうひとつの現代 —葉山館開館記念展 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 |
| 2409 2003年3月 倉重光則 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | 2423 2003年4月 ダニエル・ビュラン 朱鷺メッセ、新潟コンベンションセンター 新潟 | 2438 2003年9月12日 吉岡徳仁 AXIS ギャラリー 東京 | 2452 2003年10月11日 李禹煥、吉田克郎と家族、酒井忠康と家族 コレクションによるもうひとつの現代 —葉山館開館記念展 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 |
| 2410 2003年4月3日 SCAI THE BATHHOUSE スタッフ 東京国際フォーラム 東京 | 2424 2003年4月 蔡國強 朱鷺メッセ、新潟コンベンションセンター 新潟 | 2439 2003年9月14日 川俣正 川俣正 コールマイン田川 2003 田川市美術館 福岡 | 2453 2003年10月12日 ドミニク・エザール 西野ビル 和歌山 |
| 2411 2003年4月3日 シュウゴアーツ 東京国際フォーラム 東京 | 2425 2003年4月 蔡國強 朱鷺メッセ、新潟コンベンションセンター 新潟 | 2440 2003年9月14日 川俣正 川俣正 コールマイン田川 2003 田川市美術館 福岡 | 2454 2003年10月12日 ドミニク・エザール 西野ビル 和歌山 |
| 2412 2003年4月4日 池内務 レントゲンヴェルケ 東京 | 2426 2003年5月14日 翁讓 ギャラリーブリキ星 東京 | 2441 2003年9月15日 四宮佑次 門司港海峡ドラマシップ 福岡 | 2455 2003年10月12日 ドミニク・エザール 西野ビル 和歌山 |
| 2413 2003年4月4日 須田悦弘、吉水浩、下田理恵、近藤幸夫 レントゲンヴェルケ 東京 | 2427 2003年5月17日 ルイズ・ブルジョワ スパイダー—ルイズ・ブルジョワ SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2442 2003年10月1日 古川吉重 ギャラリー山口 東京 | 2456 2003年10月23日 西村建治 西村画廊 東京 |
| 2414 2003年4月4日 サム・フランシムの息子たち 出光コレクションによるサム・フランシス展 東京都現代美術館 東京 | 2428 2003年6月2日 倉重光則 ギャラリー現 東京 | 2443 2003年10月4日 前田耕成 〔真鶴〕 神奈川 | 2457 2003年10月27日 松波路美 ギャラリー現 東京 |
| 2415 2003年4月4日 アレックス・イマイ 銀座 東京 | 2429 2003年6月8日 江口邁 北海道立旭川美術館 北海道 | 2444 2003年10月4日 前田耕成 〔真鶴〕 神奈川 | 2458 2003年11月4日 野見山暁治、宮崎進 ギャルリー東京ユマニテ 東京 |
| 2416 2003年4月9日 保科晶子 ギャラリー現 東京 | 2430 2003年6月26日 原口典之 ギャラリー現 東京 | 2445 2003年10月10日 ハンス・ベンダ、O JUN ミズマアートギャラリー 東京 | 2459 2003年11月8日 三輪美奈子 藍画廊 東京 |
| 2417 2003年4月15日 峯田敏郎 現代彫刻センター 東京 | 2431 2003年7月26日 栗原一成 ギャラリーK 広島 | 2446 2003年10月11日 李禹煥 コレクションによるもうひとつの現代 —葉山館開館記念展 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 | 2460 2003年11月8日 清水映美 ギャラリー手 東京 |
| 2418 2003年4月16日 森田秀樹 ギャラリー現 東京 | 2432 2003年7月28日 岩瀬洵一郎、黒田悠子 ギャラリー21十葉 東京 | 2447 2003年10月11日 コレクションによるもうひとつの現代 —葉山館開館記念展 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 | 2461 2003年11月11日 管木志雄 東京画廊 東京 |
| 2419 2003年4月 レベッカ・ホーン 朱鷺メッセ、新潟コンベンションセンター 新潟 | 2433 2003年7月 キキ・スミス 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2003 新潟 | 2448 2003年10月11日 コレクションによるもうひとつの現代 —葉山館開館記念展 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 | 2462 2003年11月15日 倉重光則 青い浸蝕 倉重光則展 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 2420 2003年4月 アニッシュ・カプーア 朱鷺メッセ、新潟コンベンションセンター 新潟 | 2434 2003年8月2日 一色海岸 神奈川 | 2449 2003年10月11日 田淵安一 コレクションによるもうひとつの現代 —葉山館開館記念展 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 | 2463 2003年11月15日 倉重光則 青い浸蝕 倉重光則展 |
| 2421 2003年4月 蔡國強 朱鷺メッセ、新潟コンベンションセンター | 2435 2003年8月2日 西雅秋 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 | 2436 2003年8月27日 | |

| | | | |
|---|--|--|---|
| 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 | キキ・スミス 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2490 2003年 舟越直木 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 新潟 2503 2003年 金九漢 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 |
| 2464 2003年11月26日 飯村悦男 ギャラリーQ 東京 | 2478 2003年 本間純 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2491 2003年 河口龍夫 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2504 2003年 蔡國強 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 |
| 2465 2003年11月27日 森本洋充、井上和明 ギャラリー・パストレイズ 神奈川 | 2479 2003年 マリア・ヴィルッカ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2492 2003年 北川貴好 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2505 2003年 手塚貴晴十由比 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 |
| 2466 2003年12月10日 内山聡 アトスペース羅針盤 東京 | 2480 2003年 長澤伸穂 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2493 2003年 北川貴好 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2506 2003年 たほりつこ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 |
| 2467 2003年12月23日 中上清、鷺見和紀郎 ギャラリー現 東京 | 2481 2003年 潮田友子 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2494 2003年 菱山裕子 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2507 2003年 クリスチャン・ボルタンスキー+ジャン ・カルマン 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 |
| 2468 2003年12月 カールステン・ヘラー ミュザ川崎 神奈川 | 2482 2003年 中川幸夫 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2495 2003年 ユニット00(堀浩哉、堀えりぜ、畠中実) 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2508 2003年 クリスチャン・ボルタンスキー+ジャン ・カルマン 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 |
| 2469 2003年12月 アニッシュ・カプーア ミュザ川崎 神奈川 | 2483 2003年 逢坂卓郎 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2496 2003年 保科豊巳 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2509 2003年 彦坂尚嘉 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 |
| 2470 2003年12月 鴻池朋子&土屋公雄 ミュザ川崎 神奈川 | 2484 2003年 新田和成 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2497 2003年 MVRDV 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2510 2003年 遠藤利克 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 |
| 2471 2003年12月 鴻池朋子&土屋公雄 ミュザ川崎 神奈川 | 2485 2003年 水内貴英 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2498 2003年 渡辺真理十法政大学渡辺研究室 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2511 2004年1月4日 「右上」 ボイスプランニング 神奈川 |
| 2472 2003年 池田光宏 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2486 2003年 袴田京太郎 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2499 2003年 ファブリス・イペール 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2512 2004年1月4日 「右上」 ボイスプランニング 神奈川 |
| 2473 2003年 古郡弘 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2487 2003年 草間彌生 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2500 2003年 トビアス・レーベルガー 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2513 2004年1月4日 雨宮庸介、米原昌郎、佐藤秀介、山下美幸、 横手山慎二、山本修路、「右上」 ボイスプランニング 神奈川 |
| 2474 2003年 クリスチャン・ボルタンスキー、ジャン ・カルマン 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2488 2003年 ジェニー・ホルツァー 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2501 2003年 マリーナ・アブラモヴィッチ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2514 2004年1月7日 沖啓介 ギャラリーQ 東京 |
| 2475 2003年 ヘリ・ドノ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2489 2003年 山口啓介 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2502 2003年 マリーナ・アブラモヴィッチ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2515 2004年1月7日 拂島庸二 |
| 2476 2003年 カサグランデ&リントーラ建築事務所 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナレ 2003 新潟 | 2477 2003年 | | |

| | | | |
|--|--|---|--|
| INAX ギャラリー 東京 | 飯田真人 ギャラリー現 東京 | 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2558 2004年7月5日 三島喜美代 ギャラリー新居 東京 |
| 2516 2004年1月17日 西雅秋 島田画廊 東京 | 2531 2004年3月1日 サイモン・バターソン レントゲンヴェルケ 東京 | 2544 2004年3月13日 李禹煥、長沢英俊 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2559 2004年7月20日 母袋俊也 ヒルサイドギャラリー 東京 |
| 2517 2004年1月19日 岡崎和郎 横田茂ギャラリー 東京 | 2532 2004年3月12日 小山祥吾 exhibit Live & Moris 東京 | 2545 2004年3月13日 村岡三郎、西雅秋 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2560 2004年7月 古郡弘 INAX ギャラリー 東京 |
| 2518 2004年1月19日 石井厚生 ギャラリー山口 東京 | 2533 2004年3月13日 横田茂と息子 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2546 2004年3月13日 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2561 2004年8月3日 古郡弘 アートドキュメント 2004—森の砦 金津創作の森 福井 |
| 2519 2004年1月19日 浜田浄 かねこあーと・ギャラリー 東京 | 2534 2004年3月13日 酒井忠康 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2547 2004年3月13日 横田茂ギャラリー 東京 | 2562 2004年8月3日 古郡弘 アートドキュメント 2004—森の砦 金津創作の森 福井 |
| 2520 2004年1月24日 松蔭浩之 ミズマアートギャラリー 東京 | 2535 2004年3月13日 淀井彩子 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2548 2004年4月8日 保科晶子 一行院 東京 | 2563 2004年8月3日 西雅秋 アートドキュメント 2004—森の砦 金津創作の森 福井 |
| 2521 2004年1月26日 島田恒平 藍画廊 東京 | 2536 2004年3月13日 李禹煥、岡崎和郎 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2549 2004年4月18日 堀浩哉 多摩センター 東京 | 2564 2004年8月14日 山口由理子 若江漢字—時の光の下に 今日作家 IX 山口由理子・若江漢字展 神奈川県立近代美術館 鎌倉 神奈川 |
| 2522 2004年2月2日 白川昌生 ギャラリー現 東京 | 2537 2004年3月13日 小泉俊己、吉増剛造 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2550 2004年4月18日 堀浩哉 多摩センター 東京 | 2565 2004年8月14日 若江漢字 若江漢字—時の光の下に 今日作家 IX 山口由理子・若江漢字展 神奈川県立近代美術館 鎌倉 神奈川 |
| 2523 2004年2月2日 北山善夫 INAX ギャラリー 東京 | 2538 2004年3月13日 吉増剛造 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2551 2004年4月18日 ユニット00(堀浩哉、堀えりぜ、畠中実) 記憶するために—たったひとりの戦争 多摩美術大学美術館前 東京 | 2566 2004年8月27日 ゲルダ・シュタイナー&ユルグ・レンツ リンガー 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 |
| 2524 2004年2月15日 多和圭三、多和英子、柳原義達 神奈川県立近代美術館 葉山 神奈川 | 2539 2004年3月13日 本江邦夫、村岡三郎 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2552 2004年4月19日 松瀨龍雄 なびす画廊 東京 | 2567 2004年8月 古郡弘 アートドキュメント2004—森の砦 金津創作の森 福井 |
| 2525 2004年2月16日 勝又豊子 ギャラリー現 東京 | 2540 2004年3月13日 堀浩哉、長沢英俊 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2553 2004年5月4日 吉岡徳仁 メゾンエルメス 東京 | 2568 2004年8月 古郡弘 アートドキュメント2004—森の砦 金津創作の森 福井 |
| 2526 2004年2月18日 本間純 ラ・ガリリ・デ・ナカムラ 東京 | 2541 2004年3月13日 淀井彩子と娘 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2554 2004年5月4日 保井智貴 スペース・S 東京 | 2569 2004年8月 古郡弘 アートドキュメント2004—森の砦 金津創作の森 福井 |
| 2527 2004年2月27日 本間純 ラ・ガリリ・デ・ナカムラ 東京 | 2542 2004年3月13日 原田光、酒井啓之 若林奮を偲ぶ会 国際文化会館 東京 | 2555 2004年5月12日 祐成政徳、清水敏男 ギャラリー現 東京 | 2570 2004年8月 速水史朗 村松画廊 |
| 2528 2004年2月 白川昌生 ギャラリー現 東京 | 2543 2004年3月13日 吉増剛造、高梨豊 | 2556 2004年5月12日 青木野枝 ギャラリー—21+葉 東京 | |
| 2529 2004年3月1日 西礼子 島田画廊 東京 | | | |
| 2530 2004年3月1日 | | | |

| | | | |
|--|--|---|--|
| 東京 | 金沢21世紀美術館 石川 | 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 東京 |
| 2571 2004年9月3日 オノデラユキ、鶴見明彦 ツァイトフォト・サロン 東京 | 2583 2004年10月6日 須田悦弘、エルネスト・ネット 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2594 2004年10月8日 小谷元彦、山本ゆうこ 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2605 2004年10月15日 中村敬治夫妻 ヴォルフガング・ティルマンズ展 Freischwimmer 東京オペラシティアートギャラリー 東京 |
| 2572 2004年9月6日 若江漢字 若江漢字一時の光の下に 今日の作家 IX 山口由理子・若江漢字展 神奈川県立近代美術館 鎌倉 神奈川 | 2584 2004年10月6日 三宅一生 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2595 2004年10月8日 オラファー・エリアソン 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2606 2004年10月19日 古郡弘 古郡弘—現代彫刻の歩みIV モノづくり の逆襲 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 2573 2004年9月6日 若江漢字 若江漢字一時の光の下に 今日の作家 IX 山口由理子・若江漢字展 神奈川県立近代美術館 鎌倉 神奈川 | 2585 2004年10月7日 ピピロッチェ・リスト 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2596 2004年10月8日 マシュー・バーニー、養豊 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2607 2004年10月 古郡弘 古郡弘—現代彫刻の歩みIV モノづくり の逆襲 神奈川県民ホール・ギャラリー 神奈川 |
| 2574 2004年9月13日 加納光於 ギャラリー東京ユマニテ 東京 | 2586 2004年10月7日 須田悦弘 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2597 2004年10月8日 藤幡正樹 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2608 2004年10月 石渡誠 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 |
| 2575 2004年9月15日 佐藤秀介 ギャラリー現 東京 | 2587 2004年10月8日 ヴォルフガング・ティルマンズ、 エルネスト・ネット 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2598 2004年10月8日 池内務、山本基 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2609 2004年10月 ゲルダ・シュタイナー&ユルグ・レンツ リンガー 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 |
| 2576 2004年9月28日 ヤノベケンジ 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2588 2004年10月8日 ヴォルフガング・ティルマンズ、和光清、 飯田志保子 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2599 2004年10月8日 藤浩志 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2610 2004年10月 山本基 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 |
| 2577 2004年10月4日 サラ・ジー 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2589 2004年10月8日 マシュー・バーニー、村田大輔 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2600 2004年10月15日 ヴォルフガング・ティルマンズと家族 ヴォルフガング・ティルマンズ展 Freischwimmer 東京オペラシティアートギャラリー 東京 | 2611 2004年10月 藤浩志 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 |
| 2578 2004年10月4日 エルネスト・ネット 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2590 2004年10月8日 マシュー・バーニー 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2601 2004年10月15日 ヴォルフガング・ティルマンズ、飯田志 保子 ヴォルフガング・ティルマンズ展 Freischwimmer 東京オペラシティアートギャラリー 東京 | 2612 2004年10月 ヴォルフガング・ティルマンズ 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 |
| 2579 2004年10月6日 クリス・バーデン 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2591 2004年10月8日 田中敦子、金井明 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2602 2004年10月15日 ヴォルフガング・ティルマンズ ヴォルフガング・ティルマンズ展 Freischwimmer 東京オペラシティアートギャラリー 東京 | 2613 2004年10月 クリス・バーデン 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 |
| 2580 2004年10月6日 ゲルハルト・リヒター 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2592 2004年10月8日 イチハラヒロコ 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2603 2004年10月15日 ヴォルフガング・ティルマンズ、和光清 ヴォルフガング・ティルマンズ展 Wako Works of Arts 東京 | 2614 2004年10月 須田悦弘 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 |
| 2581 2004年10月6日 山本基 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2593 2004年10月8日 イチハラヒロコ 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2604 2004年10月15日 ヴォルフガング・ティルマンズと母 ヴォルフガング・ティルマンズ展 Wako Works of Arts | 2615 2004年10月 マイケル・リン 開館記念展 21世紀の出会い 一共鳴、ここ・から |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 金沢21世紀美術館 石川 | 石川 | 2639 2004年10月 サラ・ジー 金沢21世紀美術館 石川 | 青森 2653 2004年12月 若江漢字 若江漢字—100年の時を待たずに 国際芸術センター青森 青森 |
| 2616 2004年10月 ゲルハルト・リヒター 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2627 2004年10月 ヤノベケンジ プロジェクトグループ 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2640 2004年10月 アニッシュ・カプーア 金沢21世紀美術館 石川 | 2654 2005年1月6日 田中信太郎、篠原有司男、篠原乃り子 ギャラリー山口 東京 |
| 2617 2004年10月 A-POC—三宅一生十藤原大 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2628 2004年10月 川崎和男 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2641 2004年11月1日 松波路美 ギャラリー現 東京 | 2655 2005年1月6日 古郡弘、入澤ユカ INAX ギャラリー 東京 |
| 2618 2004年10月 A-POC—三宅一生十藤原大 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2629 2004年10月 アナ＝マリア・タヴァレス 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2642 2004年11月2日 徳山由香、島敦彦、加須屋明子、中井康之 開館記念展 マルセル・デュシャンと 20世紀美術 国立国際美術館 大阪 | 2656 2005年1月12日 佐藤秀介 多摩美術大学 東京 |
| 2619 2004年10月 バトリック・トゥットフオコ 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2630 2004年10月 オラファー・エリアソン 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2643 2004年11月2日 横山正 開館記念展 マルセル・デュシャンと 20世紀美術 国立国際美術館 大阪 | 2657 2005年1月15日 小泉俊己 島田画廊 東京 |
| 2620 2004年10月 バトリック・トゥットフオコ 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2631 2004年10月 オラファー・エリアソン 金沢21世紀美術館 石川 | 2644 2004年11月2日 O JUN、島敦彦、工藤弘子 開館記念展 マルセル・デュシャンと 20世紀美術 国立国際美術館 大阪 | 2658 2005年1月15日 小泉俊己 島田画廊 東京 |
| 2621 2004年10月 エルネスト・ネト 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2632 2004年10月 レアンドロ・エルリッヒ 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2645 2004年11月6日 保田井智之 スペース・S 東京 | 2659 2005年1月15日 小泉俊己 島田画廊 東京 |
| 2622 2004年10月 エルネスト・ネト 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2633 2004年10月 レアンドロ・エルリッヒ 金沢21世紀美術館 石川 | 2646 2004年11月22日 富田有紀子 ギャラリー椿 東京 | 2660 2005年1月26日 池田龍雄 ギャラリー58 東京 |
| 2623 2004年10月 カールステン・ヘラー 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2634 2004年10月 レアンドロ・エルリッヒ 金沢21世紀美術館 石川 | 2647 2004年12月3日 菅木志雄 東京画廊 東京 | 2661 2005年2月3日 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2624 2004年10月 マシュー・バーニー 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2635 2004年 レアンドロ・エルリッヒ 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2648 2004年12月3日 菅木志雄 東京画廊 東京 | 2662 2005年2月10日 トム・ウェッセルマン ところミュージアム大三島 愛媛 |
| 2625 2004年10月 ビビロッチェ・リスト 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2636 2004年 レアンドロ・エルリッヒ 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2649 2004年12月3日 舟越桂 西村画廊 東京 | 2663 2005年2月10日 ジャーコモ・マンズー ところミュージアム大三島 愛媛 |
| 2626 2004年10月 藤幡正樹十銅金裕司 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 | 2637 2004年10月 ヤン・ファープル 金沢21世紀美術館 石川 | 2650 2004年12月11日 若江漢字 若江漢字—100年の時を待たずに 国際芸術センター青森 青森 | 2664 2005年2月10日 林範親 ところミュージアム大三島 愛媛 |
| 2627 2004年10月 ジェームズ・タレル 金沢21世紀美術館 石川 | 2638 2004年10月 ジェームズ・タレル 金沢21世紀美術館 石川 | 2651 2004年12月28日 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2665 2005年2月10日 深井隆 ところミュージアム大三島 愛媛 |
| 2628 2004年10月 ジェームズ・タレル 金沢21世紀美術館 石川 | 2639 2004年10月 サラ・ジー 金沢21世紀美術館 石川 | 2652 2004年12月 若江漢字 若江漢字—100年の時を待たずに 国際芸術センター青森 | 2666 2005年2月12日 ところミュージアム大三島 愛媛 |
| 2629 2004年10月 アナ＝マリア・タヴァレス 開館記念展 21世紀の出会い —共鳴、ここ・から 金沢21世紀美術館 石川 | 2640 2004年10月 アニッシュ・カプーア 金沢21世紀美術館 石川 | 2653 2004年12月 若江漢字 若江漢字—100年の時を待たずに 国際芸術センター青森 | 2667 2005年2月28日 祐成政徳 GALLERY A4 (ギャラリーエークウッド) |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 東京 | コバヤシ画廊 東京 | センター[ICC] 東京 | 神奈川 |
| 2668 2005年2月28日 祐成政徳 GALLERY A4 (ギャラリーエークウッド) 東京 | 2683 2005年6月24日 内山聡 ギャラリー現 東京 | 2696 2005年7月25日 保科晶子 ギャラリー現 東京 | 2711 2005年8月22日 リチャード・ウィルソン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2669 2005年2月 ところミュージアム大三島 愛媛 | 2684 2005年6月 古郡弘 古郡弘展一森の魂塊 世界のタイル博物館 愛知 | 2697 2005年8月2日 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2712 2005年8月22日 リチャード・ウィルソンプロジェクト スタッフ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2670 2005年3月1日 遠藤利克 遠藤利克展—空洞説 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2685 2005年6月 古郡弘 古郡弘展一森の魂塊 世界のタイル博物館 愛知 | 2698 2005年8月3日 川俣正 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2713 2005年8月22日 リチャード・ウィルソン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2671 2005年3月1日 遠藤利克 遠藤利克展—空洞説 SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2686 2005年6月 古郡弘 古郡弘展一森の魂塊 世界のタイル博物館 愛知 | 2699 2005年8月5日 岡部昌生 トキアートスペース 東京 | 2714 2005年8月24日 ビュ〜びる 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2672 2005年3月16日 中村敬治、松井智恵、中村笙子 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2687 2005年7月4日 大森裕美子 ギャラリー現 東京 | 2700 2005年8月5日 岡部昌生 トキアートスペース 東京 | 2715 2005年8月24日 リチャード・ウィルソン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2673 2005年3月16日 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2688 2005年7月10日 堂本尚郎 作家スタジオ 東京 | 2701 2005年8月6日 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2716 2005年8月26日 クレイグ・ウォルシュ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2674 2005年4月1日 太田麻里 ギャラリー—東京ユマニテ 東京 | 2689 2005年7月14日 前本彰子 コバヤシ画廊 東京 | 2702 2005年8月8日 前田雅巳 ギャラリー山口 東京 | 2717 2005年9月6日 インゴ・ギュンター 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2675 2005年4月1日 前山忠 シロタ画廊 東京 | 2690 2005年7月17日 ローリー・アンダーソン—時間の記録 NTT インターコミュニケーション・ センター[ICC] 東京 | 2703 2005年8月8日 前田雅巳 ギャラリー山口 東京 | 2718 2005年9月8日 西野達郎 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2676 2005年4月14日 塩田千春 Kenji Taki Gallery 東京 | 2691 2005年7月19日 ローリー・アンダーソン—時間の記録 NTT インターコミュニケーション・ センター[ICC] 東京 | 2704 2005年8月9日 ビュ〜びる、天野太郎 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2719 2005年9月8日 高松次郎夫人、千葉由美子、中原佑介、 川俣正 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2677 2005年4月14日 ジョン・ジョナス Wako Works of Art 東京 | 2692 2005年7月21日 ローリー・アンダーソン、浅田彰 ローリー・アンダーソン—時間の記録 NTT インターコミュニケーション・ センター[ICC] 東京 | 2705 2005年8月9日 ビュ〜びる、木村絵里子 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2720 2005年9月10日 陳箴 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2678 2005年4月25日 ルック・デラー 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2693 2005年7月21日 ローリー・アンダーソン、浅田彰 ローリー・アンダーソン—時間の記録 NTT インターコミュニケーション・ センター[ICC] 東京 | 2706 2005年8月12-13日 ダニエル・ビュラン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2721 2005年9月11日 タニシ K 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2679 2005年4月25日 ルック・デラー 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2694 2005年7月21日 ローリー・アンダーソン—時間の記録 NTT インターコミュニケーション・ センター[ICC] 東京 | 2707 2005年8月13日 ダニエル・ビュラン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2722 2005年9月17日 西野達郎 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2680 2005年4月29日 ルック・デラー 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2695 2005年7月21日 ローリー・アンダーソン—時間の記録 NTT インターコミュニケーション・ センター[ICC] 東京 | 2708 2005年8月16日 奈良美智+graf 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2723 2005年9月17日 西野達郎 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2681 2005年5月12日 三沢厚彦 西村画廊 東京 | 2696 2005年7月21日 ローリー・アンダーソン—時間の記録 NTT インターコミュニケーション・ センター[ICC] 東京 | 2709 2005年8月16日 奈良美智 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2724 2005年9月22日 桃谷恵理子 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2682 2005年6月20日 多和英子 | 2697 2005年7月21日 ローリー・アンダーソン—時間の記録 NTT インターコミュニケーション・ センター[ICC] 東京 | 2710 2005年8月22日 リチャード・ウィルソン 横浜トリエンナーレ 2005 | |

| | | | |
|--|--|---|---|
| 2725 2005年9月23日 ナリ・ワード 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2754 2005年11月5日 堀尾貞治 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 神奈川 2769 2005年12月18日 身体表現サークル 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2726 2005年9月23日 マリア・ヴィルッカ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2740 2005年9月30日 照屋勇賢 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2755 2005年11月11日 安齊重男、和泉正敏 イサム・ノグチ庭園美術館 香川 | 2770 2005年12月18日 リュレンツ・バルバー 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2727 2005年9月23日 マリア・ヴィルッカ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2741 2005年10月7日 ヴォルフガング・ヴィンター&ベルトルト・ ホルベルト 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2756 2005年11月 雨宮庸介 ボイスプランニング 神奈川 | 2771 2005年12月18日 リュレンツ・バルバー 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2728 2005年9月23日 マリア・ヴィルッカ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2742 2005年10月7日 KOSUGE 1-16(土谷享、車田智志乃) 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2757 2005年11月 雨宮庸介 ボイスプランニング 神奈川 | 2772 2005年12月18日 堀尾貞治+現場芸術集団「空気」 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2729 2005年9月23日 マリア・ヴィルッカ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2743 2005年10月7日 池水慶一 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2758 2005年11月 雨宮庸介 ボイスプランニング 神奈川 | 2773 2005年12月18日 堀尾貞治+現場芸術集団「空気」 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2730 2005年9月24日 ロビン・ロード 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2744 2005年10月7日 ヴォルフガング・ヴィンター&ベルトルト・ ホルベルト 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2759 2005年11月 雨宮庸介 ボイスプランニング 神奈川 | 2774 2005年12月 山本正道 みずほ銀行 東京 |
| 2731 2005年9月24日 KOSUGE 1-16(土谷享、車田智志乃) 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2745 2005年10月7日 奈良美智+graf 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2760 2005年12月4日 宮崎進 宮崎進展一生きる意味を求めて 酒田市美術館 山形 | 2775 2005年 高嶺格 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2732 2005年9月24日 屋代敏博 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2746 2005年10月7日 奈良美智+graf 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2761 2005年12月4日 宮崎進 宮崎進展一生きる意味を求めて 酒田市美術館 山形 | 2776 2005年 奈良美智 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2733 2005年9月25日 ミハエル・サイルストルファー 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2747 2005年10月18日 堀尾貞治+現場芸術集団「空気」 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2762 2005年12月8日 マリア・ヴィルッカ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2777 2005年 奈良美智 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2734 2005年9月25日 安部泰輔 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2748 2005年10月18日 松井智恵 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2763 2005年12月10日 ション・グラッドウエル 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2778 2005年 西野達郎 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2735 2005年9月26日 ヴォルフガング・ヴィンター&ベルトルト・ ホルベルト 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2749 2005年10月23日 アトリエ・ヴァン・リースハウト 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2764 2005年12月10日 ビュ〜ピル 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2779 2005年 西野達郎 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2736 2005年9月26日 イングリッド・ムワンギ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2750 2005年10月23日 ダニエル・ビュラン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2765 2005年12月10日 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2780 2005年 ヴォルフガング・ヴィンター&ベルトルド・ ホルベルト 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2737 2005年9月26日 ジャコブ・ゴテル&ジャズン・ カラインドロス 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2751 2005年10月23日 堀尾貞治+現場芸術集団「空気」 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2766 2005年12月11日 アン・ハミルトン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2781 2005年 ヴォルフガング・ヴィンター&ベルトルド・ ホルベルト 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2738 2005年9月30日 ビュラン・サーカス・エトカン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2752 2005年10月26日 向井山朋子 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2767 2005年12月17日 堂本尚郎 世田谷美術館 東京 | 2782 2005年 ミハエル・サイルストルファー 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 |
| 2739 2005年9月30日 クレイグ・ウォルシュ | 2753 2005年10月30日 オムトン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2768 2005年12月18日 ダニエル・ビュラン 横浜トリエンナーレ 2005 | |

| | | | |
|--|---|---|--|
| 2783 2005年 陳箴 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2798 2005年 アトリエ・ヴァン・リースハウト 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 杉山雅之 村松画廊 東京 | 2827 2006年 4月12日 青木千絵 ギャラリー手 東京 |
| 2784 2005年 ダニエル・ビュラン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2799 2005年 照屋勇賢 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2813 2006年 2月13日 堀浩哉、野田裕示 ギャラリー山口 東京 | 2828 2006年 6月 3日 藤本幸三 天井のシェリー—西野達展 メゾンエルメス 東京 |
| 2785 2005年 ビュラン・サーカス・エトカン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2800 2005年 池水慶一 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2814 2006年 2月15日 建畠覚造、堀浩哉、石井厚生 ギャラリー東京ユマニテ、ギャラリー山口 東京 | 2829 2006年 6月 3日 西野達 天井のシェリー—西野達展 メゾンエルメス 東京 |
| 2786 2005年 ダニエル・ビュラン、ビュラン・サーカス・ エトカン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2801 2005年 照屋勇賢 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2815 2006年 2月15日 建畠覚造 ギャラリー東京ユマニテ、ギャラリー山口 東京 | 2830 2006年 6月 3日 西野達 天井のシェリー—西野達展 メゾンエルメス 東京 |
| 2787 2005年 ダニエル・ビュラン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2802 2005年 クレイグ・ウォルシュ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2816 2006年 2月15日 建畠覚造、村井進吾 ギャラリー東京ユマニテ、ギャラリー山口 東京 | 2831 2006年 6月22日 町田久美 西村画廊 東京 |
| 2788 2005年 ダニエル・ビュラン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2803 2005年 ビュ〜びる 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2817 2006年 2月15日 建畠覚造、石井厚生 ギャラリー東京ユマニテ、ギャラリー山口 東京 | 2832 2006年 6月26日 安齊重男 ギャラリー現 東京 |
| 2789 2005年 高松次郎 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2804 2005年 ビュ〜びる 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2818 2006年 2月15日 佐藤秀介 ギャラリー現 東京 | 2833 2006年 6月27日 古郡弘、入澤ユカ、青木正弘 “場”の喚起力と“場”からの創出—古郡弘 /佐川晃司— 豊田市美術館 愛知 |
| 2790 2005年 ルック・デルー、堀尾貞治+現場芸術集 団「空気」 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2805 2006年 1月10日 倉重光則 ギャラリー現 東京 | 2819 2006年 2月20日 みわはるき SPC GALLERY 東京 | 2834 2006年 7月 9日 内山聡 GALLERY HIRAWATA 神奈川 |
| 2791 2005年 堀尾貞治+現場芸術集団「空気」 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2806 2006年 1月13日 鷺見和紀郎 ヨコハマポートサイドギャラリー— 神奈川 | 2820 2006年 2月 建畠覚造 ギャラリー東京ユマニテ、ギャラリー山口 東京 | 2835 2006年 7月10日 小泉俊己 ギャラリーなつか 東京 |
| 2792 2005年 堀尾貞治+現場芸術集団「空気」 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2807 2006年 1月19日 太田麻里 多摩美術大学 東京 | 2821 2006年 2月 建畠覚造 ギャラリー東京ユマニテ、ギャラリー山口 東京 | 2836 2006年 7月24日 太田麻里 ギャラリー東京ユマニテ 東京 |
| 2793 2005年 マリア・ヴィルツカラ 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2808 2006年 1月28日 秋山祐徳太子 ギャラリー58 東京 | 2822 2006年 3月 2日 折元立身 BankART 神奈川 | 2837 2006年 7月24日 太田麻里 ギャラリー東京ユマニテ 東京 |
| 2794 2005年 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2809 2006年 1月28日 虎尾裕 ギャラリーせいほう 東京 | 2823 2006年 3月 2日 雨宮庸介 BankART 神奈川 | 2838 2006年 7月 古郡弘 “場”の喚起力と“場”からの創出—古郡弘 /佐川晃司— 豊田市美術館 愛知 |
| 2795 2005年 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2810 2006年 2月 2日 名和晃平 名和晃平—GUSH SCAI THE BATHHOUSE 東京 | 2824 2006年 3月 2日 須田悦弘 BankART 神奈川 | 2839 2006年 7月 古郡弘 “場”の喚起力と“場”からの創出—古郡弘 /佐川晃司— 豊田市美術館 愛知 |
| 2796 2005年 ダニエル・ビュラン 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2811 2006年 2月11日 岡村恵子、加須屋明子 転換期の作法 ポーランド、チェコ、 スロヴァキア、ハンガリーの現代美術 東京都現代美術館 東京 | 2825 2006年 3月 2日 岡崎和郎 横田茂ギャラリー— 東京 | 2840 2006年 7月 古郡弘 “場”の喚起力と“場”からの創出—古郡弘 /佐川晃司— 豊田市美術館 愛知 |
| 2797 2005年 トニーコ・レモス・アウアッド 横浜トリエンナーレ 2005 神奈川 | 2812 2006年 2月11日 | 2826 2006年 3月 古郡弘 古郡弘展—盆景・茅屋・胞衣 渋川市美術館 群馬 | |

| | | | |
|--|--|--|--|
| 2840 2006年8月5日 太田麻里 ギャルリー東京ユマニテ 東京 | アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 大野一雄 BankART 神奈川 | 新潟 |
| 2841 2006年8月5日 太田麻里 ギャルリー東京ユマニテ 東京 | 2854 2006年9月2日 レアンドロ・エルリッヒ 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2006 新潟 | 2868 2006年10月 雨宮庸介 Yuka Sasahar Gallery 東京 | 2882 2006年 古郡弘 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2006 新潟 |
| 2842 2006年8月9日 岡部昌生 川口アートファクトリー 埼玉 | 2855 2006年9月2日 リチャード・ディーコン 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2006 新潟 | 2869 2006年11月10日 佐々木誠 第一生命ギャラリー 東京 | |
| 2843 2006年8月9日 岡部昌生 川口アートファクトリー 埼玉 | 2856 2006年9月16日 吉川陽一郎 BankART 神奈川 | 2870 2006年11月11日 佐々隣 BankART 神奈川 | |
| 2844 2006年8月 辻けい 東和町 岩手 | 2857 2006年9月22日 ボニー・リシュラック アスク・アートスペースキムラ 東京 | 2871 2006年11月11日 菊池勇作 BankART 神奈川 | |
| 2845 2006年8月 渡辺豊重 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2858 2006年9月27日 青木千絵 多摩美術大学 東京 | 2872 2006年11月22日 吉川陽一郎、祐成政徳 かわさき IBM 市民文化ギャラリー 神奈川 | |
| 2846 2006年8月 菅沼緑 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2859 2006年9月29日 佐藤時啓 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2873 2006年11月25日 舟越桂、西村建治 西村画廊 東京 | |
| 2847 2006年8月 高山登 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2860 2006年10月1日 安齊重男 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2874 2006年11月 前本彰子、沖啓介 exhibit Live & Moris 東京 | |
| 2848 2006年8月 吉本義人 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2861 2006年10月2日 大隅秀雄 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2875 2006年11月 沖啓介 exhibit Live & Moris 東京 | |
| 2849 2006年8月 アニアス・ワイルダー アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2862 2006年10月23日 安齊重男、KITARCプロジェクト・チーム 金沢工業大学ライブラリーセンター 石川 | 2876 2006年12月2日 照沼敦朗 多摩美術大学鍾水青年美術館 東京 | |
| 2850 2006年8月 大隈秀雄 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2863 2006年10月23日 安齊重男、KITARCプロジェクト・チーム 金沢工業大学ライブラリーセンター 石川 | 2877 2006年12月2日 照沼敦朗、鍾水青年美術館スタッフ 多摩美術大学鍾水青年美術館 東京 | |
| 2851 2006年8月 安齊重男 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2864 2006年10月23日 安齊重男、KITARCプロジェクト・チーム 金沢工業大学ライブラリーセンター 石川 | 2878 2006年12月13日 翁譲 ちめんかのや 東京 | |
| 2852 2006年8月 岡部昌生 アート@つちざわ(土澤) 東和町 岩手 | 2865 2006年10月26日 安齊重男、KITARCプロジェクト・チーム 金沢工業大学ライブラリーセンター 石川 | 2879 2006年 山口啓介 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2006 新潟 | |
| 2853 2006年8月 佐藤時啓 | 2866 2006年10月28日 保科晶子 BankART 神奈川 | 2880 2006年 古郡弘 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2006 新潟 | |
| | 2867 2006年10月28日 | 2881 2006年 古郡弘 大地の芸術祭 越後妻有アートトリエン ナーレ 2006 | |

アムステルダム国立美術館所蔵
フェルメール「牛乳を注ぐ女」
とオランダ風俗画展
出品リスト

| | | |
|---|---|---|
| 1 「黄金時代」の風俗画 | 35.5×29 cm | 79 作者不詳、ホラント州 5枚のタイル(フェルメールの《牛乳を注ぐ女》に描かれたタイルと同種類のもの) 1660-1680年頃 ファイアンス陶器、青色彩色、釉薬 各辺約13 cm |
| 台所の情景と女の用人 | 15 ヤン・ハーフィクスゾーン・ステーン 女将と戯れる老人とバックギャモンに興じる二人の男のいる酒場の室内、通称「二種類の遊び」 1664年頃 油彩、カンヴァス 63×69.5 cm | 80 ニコラス・ホイエル 平鉢 1661年 銀 高さ8.5 cm、直径35.5 cm |
| 2 ヘンドリック・ポタイル 納屋に置かれた静物 1639-1649年頃 油彩、カンヴァス 77.5×65 cm | 16 ヤン・ハーフィクスゾーン・ステーン 酔っ払った男と女 1663-1665年頃 油彩、板 52.5×64 cm | 81 クラス・クラスゾーン・スホーン 塩入れ(2点) 1668年 銀 高さ15.5 cm、直径20.1 cm/高さ15.3 cm、直径17.5 cm |
| 3 ヤン・ハーフィクスゾーン・ステーン 金物を磨く女 1658-1660年頃 油彩、板 24.5×20 cm | 17 ヤン・ハーフィクスゾーン・ステーン 鸚鵡に餌をやる女、バックギャモンに興じる二人の男およびその他の人物のいる室内、通称「鸚鵡の鳥籠」 1665-1668年頃 油彩、板にカンヴァス 50×40 cm | 82 ピーテル・アルバルツ(に帰属) 燭台(2点) 1672年 銀 高さ35 cm/高さ34.5 cm |
| 4 ヤーコブ・フレル 暖炉端の女 1654-1662年頃 油彩、板 36×27.5 cm | 18 ヤン・ハーフィクスゾーン・ステーン 家族 1665-1668年頃 油彩、板 48.5×40 cm | 83 作者不詳、ネーデルラント フルート・グラス 17世紀後半 無色透明のガラス 高さ34.5 cm、直径10.4 cm |
| 5 ハブリエル・メッー 猫の朝食 1662-1664年 油彩、板 33.5×27 cm | 19 ヤン・ハーフィクスゾーン・ステーン ワインを飲む男と女 1668-1670年頃 油彩、板 24.5×21 cm | 84 作者不詳、ネーデルラントまたはドイツ レーマー杯 1650-1700年頃 濃緑色の透明のガラス 高さ13.3 cm、直径8.9 cm |
| 6 コルネーリス・ビスホッフ りんごの皮を剥く娘 1667年 油彩、板 70×57 cm | 版画 | 85 作者不詳、ネーデルラント 広口グラス 16世紀末-17世紀初頭 無色透明のガラスと青色ガラス 高さ21.8 cm、直径6 cm |
| 7 ウィレム・ファン・オーデルケケン(に帰属) 若い女の用人 1631-1677年 油彩、板 31×24 cm | 44 ヤーコブ・マータム 連作「聖書の主題のある台所と市場の場面」(3点はピーテル・アールツェンの絵画に基づき、2点はマータムが原画を制作) 1603年頃 エングレーヴィング | 86 作者不詳、北ネーデルラント オウムガイ杯 1600-1650年頃 オウムガイ、金メッキされた銀のマウント 高さ32 cm |
| 室内で | 44-1 「葡萄作りの譬え」のある市場の場面(アールツェンに基づく) 23.2×33.5 cm | 87 作者不詳、デルフト 香辛料入れ 1660-1680年頃 ファイアンス陶器、青色彩色、釉薬 高さ19.5 cm、横21 cm |
| 8 ヘラルト・テル・ボルフ 農民の衣装を身に着けた女 1650年頃 油彩、板 28×23 cm | 44-2 「エマオの晩餐」のある台所の場面 25.3×32.3 cm | 88 作者不詳、デルフト 花瓶 1693年 ファイアンス陶器、青色彩色、釉薬 高さ27.5 cm |
| 9 ヤーコブ・オホテルフェルト 楽師たち 1670-1675年頃 油彩、カンヴァス 75×60 cm | 44-3 「ラザロと金持ちの男」のある台所の場面 23.9×33.1 cm | 89 作者不詳、デルフト 冬景図皿 1650年 ファイアンス陶器、青色彩色、釉薬 高さ5.5 cm、直径37 cm |
| 10 カスバル・ネッチェル 子供の髪を梳く母のいる室内 1669年 油彩、板 44.5×38 cm | 44-4 「放蕩息子」のある市場の場面(アールツェンに基づく) 23.5×33.5 cm | 90 作者不詳、デルフト 風景のある陶板 1660年 ファイアンス陶器、青色彩色、釉薬 縦25 cm、横30 cm |
| 行商と屋台 | 44-5 台所の場面(アールツェンに基づく) 23.6×33 cm | 91 フレデリック・ファン・フレイトム 風景のある陶板 1670-1700年頃 ファイアンス陶器、青色彩色、釉薬 縦15 cm、横23.5 cm |
| 11 ハブリエル・メッー 鱈売りの女 1657-1658年頃 油彩、板 37×33 cm | 45 コルネーリス・デュサルト 連作「12ヶ月」 1680年代-1690年代頃 メゾティント 約21.5×15.5 cm | |
| 12 キリング・ヘリッツゾーン・ファン・ブレーケレンカム 魚売り 1650-1670年 油彩、板 30×26 cm | 2 フェルメール《牛乳を注ぐ女》 | |
| 13 ニコラス・マース(派) 野菜市 1659年頃 油彩、カンヴァス 71×91 cm | 1 ヨハネス・フェルメール 牛乳を注ぐ女 1658-1659年頃 油彩、カンヴァス 45.5×41 cm | |
| 飲酒と享楽 | 3 工芸品/フェルメールと音楽 | |
| 14 ハブリエル・メッー 食事をする男と女 1659-1660年頃 油彩、板で裏打ちされたカンヴァス | 工芸品 | |

[凡例]

No.

作家名

作品名

制作年

技法、材質 | サイズ

所蔵

※所蔵先表記のない作品はすべて

アムステルダム国立美術館の所蔵

| | | | |
|--|--|--|---|
| 92 ヨハネス・リュトマ2世 聖杯 1663年 部分的に金メッキされた銀 高さ28.5cm、底径：21cm、口径：12.2cm | 全長64.5cm 内径：頭部管2.4cm 中部管2.4cm 足部管1.8cm 有効管長57.3cm 学校法人上野学園 | 49-5 磨き仕事をする女 21.4×17.2cm | エッチング 9.6×7.9cm |
| 93 作者不詳、デルフト デルフトの聖職者ディオニシウス・ス ブランクハイゼンの肖像のある陶板 1660年 ファイアンス陶器、青色彩色、釉薬 縦19.5cm、横13.7cm | J 作者不詳、フランス ギター 1800年頃 69×18×6.3cm 単弦6コース 学校法人上野学園 | 50 ランベルト・ドームル(に帰属) 台所の女の使用者 1660年頃 黒褐色のペン、茶の淡彩、黒チョークで あたりづけ、白い紙 18×18.6cm | 62 ニコラース・ワルラーフェン・ファン・ ハーフェン 台所での愛の告白 1702年 エッチング 32.5×25.6cm |
| 94 作者不詳、北ネーデルラント アムステルダム市長ヨアン・ハイデコー ペルの肖像のある広口グラス 1660年 無色透明のガラス 高さ9cm、直径9.2cm | K ルイ・ヴァン・エムリック、レールダム ヴァージナル(リュッケルス作ミュージー ラー型ヴァージナルのコピー) 1984年 箱部分171×49.9cm 46鍵 学校法人上野学園 | 51 ワララン・ファイアン 縫い物をする女 1665年-1677年頃 メゾティント 28×21.7cm | 酒場の情景 63 コルネーリス・ペーハー 居酒屋に座る母親 17世紀中頃 エッチング 15.3×11.9cm |
| 古楽器 | 家具 | 52 パウルス・コンスタンティン・ラ・ファルグ ハーグの女の使用者 1775年 灰色のペン、多色水彩、白い紙 14.6× 10.6cm | 64 コルネーリス・ペーハー 居酒屋 17世紀中頃 エッチング 22.5×17.2cm |
| A ヨアヒム・ティールケ、ハンブルク ヴィオラ・ダ・ガンバ(バス) 1695年 118.5×36.7×12cm 弦数6 学校法人上野学園 | L テーブル 1630年(18世紀のレプリカ) 木 82×245×77cm 個人蔵 | 53 パウルス・コンスタンティン・ラ・ファ ルグ スヘーフェニンゲンの魚売りの女 1775年 灰色のペン、多色水彩、子牛皮紙 14.2 ×10.4cm | 65 ワララン・ファイアン 酒場で眠る子供を抱く女(コルネーリス ・ペーハーに基づく) 1665年-1677年頃 メゾティント 36×28.7cm |
| B 作者・制作地不詳 キット 制作年不詳(おそらく18世紀末) 51.6×6.5×3.5cm 弦数4 学校法人上野学園 | 4 版画と素描 | 54 ウィレム・ヨーセフ・ラキー 暖炉の前に座るふいごを持つ女の使用者 1770年代-1780年代頃 褐色で彩色、灰色に着色した紙 34.2× 28.5cm | 66 ヨハネス・フィスヘル 分別をなくした農夫(アドリアーン・ ファン・オスターデに基づく) 17世紀後半 エッチング 34.4×26.6cm |
| C マーニョ・デュイフォブリュカール、 ヴェネツィアリュート 1609年 75.2×33×15.3cm 学校法人上野学園 | 女の仕事 | 55 アレクサンデル・フーホー・バックル・ ゴルフ 「エキュリューズ」：テーブルに向かって 座り、金属器を磨く女の使用者 1871年 褐色のペン、白い紙 20.7×15.7cm | カリカチュアと寓意 67 ヘンドリック・デ・バリー 醜い老婆(フランス・ファン・ミーリスに 基づく) 17世紀後半 エングレーヴィング 25.3×18.6cm |
| D ルノ＝シャトラン、バリ アーチ・シタール 1781年 108.6×31.3×11.7cm 単弦1コース、複弦5コースと低音用 単弦5コース 計11コース 学校法人上野学園 | 46 ヒリス・ファン・スヘインデル 連作「8人の農民の女」より第2葉～第5葉 (ウィレム・バイテウエフに基づく) 1625年頃 エッチング | 56 アレクサンデル・フーホー・バックル・ ゴルフ 腰掛けて皿を洗う女 1875年 鉛筆、褐色のペン、灰色他の淡彩、黄褐 色に着色した紙 26.5×22.4cm | 68 ヘンドリック・デ・バリー 酔って居眠りをする女とそれを嘲笑う男 (酒は不遜)(フランス・ファン・ミーリス に基づく) 1670年 エングレーヴィング 29×19.3cm |
| E マティアス・アルバーニ、ボルツァーノ キタローネ 1696年 210×40×17.2cm 単弦6コースと低音用単弦8コース 計14コース 学校法人上野学園 | 46-1 エダムの農民の娘 21.1×13.5cm | 57 アドリアーン・ファン・オスターデ 食前の祈り 1653年 エッチング 15.6×13.1cm | 69 コルネーリス・デュサルト 「吸い玉放血法」を施す女 1695年 エッチング 25.8×17.9cm |
| F ジョヴァンニ・スモルソーネ、ローマ マンドーラ 1722年 55.9×13.7×7.8cm 複弦6コース 学校法人上野学園 | 46-2 ホルンの農婦 20.9×13.7cm | 58 コルネーリス・フィスヘル パンケーキを焼く女 1649-1658年頃 エングレーヴィングおよびエッチング 43.1×34.8cm | 70 コルネーリス・デュサルト 評判の高い靴屋 1695年 エッチング 25.2×17.9cm |
| G 作者不詳、フランス ハーディ・ガーディ おそらく18世紀前半 64.6×26.9×14.2cm 旋律弦2ドローン弦(開放弦)4 学校法人上野学園 | 46-3 アルクマールの農民の娘 21.4×13.7cm | 59 ピーテル・ブーテマン 授乳する女 17世紀後半 エッチング 29.5×22.5cm | 女性のイメージ 71 レンブラント・ファン・レイン 壁にひもで吊された玉葱の傍らに座る老女 1631年 エッチング 12.6×8.5cm |
| H ヨハン・パウル・ショルン、ザルツブルク ヴィオラ・ダモーレ 1701年 69.6×22.3×5.1cm 演奏弦6共鳴弦6 学校法人上野学園 | 47 レンブラント・ファン・レイン パンケーキを焼く女 1635年 エッチング 10.9×7.7cm | 男と女 60 アドリアーン・ファン・オスターデ 村の恋 1667年頃 エッチング 16.8×12.8cm | 72 レンブラント・ファン・レイン 帽子を脇に置いて入浴する女 1658年 エッチング・ドライポイント、和紙 15.6×12.9cm |
| I リチャルト・ハカ、アムステルダム リコーダー 17世紀末 | 48 ディルク・クーデイク 鯨を手にした老女(ハブリエル・メッ ラに基づく) 1731年 メゾティント 30.6×22cm | 61 アドリアーン・ファン・オスターデ 立ち話をする男と女 1675年頃 | 73 レンブラント・ファン・レイン ストーブの前に座る半裸の女 1658年 エッチング・ビュラン・ドライポイント、 和紙 22.8×18.7cm |

74
フェルディナント・ボル
梨を持つ窓辺の女
1651年
エッチング | 14.6×11.9 cm

75
ヘラルト・ファルク
居眠りをする少女(ミヒール・ファン・
ミュスヘルに基づく)
17世紀末-18世紀初頭
メゾティント | 35×25.3 cm

76
ヘラルト・ファルク
蚕とりをする女(ミヒール・ファン・
ミュスヘルに基づく)
17世紀末-18世紀初頭
メゾティント | 34.9×25 cm

77
ニコラース・フェルコリエ
蠟燭を持つ少女(ホットフリート・スハ
ルケンに基づく)
18世紀初頭
メゾティント | 28×23.5 cm

78
ニコラース・フェルコリエ
蠟燭を持つ寝台の上の女(ホットフリート
・スハルケンに基づく)
18世紀前半
メゾティント | 28.1×23.5 cm

5 偉大なる17世紀の継承と模倣

商店と配達

20
ウィレム・ファン・ミーリス
家禽商
1733年
油彩、板 | 39×32.5 cm

21
フランス・ファン・ミーリス 2世
雑貨商の女店主
1715年
油彩、板 | 39×33.5 cm

22
アドリアーン・デ・レリー
朝の訪問
1796年
油彩、板 | 53×43 cm

台所の情景と女の使用人

23
ウィレム・ヨーセフ・ラキー
台所にて
1760-1771年
油彩、カンヴァス | 62.5×53 cm

24
ヤコーブス・ヨハネス・ラウウェルス
井戸から水を汲む女
1799年
油彩、カンヴァス | 44×36 cm

25
アブラハム・ファン・ストレイ 1世
大鍋の内側を磨く女
1808-1810年頃
油彩、カンヴァス | 34×27 cm

26
ヘンドリック・ファン・デル・ブルフ
乳搾りのあとで
1825-1827年頃
油彩、板 | 48×37 cm

27
アドリアーン・ムーレマンス
ランプの明りに照らされた台所
1817年頃
油彩、板 | 50×40 cm

28
ミヒール・フェルステーフ
台所の女
1817年頃
油彩、板 | 49×43 cm

室内で

29
ヤン・ヨーセフ・ホーレマンス 2世
陽気な仲間たち
1740-1760年
油彩、カンヴァス | 39.5×31.5 cm

30
ヤン・エーケルス 2世
ペンを削る男
1784年
油彩、板 | 27.5×23.5 cm

31
アブラハム・ファン・ストレイ 1世
主婦
1800-1811年頃
油彩、板 | 56.5×49 cm

32
ウェイブラント・ヘンドリクス
室内で縫物をする女
1800-1810年頃
油彩、板 | 34.4×29.3 cm

6 19世紀後半のリアリズムの風俗画

針仕事をする女性

33
アレクサンデル・フーホー・バックル・
コルフ
ぼろ布の籠
1850-1860年頃
油彩、板 | 21×16 cm

34
ヨーゼフ・イスラエルス
小さなお針子
1854-1888年頃
油彩、カンヴァス | 75×61 cm

35
ヨーゼフ・イスラエルス
お針子
1854-1911年頃
水彩、白い紙 | 41.4×30.4 cm

36
クリストッフェル・ビスホッフ
日の当たる一隅
1860-1888年頃
水彩、白い紙 | 76×50.7 cm

台所の情景

37
アレクサンデル・フーホー・バックル・
コルフ
ワッフルを焼く女
1858-1860年頃
油彩、板 | 10.9×8.5 cm

38
マテイス・マリス
台所
1859年頃
油彩、板で裏打ちされたカンヴァス
20×20 cm

39
ウィレム・アドリアーン・アレクサンデル
・リールヌル
スヘーフェニンゲンの田舎家の室内
1887年
油彩、板 | 13×17 cm

40
ヘンドリック・ヨハネス・ウェイセンブ
ルッフ
ハーグの画家の家の地階

1888年
油彩、カンヴァス | 39×51 cm

室内で

41
ヤーコブ・マリス
窓辺の少女
1865-1875年頃
油彩、板 | 41×20.5 cm

42
ニコラース・ファン・デル・ヴァーイ
アムステルダム孤児院の少女
1900年頃
油彩、カンヴァス | 69×43.5 cm

43
イサーク・イスラエルス
女の使用人
制作年不詳
水彩、白い紙 | 67×21.9 cm

文化庁芸術家在外研修制度
40周年記念 『旅』展—異文化
との出会い、そして対話—
出品リスト

| | | |
|---|---|--|
| 奥谷博 自画像と自寫像 - le puy - 2007 186.0×231.0 油彩、キャンバス | 峯田義郎 旅を続ける男 2007 200.0×100.0×100.0 ブロンズ | 岩絵具、墨、膠、麻紙 |
| 渡辺栂三 虹の根もとに 2007 182.0×226.0 油彩、ポリエステルフィルム | 絹谷幸二 蒼天富嶽龍宝図 2007 194.0×259.0 ミクストメディア、金箔、顔彩 | 若江漢字 古への旅 FuRa・FuRa 2007 146.0×224.0 アクリル、キャンバス |
| 一色邦彦 悠遠の彼方 2007 200.0×200.0×55.0 FRP | 山本衛士 空と大地の間に 2007 130.0×190.0×120.0 ステンレス、ゾーストーンプラスター、彩色 | 池田宗弘 M. A. 旅人《エンマウスへ》 2007 246.0×230.0×90.0 真鍮(熔接、鍛造)、ブロンズ鑄造、FRP(一部使用) |
| 小島信明 ランドスケープ(風景) 2007 193.5×247.0 油彩、鉄線、FRP、パネル | 大成浩 陽風 No.5 2007 150.0×150.0×35.0 石彫 | 石踊紘一 帰り道 2007 181.8×227.3 岩絵具、紙 |
| 馬越陽子 人間の河—旅— 2007 259.1×193.9 油彩、岩彩、キャンバス | 高柳裕 旅 2007 106.0×74.5 コラージュ、紙 | 市野英樹 ひとたち 2007 181.8×227.4 油彩、キャンバス |
| 白野文敏 内、外(層) 2007 140.0×259.0 アクリル、方解末、キャンバス、パネル | 相笠昌義 交差点にて、あるく人 2007 145.5×227.3 油彩、キャンバス | 三澤憲司 磁力の無化 2007 270.0×130.0×130.0 金属、石、木、ミクストメディア |
| 豊島弘尚 雨月 2007 227.0×227.0 墨、油彩、銀箔、キャンバス | 櫃田伸也 塔 2007 259.0×162.0 油彩、キャンバス | 川口起美雄 金魚の夜 2007 117.0×258.0 テンペラ、油彩、パネルに石膏地 |
| 最上壽之 トコトン ドウチュウ マヌケニトシマ 2007 248.8×45.7×60.0、159.7×21.0×21.0 松、槻、彩色 | 齋藤研 遭遇 2007 194.0×259.0 油彩、キャンバス | 河内成幸 宇宙の詩(起、承転、結) 2007 91.5×182.0 木版、凹凸水性木版(各7版13色13度刷)、細川生鹿奉書紙 |
| 小嶋悠司 穢土 2007 160.0×258.2 岩絵具、箔、膠彩・デトランプ、麻布 | 田辺和郎 つながっているような、いないような 2007 77.0×160.0 石膏、墨汁、木 | 菊竹清文 Fifth Dimension 2007 200.0×160.0×40.0 ステンレス、鉄、モーター、センサー |
| 櫻井農正 エンジェル幻影 2007 227.3×181.8 ミクストメディア | 池田良二 反射光との遭遇 2007 125.0×200.0 エッチング、アクアチント、メゾチント、ペランアルシュ紙に Ryoji's 雁皮刷り | 田村能里子 沙羅漢 2007 162.0×162.0 油彩、キャンバス |
| 原健 望潮 SIOMANEKI-0710 2007 228.0×182.0 油彩、キャンバス | 伊庭新太郎 電球 2007 162.1×193.9 油彩、パネル | 有地好登 稜線の景—花弁 2007 52.3×236.0 エッチング、アクアチント、エンボシング、紙 |
| 松本旻 自由の女神 2007 194.0×224.0 アクリル、キャンバス | 上條陽子 記録 2007 194.0×259.0 ミクストメディア、紙 | 遠藤彰子 悠々とした空の下で 2007 245.0×270.8 油彩、キャンバス |
| 今井信吾 音のない風景・25年・永代橋 2007 194.0×260.0 油彩、キャンバス | 村山きおえ プラハの新雪 2007 182.0×259.0 油彩、キャンバス | 深沢軍治 時 2007 182.2×259.0 油彩、板(カゼイン地)、綿 |
| 戸田康一 割れた硝子の部屋(Ⅱ) 2007 181.8×227.3 膠彩、膠、岩絵具、水干絵具、雲肌麻紙 | 森野眞弓 WATER MARK V-3 2006 260.0×188.0 ヒートグラフ、フェルト、蜜ろう | 浜西勝則 土壁 2007 60.0×80.0 メゾチント、紙 |
| 船坂芳助 私の次元と空間、M 2007 66.0×63.0 木版、シルスクリーン、紙 | 谷中武彦 南からの風 2007 150.0×225.0 | 木村秀樹 グリッド 8-12 2007 130.0×162.0 スキージング、アクリル、キャンバス |

[凡例]
作家名
作品名
制作年
サイズ(cm)
技法・材質

| | | | |
|---|--|--|---|
| 島谷晃 旅路のはてに見つけた幸せ 2007 180.0×259.0 アクリル、キャンバス、ボード | 194.0×259.0 油彩、コラージュ、キャンバス | 三浦明範 鴛 2007 162.0×193.0×4.0 シルバーポイント、黒鉛、墨、パネル | 油彩、キャンバス |
| 松永久 相 2007 259.0×162.0 油彩、アクリル、キャンバス | 柳澤紀子 Test Zone I 2007 212.0×223.0 ミクストメディア(版画、鉛筆、コンテ、インク、日本画顔料、和紙、水彩紙) | 前田哲明 アンタイトルドゥ 08-1 2007 255.0×200.0×200.0 鉄、木材(焼成着色) | 加藤修 鉛の權—記憶に残して生きる 2007 194.0×259.0 油彩、鉛、木、紙 |
| 金森宰司 ライフ・童心「空飛ぶ?自動車」 2007 182.0×227.0 油彩、キャンバス | 山口啓介 on DU Child 2007 254.0×200.0 ミクストメディア、木版 | 関直美 傾き15° 2007 265.0×200.0×150.0 木材、他 | 木下恵介 Scene-Dut 0706 2007 200.0×200.0 リトグラフ、エッチング、アクアチント |
| 北久美子 風 2007 193.9×259.1 油彩、アクリル、キャンバス | 山本直彰 放蕩息子の帰還 2007 130.3×162.0 岩絵具、箔、樹脂膠、パネルに薄美濃紙 | 福島瑞穂 不毛なる 2007 193.9×259.1 油彩、キャンバス | 中嶋明 長い旅を前にした最後の短い休息 2007 194.0×259.0 テンペラ、ミクストメディア、キャンバス |
| 北條正庸 ローマの日々 2007 176.0×220.0 顔料、雲肌麻紙 | 吉岡正人 森を出る 2007 194.0×259.0 テンペラ、水彩、油彩、石膏地キャンバス | 山本明比古 天竺逍遙譚 2007 194.0×259.0 油彩、キャンバス | 金井訓志 バブロの目 2007 194.0×244.0 金箔、アクリルガッシュ、石膏地に膠、他 |
| 星野美智子 記憶する薔薇—探索の旅IV 2007 71.0×100.0 リトグラフ(ウォーターレス技法)、紙 | 秋岡美帆 光の間01-10-1-1 2007 153.5×213.0 NECO、麻紙 | 石井武夫 ポート 2007 193.9×259.1 アクリル、油彩、キャンバス | 金子亨 四月 2007 194.0×259.0 油彩、白亜地、板 |
| 山田修市 生まれるイメージ2007 2007 194.0×259.1 油彩、キャンバス | 下川昭宣 森の声 2007 65.0×65.0×68.0 石彫、黒花崗岩 | 滝純一 沈黙 2007 181.0×227.0 油彩、テンペラ、金箔、板 | 佐藤幸代 東方から 2007 182.0×259.0 ミクストメディア、アクリル、顔料、パネル、和紙 |
| 安達博文 煙りのゆくえ06/10/2007 2007 194.0×259.0 テンペラ、岩彩、アクリル、水彩、白亜地、パネル | 中村文子 故国へ 2007 170.0×215.0 紙本彩色 | 橋本とも子 転回点 2007 224.0×162.0 油彩、箔、キャンバス | 渋谷和良 マールブルグからの眺め 2007 227.0×227.0 油彩、キャンバス |
| 久野和洋 地の風景 2007 197.0×259.0 油彩、キャンバス | 浅野均 山岳深処 2007 220.0×220.0 やまと絵の伝統技法、金箔、銀箔、墨、岩彩、楮紙 | 蛭田均 ブルージュ 2007 195.0×260.0 油彩、キャンバス | 西成田洋子 記憶の領域 2007-M 2007 85.0×91.0×40.0 古着、バッグ、皮革、新聞紙、ワイヤー、鉄 |
| 八木幾朗 部屋から 2007 259.0×174.0 岩絵具、墨、金箔他、和紙 | 梶滋 ゆらぎの柱 2006 122.0×39.0×36.0 木彫、ファルカタ | 坂本佳子 基隆 2007 227.0×227.0 油彩、アクリル、パネル、布 | 井田勝己 時の記憶・07 2007 130.5×118.0×100.0 紙、木、プラス、花崗岩 |
| 相田幸男 souvenirs de l'ouest…ルネッサンスへのオマージュ 2007 181.8×259.0 油彩、キャンバス | 諏訪教 Stereotype Japanese 03 Whaling (制作途中) 2007 194.0×97.0 油彩、キャンバス | 原高史 サインズ・オブ・マイ・メモリー-2007 No.1 2007 164.0×224.0 アクリル、キャンバス | 大場再生 九月の記憶 2007 181.8×227.3 油彩、キャンバス |
| 伊藤育子 未来へ 2003 162.0×94.0 ミクストメディア | 天野純治 FIELD OF WATER #07505 2007 80.0×120.0 シルクスクリーン、ステンシル | 筆塚稔尚 棘(右と左) 2007 90.0×180.0 シルクスクリーン、木版、紙 | 絹谷幸太 アマゾン河の畔にて 2007 110.0×230.0×25.0 石、砂 |
| 内田あぐり 私の前にいる、目を閉じている 2007 240.0×240.0 岩絵具、墨、膠布、楮紙、麻紙、パネル | 鍋島正一 周縁の聖人 2007 200.0×240.0 油彩、テンペラ、キャンバス | 間島秀徳 Kinesis No. 330(blue) 2007 直径235.0×5.5 水、墨、アクリル、顔料、樹脂膠、パネルに麻紙 | 畠中光享 風の日 2007 155.0×240.0 岩彩、パネル、綿布 |
| 瀬川富紀男 旅の内外 2007 194.0×259.0 油彩、キャンバス | 北郷悟 空から 2007 210.0×60.0×60.0 テラコッタ | 山内和則 ルーム 2007 90.0×180.0 油彩、キャンバス | 川村悦子 青く晴れし空よりしずやかに風吹き 2007 83.5×253.3 油彩、黒箔、板、キャンバス |
| 玉川信一 地の耳 2007 | 重政啓治 たいふ〜ん 2007 181.8×227.3 岩絵具、墨、染料、楮紙 | 小川巧 フェイス 2007 259.0×194.0 | 丸山峰子 無題 2007 190.0×190.0 墨、銀箔、泥絵具、雲肌麻紙 |

没後50年 横山大観
—新たな伝説へ
出品リスト

| | | |
|--|---|---|
| 1 官女模写 1889～91年(明治22～24) 紙本墨画 一面 59.6×43.3 東京藝術大学 | 絹本着色 一幅 123.5×56.7 滋賀県立近代美術館 | 24 水國の夜 1911年(明治44)頃 絹本着色 一幅 157.0×86.0 茨城県近代美術館 |
| 2 仏頭写生 1889～91年(明治22～24) 紙本墨画 一面 59.0×47.0 東京藝術大学 | 13 阿やめ(水鏡) 1901年(明治34)頃 絹本着色 一幅 130.3×69.7 (財)横山大観記念館 | 25 観音 1912年(明治45)頃 絹本着色 一幅 131.0×51.0 東京国立近代美術館 |
| 3 海岸図 1891～93年(明治24～26) 紙本着色 一面 37.5×53.5 東京藝術大学 | 14 夕立 1902年(明治35) 絹本着色 一幅 116.0×50.0 茨城県近代美術館 | 26 五柳先生 1912年(明治45) 紙本金地着色 六曲一双 各171.2×363.5 東京国立博物館 |
| 4 村童観猿翁 1893年(明治26) 絹本着色 一面 110.5×180.5 東京藝術大学 | 15 迷児 1902年(明治35) 絹本木炭 一幅 185.7×142.0 | 27 ◎瀟湘八景 1912年(大正元) 絹本着色 八幅 各114.4×60.6 東京国立博物館 |
| 5 寂靜 1896年(明治29) 絹本着色 一幅 52.3×79.3 | 16 歸牧図 1904年(明治37)頃 絹本着色 一幅 110.2×41.6 ポストン美術館 | 28 松並木 1913年(大正2) 絹本着色 一幅 190.9×85.4 靈友会妙一記念館 |
| 6 四季山水図(伝・雪舟筆)・模写 1897年(明治30) 紙本着色 四幅 各70.6×43.9 東京国立博物館 | 17 金魚図 1904年(明治37)頃 絹本着色 一面 31.7×46.9 ポストン美術館 | 29 柳蔭 1913年(大正2) 絹本金地着色 六曲一双 各191.8×546.8 東京国立博物館 |
| 7 無我 1897年(明治30) 絹本着色 一幅 148.4×87.2 東京国立博物館 | 18 月夜の波図 1904年(明治37)頃 絹本着色 一面 46.7×62.3 ポストン美術館 | 30 若葉 1914年(大正3) 絹本着色 一幅 188.8×65.3 西宮市大谷記念美術館 |
| 8 菊慈童 1897年(明治30)頃 絹本着色 一幅 152.2×84.4 | 19 海図 1904年(明治37)頃 絹本着色 一面 46.8×61.1 ポストン美術館 | 31 游刃有余地 1914年(大正3) 絹本着色 二幅 各187.8×87.7 東京国立博物館 |
| 9 屈原 1898年(明治31) 絹本着色 一面 132.7×289.7 巖島神社 | 20 杜鵑 1908年(明治41)頃 絹本着色 一幅 120.0×49.0 | 32 荒川繪巻(長瀨之巻、赤羽之巻) 1915年(大正4) 紙本着色 二巻 長瀨之巻：31.5×1787.9 赤羽之巻：31.5×1243.2 株式会社ヤマタネ |
| 10 飛泉 1900年(明治33)頃 絹本着色 一幅 110.1×49.1 愛知県美術館 | 21 流燈 1909年(明治42) 絹本着色 一幅 143.1×51.1 茨城県近代美術館 | 33 焚火 1915年(大正4) 絹本着色 三幅 左右：各135.8×56.7 中央：135.6×41.6 熊本県立美術館 |
| 11 曳船 1901年(明治34) 絹本着色 一幅 139.2×68.6 足立美術館 | 22 釈迦十六羅漢 1910年(明治43) 絹本着色 二幅 各119.3×51.0 | 34 雲去来 1917年(大正6) 絹本墨画 六曲一双 各168.2×373.0 熊本県立美術館 |
| 12 月下救童 1901年(明治34)頃 | 23 山路 1911年(明治44) 絹本着色 一幅 159.6×70.9 京都国立近代美術館 | |

[凡例]
No.
作品名(◎重要文化財)
制作年
材質技法
員数
寸法(cm)
所蔵

| | | | |
|---|---|---|--|
| 35 秋色 1917年(大正6) 絹本金地着色 六曲一双 各165.5×367.2 | 絹本着色 一幅 184.7×88.4 熊本県立美術館 | 203.0×97.4 湊川神社 | 69 春光る(樹海) 1946年(昭和21) 紙本墨画 一幅 69.2×101.0 |
| 36 群青富士 1917~18年(大正6~7)頃 絹本金地着色 六曲一双 各176.0×384.0 静岡県立美術館 | 47 愛宕路 1921年(大正10) 絹本着色 一幅 184.5×72.2 足立美術館 | 58 龍蛟躍四溟 1936年(昭和11) 紙本墨画 六曲一双 各177.0×372.0 宮内庁三の丸尚蔵館 | 70 四時山水 1947年(昭和22) 紙本着色 一卷 45.4×2687.7 (財)横山大観記念館 |
| 37 喜撰山 1919年(大正8) 紙本着色 二曲一隻 83.9×141.8 | 48 ◎生々流転 1923年(大正12) 絹本墨画 一卷 55.3×4070.0 東京国立近代美術館 | 59 瀾声 1939年(昭和14) 紙本墨画 一幅 76.2×115.2 | 71 蓬萊山 1949年(昭和24)頃 紙本着色 一幅 232.0×240.0 高島屋史料館 |
| 38 洛中洛外雨十題 堅田暮雨 1919年(大正8) 絹本着色 一幅 50.0×70.2 株式会社常陽銀行 | 49 早春 1924年(大正13) 絹本着色 一幅 67.2×87.7 (財)水府明德会 彰考館徳川博物館 | 60 海に因む十題 波騒ぐ 1940年(昭和15) 紙本着色 一幅 73.8×107.0 霊友会妙一記念館 | 72 流れ行く水 1950年(昭和25) 紙本着色 一幅 65.1×97.6 足立美術館 |
| 39 洛中洛外雨十題 辰巳橋夜雨 1919年(大正8) 絹本着色 一幅 49.5×70.0 株式会社常陽銀行 | 50 東山 1924年(大正13) 絹本墨画 一幅 68.5×101.0 東京国立近代美術館 | 61 海に因む十題 海潮四題・春 1940年(昭和15) 紙本着色 一幅 71.2×95.6 霊友会妙一記念館 | 73 或る日の太平洋 1952年(昭和27) 紙本着色 一面 135.0×68.5 東京国立近代美術館 |
| 40 洛中洛外雨十題 三条大橋雨 1919年(大正8) 絹本着色 一幅 49.5×70.2 株式会社常陽銀行 | 51 鸚鵡図 1926年(大正15) 紙本墨画 一幅 79.0×106.0 宮内庁三の丸尚蔵館 | 62 海に因む十題 海潮四題・夏 1940年(昭和15) 紙本着色 一幅 71.7×96.0 足立美術館 | 74 雲峰飛鶴 1953年(昭和28) 絹本着色 一幅 65.0×86.5 (財)横山大観記念館 |
| 41 洛中洛外雨十題 宇治川雷雨 1919年(大正8) 絹本着色 一幅 50.0×70.3 株式会社常陽銀行 | 52 比良山の月 1926年(大正15) 絹本墨画 一幅 54.3×72.2 | 63 海に因む十題 海潮四題・冬 1940年(昭和15) 紙本着色 一面 72.7×95.6 足立美術館 | 75 風蕭々兮易水寒 1955年(昭和30) 絹本墨画 一幅 65.0×87.0 |
| 42 洛中洛外雨十題 八幡緑雨 1919年(大正8) 絹本着色 一幅 50.9×70.3 滋賀県立近代美術館 | 53 瀟湘八景 1927年(昭和2) 紙本墨画 八幅 各70.0×120.0 大倉集古館 | 64 山に因む十題 龍躍る 1940年(昭和15) 紙本墨画 一幅 81.0×119.5 足立美術館 | 特別出品 ◎五龍図巻 伝・陳容筆 13世紀(南宋時代) 紙本墨画 一卷 45.2×299.5 東京国立博物館 |
| 43 雨後 1919年(大正8) 紙本墨画 一幅 76.5×126.8 東京国立博物館 | 54 飛泉 1928年(昭和3) 絹本墨画 二幅 各172.7×71.5 宮内庁三の丸尚蔵館 | 65 山に因む十題 雨霽る 1940年(昭和15) 紙本墨画 一幅 81.2×114.3 足立美術館 | ◎遠浦帰帆図 伝・牧谿筆 13世紀(南宋時代) 紙本墨画 一幅 32.3×103.6 京都国立博物館 |
| 44 靈峰十趣・夜 1920年(大正9) 絹本着色 一面 60.3×85.0 メナード美術館 | 55 夜桜 1929年(昭和4) 紙本着色 六曲一双 各177.5×376.8 大倉集古館 | 66 野に咲く花二題(蒲公英・薊) 1942年(昭和17) 紙本着色 二幅 各69.2×95.2 | ◎横楓図屏風 尾形光琳筆 18世紀(江戸時代) 紙本金地着色 六曲一隻 139.0×352.2 東京藝術大学 |
| 45 胡蝶花 1921年(大正10) 絹本着色 一面 74.0×50.0 株式会社常陽銀行 | 56 紅葉 1931年(昭和6) 紙本着色 六曲一双 各163.3×361.0 足立美術館 | 67 南溟の夜 1944年(昭和19) 紙本着色 一幅 81.5×90.0 東京国立近代美術館 | |
| 46 老子 1921年(大正10) | 57 大楠公 1935年(昭和10) 紙本着色 一幅 | 68 正気放光 1944年(昭和19) 紙本墨画 一面 75.6×119.5 檀原神宮宝物館 | |

平成19年度[第11回]
文化庁メディア芸術祭
出品リスト

| | | |
|---|------------------------------------|------------------------------|
| アート部門 | 審査委員会推薦作品 | 2007 |
| nijuman no borei (200000 Phantoms) | インタラクティブ・アート | |
| Jean-Gabriel PERIOT | 紹介映像 | electric life line |
| 大賞 | 2007 | 小酒井祥悟 |
| 映像 | 複眼体験 | 審査委員会推薦作品 |
| 映像 | 陣内利博 | 映像 |
| 2007 | 審査委員会推薦作品 | 映像 |
| | インタラクティブ・アート | 2006 |
| Se Mi Sei Vicino (If you are close to me) | 体験展示 | SHATTER |
| Sonia CILLARI | 2007 | 中間耕平 |
| 優秀賞 | | 審査委員会推薦作品 |
| インタラクティブ・アート | alkaloidrome | 映像 |
| 実物 | 戸島麻貴 | 映像 |
| 2006 | 審査委員会推薦作品 | 2007 |
| | インスタレーション | |
| ビュー・ビュー・View | 実物 | Sweet Dream |
| blue elephant | 2007 | 黄博志 |
| 優秀賞 | | 審査委員会推薦作品 |
| インタラクティブ・アート | Arctic Sanctuary | 映像 |
| 実物 | Nimrod WEIS & ENESS | 映像 |
| 2006 | 審査委員会推薦作品 | 2006 |
| | インスタレーション | |
| Camera Lucida : Sonochemical Observatory | 紹介映像 | Waxx |
| Evelina DOMNITCH / Dmitry GELFAND | 2007 | Paul KOPETKO |
| 優秀賞 | | 審査委員会推薦作品 |
| インスタレーション | Hallway sculpture | 映像 |
| 実物 | ghosh | 映像 |
| 2007 | 審査委員会推薦作品 | 2006 |
| | インスタレーション | |
| ISSEY MIYAKE A-POC INSIDE. | 紹介映像 | 空層 |
| 佐藤雅彦＋ユーフラテス | 2007 | 島田尊公 |
| 優秀賞 | | 審査委員会推薦作品 |
| 映像 | seeker | 映像 |
| 映像 | Leon CMIELEWSKI / Josephine STARRS | 2007 |
| 2006 | 審査委員会推薦作品 | |
| | インスタレーション | |
| Super Smile | 紹介映像 | ムサシノ プラトール |
| Effie WU | 2006 | 高橋信雄 |
| 奨励賞 | | 審査委員会推薦作品 |
| 映像 | sight seeing spot | 映像 |
| 映像 | 萩原健一 | 映像 |
| 2007 | 審査委員会推薦作品 | 2006 |
| | インスタレーション | |
| CHARACTERS | 実物 | BOTECH-art |
| Wolf Nkole HELZLE / AKAMATSU Masayuki | | 村山誠 |
| 審査委員会推薦作品 | Slide Movie | 審査委員会推薦作品 |
| インタラクティブ・アート | Gebhard SENGMUELLER | 静止画 |
| 紹介映像 | 審査委員会推薦作品 | 実物 |
| 2007 | インスタレーション | 2007 |
| | 紹介映像 | |
| elastic_cell | 2006 | Dishes |
| 飯沢未央 | www. g-turns. com | Till NOWAK |
| 審査委員会推薦作品 | Jens BRAND | 審査委員会推薦作品 |
| インタラクティブ・アート | 審査委員会推薦作品 | 静止画 |
| 紹介映像 | インスタレーション | 実物 |
| 2007 | 紹介映像 | 2007 |
| | 2007 | |
| Slot Machine Drawing | 空中ファンデーション | lait, une couleur |
| 草地映介/渡邊淳司 | 山崎連基 | Frode & Marcus |
| 審査委員会推薦作品 | 審査委員会推薦作品 | 審査委員会推薦作品 |
| インタラクティブ・アート | インスタレーション | 静止画 |
| 実物 | 実物 | 実物 |
| 2007 | 2007 | 2007 |
| | | |
| SONIC Floor | 地下展 UNDERGROUND—空想と科学が | LiGHT STUFF~help ! |
| 石橋素+真鍋大度 | もたらす闇の冒険 | 北山雅和のデザイン 1993~2007 |
| 審査委員会推薦作品 | 日本科学未来館「地下展」プロジェクト | 北山雅和 |
| インタラクティブ・アート | ーム | 審査委員会推薦作品 |
| 紹介映像 | 審査委員会推薦作品 | 静止画 |
| 2007 | インスタレーション | 実物 |
| | 紹介映像 | 2007 |
| Stability, Disaster Log | 2007 | no quiet new collection 2006 |
| Karolina SOBECKA | | 干場邦一 |
| 審査委員会推薦作品 | 20010218—20060218 | 審査委員会推薦作品 |
| インタラクティブ・アート | 藤井史朗 | 静止画 |
| 実物 | 審査委員会推薦作品 | 実物 |
| 2007 | 映像 | 2007 |
| | 映像 | |
| ためいきまじり | 2007 | Visual Genealogy |
| 坂本のどか | | SEO June Seok / PARK Jin Wan |
| 審査委員会推薦作品 | Aperspectival House | 審査委員会推薦作品 |
| インタラクティブ・アート | Van McELWEE | 静止画 |
| 実物 | 審査委員会推薦作品 | 実物 |
| 2007 | 映像 | 2007 |
| | 映像 | |
| 場の記憶 | 映像 | Yellow Eight |
| 野口靖 | 映像 | James FAURE WALKER |

[凡例]
作品名
作者名
賞名
作品形式
展示形態
制作年

| | | | |
|---|--|--|---|
| 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007 | ティー・アール・エフ・エフ・ディー・ジー 岡田尚志 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | スーパーペーパーマリオ 「スーパーペーパーマリオ」開発チーム 代表 川出亮太 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007 | 杉山実 審査委員会推薦作品 キャラクター 紹介映像 2006 |
| 空間観察 西村宜起 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007 | マキシシコミック 熊沢新之助 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | ゼルダの伝説 トワイライトプリンセス 「ゼルダの伝説 トワイライトプリンセス」 開発チーム代表 青沼英二 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2006 | actface 「actface」制作チーム代表 猪子寿之 審査委員会推薦作品 その他(携帯電話) 模型十紹介映像 2007 |
| 自由奔放で生きる事とは？ ヤマダヒデキ 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007 | エンターテインメント部門 Wii Sports 「Wii Sports」開発チーム代表 太田敬三 大賞 ゲーム 実機体験十紹介映像 2006 | ゼルダの伝説 夢幻の砂時計 「ゼルダの伝説 夢幻の砂時計」開発チ ーム代表 岩本大貴 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007 | ALWAYS 続・三丁目の夕日 山崎貴 審査委員会推薦作品 映像(VFX) 映像 2007 |
| 種 草ひろこ 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007 | METAL GEAR SOLID 4 GUNS OF THE PATRIOTS 小島秀夫(KONAMI) 優秀賞 ゲーム 実機体験十紹介映像 2007 | ポケモンバトルレボリューション 山名学 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2006 | JUST DO IT/ Enjoy The Pressure 田邊慎太郎 審査委員会推薦作品 映像(CM) 映像 2007 |
| 展開フォト・ボ(フォトポップアップカ ード) マスタユタカ 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007 | MONSTER HUNTER PORTABLE 2 nd 「モンスターハンターポータブル 2 nd」 開発チーム代表 辻本良三 優秀賞 ゲーム 実機体験十紹介映像 2007 | ミスターブラッシュ！ プロジェクトエフディレクター 犬飼博士 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007 | Le Musicien Kinda 審査委員会推薦作品 映像(ショートムービー) 映像 2007 |
| ロサンゼルスのある一日の光景 川島高 審査委員会推薦作品 静止画 実物 2007 | 気づいていますか。 田中英生 優秀賞 ゲーム 映像(ショートムービー) 映像 2007 | Freqtric Project 馬場哲晃 審査委員会推薦作品 遊具 実機体験 2007 | Mr. Children 彩り 森本千絵 審査委員会推薦作品 映像(ミュージックビデオ) 映像 2007 |
| A day in the life of Ayako ワダナナヒロ 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | DAYDREAM 勅使河原一雅 優秀賞 ウェブ PC 展示 2006 | Mountain Guitar 金箱淳一 審査委員会推薦作品 遊具 実機体験 2007 | PANTONE ケータイ/変身篇 佐々木宏 審査委員会推薦作品 映像(CM) 映像 2007 |
| Color Cubes Andrei THOMAZ 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | 匂いがかがれるかぐや姫～日本昔話 Remix～ 原倫太郎十原游 奨励賞 その他(絵本) 実物十パネル 2006 | PC-DARTS 「PC-DARTS」開発チーム代表 笠川弘史 審査委員会推薦作品 遊具 実機体験 2006 | 「WHERE'S THE NEXT？」シリーズ ドリスコール リード/クリス ハッチンソン 審査委員会推薦作品 映像(CM) 映像 2007 |
| expART 123 藤木淳 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | Cellメタル 武藤玄 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007 | サウンドキャンディ 石橋秀一/瓜生大輔/奥出直人 審査委員会推薦作品 遊具 実機体験 2007 | ウイングイレブン 横澤宏一郎 審査委員会推薦作品 映像(CM) 映像 2006 |
| fragment 2/4 渡邊淳 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | Gears of War Cliff BLESZINSKI 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007 | ヒューマンプレイヤー 「ヒューマンプレイヤー」開発チ ーム代表 高橋晋平 審査委員会推薦作品 遊具 実機体験 2007 | 産業経済新聞社/SANKEI EXPRESS / “7 DAYS” 多田琢 審査委員会推薦作品 映像(CM) 映像 2007 |
| Nothing Happens Nurit BAR-SHAL 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2006 | Halo ® 3 バンジースタジオ /スタジオマネージャ ハロルド ライアン 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007 | フェイスバンク 高田栄一 審査委員会推薦作品 遊具 実機体験 2007 | 「大日本インキ化学工業株式会社」CM シ リーズ 森本千絵 審査委員会推薦作品 映像(CM) 映像 2007 |
| WORLD Santiago ECHEVERRY 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | シーマン2～北京原人育成キット～ 斎藤由多加 審査委員会推薦作品 ゲーム 実機体験 2007 | カミロボファイト 安居智博 審査委員会推薦作品 キャラクター 実物十紹介映像 2007 | ピアノ 中島信也 審査委員会推薦作品 映像(CM) 映像 2007 |
| 台風前線 北本朝展 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | | ソフトさんの悲劇 | ホワイトブラン「パソコン篇」 佐々木宏 審査委員会推薦作品 映像(CM) |

| | | | |
|---|--|--|---|
| 映像 2007 | TVアニメーション 映像十コンテ他 2006 | FREEDOM 5 森田修平(監督) 審査委員会推薦作品 OVA 映像 2007 | 映像 2007 |
| 琉球ディスコ/ナイスデイ フィーチャリ ング ビート・クルセイダース RYUKYUDISKO/小島淳二 審査委員会推薦作品 映像(ミュージックビデオ) 映像 2007 | カフカ 田舎医者 山村浩二 優秀賞 短編アニメーション 映像十コンテ他 2007 | 攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX Solid State Society 神山健治 審査委員会推薦作品 OVA 映像 2006 | 王さまものがたり 三角芳子 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| BeHaveYour ZOOGAMI Alessandro ORLANDI 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | 天元突破グレンラガン 今石洋之(監督) 優秀賞 TVアニメーション 映像十コンテ他 2007 | 赤色エレジー 林静一 審査委員会推薦作品 OVA 映像 2007 | 雲の人 雨の人 上甲トモヨシ 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| The Handshake Company 福岡正章 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | 電腦コイル 磯光雄 優秀賞 TVアニメーション 映像十コンテ他 2007 | 49 岩野一郎 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2006 | 黒こぐまと森のせんろ タナカウサギ 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| VAIO Interactive Adverts 「VAIO Interactive Adverts」企画開発 チーム代表 水藤祐之 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2006 | ウシニチ 一瀬皓コ 奨励賞 短編アニメーション 映像十コンテ他 2007 | Birthday 半崎信朗 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 | コベット 久保誠二郎/谷田一郎/青木克憲 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| あしたのハーモニー 「あしたのハーモニー」製作委員会 代表 平山浩司 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | Genius Party 渡辺信一郎/他6名 審査委員会推薦作品 劇場公開アニメーション 映像 2007 | BLOCKMAN 村越陽平 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 | 早春の最後の雪 吉田舞 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| イツディー 佐野勝彦 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | ピアノの森 小島正幸(監督) 審査委員会推薦作品 劇場公開アニメーション 映像 2007 | BONEHEADS 千田宏 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2006 | 蒲公英の姉 坂元友介 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| ガール イン ワンダーランド 寺林憲一/納富奈津子/西村優子 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | DARKER THAN BLACK―黒の契約者― 岡村天斎(監督) 審査委員会推薦作品 TVアニメーション 映像 2007 | Burning Safari Team Burning Safari, Gobelins 2006 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2006 | ピカピカ 2007 ナガタケシトモンノカヅエ 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| ケチャット・ライブ 「ケチャットライブ」企画開発チーム 代表 水藤祐之 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2006 | おじゃる丸 満月ロード危機一髪〜タマ にはマロも大冒険〜 大地丙太郎 審査委員会推薦作品 TVアニメーション 映像 2007 | HOW TO COOK BREAKFAST ? 山崎涼子 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 | 放課後、エメラルド 七尾一哉 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| ニコニコ動画 「ニコニコ動画」制作チーム代表 中野真 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2006 | コードギアス 反逆のルルーシュ 谷口悟朗(監督) 審査委員会推薦作品 TVアニメーション 映像 2006 | LOST UTOPIA 水江未来 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 | 放課後 MIDNIGHT 竹清仁 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 |
| ペプシネックスダンス 城戸雅行 審査委員会推薦作品 ウェブ PC 展示 2007 | 精霊の守り人 神山健治(監督・脚本) 審査委員会推薦作品 TVアニメーション 映像 2007 | Love Rollercoaster 堀江弘昌 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2006 | マンガ部門 モリのアサガオ 郷田マモラ 大賞 ストーリーマンガ 単行本十原画十パネル 2007 |
| アニメーション部門 | もやしもん 矢野雄一郎(監督) 審査委員会推薦作品 TVアニメーション 映像 2007 | THE CLOCKWORK CITY 加藤隆 審査委員会推薦作品 短編アニメーション 映像 2007 | 海街 diary 吉田秋生 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本十原画十パネル 2007 |
| 河童のクウと夏休み 原恵一 大賞 劇場公開アニメーション 映像十コンテ他 2007 | やさいのようにせい N. Y. SALAD 青海徳之(アニメーション監督)/松宏彰 (総合演出) 審査委員会推薦作品 TVアニメーション 映像 2006 | アニキクリ15「宇宙人襲来 ヒロシの場合」 西見祥示郎 審査委員会推薦作品 短編アニメーション | 鈴木先生 武富健治 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本十原画十パネル 2007 |
| うっかりベネロベ 高木淳(監督) 優秀賞 | | | |

| | | |
|---|---|--|
| 竹光侍 松本大洋/永福一成(作) 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本十原画十パネル 2007 | 2007 ZONE 藤昇 審査委員会推薦作品 コママンガ 実物 2006 | 辻真先(アニメ脚本家・ミステリ作家) 功労賞 台本十紹介映像十パネル |
| プライド 一条ゆかり 優秀賞 ストーリーマンガ 単行本十原画十パネル 2007 | Tokio mravinjak / Tokio Suana Stanko GOJIC 審査委員会推薦作品 自主制作 実物 2006 | |
| 天顕祭 白井弓子 奨励賞 自主制作 単行本十原画十パネル 2007 | カッバマキ 筑濱カズコ(構成：筑濱健一/作画：筑濱和子) 審査委員会推薦作品 自主制作 実物 2007 | |
| おおきく振りかぶって ひぐちアサ 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | 南無者心經 矢尾板賢吉 審査委員会推薦作品 自主制作 実物 2007 | |
| 御暖漫玉日記 桜玉吉 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | 裸のアンヌシュカ Les Anouchkas Dénudés 池田ハル 審査委員会推薦作品 自主制作 実物十額装原画 2007 | |
| 機動戦士ガンダム THE ORIGIN 安彦良和/矢立肇・富野由悠季(原案) 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | ひよこ産業製品カタログ 柴本翔 審査委員会推薦作品 自主制作 実物 2007 | |
| ケロロ軍曹 吉崎観音 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | minus. Ryan ARMAND 審査委員会推薦作品 オンライン 実物 2007 | |
| 鋼の錬金術師 荒川弘 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | オケラくん 大森清一郎 審査委員会推薦作品 オンライン 実物 2007 | |
| ハチワンダイバー 柴田ヨクサル 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | グライディング REKI 姫川明 審査委員会推薦作品 オンライン 実物 2007 | |
| 秘密 トップ・シークレットー 清水玲子 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | センネン画報 今日マチ子 審査委員会推薦作品 オンライン 実物 2007 | |
| もやしもん 石川雅之 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | SLANGEHUND-SNAKEDOG-HEBI INU Helle Vibeke JENSEN 審査委員会推薦作品 その他(絵本) 実物 2007 | |
| 間金ウシジマくん 真鍋昌平 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 2007 | 全カウサギ イケダケイ 審査委員会推薦作品 その他 実物 2006 | |
| 預言者ピッピ 地下沢中也 審査委員会推薦作品 ストーリーマンガ 単行本 | | |

アーティスト・ファイル2008
—現代の作家たち
出品リスト

| | | |
|---|---|---|
| エリナ・プロテルス Eiina BROTHERUS | 2004年 80×113 cm | 転倒 2008年 |
| 「少女が愛を語る」シリーズ | | |
| Divorce portrait[離婚写真] 1998年 130×105 cm | Model Study 14[モデル・スタディー14] 2004年 70×49 cm | レイヴンズウッド 2008年 |
| Landscapes and escapes VI[風景と逃亡VI] 1999年 各70×99 cm(2枚組) | Deux personnages au bord de la mer [海辺の二人の人物] 2005年 105×133 cm | シスターズ・ロックス 2008年 セイレンに捧げる歌 2008年 |
| 「ニュー・ペインティング」シリーズ | C プリント gb エージェンシー(パリ)協力 | 野生の世界 2008年 |
| Horizon 6 [地平線 6] 2000年 105×130 cm | | はるかかなたで 2008年 |
| Horizon 7 [地平線 7] 2000年 105×130 cm | 浮遊 '08 2008年 特殊フィルム、ヘリウムガス、空気、 アクリル板、透明テープ 作家蔵 | 顔料インクプリント 各105×105 cm 作家およびスタイルズ・ギャラリー(シ ドニー)協力 |
| Horizon 8 [地平線 8] 2000年 105×130 cm | | |
| Very Low Horizon 2 [限りなく低い地平 線 2] 2001年 80×99 cm | ポリクセニ・パパペトルー Polixeni PAPAPETROU | 佐伯洋江 Hiroe SAEKI |
| Very Low Horizon 5 [限りなく低い地平 線 5] 2001年 80×100 cm | 「ホーンテッド・カントリー」 ルー 1855年 2006年 | Untitled 2005年 シャープペンシル、色鉛筆、アクリリック /紙 各111×79 cm(4点組) 個人蔵、アルミン&ベルナルド・ルイス =ピカソ芸術財団協力 |
| Perspective 2 [パースペクティヴ 2] 2001年 105×133 cm | ヤラ川のそばで 1857年 #1 2006年 | Untitled 2006年 シャープペンシル、色鉛筆、アクリリック /紙 90×90 cm 齋藤修氏蔵(日本) |
| Perspective 3 [パースペクティヴ 3] 2001年 105×133 cm | ヤラ川のそばで 1857年 #2 2006年 | Untitled 2006年 シャープペンシル、色鉛筆、アクリリック /紙 各120×120 cm(3点組) UBS コレクション(イギリス) |
| Femme à sa toilette[浴室の女性] 2001年 80×66 cm | ヤラ川のそばで 1857年 #4 2006年 | Untitled 2006年 シャープペンシル、色鉛筆、アクリリック /紙 各120×120 cm(3点組) UBS コレクション(イギリス) |
| Le Printemps[春] 2001年 70×80 cm | ウィメラ地方 1864年 #1 2006年 | Untitled 2006年 シャープペンシル、色鉛筆、アクリリック /紙 各120×120 cm(3点組) UBS コレクション(イギリス) |
| Figure au bord de l'eau[水辺の人物] 2002年 80×102 cm | ディルズフォード 1867年 #2 2006年 | Untitled 2006年 シャープペンシル、色鉛筆、アクリリック /紙 135×155 cm マット・エイプリ所蔵(ロサンゼルス) |
| Vue 2, soir[眺め 2、夕暮れ] 2003年 80×101 cm | キーラー・ブレインズにて 1895年 #2 2006年 | Untitled 2006年 シャープペンシル、色鉛筆、アクリリック /紙 135×155 cm エリック・J. サンチェス・サルガド所蔵 |
| Vue 2, nuit[眺め 2、夜] 2003年 80×101 cm | ハンギング・ロック 1900年 #3 2006年 | Untitled 2007年 シャープペンシル、色鉛筆、インク/紙 各111×79 cm(4点組) 個人蔵(日本) |
| Baigneuse, orage montant[水浴する女、 雷の予兆] 2003年 70×79 cm | 目撃者 1933年 2006年 | Untitled 2007年 シャープペンシル、色鉛筆、インク/紙 各80×79 cm(3点組) 個人蔵(日本) |
| Nu endormi[眠る裸婦] 2003年 80×100 cm | 彼女は二人の少女と一人の少年を見た 1966年 #1 2006年 | Untitled 2008年 シャープペンシル、色鉛筆、インク/紙 各80×79 cm(3点組) 作家蔵 |
| Der Wanderer 3 [旅人 3] 2004年 105×133 cm | 「ゲームズ・オブ・コンシークエンス」 真実か挑戦か 2008年 | Untitled 2008年 シャープペンシル、色鉛筆、インク/紙 各80×79 cm(3点組) 作家蔵 |
| Der Wanderer 4 [旅人 4] 2004年 105×119 cm | ボイドの輪 2008年 | Untitled 2008年 シャープペンシル、色鉛筆、インク/紙 30×30 cm 作家蔵 |
| 「モデル・スタディー」シリーズ | 明日のための記憶 2008年 | |
| Model Study 1 [モデル・スタディー 1] 2002年 105×84 cm | あらし 2008年 | |
| | スネーク・ガリー 2008年 | |
| | 夢は水に似ている 2008年 | |
| | ドイツ・フォールズ 2008年 | |
| Model Study 7 [モデル・スタディー 7] | スカウト・ホールの花嫁 2008年 | |
| | ローブ 2007年 | |

寸法は、原則として平面作品は縦×横、
立体作品は高さ×幅×奥行きの順に記載

さわひらき | Hiraki SAWA

Hako

2007年

6チャンネル ビデオインスタレーション
12分00秒

制作協力：チゼンヘイル・ギャラリー
(ロンドン)

"the birds and the sea"

"moss"

"talking to the wall"

"for a moment"

"kaeri michi"

"fragments"

作家、オオタファインアーツ(東京)、
ジェームス・コーハンギャラリー(ニュー
ーヨーク)協力

白井美穂 | Mio SHIRAI

「芸術についての三部作」

The Creative Act

時間：11分20秒

出演：北風総貴(ヤング荘)、椎橋良太、
白井美穂、高橋永二郎、津山勇(ヤング
荘)、中村恩恵、廣田あつ子、丸山純子、
渡邊純子、渡邊曜

監督：白井美穂

撮影：上田倫人、菊井良典、島田恒、
奈良大裕

編集：上田倫人、菊井良典

音楽：高橋永二郎

インスタレーション作品：牛島達治、
丸山純子

エキストラ：足立喜一郎

テキスト：マルセル・デュシャン「創造
行為」

制作：2007年

協力：BankART 1929

西洋料理店山猫軒

時間：6分

出演：北風総貴(ヤング荘)、白井美穂、
津山勇(ヤング荘)、福島喜好

監督：白井美穂

撮影：本田孝義

編集：本田孝義

音楽：高橋永二郎

インスタレーション作品：白井美穂

原作：宮沢賢治「注文の多い料理店」

制作：2007年

協力：BankART 1929

制作協力：大木彩子

L'Amour

時間：5分50秒

出演：榎本祐子、北風総貴(ヤング荘)、
津山勇(ヤング荘)、野老朝雄

監督：白井美穂

撮影：本田孝義

編集：本田孝義

音楽：高橋永二郎

エキストラ：平野修二

制作：2007-08年

協力：BankART 1929

The Creative Act(Sur la Terre Comme
au Ciel)

2008年

ジェットインク/紙

各73×51.5cm(2点組)

作家蔵

協力：Soak

西洋料理店山猫軒

2008年

下記 a~d、およびビデオ作品(西洋料理
店山猫軒)、シャンデリア、テーブル5
台、テーブルクロス5枚、椅子10脚から
なるインスタレーション

作家蔵

a

斜辺

1993/2008年

ベルトコンベアー、アルミニウム、鉄、

DVD(料理の音)

85×145×75 cm

作家蔵

b

Across the River

2005年

布、糸、アルミニウム、アクリリック

183×220 cm

作家蔵

c

西洋料理店山猫軒

2008年

写真、ジェットインク/紙

73×51.5 cm

作家蔵

協力：Soak

d

西洋料理店山猫軒

2008年

写真、ジェットインク/紙

73×51.5 cm

作家蔵

協力：Soak

往来

2006年

木、布、スチール、他

150×183×168 cm

作家蔵

L'Amour

2008年

写真

42×30 cm

作家蔵

協力：Soak

祐成政徳 | Masanori SUKENARI

VESSEL

1999年

真鍮

11.6×14.5 cm、長さ可変

作家蔵

a King and I #1

2001年

ナイロン、送風機、アルミ、金箔

704×725×725 cm、84.5×43×46 cm

作家蔵

Friendship REVISITED

2007年

ナイロン、送風機

300×1150×300 cm

作家蔵

Invention and Sinfonia FL.

2007年

ポリエステル、真鍮

各120×76cm(20枚)、115.5×91.3×4.5cm

作家蔵

Piece on Earth

2007年

石、真鍮

20×20×3.2 cm、13×16.3×2.3 cm

作家蔵

Dolomiten

1996年頃

亜鉛板

83×120.2×10.5 cm

作家蔵

Affectone P. i

2007年

エッチング、リトグラフ

60×45 cm

作家蔵

Affectone P. ii

2007年

エッチング

60×45 cm

作家蔵

竹村京 | Kei TAKEMURA

A.N.のリビング・ルーム、地震の予感

2005年

イタリア製合成繊維、日本製絹糸、ドイ
ツ製/日本製ピン、ドイツ製パーマネ
ントペン、ドイツ製クレヨン、紙テープ、
ドイツ製室内用ペンキ、トランスペア
レント紙

380×1120 cm

作家蔵

親愛なるあなたとの回転

2006年

使用済みのK.T.のベッド、使用済みのIKEA
のベッド、使用済みの南ドイツの田舎調
ベッド、木材、ネジ、使用済みのドイ
ツの田舎調ベッド、K.T.の服、K.T.の服、
H.T.の服、Y.K.の服、M.F.の服、A.T.の服、
A.T.のボーイフレンドDの服、Y.S.の服、
F.S.の服、C.S.の服、R.F.の服、T.N.の服、
S.H.の服、S.H.のガールフレンドの服、
S.H.の服、K.K.の服、K.K.の弟の服

130×400×321 cm

作家蔵

同い年の女の子達と同じくらいの年の見

知らぬ女の子達

2006年

C プリント(84点)

各45.5×35.5 cm(42点)、各35.5×45.5

cm(42点)

作家蔵

May I enter? 2

2008年

トランスペアレント紙、ドイツ製パーマ
ネントペン、DVD

作家蔵

9-5 名簿 The NACT Council and Staff List

評議員名簿 The NACT Council

| | |
|-------|-------------------------------|
| 新井光風 | (社)日展理事、謙慎書道会理事長、書家 |
| 今井 涉 | サントリー美術館支配人 |
| 梅原幸雄 | 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻教授、日本画家 |
| 逢坂恵理子 | 前 水戸芸術館現代美術センター芸術監督 |
| 奥谷禮子 | (株)ザ・アール代表取締役社長 |
| 熊倉純子 | 東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科准教授 |
| 酒井忠康 | 世田谷美術館長、神奈川県立近代美術館顧問 |
| 桜井 武 | 美術評論家、慶應義塾大学大学院非常勤講師 |
| 澄川喜一 | (社)日本美術家連盟理事、島根県芸術文化センター長、彫刻家 |
| 高階秀爾 | 大原美術館長、(財)西洋美術振興財団理事長 |
| 高橋信也 | 森美術館ジェネラルマネージャー、森ビル株式会社取締役 |
| 塗師祥一郎 | (社)日展常務理事、日洋会常任委員、洋画家 |
| 塙 義一 | 日産自動車株式会社名誉会長 |
| 馬淵明子 | 日本女子大学人間社会学部文化学科教授 |
| 山本 貞 | (社)二紀会理事長、(社)日本美術家連盟理事、洋画家 |
| 横里幸一 | (株)NHK プロモーション代表取締役社長 |

平成20(2008)年2月28日時点 16名

職員名簿 Staff

| | | | |
|---------------|-------|---------------|-------|
| 館長 | 林田英樹 | | |
| 副館長 | 三木哲夫 | | |
| [運営管理部] | | [学芸課] | |
| 運営管理部長 | 石垣鉄也 | 学芸課長/教育普及室長 | 福永 治 |
| 室長(管理)/係長(庶務) | 森田浩司 | 企画室長(主任研究員) | 南 雄介 |
| 一般職員(庶務) | 福田武史 | 主任研究員(企画) | 長屋光枝 |
| 事務補佐員 | 浅井倫子 | 研究員(企画) | 宮島綾子 |
| 事務補佐員 | 西島有子 | 研究補佐員 | 久保田恭子 |
| 係長(会計) | 松本武彦 | 研究補佐員 | 長谷川珠緒 |
| 一般職員(会計) | 西野敏成 | 研究補佐員 | 加藤 絢 |
| 事務補佐員 | 中曽根映里 | 研究補佐員 | 柏木聖子 |
| 事務補佐員 | 河野正美 | 研究補佐員 | 米田尚輝 |
| 事務補佐員 | 三谷知子 | 事務補佐員 | 小島 佳 |
| 室長(運営)/係長(事業) | 西田佳二 | 事務補佐員 | 内藤 薫 |
| 一般職員(事業) | 小澤孝明 | 研究員(教育普及) | 西野華子 |
| 事務補佐員 | 竹之内千夏 | 研究員(教育普及) | 本橋弥生 |
| 事務補佐員 | 瀧川真里 | 研究補佐員 | 吉澤菜摘 |
| 事務補佐員 | 広瀬由紀子 | 研究補佐員 | 鳥居 茜 |
| | | 情報資料室長(主任研究員) | 平井章一 |
| | | 研究員(情報資料) | 室屋泰三 |
| | | 研究補佐員 | 浅野智子 |
| | | 研究補佐員 | 宮田有香 |
| | | 研究補佐員 | 白鳥真理子 |
| | | 研究補佐員 | 橘川英規 |
| | | 研究補佐員 | 力丸彩子 |
| | | 事務補佐員 | 奥村嘉子 |
| | | 客員研究員 | 小林光夫 |
| | | 客員研究員 | 中島理壽 |

平成20(2008)年3月末時点 42名

平成19年度 国立新美術館 年報

発行者：林田英樹

発行：国立新美術館

東京都港区六本木7-22-2

電話03-6812-9900

印刷：成光社

発行日：平成20年5月23日(非売品)

ANNUAL REPORT

April 2007 - March 2008

The National Art Center, Tokyo

Publisher: HAYASHIDA Hideki

Published by: The National Art Center, Tokyo ©2008

7-22-2 Roppongi, Minato-ku, Tokyo, 106-8558, Japan

Printed by: Seiko-sha Co., Ltd.

新 国立新美術館
THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO